

ADOBE® ELEMENTS ORGANIZER 8

ユーザーガイド

© 2009 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.

Adobe® Elements Organizer 8 ユーザーガイド

This guide is licensed for use under the terms of the Creative Commons Attribution Non-Commercial 3.0 License. This License allows users to copy, distribute, and transmit the user guide for noncommercial purposes only so long as (1) proper attribution to Adobe is given as the owner of the user guide; and (2) any reuse or distribution of the user guide contains a notice that use of the user guide is governed by these terms. The best way to provide notice is to include the following link. To view a copy of this license, visit <http://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/3.0/>

Adobe, the Adobe logo, Adobe Premiere, Acrobat, Flash, Illustrator, Photoshop, Reader, and XMP are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries. Windows and Windows Vista are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.

Adobe Systems Incorporated, 345 Park Avenue, San Jose, California 95110, USA.

目次

第1章：Elements Organizer はじめる前に

使用する前に	1
ヘルプの使用とサポートの利用	2

第2章：Elements Organizer ワークスペース

ワークスペース	4
Elements Organizer と Adobe Premiere Elements の併用	9

第3章：写真とビデオの読み込み

写真とビデオの取り込み	12
カメラおよびカードリーダー	15
スキャナー	19
ローカルファイル、CD、DVD、およびビデオ	21
カメラ内蔵携帯電話	27

第4章：Elements Organizer での写真およびビデオの表示と補正

Elements Organizer での写真およびビデオの表示	29
ビデオプロジェクトの表示	36
ビデオと全画面画像の表示	37
日付表示でのメディアファイルの表示	43
Elements Organizer での写真とビデオの補正	47

第5章：写真とビデオのタグ付けと整理

写真とビデオへのタグ付け	50
キーワードタグ、カテゴリおよびサブカテゴリの編集	64
アルバムの作成	69
スマートアルバムの作成と編集	73
アルバムおよびアルバムカテゴリの編集	74

第6章：Elements Organizer でのメディアファイルの検索

Elements Organizer でのメディアファイルの検索	78
キーワードタグによるメディアファイルの検索	81
内容、種類およびメタデータによるメディアファイルの検索	84

第7章：ファイルとカタログの管理

カタログの管理	91
ファイルの移動、コピー、および名前の変更	97
スタック内の写真のグループ化	100
バージョンセット内の写真のグループ化	105
ビデオシーングループとシーングループ	109

目次

ファイル名とバージョン	110
キャプションとメモの追加	113
ファイル情報	116
ファイルの再リンク	117
第 8 章：Elements Organizer のプロジェクト	
Elements Organizer のプロジェクトの概要	121
オンラインアルバムの作成と配信	122
フォトブック、グリーティングカード、フォトコラージュの作成	125
スライドショーの作成	125
インスタントムービーの作成	140
フリップブックの作成	140
第 9 章：写真のプリントと配信	
写真のプリント	141
プリントオプション	149
オンラインサービスを利用した写真の配信	150
電子メールによる写真の配信	152
ビデオのオンライン配信	157
携帯電話および携帯プレーヤーへのメディアファイルの書き出し	158
Media Center コンピューターでの写真の表示と配信	158
写真の書き出し	160
DVD / Blu-ray へのメディアファイルの書き込み	161
CD / DVD へのメディアファイルの書き込み	161
第 10 章：Elements Organizer のショートカットキー	
ナビゲーション時に使用するキー	162
写真表示に使用するキー (Elements Organizer)	162
カレンダーの表示時に使用するキー (日付表示)	163
写真編集に使用するキー (Elements Organizer)	163
写真の検索時に使用するキー	164

第 1 章：Elements Organizer は始める前に

Elements Organizer は、Adobe® Photoshop® Elements と Adobe® Premiere® Elements の両方に不可欠な機能を持ったソフトウェアです。Elements Organizer では、写真やビデオクリップの取り込み、管理および表示を行います。写真やクリップのより高度な編集を行う場合は、Photoshop Elements Editor または Adobe Premiere Elements Editor を使用します。これらの Elements Editor での作業に関する情報について詳しくは、各 Elements Editor のヘルプを参照してください。

使用する前に

システム要件の確認

お使いのコンピューターで Photoshop Elements または Premiere Elements を実行できるかどうか不明な場合は、Adobe ソフトウェアのシステム要件と推奨事項の完全なリストを確認してください。ソフトウェアの CD インストールディスクにある、お読みくださいファイルを参照してください。

ソフトウェアのインストール

- 1 コンピューターで開いている他の Adobe アプリケーションをすべて閉じます。
- 2 ディスクドライブにインストールディスクを挿入し、画面の指示に従います。

以前のバージョンの Photoshop Elements または Premiere Elements をアンインストールする必要はありますか。 体験版をインストールしている場合は、まずアンインストールすることをお勧めします。以前のバージョンは、必ずしもアンインストールしなくても構いません。

以前のバージョンをアンインストールするには、どうすればよいですか。 Windows® OS (XP) では、スタートメニューをクリックし、「コントロールパネル」を選択します。コントロールパネルダイアログボックスで「プログラムの追加と削除」をダブルクリックします。プログラムの追加と削除ダイアログボックスで、アンインストールするソフトウェアのバージョンを選択し、「削除」ボタンをクリックします。アプリケーションをコンピューターから削除するかどうかを尋ねるダイアログボックスが表示されます。「はい」をクリックしてアンインストールします。

登録

インストール後、ソフトウェアを登録すると、無料のインストールサポート、アップデート通知およびその他のサービスを受けることができます。

注意：米国以外のユーザーは、ヘルプ/ユーザー登録を選択していつでも登録できます。

「お読みください」ファイル

インストール CD には、ソフトウェアに対応したお読みくださいファイルが収録されています（このファイルは、製品のインストール時にアプリケーションフォルダーにもコピーされます）。ファイルを開いて、重要な情報をお読みください。

新機能と拡張機能

Photoshop Elements の新機能や拡張機能については、www.adobe.com/go/learn_pse_features_jp を参照してください。写真の補正や編集などの処理が、これまでよりも簡単になりました。

Adobe Premiere Elements の新機能や拡張機能については、www.adobe.com/go/learn_pre_features_jp を参照してください。

ヘルプの使用とサポートの利用

Photoshop Elements および Premiere Elements について

質問をするには、どうすればよいですか。www.adobe.com/go/forums_jp で質問をして、他の Adobe Photoshop Elements および Adobe Premiere Elements のユーザーからアドバイスを受けることができます。

Elements Organizer ヘルプの使用

Photoshop Elements ヘルプを使用するには、いくつかの方法があります。ヘルプにアクセスするには、ヘルプ/Elements Organizer ヘルプを選択します（または、キーボードの F1 キーを押します）。コンピューターがインターネットに接続されている場合、Elements Organizer により、Web 上のヘルプが自動的に起動されます。

Elements Organizer の完全版のヘルプについては、Elements Organizer、Photoshop Elements Editor または Adobe Premiere Elements Editor のヘルプシステムを参照してください。

オンラインヘルプ www.adobe.com/go/learn_org_jp は、Elements Organizer ヘルプの全内容を網羅した最新のバージョンです。オンラインヘルプにアクセスするには、コンピューターがインターネットに接続されている必要があります。「検索」フィールドを使用して、Photoshop Elements ヘルプ内を検索します。Photoshop Elements ヘルプのすべてのトピックを参照します。

アプリケーション内のヘルプ アプリケーション内のヘルプにより、主要なタスクや概念にアクセスすることができます。インターネットに接続していない場合、Elements Organizer により、アプリケーション内のヘルプが起動されます。アプリケーション内のヘルプは、Web 上で利用できる完全版のヘルプの一部です。

PDF 形式のヘルプ ヘルプは、印刷に適した PDF ドキュメント形式でも提供されています。www.adobe.com/go/learn_org_printpdf_jp を参照するか、各ヘルプページ上部にある「PDF」リンクをクリックしてください。インターネット接続を利用できない場合に、全内容を網羅したヘルプを利用するには、PDF 形式のヘルプが最適です。

アプリケーション内のリンク Elements Organizer には、ヘルプへのリンクがいくつか表示されます。これらのリンクをクリックすると、Web 上のヘルプまたはアプリケーション内のヘルプの該当するトピックに移動します。

注意： Web 上のヘルプにだけ存在するヘルプトピックにアクセスしようとすると、Elements Organizer により、Web 上の完全版のヘルプの URL とリンクが表示されます。

ヘルプの検索に関するヒント

- 語句 ("シェイプツール" など) を使用して検索する場合は、語句を引用符で囲んでください。語句内のすべての単語を含むトピックのみが検索結果に表示されます。
- 検索対象の単語が正しく入力されていることを確認してください。
- 適切な検索結果が表示されない場合は、類義語（「インターネット」の代わりに「Web」など）を使用してみてください。
- 見つけたトピックを再度参照する可能性がある場合は、ブックマークしておくことで簡単にアクセスできます。

ヘルプトピックの印刷 ヘルプのトピックを印刷するには、ブラウザの「印刷」コマンドを使用します。

トラブルシューティングトピックの検索方法 Top issues を参照したり、一般的な問題やエラーメッセージを検索するには、www.adobe.com/jp/support/photoshopelements および www.adobe.com/jp/support/premierelements に移動します。

フォーラム アプリケーションからユーザーコミュニティフォーラムへアクセスできます。Adobe Premiere Elements のフォーラムページにアクセスするには、ヘルプ/フォーラム/ Premiere Elements を選択します。Photoshop Elements のフォーラムページにアクセスするには、ヘルプ/フォーラム/ Photoshop Elements を選択します。コンピューターがインターネットに接続されている場合は、Elements Organizer がフォーラムページを起動します。フォーラムでは、他の Adobe Premiere Elements ユーザーや Photoshop Elements ユーザーに自分のデザインへの提案を依頼したり、逆に他のユーザーの参考となるヒントや秘訣を投稿することもできます。

ソフトウェアのアップデートの検索 コンピューターがインターネットに接続されている場合、Photoshop Elements または Adobe Premiere Elements が更新されるたびに通知が届きます。www.adobe.com/jp/downloads/updates に移動することで、最新のアップデートを確認することもできます。

カスタマーサポート

サポートを受けるには、アドビに直接問い合わせるか、Web ケースを送信します。お問い合わせ先については、www.adobe.com/jp/support/contact を参照してください。アドビサポートサイト (www.adobe.com/go/support_jp) をご覧ください。アドビサポートには、製品のトラブルシューティング情報や、無償または有料のテクニカルサポートオプションに関する情報が記載されています。

第 2 章：Elements Organizer ワークスペース

Elements Organizer ワークスペースは、写真やメディアファイルの検索、整理および配信に使用します。Photoshop Elements Editor は、写真の作成、編集、補正に使用し、Adobe Premiere Elements Editor はビデオ編集に使用します。編集する写真やビデオを開くには、次の操作を行います。

- 1 写真またはビデオを選択します。
- 2 「補正」タブの横にある三角形をクリックし、編集するメディアファイルに応じて次のいずれかを選択します。
 - スタンダード写真編集**  Photoshop Elements Editor をスタンダード編集モードで起動して写真を編集します。
 - クイック写真編集**  Photoshop Elements Editor をクイック編集モードで起動して写真を編集します。
 - ガイド付き写真編集**  Photoshop Elements Editor をガイド付き編集モードで起動して写真を編集します。
 - ビデオを編集**  Adobe Premiere Elements Editor を起動して、ビデオファイルの編集を行います。

Elements Editor ワークスペースで作業している場合は、「Elements Organizer」ボタン  をクリックすると、Elements Organizer ワークスペースが表示されます。

 Elements Organizer と Photoshop Elements Editor または Elements Organizer と Adobe Premiere Elements Editor を開いている場合は、ワークスペース間を移動することができます。ワークスペース間を移動するには、Windows® OS タスクバーの対応するボタンをクリックします。

ワークスペース

スタートアップスクリーン

Photoshop Elements または Premiere Elements を起動すると、初期設定でスタートアップスクリーンが開きます。スタートアップスクリーンは、主な各種作業にアクセスするための出発点となる、便利なスクリーンです。

ボタンをクリックして、目的のワークスペースを開きます。例えば、Elements Organizer を起動して、写真とメディアファイルの読み込み、タグの追加、整理を行うには「整理」をクリックします。また、Elements Editor を起動して、メディアファイルの加工や、特殊効果の適用を行うには「編集」をクリックします。

スタートアップスクリーンは、スタートアップスクリーンボタン  をクリックして、いつでも開いたり閉じたりできます。スタートアップスクリーンに戻って他のワークスペースを開く必要はありません。

情報の追跡の無効化

初期設定のスタートアップスクリーンでは、スタートアップスクリーンの使いやすさ向上を目的として、使用状況に関する情報を記録し、それを Adobe に送信します。スタートアップスクリーンの使用状況に関するデータは、匿名で送信され、個人情報や Adobe ID アカウント情報にリンクされることはありません。Photoshop Elements Editor、Adobe Premiere Elements Editor または Elements Organizer の使用状況に関するデータは追跡されません。スタートアップスクリーンで情報の追跡を無効にするには、次の手順に従います。

- 1 Windows XP で、スタート/ファイル名を指定して実行をクリックし（Windows Vista の場合はスタートを選択し）、「regedit.exe」と入力し、「OK」をクリックします。

Windows のレジストリエディタが表示されます。左側のツリーナビゲーターを使用して、HKEY_CURRENT_USER\Software\Adobe\Elements Organizer\8.0\Organizer へ移動します。

- 2 右パネルの任意の場所を右クリックし、新規/DWORD 値を選択します。

「新しい値 #1」という名前の DWORD 値が作成されます。

3 「新しい値 #1」という名前を「DisableTracking」に変更します。

4 「DisableTracking」をダブルクリックします。

DWORD 値の編集ダイアログが開きます。

5 「値のデータ」フィールドに「1」と入力し、「OK」をクリックしてレジストリエディタを閉じます。

Elements Organizer ワークスペース

 概要に関するビデオについては、www.adobe.com/go/lrvid2312_pse_jp を参照してください。

Elements Organizer は、写真やメディアファイルの検索、整理および配信に使用します。Elements Organizer のメディアブラウザーは、取り込んだメディアファイルのサムネールを表示するのに使用します。1 つのメディアファイルのサムネールを拡大して表示したり、多数のメディアファイルのサムネールを縮小して表示したりすることができます。サムネールのサイズは、サムネールスライダーを使用して指定します。メディアファイルを日付順に表示するには、Elements Organizer の日付表示を使用します。日付表示では、カレンダー形式でファイルを操作することができます。

メディアブラウザーにはすべての写真、取り込んだビデオ、PDF ファイルが表示されます。取り込んだ項目は総合ウィンドウに表示され、簡単に参照したりフィルターしたりできます。CD などのコンピューターの外部に保存したファイルのサムネールを表示することもできます。

Elements Organizer ワークスペースの明るさを変更するには、次の操作を行います。

1 編集／環境設定／一般を選択します。

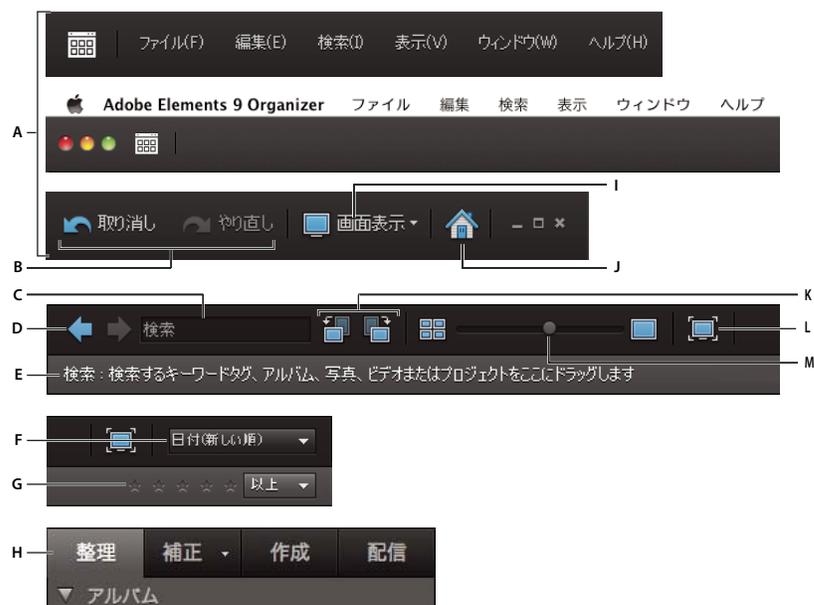
2 環境設定ウィンドウで、ユーザーインターフェイスの明るさとグリッドの明るさを指定します。

タスクエリアの「補正」タブのツールを使用して、メディアファイルの一般的な問題を補正できます。より複雑な編集をするには、Elements Organizer で写真またはビデオを選択し、「補正」タブで次の操作を行います。

- 「スタンダード写真編集」、「クイック写真編集」または「ガイド付き写真編集」をクリックして、写真を処理します。写真が Photoshop Elements Editor ワークスペースに表示されます。
- 「ビデオを編集」をクリックして、ビデオファイルを操作します。ビデオファイルが Adobe Premiere Elements Editor ワークスペースに表示されます。

タスクエリアの「作成」タブでは、プリントするフォトブックやコンピューターで表示するスライドショーなど、様々なプロジェクトを作成できます。

また、タスクエリアの「配信」タブのツールを使用して、写真、ビデオおよびプロジェクトを他のユーザーと共有することもできます。



Elements Organizer のボタンとメニューバー

A. メニューバーの左側と右側 B. 「取り消し」ボタンと「やり直し」ボタン C. テキスト検索 D. 前の表示に戻るボタンと次の表示に進むボタン E. 検索バー F. メディアブラウザーエリアでのアイテムの並べ方メニュー G. 重要度フィルター H. タスクパネルの4つのタブ I. 表示メニュー J. スタートアップスクリーンボタン K. 左に回転ボタンと右に回転ボタン L. フルスクリーンで表示、編集、整理 M. サムネールのサイズ調整スライダー

Elements Organizer ワークスペースには、次のコンポーネントがあります。

スタートアップスクリーンボタン スタートアップスクリーンが表示され、整理および編集の選択ツールが表示されます。

メニューバー 作業を実行するためのメニューが含まれています。Elements Organizer では、メニューが「ファイル」、「編集」、「検索」、「表示」、「ウインドウ」および「ヘルプ」に分類されています。

画面表示ボタン メディアブラウザーの表示方法のメニューが表示されます。

ナビゲーションボタン メディアブラウザーの前の表示に戻ったり、次の表示に進んだりすることができます。

検索バー 写真、ビデオ、アルバムアイコンまたはキーワードタグアイコンをここにドラッグして、写真やメディアファイルを検索します。

メディアブラウザー Elements Organizer の写真、ビデオファイル、オーディオファイルおよびビデオプロジェクトを単独またはサムネールで表示します。

タスクエリア 「整理」、「補正」、「作成」および「配信」タブと、それぞれのタブのパネルやボタンが含まれています。

ステータスバー メディアブラウザーのステータスバーには、選択しているアイテムの数と、メディアブラウザーに含まれている全アイテム数が表示されます。

注意: Elements Organizer を起動した状態で Windows の画面のテーマを変更すると、Elements Organizer ワークスペースがゆがんで表示されます。表示を元に戻すには、Elements Organizer の画面を一旦閉じ、再起動します。

関連項目

43 ページの「日付表示でのメディアファイルの表示および検索」

Elements Organizer でのタスクエリアの利用

Elements Organizer では、メディアブラウザの右側にタスクエリアが表示されます。タスクエリアには、メディアファイル編集の基本ステップに対応したタブ（「整理」、「補正」、「作成」、「配信」）があります。タブにアクセスするにはタスクエリアを表示します。タスクエリアを非表示にすると、メディアブラウザが大きく表示されます。



タスクエリアのタブ（「整理」タブを選択した状態）

タスクエリアの表示と非表示

❖ ウィンドウ／タスクエリアを表示（またはタスクエリアを非表示）を選択します。

「整理」タブでのパネルの使用

「整理」タブには、複数のパネルが格納されています。アルバムパネルとキーワードタグパネルは、このタブから削除できません。



「整理」タブ

A. パネルの高さを調整 B. パネルの展開または折りたたみ C. 選択したキーワードタグ D. タスクパネルの表示または非表示

❖ 次のいずれかの操作を行います。

- パネルを折りたたむまたは展開するには、「整理」タブのパネル名の横にある三角形をクリックします。
- プロパティパネルを表示または非表示にするには、ウィンドウ／プロパティを選択します。
- プロパティパネルをタスクエリアから分離したり、タスクエリア内に表示するには、パネルのタイトルバーをダブルクリックします。

「補正」、「作成」および「配信」タブのツールの使用

- 1 タスクエリアで、「補正」、「作成」または「配信」タブをクリックします。
- 2 タブに表示されるいずれかのツールのボタンをクリックします。

コンテキストメニューの使用

Elements Editor ワークスペースと Elements Organizer ワークスペースでは、どちらもコンテキストメニューを使用できます。コンテキストメニューを使用して、使用中のツール、選択範囲、パネルなどに関連するコマンドを表示できます。多くの場合、これらのメニューではウィンドウメニューにあるコマンドに簡単にアクセスすることができます。



コンテキストメニューは右クリックで開きます。このメニューは、スタンダード編集のプロジェクトエリアに表示されます。

- 1 画像またはパネルアイテムの上にポインターを置きます。
- 注意：**一部のパネルにはコンテキストメニューがありません。
- 2 右クリックして、メニューからコマンドを選択します。

ショートカットキーと修飾キーの使用

Elements Editor ワークスペースと Elements Organizer ワークスペースでは、どちらでもショートカットキーを使用できます。スタンダード編集で、ショートカットキーを使用すると、メニューを使用せずにコマンドをすばやく実行できます。修飾キーを使用すると、ツールの動作を変えることができます。ショートカットキーが使用可能な場合は、メニューのコマンド名の右側にショートカットキーが表示されます。

関連項目

162 ページの「ナビゲーション時に使用するキー」

操作の取り消し、やり直しまたはキャンセル

操作の多くは、取り消しまたはやり直しが可能です。この機能は、使用可能なメモリ容量によって制限される場合があります。

- 1 操作の取り消しまたはやり直しを行うには、編集／取り消し、または編集／やり直しを選択します。
- 2 操作をキャンセルするには、実行中の操作が中断されるまで Esc キーを押し続けます。

Photoshop Elements または Adobe Premiere Elements の終了

Photoshop Elements または Adobe Premiere Elements を終了するには、各ワークスペースを閉じます。一方を閉じても、もう一方が自動的に閉じられることはありません。

- 1 どちらかのワークスペースで、次のいずれかの操作を行います。
 - ファイル／終了を選択します。
 - ワークスペースの右上にある閉じるボタンをクリックします。
- 2 Elements Editor を閉じると、開いている他のファイルを保存するかどうかの確認が表示されます。

Elements Organizer と Adobe Premiere Elements の併用

Elements Organizer と Adobe Premiere Elements について

次の方法で、Elements Organizer と Adobe® Premiere® Elements® でファイルを共有することができます。

- Elements Organizer で写真、ビデオファイルおよびオーディオクリップを整理してから、Adobe Premiere Elements のメディアパネルにドラッグします。
- メディアファイルを右クリックして、「Premiere Elements で編集」を選択します。
- Elements Organizer でキャプション、切り替え、エフェクト、BGM、ナレーション、グラフィック、タイトル付きのスライドショーを作成します。作成したら、Adobe Premiere Elements に取り込んでさらに編集することができます。または、個別の写真やビデオファイルを Adobe Premiere Elements に取り込んで、スライドショーを作成することもできます。
- Elements Organizer の「補正」タブで、ビデオファイルを編集することができます。
- Elements Organizer で DVD テンプレートをカスタマイズしてから、Adobe Premiere Elements のプロジェクトで使用します (DVD テンプレートとは、Adobe Premiere Elements のアプリケーションフォルダーに格納されている PSD ファイルです)。
- 独自のビデオプロジェクト設定で Elements Organizer ファイルを作成し、Elements Organizer で画質を高め、Adobe Premiere Elements で使用します。Elements Organizer の「作成」タブで、インスタントムービーを作成することもできます。

ワークエリアの配置

Elements Organizer と Adobe Premiere Elements でファイルを共有するには、コンピューターのモニターに両方のアプリケーションを開いて使用できるようにしておきます。

- 1 Elements Organizer と Adobe Premiere Elements を起動します。
- 2 画面が最大化されている場合は、各アプリケーションのウィンドウの右上にある、元のサイズに戻すボタン  をクリックします。
- 3 2つのアプリケーションのウィンドウを、少しだけ重なるようにして、横に並べて配置します。

ただし、「配信」タブの次のオプションにアクセスしようとする時、Adobe Premiere Elements が起動します。

- DVD / Blu-ray ビデオに書き込み
- オンラインビデオ配信
- 携帯電話および携帯プレーヤー

サポートされるファイルの種類の違い

Elements Organizer と Adobe Premiere Elements でサポートされるファイル形式の多くは共通しているため、2つのアプリケーション間で簡単かつ効率的にファイルを交換することができます。例えば、Photoshop (PSD) ファイルを Elements Organizer で作成し、そのファイルを Adobe Premiere Elements で静止画としてプロジェクトに追加できます。

Photoshop Elements および Adobe Premiere Elements でサポートされているすべてのファイル形式は、Elements Organizer に書き出すことができます。この書き出しは、インストールされているアプリケーション (Photoshop Elements および Adobe Premiere Elements) に関係なくサポートされています。次の表は、サポートされているファイル形式のリストです。

画像	オーディオ	ビデオ
Jpe	Wma	avi
jpeg	wav	mpe
jpg	MP3	asf
pdf	M4a	aac
tif	Ac3	flv
crw	mpa	MPEG
nef	M2a	Mpg
raf	Aiff	Mp2
orf	Aif	wmv
mrw	MPEG	M4v
dcr	Mpe	Mov
mos	mov	M2p
raw		Vob
pef		M2t
srf		mpv
dng		Mod
x3f		3g2
cr2		3gp
erf		MP4
sr2		Mpeg4
kdc		M1v
mfw		F4v
mef		Tod
arw		h.264
bmp		Avc
rle		M2ts
dib		dv
gif		swf
wbm		flm
wbmp		3gpp
tga		M2v
vda		Mp1
icb		mts
vst		F4v

画像	オーディオ	ビデオ
pxr		Tod
pcx		
mef		
pse		
psd		
pdd		
flm		
png		

Photoshop Elements Editor、Adobe Premiere Elements、Elements Organizer では、次の種類のファイルは認識されません。

Elements Organizer	Photoshop Elements Editor	Adobe Premiere Elements
		MOD (.mod、JVC Everio)
LZW 圧縮した TIFF (.tif)	LZW 圧縮した TIFF (.tif)	
EPS (.eps)	Illustrator (.ai)	Illustrator (.ai)
AIFF (.aiff)		AIFF (.aiff)
Dolby オーディオ (.ac3)		Dolby オーディオ (.ac3)
Flash ビデオ (.flv)		Flash ビデオ (.flv)
MPEG (.mp3, .mp4)		MPEG (.mp3, .mp4)
Windows Media (.wmv, .wma)		Windows Media (.wmv, .wma)

注意：Elements Organizer では、ビデオ AVI ファイルのカタログへの取り込みや再生を正しく行うことができますが、オーディオ AVI ファイルのサムネイルアイコンは壊れて表示されます。また、Photoshop のファイルのスポットカラーチャンネルで作成されたカラーは、Elements Organizer にファイルを読み込んだときに表示されません。

 Photoshop Elements Editor では、ASF、AVI、MPEG および Windows Media ファイルの個別のビデオフレームを読み込むことができます（ファイル／読み込み／ビデオフレームを選択します）。

第3章：写真とビデオの読み込み

Elements Organizer を使用して、カメラ、スキャナー、CD、ハードディスク上のフォルダー、携帯電話など、任意のソースからメディアファイルをカタログに取り込みます。ファイル名と保存先がわかっているハードディスク上のメディアファイルを編集する場合は、Photoshop Elements Editor の「開く」または「配置」コマンドを使用してファイルを参照することもできます。

写真とビデオの取り込み

Elements Organizer への写真やビデオの取り込み

写真やビデオをカタログに追加するには、Elements Organizer を使用します。Elements Editor でファイル／読み込みまたはファイル／開くコマンドを選択した場合、ファイルを保存するときに「Elements Organizer に含める」オプションを選択すると、ファイルがカタログに追加されます。

コンピューター上のフォルダー構造をそのまま使用してファイルを整理したい場合は、Elements Organizer のフォルダー毎表示を使用して、ハードディスク上のフォルダー構造と同じようにファイルを表示できます。フォルダー毎表示から、フォルダー名を使用して画像に瞬時にキーワードタグを付けることもできます。

ファイル／写真とビデオの取り込みコマンド  を選択してハードディスクからカタログにメディアファイルを読み込むと、Elements Organizer でメディアファイルへのリンクが作成されます。元の画像が自動的にコピーまたは移動されることはありません。CD や DVD またはスキャナー、カメラ、カードリーダー、携帯電話などの周辺機器からメディアファイルを取り込む場合、Elements Organizer によってメディアファイルがハードディスク上のフォルダーにコピーされた後で、このコピーされたメディアファイルへのリンクが作成されます。

重要： オリジナルファイルをハードディスクから削除すると、カタログにサムネイルが残っていても、画像を編集できなくなります。

メディアファイルをカメラ、カードリーダー、携帯電話からダウンロードするときは、読み込みプロセス中にメディアファイルを整理することをお勧めします。これらのメディアファイルを場所フォルダーや家族フォルダーに分け、それに応じてメディアファイルに名前を付けることができます。

関連項目

33 ページの「[フォルダー毎のファイルの表示と管理](#)」

50 ページの「[写真とビデオへのタグ付け](#)」

98 ページの「[カタログ内でのファイルの移動](#)」

ファイルの環境設定

ファイルの環境設定で、ファイルの管理方法を指定できます。

- 1 Elements Organizer で、編集／環境設定／ファイルを選択します。
- 2 次のいずれかのオプションを選択し、「OK」をクリックします。

EXIF に日付がない場合はファイルの日付を使用 修正日を使用して EXIF (EXchangeable Image Format) データを含まない写真を保存および整理します。このオプションを選択しない場合、ファイルは日時が不明なファイルとして保存されません。

EXIF キャプションを取り込む デジタルカメラでメディアファイルに付けられていたキャプションを取り込みます。この情報を削除し、各メディアファイルにキャプションを入力するには、このオプションの選択を解除します（キャプションデータはファイル内の複数の場所に保存されている場合があります。このオプションの選択を解除したときにブロックされるのは、EXIF キャプションデータだけです）。

見つからないファイルを自動的に検索して再リンク 見つからず、再リンクできなかったファイルを検索します。再リンクできないファイルに関するメッセージを表示しないようにする場合は、このオプションを選択します。

ファイルとカタログのバックアップ作成時に自動的にメッセージを表示 取り込んだ写真や編集した写真などのアイテムが 500 以上あるカタログを開くときに、ファイルをバックアップするよう指示するメッセージを表示します。

CD / DVD へのマルチセッションの書き込みを有効にする ディスクに複数回の追加のファイルを書き込みできるようにして、ディスクスペースを最大限使用することができます。通常、CD または DVD には一度だけ書き込みすることができ、未使用領域はそのままになります。

メタデータの情報を使用して JPEG ファイルを回転 このオプションでは、低い解像度のサムネールを使用することにより、メディアブラウザの写真の回転速度を上げます。JPEG 画像を定期的に回転する場合は、このオプションを選択します。高解像度のサムネールを表示する場合は、このオプションの選択を解除します。

メタデータの情報を使用して TIFF ファイルを回転 このオプションでは、低い解像度のサムネールを使用することにより、メディアブラウザの写真の回転速度を上げます。TIFF 画像を定期的に回転する場合は、このオプションを選択します。高解像度のサムネールを表示する場合は、このオプションの選択を解除します。

ファイル保存先 プロジェクトやその他のファイルの初期設定の保存先フォルダーを指定します。この場所を変更するには、「参照」をクリックして新しい場所に移動します。

プレビューファイルのサイズ メディアファイルをオフラインで保存するときに Elements Organizer が使用するプレビューファイルのサイズを指定します。

 環境設定を変更した後で、メディアファイルの取り込みに問題が起きた場合には、環境設定ダイアログボックスの「初期設定値に戻す」ボタンをクリックして初期設定に戻してください。

関連項目

25 ページの「[プレビューファイルのサイズの設定](#)」

Elements Organizer で見つからないファイルの再リンク

メディアファイルに添付されているキーワードタグの取り込み

キーワードタグまたはメタデータの「キーワード」が添付されているメディアファイルを取り込むとき、メディアファイルとともにキーワードタグまたは「キーワード」も取り込むことができます。添付されているキーワードタグは、そのまま保持するか、名前を変更したり別のタグに付け替えたりできます。新しいキーワードタグを取り込むと、そのタグはキーワードタグパネルに表示されます。この新しいタグを使用して他のメディアファイルにタグを付けることができます。



取り込んだタグはキーワードタグパネルに表示されます。

- 1 カメラやカードリーダーがコンピューターに接続されているかまたは取り込むメディアファイルがコンピューターにコピーされているかを確認します。
- 2 Elements Organizer で、ファイル/ 写真とビデオの取り込みを選択し、写真やビデオの取り込み方法を選択します。

注意：取り込むメディアファイルにキーワードタグまたはメタデータの「キーワード」が含まれている場合、写真に添付されているキーワードタグを取り込みダイアログボックスが表示されます。

- 3 次のいずれかの操作を行います。

- 取り込むキーワードタグを選択します。選択したキーワードタグは、メディアファイルを取り込むときにキーワードタグパネルに追加されます。タグにアスタリスク (*) が付いている場合、既に同じ名前のキーワードタグがカタログ内にあることを示します。この場合、既存のキーワードタグがメディアファイルに添付されます。
 - 追加オプションを設定するには、「詳細設定」をクリックします。
- 4 「詳細設定」を選択した場合は、次のいずれかの操作を行い、「OK」をクリックします。
 - 「キーワードタグ」セクションの名前の左横にあるチェックボックスをクリックして、取り込むキーワードタグを選択します。キーワードタグを選択すると、キーワードタグの右側にあるオプションが使用可能になります。
 - 取り込むキーワードタグの名前を変更するには、キーワードタグ名の横にあるボックスをクリックして、取り込むキーワードタグを選択します。「新規キーワードタグとして取り込み」セクションの右側にあるラジオボタンをクリックし、テキストボックスに名前を入力します。Elements Organizer により新しい名前のキーワードタグがカタログに追加され、そのキーワードタグが取り込んだメディアファイルに適用されます。
 - 取り込んだキーワードタグをカタログ内の既存のキーワードタグにマッピングするには、取り込むキーワードタグを選択します。「既存のキーワードタグを使用」セクションの右側にあるボタンをクリックして、ポップアップメニューからキーワードタグを選択します。元のキーワードタグの名前の代わりに、取り込んだメディアファイルに選択したタグの名前が適用されます。
 - 「基本設定」をクリックすると、変更内容をクリアして、写真に添付されているキーワードタグを取り込みダイアログボックスに戻ることができます。

注意：取り込むメディアファイルに多数のキーワードタグが添付されている場合、ダイアログボックスが表示されます。すべてのキーワードタグを取り込むか、キーワードタグを1つも取り込まないかを選択することができます。キーワードタグを個別に取り込む場合は、ダイアログボックスを閉じ、編集/取り消し メディアの読み込みを選択して取り込みを取り消します。また、取り込んだメディアファイルをまとめて選択して、カタログから削除することで取り消すこともできます。次に、メディアファイルを数ファイルずつに分けて選択し、再度取り込みます。

関連項目

50 ページの「[キーワードタグ](#)」

カメラおよびカードリーダー

カメラおよびカードリーダー

デジタルカメラやカードリーダーからメディアファイルをダウンロード（コピー）するには、いくつかの方法があります。

- フォトダウンローダーダイアログボックスのオプションを使用して、デジタルカメラまたはカードリーダーから直接 Elements Organizer にメディアファイルをコピーして取り込みます。この方法は、迅速かつ簡単で、取り込み時にメディアファイルを整理することができるのでお勧めします。
- デジタルカメラに付属のソフトウェアを使用して写真をコンピューターにダウンロードしたら、Elements Organizer のファイル /  写真とビデオの取り込み /  ファイルやフォルダーからコマンドを使用して Elements Organizer に取り込みます。
- カメラやカードリーダーがマイコンピュータでドライブとして表示される場合は、ファイルをマイコンピュータから Elements Organizer に直接ドラッグできます。または、ハードディスク上の任意のフォルダーにファイルをドラッグし、Elements Organizer のファイル /  写真とビデオの取り込み /  ファイルやフォルダーからコマンドを使用して Elements Organizer に取り込みます。

場合によっては、メディアファイルをデジタルカメラからコンピューターにダウンロードする前に、デジタルカメラ付属のソフトウェアドライバーをインストールする必要があります。また、必要に応じて、Elements Organizer でデジタルカメラとカードリーダーの環境設定を行う必要もあります。

関連項目

12 ページの「[Elements Organizer への写真やビデオの取り込み](#)」

21 ページの「[ファイルやフォルダーからのメディアファイルの取り込み](#)」

18 ページの「[カメラおよびカードリーダーの環境設定](#)」

デジタルカメラまたはカードリーダーからのメディアファイルの取り込み

 この手順に関するビデオについては、www.adobe.com/go/lrvid2311_pse_jp を参照してください。

- 1 カメラまたはカードリーダーをコンピューターに接続します（必要に応じて、デバイスに付属の説明書を参照してください）。

Windows 自動再生ダイアログボックスが開き、写真を取り込むオプションのリストが表示されます。

- 2 Windows 自動再生ダイアログボックスで、Elements Organizer のオプションを選択します。

Elements Organizer が実行されている場合、フォトダウンローダーダイアログボックスが開きます。ファイル /  写真とビデオの取り込み /  カメラまたはカードリーダーからを選択して、フォトダウンローダーを開くこともできます。

- 3 フォトダウンローダーダイアログボックスの「ソース」で、写真の取り込み元メニューから項目を選択して、写真をコピーまたは取り込む元の場所を指定します。

- 4 「取り込み設定」エリアで、次のオプションを設定します。

保存先 メディアファイルをダウンロードするフォルダーを指定します。初期設定の場所を変更するには、「参照」をクリックして新しい場所を指定します。

サブフォルダーを作成 ポップアップメニューから選択した命名方法でサブフォルダーを作成します。「カスタム名」を選択した場合は、ボックスにサブフォルダー名を入力します。

 キーボードショートカットを使用してサブフォルダーを作成 (Alt + C キー) したりファイルの名前を変更 (Alt + R キー) する場合は、スペースバーを押してメニューを展開します。矢印キーを使用して、オプションを選択します。

ファイル名を変更 ポップアップメニューから選択した命名方法を使用して、ファイル名を変更します。「カスタム名」を選択した場合は、基本のファイル名と、メディアファイルのファイル名の連番に割り振る最初の番号を入力します。

注意: 入力した名前が存在している場合は、コピーした画像のファイル名の末尾に「-1」または該当するその他の番号が末尾に付けられます。

現在のファイル名を XMP で保持 このオプションを選択すると、メディアファイルのメタデータに保存するファイル名として、現在のファイル名が使用されます。

削除オプション コピー完了後にカメラまたはカード内のメディアファイルをそのまま保持するか、確認してから削除するか、コピーしたら直ちに削除するかを選択します。ファイルを自動的に削除すると、カメラでメディアファイルを削除する手間を省くことができます。Elements Organizer に読み込まれていないメディアファイルはデバイスから削除されません。

自動ダウンロード 次回、Windows 自動再生ダイアログボックスで Elements Organizer を選択したときに、メディアファイルが即座に取り込まれます。このオプションでは、カメラまたはカードリーダー環境設定で指定した自動ダウンロードの値が使用されます。

5 (オプション) ダウンロードオプションの詳細については、「詳細設定」ボタンをクリックします。

6 「取り込み」ボタンをクリックします。

メディアファイルがハードディスクにコピーされます。コピーしたメディアファイルにキーワードメタデータが含まれている場合は、メディアファイルに添付されているキーワードタグを取り込みダイアログボックスが表示され、タグをコピーするかどうかを指定できます。

7 ファイルを正常にコピーしましたダイアログボックスで、「OK」をクリックします。新しいファイルのみをメディアブラウザに表示するオプションを選択できます。

 この設定はいつでも変更できます。Elements Organizer で、編集/環境設定/カメラまたはカードリーダーを選択します。

関連項目

16 ページの「[写真ダウンロードオプションの詳細設定の指定](#)」

写真ダウンロードオプションの詳細設定の指定

Adobe フォトダウンローダーの詳細設定ダイアログボックスには、標準ダイアログボックスのすべてのオプションと、その他のオプションがあります。例えば、デバイスに保存されたすべてのメディアファイルを表示したり、取り込む前のビデオをプレビューしたりできます。著作権情報のメタデータを追加したり、取り込んだ写真のアルバムを指定したり、画像の取り込み時に赤目を自動修正したりすることもできます。このダイアログボックスで指定した設定は、初期化しない限り、保持されます。

1 標準のフォトダウンローダーのダイアログボックスで、「詳細設定」ボタンをクリックします。

デバイスに格納されたファイルのサムネイル画像が表示されます。

2 種類の異なるファイルの表示/非表示を切り替えるには、画像ボタン 、ビデオボタン 、またはオーディオボタン  をクリックします。デバイス内に重複ファイルが存在する場合は、複製ボタン  も使用可能になります。

注意: 重複ファイルとは、Elements Organizer 内に既に存在するファイル、またはハードディスクに既にコピーされたファイルです。重複ファイルをダウンロードすると、それらのファイルはハードドライブにコピーされますが、Elements Organizer には追加されません。

3 次のいずれかの操作を行って、ダウンロードするメディアファイル（写真やビデオ）を選択します。

- メディアファイルを個別に選択するには、各サムネールの下にあるボックスをクリックします。
- 複数のメディアファイルを選択するには、対象のサムネールの周囲の長方形をドラッグし、右クリックして「選択した写真をチェック」を選択するか、または選択したいいずれかのメディアファイルの下にあるボックスをクリックして範囲内のすべてをチェックします。
- すべてのメディアファイルを選択するには、「すべてをチェック」をクリックします。すべての画像の選択を解除するには、「すべてのチェックをはずす」をクリックします。

4 1つまたは複数のメディアファイルを回転するには、メディアファイル（チェックボックスではない）をクリックして選択します。左に回転ボタン  または右に回転ボタン  をクリックします。

5 「保存オプション」セクションで、次のいずれかを選択します。

- メディアファイルのコピー先を指定します。「参照」をクリックして、目的の場所に移動します。
- サブフォルダーを作成メニューから、サブフォルダーの命名オプションを選択します。「カスタムグループ（詳細）」オプションを指定すると、グループ名ボックスで選択したグループ名の形式で、サブフォルダー名が作成されます。グループ名をキーワードタグとして使用すると、カテゴリ内で写真を検索および区別するのに役立ちます。

注意：標準設定ダイアログボックスに切り替えると、カスタムグループ設定は失われます。

- 取り込み時にメディアファイルの名前を変更するには、ファイル名を変更メニューから命名方法を選択します。「カスタム名」を選択した場合、基本のファイル名と、メディアファイルのファイル名の連番に割り振る最初の番号を入力します。

注意：入力した名前が存在している場合は、コピーした画像のファイル名の末尾に「-1」または該当するその他の番号が末尾に付けられます。

6 「詳細オプション」セクションで、次のいずれかを選択します。

自動赤目修正 選択したすべての写真に、「自動赤目修正」コマンドが適用されます。

注意：多数の画像ファイルから自動的に赤目を除去すると、写真の読み込みにかかる時間が増加します。

自動的に写真をスタック 選択した写真が、見た目の類似性に基づいて類推される写真スタックに配置されます。

グループのカスタム名をキーワードタグとして作成 指定したグループのカスタム名が、選択した写真にキーワードタグとして適用されます。このオプションは、カスタムグループにカスタム名を指定した場合のみ使用します。ダウンロードする際にキーワードタグを割り当てておくと、Elements Organizer で簡単に写真を検索することができます。

アルバムへ読み込み 写真を取り込む先のアルバムを指定または作成できます。「設定」をクリックしてアルバムを選択または作成して、「OK」をクリックします。

7 「詳細オプション」セクションの下のメニューから、写真をコピーした後に Elements Organizer で行う処理を指定するオプションを選択します。元のファイルのみを残すか、正常に取り込まれたことを確認して元のファイルを削除するか、または元のファイルを即座に削除するかを選択します。

8 メタデータを追加するには、使用するテンプレートを選択し、次のフィールドに値を入力します。

作成者 ファイルの作成者を指定します。このフィールドに入力された情報は、ファイルに含まれる作成者メタデータに追加されます。

著作権情報 日付、および写真を保護するための情報を指定します。このフィールドに入力された情報は、ファイルに含まれる著作権情報のメタデータ内に既に存在するデータをすべて上書きします。

9 (オプション) デバイスの接続後にメディアファイルを Elements Organizer に自動的にダウンロードするには、「自動ダウンロード」を選択します。自動ダウンロードオプションは、カメラまたはカードリーダーの環境設定で設定されます。

10 「取り込み」ボタンをクリックします。

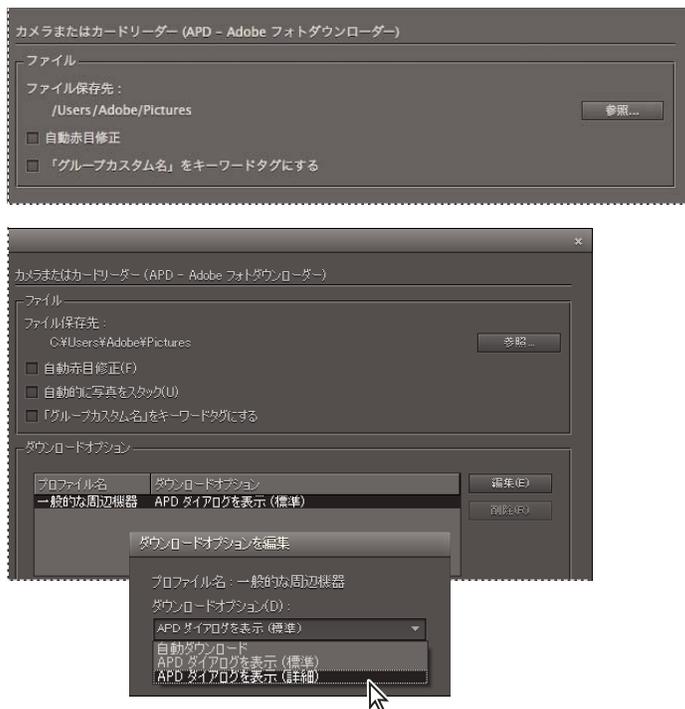
関連項目

72 ページの「[写真のダウンロード中のアルバムの指定](#)」

18 ページの「[カメラおよびカードリーダーの環境設定](#)」

カメラおよびカードリーダーの環境設定

Elements Organizer ではデバイスの環境設定を指定できます。デバイスを接続したときに表示される Windows 自動再生ダイアログボックスの Elements Organizer オプションを選択すると、環境設定が適用されます。環境設定は、ユーザーが変更するまで変更されません。別のデジタルカメラやカードリーダーを使用する場合は、使用する周辺機器に適した環境設定を行っていることを確認してください。



デジタルカメラおよびカードリーダーから写真を取り込むための環境設定

- 1 Elements Organizer で、編集／環境設定／カメラまたはカードリーダーを選択します。
- 2 ファイル固有の取り込みオプションを設定します。

ファイル保存先 ファイルをハードディスクにコピーするかどうかを指定します。別の保存先を指定するには、「参照」ボタンをクリックします。

自動赤目修正 ファイルをダウンロードしながら赤目修正を行います。

自動的に写真をスタック 類似性と日付に応じて、写真スタックを提示させます。

「グループカスタム名」をキーワードタグにする 指定したグループのカスタム名が、選択した写真にキーワードタグとして適用されます。このオプションは、カスタムグループにカスタム名を指定した場合のみ使用します。ダウンロードする際にキーワードタグを割り当てておくと、Elements Organizer で簡単に写真を検索することができます。

- 3 特定の周辺機器のオプションを設定するには、デバイスプロファイルを選択し、「編集」をクリックします。表示されるメニューからダウンロードオプションを選択し、「OK」をクリックします。このリストからデバイスを削除するには、そのデバイスを選択し、「削除」をクリックします。

4 自動ダウンロードの初期設定値を指定するには、次のいずれかのオプションを設定します。

ダウンロードを開始 デバイスが接続された後、ダウンロードの開始時期を指定します。

サブフォルダーを作成 異なる日付に撮影されたメディアファイルを含むフォルダーを分離するかどうか、またその分離および名前付けの方法を指定します。

削除オプション メディアファイルをハードディスクにコピーした後、カメラから元のメディアファイルを削除するかどうか、またどのように削除するかを指定します。

新しいファイルのみコピー（読み込み済みのファイルを無視） 既にハードディスクにあるファイルは無視します。

 設定を変更する場合やメディアファイルの取り込みに問題がある場合には、「初期設定値に戻す」をクリックしてオリジナルの環境設定を復元することができます。

スキャナー

スキャン

Elements Organizer では、スキャナーから写真、ネガ、スライドに映っている画像を取り込むことができます。次のいずれかの方法で、スキャナーから画像を取り込みます。

- スキャナー付属のスキャナードライバープラグインを使用します。このソフトウェアは、Elements Organizer と連動するか、TWAIN® インターフェイスを使用して画像をスキャンし、直接 Elements Organizer で開きます。
- スキャナー付属のスタンドアロンのスキャンソフトウェアを使用して画像をスキャンし、保存します。その後、ファイル /  写真とビデオの取り込み /  ファイルやフォルダーからコマンドを使用して、Elements Organizer に画像を取り込むことができます。

 Windows® XP および Windows Vista® で作業をしている場合、スキャナーが接続されたことをコンピューターが検出するとすぐに Elements Organizer が起動するように設定できます。Windows のヘルプを参照してください。

写真をスキャンして Elements Organizer に取り込む前に、スキャナーに付属している必要なソフトウェアがすべてインストールされていることを確認してください。スキャナーの説明書をよく読んで、コンピューターに正しく接続してください。Windows の場合、「取り込み」ボタンをクリックした後に環境設定ダイアログボックスが画面に表示された場合は、スキャナーの環境設定を行ってください。

スキャナーからの写真の取り込み

1 スキャナーが接続され、電源が入っていることを確認します。

2 Elements Organizer で、ポップアップメニューからファイル /  写真とビデオの取り込み /  スキャナーからを選択します。

注意：ベンダー特有のダイアログボックスが表示されます。Elements Editor ワークスペースのスタンダード編集集中に、スキャナーから写真を取り込むこともできます。

3 スキャナーから写真を取り込むダイアログボックスが表示されたら、スキャナーポップアップメニューからスキャナーの名前を選択します。

注意：スキャナーポップアップメニューに「有効な周辺機器なし」というメッセージが表示された場合は、スキャナーの電源が入っていること、コンピューターに正しく接続されていることを確認してください。

4 「参照」ボタンをクリックして、写真の保存先を選択します。

- 5 保存形式ポップアップメニューからファイル形式を選択します。通常は、初期設定の形式である JPEG を選択します。JPEG を選択した場合は、画質スライダーを適切な設定にドラッグします。画質を高くするほど、ファイルサイズも大きくなります。



画質スライダーをドラッグして、ファイルサイズと画質を調整

- 6 「OK」をクリックします。TWAIN ドライバーが付属しているスキャナーを使用している場合は、Elements Organizer によって TWAIN ドライバーが起動されます。ドライバーソフトウェアの説明書に従って、写真をスキャンしてください。通常は、スキャンする領域を選択したり、カラー補正したりする機能が付属しています。

注意：Windows XP 上で WIA (Windows Imaging Architecture) 対応のスキャナーを使用すると、Elements Organizer は Windows XP に標準装備されているスキャン用の画面を起動します。Windows XP のマニュアルを参照してください。TWAIN をサポートしているスキャナーでは、各メーカー独自のユーザーインターフェイスが起動します。

写真をスキャンすると、写真の取り込みダイアログボックスにスキャンした写真のプレビューが表示されます。Elements Organizer は取り込んだ日付を写真に割り当てます。

関連項目

112 ページの「[ファイルの日時の変更](#)」

スキャナーの環境設定

- 1 Elements Organizer で、編集／環境設定／スキャナーを選択します。
- 2 スキャナーポップアップメニューからスキャナーの名前を選択します。

注意：別のスキャナーを接続するたびに、リストからスキャナーを選択する必要があります。このポップアップメニューは、前回接続したスキャナーの名前が選択された状態で表示されます。

- 3 保存形式ポップアップメニューからファイル形式を選択します。通常は、初期設定の形式である JPEG を選択します。JPEG を選択した場合は、画質スライダーを適切な設定にドラッグします。画質を高くするほど、ファイルサイズも大きくなります。
- 4 スキャンした写真を保存する場所を選択し、「OK」をクリックします。

TWAIN ドライバーを使用した写真のスキャンと Elements Editor への取り込み

TWAIN は、特定のスキャナー、デジタルカメラ、および画像入力ボードなどによる画像の取り込みに使用されるソフトウェアドライバーです。TWAIN デバイスを Elements Organizer で使用する場合は、デバイスのメーカーがソースマネージャーおよび TWAIN データソースを提供する必要があります。

スキャナーを使用して画像を Elements Organizer に取り込む前に、TWAIN デバイスとそのソフトウェアをインストールし、コンピューターを再起動する必要があります（インストールについて詳しくは、デバイスのメーカーから提供されているマニュアルを参照してください）。

- ❖ Elements Organizer で、ファイル/  写真とビデオの取り込みを選択し、使用するデバイスをサブメニューから選択します。

画像をスキャンすると、名称未設定の Elements Organizer ウィンドウにスキャン画像が表示されます。

注意：Canon MP960 などの一部のスキャナーで初めてスキャンボタンを押したときに、プログレスバーが Photoshop Elements の背面に表示されることがあります。Photoshop Elements ウィンドウのサイズを小さくすると、スキャンプログレスバーが前面に表示されます。

ローカルファイル、CD、DVD、およびビデオ

チェックフォルダーの使用

Elements Organizer は、任意のチェックフォルダーに追加されたメディアファイルを自動的に検出します。初期設定では、マイピクチャフォルダーがチェックされますが、他のフォルダーも Elements Organizer のチェック対象リストに追加できます。

チェックフォルダーに追加されたメディアファイルを自動的にカタログに追加するように選択できます。また、新しいメディアファイルをカタログに追加する前に確認メッセージを表示するように選択することもできます。メッセージが表示されたときに、「はい」をクリックするとカタログにメディアファイルが追加されます。「いいえ」をクリックするとメディアファイルは追加されません。メディアファイルは、削除されない限り、Elements Organizer に取り込むかどうかにかかわらず保存されたフォルダーにそのまま保持されます。

チェックフォルダーリストへのフォルダーの追加

- 1 ファイル/チェックフォルダーを選択します。
- 2 「追加」をクリックし、フォルダーを参照します。
- 3 フォルダーを選択して「OK」をクリックします。チェック対象のフォルダーのリストにフォルダー名が表示されます。

 Elements Organizer がフォルダー毎表示のときにチェックフォルダーをすばやく追加するには、フォルダーを右クリックし、「チェックフォルダーとして追加」を選択します。

チェックフォルダーの設定の変更

- 1 ファイル/チェックフォルダーを選択します。
- 2 次のいずれかのオプションを選択します。
 - ファイルをカタログに追加するかどうかを選択する場合は、「通知する」を選択します。
 - メディアファイルが検出されたら自動的にカタログに追加するには、「Elements Organizer にファイルを自動的に追加」を選択します。

ファイルやフォルダーからのメディアファイルの取り込み

 この手順に関するビデオについては、www.adobe.com/go/lrvid2310_pse_jp を参照してください。

コンピューターのハードディスクまたは CD、DVD ドライブから Elements Organizer にメディアファイルを移動することができます。

注意：Windows エクスプローラーからメディアブラウザーに写真をドラッグすると、メディアファイルの取り込みが完了するまで、Windows エクスプローラーが応答しなくなる場合があります。Alt キーを押しながら Tab キーを押すと、取り込み中でも、開いている Photoshop Elements の任意のダイアログボックスに切り替えることができます。また、Windows タスクバーの Elements Organizer アイコンをクリックして切り替えることもできます。

❖ 次のいずれかの操作を行います。

- Windows エクスプローラーから Elements Organizer ワークスペースにメディアファイルをドラッグします。
- ファイル /  写真とビデオの取り込み /  ファイルやフォルダーからを選択します。

注意：この方法で、コンピューター上の関連する場所に移動してメディアファイルを取り込むことができます。

- ファイル /  写真とビデオの取り込み /  検索結果からを選択します。

注意：この方法で、メディアファイルを検索して Elements Organizer ワークスペースに取り込むことができます。

- メディアブラウザーのフォルダー毎表示で、「管理されていないファイルをカタログに追加」オプションを選択します。

 Ctrl + Alt + 3 キーを押すと、フォルダー毎表示に切り替わります。

関連項目

98 ページの「[カタログ内でのファイルの移動](#)」

13 ページの「[メディアファイルに添付されているキーワードタグの取り込み](#)」

Elements Organizer で見つからないファイルの再リンク

63 ページの「[フォルダー名に基づいたキーワードタグの作成と適用](#)」

13 ページの「[メディアファイルに添付されているキーワードタグの取り込み](#)」

コンピューター上のファイルの参照

- 1 Elements Organizer で、メニューからファイル /  写真とビデオの取り込み /  ファイルやフォルダーからを選択します。
- 2 ダイアログボックスで、Elements Organizer に取り込むファイルが格納されているフォルダーに移動します。ファイルの場所メニューや、画面の上部と左側にあるナビゲーションコントロールを使用します。
- 3 ファイルの上にポインターを置いて写真に関する情報（大きさ、種類、サイズ）を表示するか、ファイルを選択してプレビューを表示します。
- 4 次のいずれかの方法で写真を選択します。
 - 1 つのメディアファイルを取り込むには、直接取り込むファイルを選択します。
 - 複数のメディアファイルを取り込むには、Ctrl キーを押しながら取り込むメディアファイルを 1 つずつクリックして選択するか、取り込むメディアファイルが連続していれば、最初のメディアファイルをクリックし、Shift キーを押しながら最後のメディアファイルをクリックしてまとめて選択します。
 - フォルダー内のすべてのメディアファイルを取り込むには、ファイルやフォルダーから写真やビデオを取り込むダイアログボックスで、現在のフォルダーから 1 つ上のフォルダーに移動して目的のフォルダーを選択します。フォルダー内のサブフォルダーから写真を取り込むには、「サブフォルダーから写真を取り込む」を選択します。

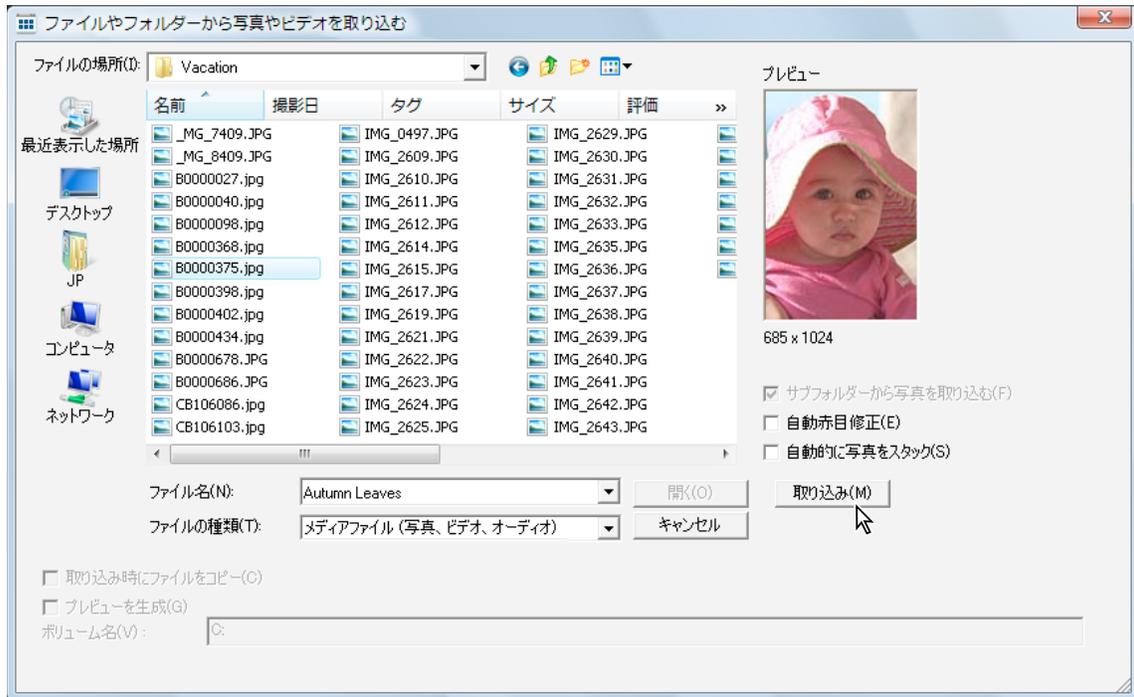
 PDF ファイルまたは Photoshop Elements で作成された PDF 形式のプロジェクトを取り込むことができます。PDF ファイル内のテキストは画像として取り込まれます（テキストを編集できません）。

- 5 ファイル固有の取り込みオプションを設定します。

自動赤目修正 ファイルをダウンロードしながら赤目修正を行います。

自動的に写真をスタック 類似性と日付に応じて、写真スタックを提示させます。

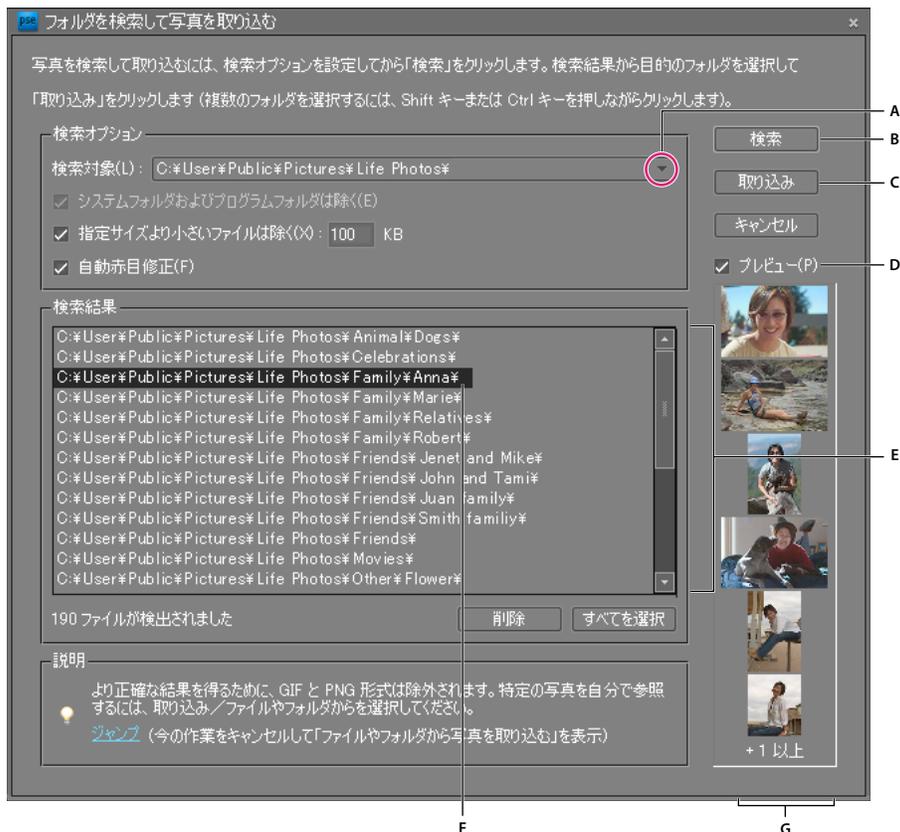
6 「取り込み」ボタンをクリックします。メディアファイルが Elements Organizer に表示されます。



ファイルの場所メニュー、または「取り込み」のクリックによる写真の取り込み

コンピューター上のファイルの検索

1 ファイル／ 写真とビデオの取り込み／ 検索結果からを選択します。



コンピューターでの写真の検索

A. 検索場所 B. 「検索」ボタン C. 検索結果ウィンドウから選択したフォルダを取り込む D. プレビューに写真のサムネールを表示できる E. 検索結果ウィンドウ F. 読み込み対象として選択されたフォルダ G. 選択したフォルダに含まれる写真のサムネール

2 検索対象ポップアップメニューから検索オプションを選択します。

3 検索対象を限定するオプションを選択します。

システムフォルダおよびプログラムフォルダは除く メディアファイルが保存されている可能性の低いシステムフォルダや、プログラムフォルダを検索対象から除外します。

指定サイズより小さいファイルは除く 指定したサイズより小さいファイルサイズの写真を検索対象から除外します。「KB」テキストボックスに最小ファイルサイズをキロバイト数で入力します。

注意：デフォルトではリムーバブルメディア（CD や DVD など）とネットワークドライブは検索されません。

4 「検索」をクリックします。検索には時間がかかる場合があります。途中で検索を中止する場合は、「検索中止」をクリックします。

写真およびビデオファイルが格納されているすべてのフォルダが検索されます。

5 検索結果に表示されるリストから、取り込む写真を含んでいるフォルダをクリックして選択します。複数のフォルダを選択するには、Ctrl キーを押しながら、選択するフォルダ名を順番にクリックします。リスト内のフォルダ名をクリックすると、そのフォルダ内にあるアイテムのプレビューが表示されます。

6 (オプション) Elements Organizer に取り込んだときに赤目が発生している写真を自動的に修正するには、「自動赤目修正」を選択します。

7 「取り込み」ボタンをクリックします。メディアブラウザーに写真が表示されます。

注意：取り込む写真にキーワードタグが付いている場合は、写真に添付されているキーワードタグを取り込みダイアログボックスが表示されます。

特定のフォルダーからのファイルの追加

1 Elements Organizer で、 画面表示メニューから「フォルダー毎」を選択します。

フォルダー階層パネルがメディアブラウザーの左側に開きます。

2 フォルダー階層パネルで、取り込むファイルを含むフォルダーを参照します。

3 フォルダーを右クリックし、「管理されていないファイルをカタログに追加」を選択します。

写真の取り込みダイアログボックスに、ファイルのインポート状況が表示されます。

4 「OK」をクリックします。

ファイルがインポートされると、フォルダーのアイコンが管理対象外フォルダーアイコン  から管理対象フォルダーアイコン  に変更します。

プレビューファイル

写真を取り込む場合、マスター写真のフル解像度のコピーを取り込むか（初期設定）、解像度を低下させたコピー（プレビューファイル）を取り込むかを選択することができます。プレビューファイルは、オリジナルの高解像度ファイルの小容量コピーとしてカタログに表示されます。オリジナルの写真を必要とする操作を行うときは、CD または DVD を挿入するように指示するメッセージが表示されます。その後、写真のプレビューファイルを使用するか、フル解像度のコピーを取り込むかを選択できます。

プレビューファイルを使用することを選択した場合は、マスターファイルを含む CD や DVD にオフラインボリューム名を割り当てることをお勧めします。Elements Organizer がマスターディスクを必要とするときに正しい CD または DVD を挿入できるように、オフラインボリューム名が表示されます。適切なディスクを挿入できるように、CD や DVD にオフラインボリューム名を記入しておいてください。

プレビューファイルのサイズの設定

1 Elements Organizer で、編集／環境設定／ファイルを選択します。

2 「オフラインボリューム」セクションで、プレビューファイルの画像サイズを選択します。初期設定では、640 x 480 の大きさに設定されています。ハードディスクの空き容量をできるだけ確保したいときは、画像サイズにこれより小さい値を指定し、より高画質で表示させるには大きい値を指定します。

CD または DVD からの写真の取り込み

写真を CD または DVD からハードディスクや Elements Organizer に取り込むことができます。編集用にフル解像度のコピーを作成するか、ディスク容量を節約するために低解像度のオフラインコピー（プレビューファイル）を作成するかを選択できます。

1 Elements Organizer で、ファイル／ 写真とビデオの取り込み／ ファイルやフォルダーからを選択します。

2 CD または DVD ドライブに移動し、コピーする写真を選択します。

3 （オプション）次のいずれかを選択します。

取り込み時にファイルをコピー ファイルのフル解像度コピーをハードディスク上に作成します。

プレビューを生成 ファイルの低解像度コピーをハードディスク上に作成して、ディスク容量を節約します。

- (オプション) マスター写真をオフラインで保持している場合は、その写真が収録されている CD または DVD のボリューム名を入力し、ディスクにその名前を記入しておいてください。こうしておくことで、必要なときに簡単にマスターを探してダウンロードできます。
- 写真を Elements Organizer に取り込んだときに自動的に赤目を修正するには、「自動赤目修正」オプションを選択します。

注意：このオプションは、オフラインファイルでは選択できません。

- (オプション) Elements Organizer で類似した写真をグループとしてまとめる場合は、「自動的に写真をスタック」を選択することで、写真グループをスタックに配置するかどうかを指定できます。
- 「取り込み」をクリックして、写真を Elements Organizer に取り込みます。

写真にメタデータの「キーワード」が含まれている場合は、写真に添付されているキーワードタグを取り込みダイアログボックスが表示されます。

注意：プレビューファイルのサムネイルには CD アイコン  が付いています。取り込まれたファイルの保存先は、マスターファイルが収録されている CD を挿入したドライブになります。



Elements Organizer に、履歴情報としてオフライン写真に割り当てられているオフラインボリューム名が表示されます。

関連項目

63 ページの「[フォルダー名に基づいたキーワードタグの作成と適用](#)」

13 ページの「[メディアファイルに添付されているキーワードタグの取り込み](#)」

ビデオからの写真の取り込み

デジタルビデオが Elements Organizer で開くことのできるファイル形式 (ASF、AVI、MPEG、MPG、M1V、WMV) で保存されている場合は、デジタルビデオからフレームを取り込むことができます。取り込まれた写真は、ビデオファイル名と半角スペースと数字を組み合わせた名前 (videoclip 01、videoclip 02 など) で保存されます。

注意：幅広いビデオ形式から写真を作成できるようにするには、QuickTime や Windows Media Player などの標準ビデオソフトウェアの最新バージョンをインストールします。



ビデオクリップからの静止画の取り込み

- 1 Elements Editor で、ファイル／読み込み／ビデオフレームを選択します。
- 2 ビデオフレームダイアログボックスで、「参照」ボタンをクリックし、静止画像フレームの取り込み元とするビデオを選択して、「開く」ボタンをクリックします。
- 3 再生ボタン ▶ をクリックして、ビデオの再生を開始します。
- 4 ビデオフレームを静止画像として取り込むには、そのフレームが画面に表示されたときに、「フレームを取り込む」ボタンをクリックするか、スペースバーを押します。ビデオを進めたり巻き戻したりして、フレームの取り込みを続けることができます。

注意：ビデオの形式によっては、巻き戻しや早送りをサポートしていない場合があります。その場合は、巻き戻しボタン ◀◀ や早送りボタン ▶▶ を選択できなくなります。

- 5 必要なフレームをすべて取り込んだら、「完了」ボタンをクリックします。
- 6 ファイル／保存を選択し、コンピューターの任意のフォルダーに静止画像ファイルを保存します。

カメラ内蔵携帯電話

カメラ内蔵携帯電話

カメラが内蔵されている携帯電話を使用している場合、機種によってはメディアファイルをカタログに取り込むことができます。携帯電話でメディアファイルを保存するときは、カタログに取り込むことができるファイル形式で保存する必要があります。携帯電話で使用されているファイル形式を正確に確認するには、携帯電話付属の説明書を参照してください。

携帯電話からカタログに写真を取り込むには、次のいずれかの方法を使用します。

ダイレクト転送 NOKIA® PC Suite 6.5 以降と互換性のある携帯電話や、リムーバブルフラッシュメモリやメモリーカードにメディアファイルを保存する携帯電話を使用している場合は、Adobe フォトダウンローダーを使用して携帯電話から Elements Organizer にメディアファイルを直接取り込むことができます。携帯電話での写真の保存方法については、携帯電話付属の説明書を参照してください。

ケーブル転送またはワイヤレス転送 ケーブル転送またはワイヤレス転送を使用して画像をコンピューターのハードディスクに転送します。詳しくは、携帯電話メーカーに問い合わせるか、携帯電話に付属の説明書を参照してください。コンピューターに写真を転送したら、Elements Organizer で、ファイル／ 写真とビデオの取り込みを選択して、カタログにメディアファイルを取り込みます。一部のカメラ付き携帯電話では、ケーブルまたはワイヤレスで接続すると Adobe フォトダウンローダーが自動的に表示されるため、ファイル／ 写真とビデオの取り込みを選択する必要はありません。

注意：上記に説明されている方法は、携帯電話の機種によっては使用できない場合もあります。使用できるオプションについては、携帯電話メーカーに問い合わせるか、携帯電話に付属の説明書を参照してください。また、最新情報については、Adobe の Web サイトを参照してください。

第4章: Elements Organizer での写真およびビデオの表示と補正

Elements Organizer を使用して、メディアファイルを様々な方法で表示して並べ替えたり、一般的な写真の問題を補正することができます。メディアブラウザーでは、作成日、キーワードタグ、キャプション、ファイルに関するその他の情報を表示するサムネイルアイコンによって、写真、ビデオファイルおよびオーディオファイルの記録を管理することができます。例えば、表示を切り替えることで、ビデオファイルのみを表示したり、写真を並べて表示したり、地域別に表示したり、地図上に表示することができます。

Elements Organizer の補正パネルのツールを使用すると、写真の一般的な問題をすばやく補正することができます。例えば、ボタンをクリックするだけで、グリーンの色合いを除去したり、コントラストを強調したり、被写体の赤目を修正することができます。

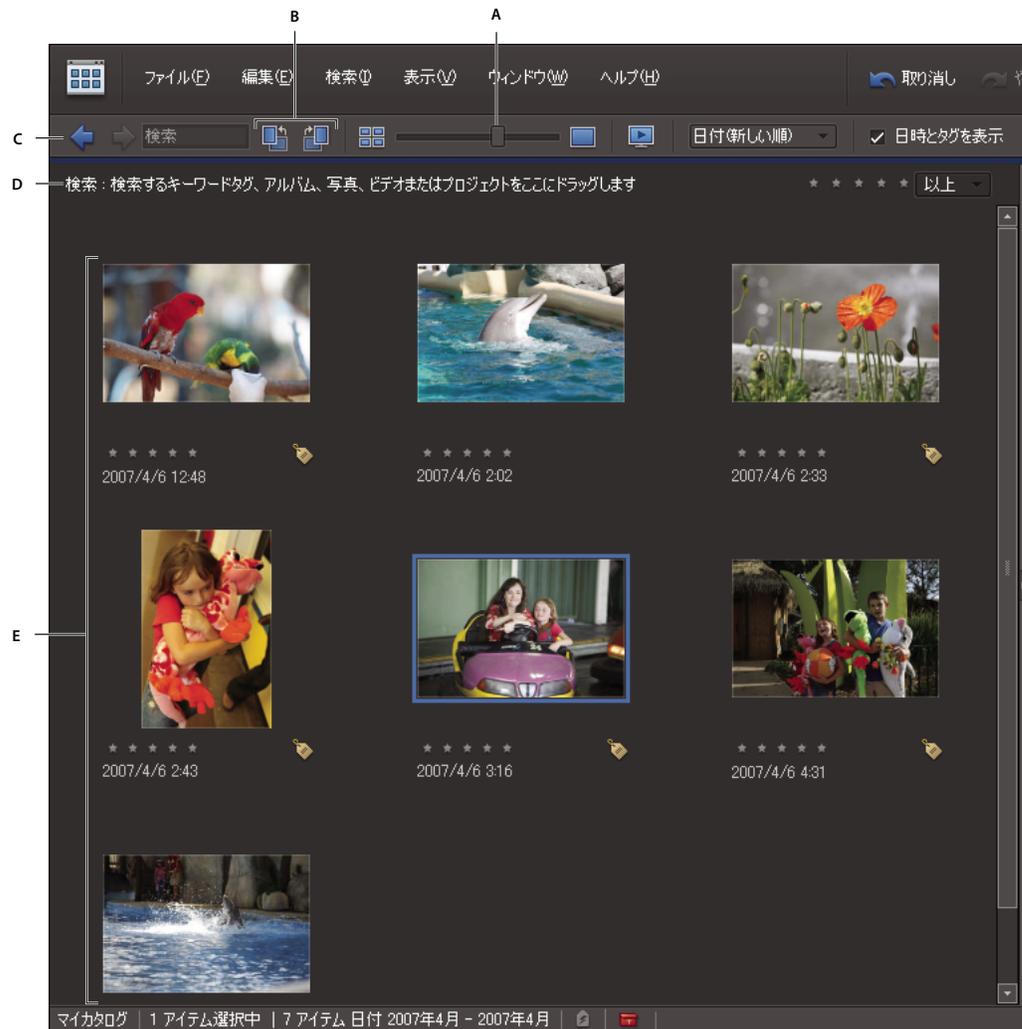
Elements Organizer での写真およびビデオの表示

メディアブラウザー



概要に関するビデオについては、www.adobe.com/go/lrvid2313_pse_jp を参照してください。

メディアブラウザーでは、Elements Organizer の中央にメディアファイルのサムネイルを表示します（日付表示からメディアブラウザーに戻るには、 画面表示/メディアブラウザーを選択します）。メディアブラウザーを使用すると、任意のカタログ内の写真、ビデオファイル、オーディオファイルのサムネイルを表示して見つけることができます。メディアブラウザーでアイテムを選択して、タグを適用したり、プロジェクトに追加したり、編集することができます。



メディアブラウザーには、いつでも利用できるように取り込んだ写真が表示されています。
A. サムネールサイズの調整スライダー B. 左に回転ボタンと右に回転ボタン C. 前の表示に戻る D. 検索バー E. メインウィンドウ

関連項目

- 50 ページの「[キーワードタグ](#)」
- 79 ページの「[タイムグラフ](#)」
- 80 ページの「[検索バーを使用した検索](#)」
- 84 ページの「[検索ボックスを使用したメディアファイルの検索](#)」
- 38 ページの「[メディアファイルをフルスクリーン表示または並べて比較する](#)」

メディアブラウザーの表示

- ❖ Elements Organizer の日付表示からメディアブラウザーを開くには、次のいずれかの操作を行います。
 - 画面表示／メディアブラウザーを選択します。
 - Elements Organizer の下部にある 「メディアブラウザー」をクリックします。

メディアブラウザーの表示の環境設定

- 1 メディアブラウザーで、編集/環境設定/一般を選択します。
- 2 必要に応じて次のようなオプションを指定します。
 - 同じ日付の写真を新しい写真から順に表示するには、「同じ日付のアイテムは時刻の新しい順に表示」を選択します。
 - フォトブラウザーのスペースが許す限り、写真を実際のサイズの 100 %以上に拡大するには、「写真のサイズ変更を許可」を選択します。このオプションを選択解除すると、利用可能なスペースが残っている場合でも、写真が実際のサイズで表示されます。
 - 以後、表示しないことにしたダイアログボックスを再度有効にするには、「すべての警告ダイアログボックスを初期化」をクリックします。

メディアブラウザーアイコン

日時とタグを表示オプションを選択した場合にだけ、次のアイコンのうち該当するものが表示されます。他のアイコンは常に表示されます。

スタックアイコン  スタックされている写真のサムネールであることを示します。

バージョンセットアイコン  スタックされている編集されたバージョンの写真のサムネールであることを示します。

ビデオシーングループアイコン  ビデオシーングループのレンディションのサムネールであることを示します。

ビデオアイコン  ビデオクリップのサムネールであることを示します。

ディスクアイコン  オフライン写真のサムネールであることを示します。

オーディオアイコン  サムネールにオーディオキャプションがあることを示します。

マルチプルキーワードタグアイコン  メディアファイルに複数のキーワードタグが適用されていることを示します。ポインターをタグアイコンに重ねると、適用されているキーワードタグが表示されます。

キーワードタグアイコン  メディアファイルに特定のキーワードタグが適用されていることを示します。

アルバムアイコン  写真がアルバムに含まれていることを示します。ポインターをアイコンに重ねると、アルバム名が表示されます。

非表示の写真アイコン  サムネールが非表示のファイルであることを示します。

プロジェクトアイコン  サムネールがプロジェクトに使用されていることを示します。

フォトプロジェクトアイコン  写真が複数ページのプロジェクトに含まれていることを示します。

重要度  写真の重要度を 5 段階で表示します。

メディアブラウザーでの表示の選択

❖  画面表示/[表示オプション]を選択します。

次の表示オプションから選択します。

サムネール表示 指定した順序でメディアファイルのサムネールを表示します。

取り込み順 メディアファイルを取り込んだ日時ごとに表示し、取り込み方法も表示します。

フォルダー毎 保存先のフォルダーごとにメディアファイルを表示します。

日付表示 メディアブラウザーの任意のビューから日付表示を開きます。メディアファイルを撮影した日付にメディアファイルのサムネールが配置されたカレンダーが表示されます。

メディアブラウザー 日付表示からメディアブラウザーのサムネールビューを開きます。



メディアブラウザー表示メニューから選択すると、タイムラインとメディアブラウザーで異なるビューが表示されます。

メディアブラウザーでのメディアファイルの表示と非表示

 この手順に関するビデオについては、www.adobe.com/go/lrvid2316_pse_jp を参照してください。

ハードディスクからメディアファイルを削除しなくても、メディアブラウザー内のビューで非表示にするよう、写真にマークを付けることができます。逆に、非表示のファイルを一時的に表示したり、ファイルが常に表示されるよう、マークを削除したりすることもできます。

非表示にするメディアファイルの指定

- 1 非表示にするメディアファイルを選択します。隣接する複数のファイルを選択する場合は、Shift キーを押しながら最初のメディアファイルと最後のメディアファイルをクリックして、グループ全体を選択します。隣接していない複数のファイルを選択する場合は、Ctrl キーを押しながら、ファイルを 1 つずつクリックして選択します。
- 2 編集 /  表示 / 非表示 / 表示しないを選択し、非表示にするメディアファイルにマークを付けます。

選択したメディアファイルの左下に、非表示アイコン  が表示されます。

- 3 Elements Organizer で選択したメディアファイルを非表示にするには、編集 /  表示 / 非表示を選択して、「非表示のファイルを隠す」を選択します。

 サムネールを右クリックして、コンテキストメニューから「表示 / 非表示」コマンドを選択することもできます。

非表示にしたメディアファイルの表示

❖ 編集 /  表示 / 非表示を選択して、次のいずれかの操作を行います。

すべてのファイルを表示 非表示のファイルと、非表示にされていないファイルを表示します。

非表示のファイルのみを表示 Elements Organizer で非表示のファイルのみを表示します。

 サムネールを右クリックして、コンテキストメニューから「表示 / 非表示」コマンドを選択することもできます。

メディアファイルの非表示指定の解除

- 1 メディアブラウザーで、非表示に指定されたメディアファイルを表示します。
- 2 非表示マーク  を削除するメディアファイルを選択します。隣接する複数の写真を選択する場合は、Shift キーを押しながら最初の写真と最後の写真をクリックして、グループ全体を選択します。隣接していない複数の写真を選択する場合は、Ctrl キーを押しながら、写真を 1 つずつ選択します。
- 3 編集 /  表示 / 非表示 / 表示するを選択します。

 サムネールを右クリックして、コンテキストメニューから「表示 / 非表示」コマンドを選択することもできます。

フォルダー毎のファイルの表示と管理

Elements Organizer のフォルダー毎表示を選択すると、メディアブラウザーに、フォルダー階層と画像のサムネールの 2 つのパネルが表示されます。フォルダー毎表示では、フォルダーの管理や、カタログへのファイルの追加を行ったり、フォルダー名をキーワードタグとしてファイルに自動的にタグを付けたりできます。また、フォルダーをチェックフォルダーとして指定したり、指定を解除することもできます。

初期設定では、ハードディスク上にあるすべてのフォルダーがフォルダー階層パネルに表示されます。管理対象ファイルを含むフォルダーには、管理対象フォルダーアイコン  が付いています。管理対象ファイルとは、手動または自動でカタログに取り込まれたファイルを指します。チェックフォルダーには、チェックフォルダーアイコン  が付いています。チェックフォルダーに保存されたファイルは、互換性のないものを除き、Elements Organizer に自動的に取り込まれます。管理対象フォルダーとチェックフォルダーの両方に指定されている場合は、これらの対象であることを表すアイコン  が付いています。初期設定では、ハードディスク上にあるすべてのファイルが、選択されたフォルダー内にあるファイルから順番に、サムネールパネルに表示されます。選択されたフォルダー内にあるファイルのサムネールのみを表示するように変更することができます。

注意：各パネルの初期設定の表示を変更するには、編集／環境設定／フォルダー毎表示を選択し、目的のオプションを選択します。

1 メディアブラウザーで、Elements Organizer の右上にある画面表示メニュー  から、「フォルダー毎」を選択します。フォルダー階層は Elements Organizer の左側に表示され、画像のサムネールは中央に表示されます。

2 サムネールパネルに表示するファイルを指定するには、次のいずれかの操作を行います。

- 選択されたフォルダーのみをサムネールパネルに表示するには、フォルダー階層パネルを右クリックし、「すべてのファイルを表示」を選択解除します（隣にチェックマークが表示されていなければ、選択解除されています）。
- すべての管理対象ファイルをサムネールパネルに表示するには、フォルダー階層パネルを右クリックし、「すべてのファイルを表示」を選択します（隣にチェックマークが表示されていれば、選択されています）。

 フォルダー毎表示で、すべての管理対象ファイルを検索するには、「すべてのファイルを表示」を選択する必要があります。

3 ファイルの保存先フォルダーを検索するには、サムネールパネルで、ファイルのサムネールをクリックします。ファイルの保存先フォルダーが左のパネルでハイライトされます。

4 特定のフォルダー内でファイルを検索するには、フォルダー階層パネル内でそのフォルダーをクリックします。そのフォルダー内にあるファイルのサムネールが、フォルダー名の下にグループ化されてサムネールパネルに表示されます。

5 フォルダー毎にファイルに自動的にタグを付けるには、サムネールパネルの、タグを付けたいフォルダーの右上にあるインスタントキーワードタグアイコン  をクリックします。

6 ファイルとフォルダーを管理するには、フォルダーを選択し、次のいずれかの操作を行います。

- ファイルを別のフォルダーに移動するには、サムネールパネルのファイルのサムネールを、フォルダー階層パネルのフォルダーにドラッグします。
- エクスプローラーでフォルダーを表示するには、フォルダー階層パネルでフォルダーを右クリックして、「ファイルの保存場所を表示します」を選択します。
- フォルダーをチェックフォルダーとして設定したり、設定を解除するには、フォルダー階層パネルでフォルダーを右クリックし、「チェックフォルダーとして追加」または「チェックフォルダーから削除」を選択します。
- フォルダー内のファイルをカタログに追加するには、フォルダー階層パネルを右クリックし、「管理されていないファイルをカタログに追加」を選択します。
- フォルダーの名前を変更するには、フォルダー階層パネルでフォルダーを右クリックし、「フォルダー名の変更」を選択します。次に、新しい名前を入力します。
- フォルダーを削除するには、フォルダー階層パネルでフォルダーを右クリックし、「フォルダーの削除」を選択します。

- 7 新しいフォルダーを作成するには、フォルダー階層パネルでフォルダーを作成する場所を右クリックし、「新規フォルダーの作成」を選択します。

関連項目

- 21 ページの「[チェックフォルダーの使用](#)」
- 21 ページの「[ファイルやフォルダーからのメディアファイルの取り込み](#)」
- 50 ページの「[キーワードタグ](#)」
- 63 ページの「[フォルダー名に基づいたキーワードタグの作成と適用](#)」

表示するアイテムの種類を指定

❖ メディアブラウザーで、表示/メディアの種類/[ファイルの種類]を選択します。

注意：アイテムの取り込み後、アイテムの種類がすべてメディアブラウザーに一時的に表示されます。

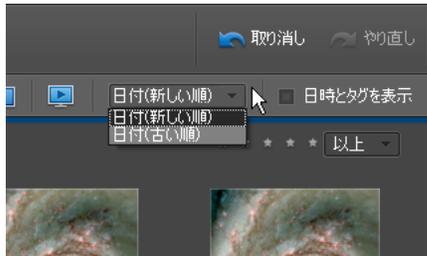
メディアブラウザーのアイテムの並べ替え

❖ メディアブラウザーの右上隅にあるアイテムの並べ方メニューで、並べ替えオプションを選択します。次の並べ替えオプションを選択できます。

日付(新しい順) 撮影日時や読み込み日時が新しい順にメディアファイルを表示します（メディアファイルの日付が同じ場合は、一般環境設定ダイアログボックスで指定しない限り、先に撮影されたメディアファイルから表示されます）。新しい順で表示すると、新しく取り込んだメディアファイルにタグを付ける場合に便利です。

日付(古い順) すべてのメディアファイルを日付が古い順に表示します。

アルバム順 アルバムに配置されている順序でメディアファイルを表示します（アルバムを選択した場合のみ）。

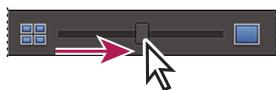


メディアブラウザーのアイテムの並べ方メニューでは、サムネールを古い順、新しい順またはアルバム内の順序で並べ替えることができます。

サムネールのサイズ変更、更新、非表示

サムネールのサイズを変更したり、別のアプリケーションでメディアファイルを編集した後でサムネールを更新したりすることができます。さらに、サムネールをすばやく回転して、ウィンドウに正しく表示されるようにできます。

- サムネールのサイズを徐々に変更するには、ツールバーのサムネールスライダーをドラッグします。



サムネールスライダーを右にドラッグすると、サムネールのサイズが大きくなります。

- 最小サイズのサムネールを表示するには、サムネールスライダーの左側にあるボタンをクリックします。
- メディアファイルを1つだけ表示するには、サムネールスライダーの右側にあるボタンをクリックします。

- サムネール画像を更新するには、表示／表示の更新を選択します。
- 画像を反時計回りに回転するにはメディアブラウザーの上部にある左に回転  を、画像を時計回りに回転するには右に回転  をクリックします。

関連項目

112 ページの「アイテムのサムネールの更新」

メディアブラウザーでのアイテムの選択

 この手順に関するビデオについては、www.adobe.com/go/lrvid2314_pse_jp を参照してください。

作業対象のメディアファイルをメディアブラウザーで選択します。選択したメディアファイルのサムネールの枠が暗いブルーでハイライト表示されます。次のいずれかの操作を行います。

- アイテムを1つ選択するには、そのサムネールをクリックします。
- 連続した複数のアイテムを選択するには、Shift キーを押しながら選択する範囲の最初のアイテムと最後のアイテムをクリックします。
- 連続していない複数のアイテムを選択するには、Ctrl キーを押しながらアイテムを1つずつクリックします。
- メディアブラウザーのすべてのアイテムを選択または選択解除するには、編集／すべてを選択、または編集／選択を解除を選択します。

メディアファイルの詳細情報の表示と編集

メディアブラウザーに各サムネールの詳細情報を表示するかどうかを選択できます。また、特定の詳細情報をどのように表示するか選択することもできます。また、オーディオキャプションなどのキャプションや日時に関する情報を追加および編集することができます。

関連項目

116 ページの「ファイル情報 (メタデータ)」

112 ページの「ファイルの日時の変更」

日付と詳細情報のフォント形式の指定

- 編集／環境設定／一般を選択します。
- 「表示オプション」で、次のいずれかを選択することにより、日付の形式、および詳細情報の表示に使用するフォントを指定できます。

日付の形式 (このオプションは、一部の地域では使用できません) MM/DD/YY または DD/MM/YY の形式を選択します。

システムフォントを使用 詳細情報をシステムフォントで表示するには、このオプションを選択します。

サムネールの日付をクリックして日時を変更 このオプションを選択すると、写真をクリックすれば、写真の日時に関する詳細情報を編集できるようになります。

メディアファイルの詳細情報の表示と非表示

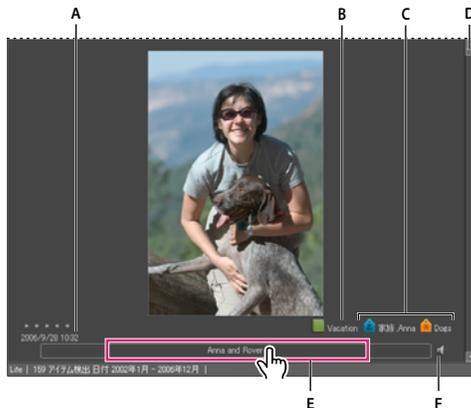
メディアブラウザーの右上にある「日時とタグを表示」ボックスをオンまたはオフにします。

メディアファイルの詳細情報の編集

メディアファイルに関連した情報を編集することができます。例えば、日付、適用したタグ、ファイル名、キャプションおよびオーディオキャプションを編集できます。

❖ メディアブラウザで、次のいずれかの操作を行います。

- テキストキャプションを編集または追加するには、「日時とタグを表示」チェックボックスをオンにして、サムネイル単一表示ボタン  をクリックします。既存のキャプションをクリックするか、「ここをクリックするとキャプションを追加できます」をクリックします。
- オーディオキャプションを追加、再生または編集するには、「日時とタグを表示」チェックボックスをオンにして、サムネイル単一表示ボタンをクリックします。オーディオキャプションを設定ボタン  をクリックします。



写真の詳細情報

A. 日時 B. この写真が登録されているアルバム C. 写真に適用されているキーワードタグ D. 前または次の写真にスクロール E. クリックしてキャプションを追加または変更 F. クリックしてオーディオキャプションを追加または再生

- メディアファイルに割り当てられた日付を変更するには、サムネイルを選択し、編集/日時を変更を選択します。表示されるダイアログボックスでオプションを指定します。

 シングルクリックで日付を変更することができます。この機能を有効にするには、編集/環境設定/一般を選択します。環境設定ダイアログで、「サムネイルの日付をクリックして日時を変更」を選択します。日付をクリックし、必要な変更を加えます。

ビデオプロジェクトの表示

Elements Organizer に、Adobe Premiere Elements で作成したプロジェクトのリストが表示されます。ただし、Elements Organizer でこれらのプロジェクトに対する名前の変更、編集、メディアファイルの追加は行えません。これらのプロジェクトに対して編集またはメディアファイルの追加を行うには、Adobe Premiere Elements を起動する必要があります。Adobe Premiere Elements で作成したビデオプロジェクトを表示するには、次の操作を行います。

- 1 Elements Organizer でアルバムを展開します（アルバムの横にある三角形をクリックします）。アルバムのリストとオプションのビデオプロジェクトが表示されます。
- 2 ビデオプロジェクトを展開して（プロジェクトの横にある三角形をクリックします）、ビデオプロジェクトのリストを表示します。
- 3 編集するプロジェクトを選択し、右クリックして、次のオプションが含まれるコンテキストメニューを開きます。
Premiere Elements で開く このオプションを選択し、タイムグラフのプロジェクトを表示します。

<プロジェクト名>ビデオプロジェクトのアイテムを検索 このオプションを選択し、プロジェクトと関連付けられたメディアを表示します。



Adobe Premiere Elements で作成したビデオプロジェクトの表示

ビデオと全画面画像の表示

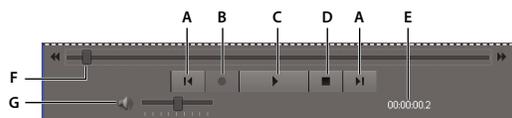
ビデオファイルの表示

メディアブラウザーでは、ビデオクリップの最初のフレームがクリップのサムネイルとして表示されます。メディアブラウザーでフィルムストリップアイコン  が付いているアイテムはビデオクリップです。

1 メディアブラウザーで、ビデオクリップをダブルクリックします。

注意：Elements Organizer で QuickTime ムービーを表示するには、コンピューターに Quicktime プレーヤーをインストールする必要があります。まだインストールされていない場合は、www.apple.co.jp/quicktime/download から QuickTime インストーラーをダウンロードし、実行してください。

2 Elements Organizer ビデオウィンドウが表示されたら、再生ボタンをクリックしてビデオを再生します。フレーム単位で表示するには、スライダーをドラッグします。ビデオクリップが長い場合は、数フレーム先に移動することもできます。



Photoshop Elements ビデオウィンドウ

A. 開始点ボタンと終点ボタン B. ナレーションを録音 C. 再生ボタン D. 停止ボタン E. 経過時間 F. スライダーをドラッグしてビデオクリップの再生箇所を指定 G. 音量調節

3 閉じるボタン  をクリックして、Elements Organizer ビデオウィンドウを閉じます。

 ビデオクリップのフレームから静止画像を作成するには、Elements Editor でファイル/読み込み/ビデオフレームを選択します。

Elements Organizer で再生可能なファイル形式は、インストールされているアプリケーションによって次のように異なります。

- Adobe Photoshop Elements のみをインストールしている場合：著作権使用料が不要なフィルターを使用して再生することができるファイル形式（ビデオおよびオーディオ）のみ、Elements Organizer で再生できます。特定のファイル形式にシステムでサポートされている他のフィルター（QuickTime など）が適用されている場合、Elements Organizer でも再生できます。
- Adobe Premiere Elements のみをインストールしている場合：すべてのファイル形式（ビデオおよびオーディオ）が Elements Organizer で再生できます。
- Adobe Photoshop Elements および Adobe Premiere Elements の両方をインストールしている場合：すべてのファイル形式（ビデオおよびオーディオ）が Elements Organizer で再生できます。

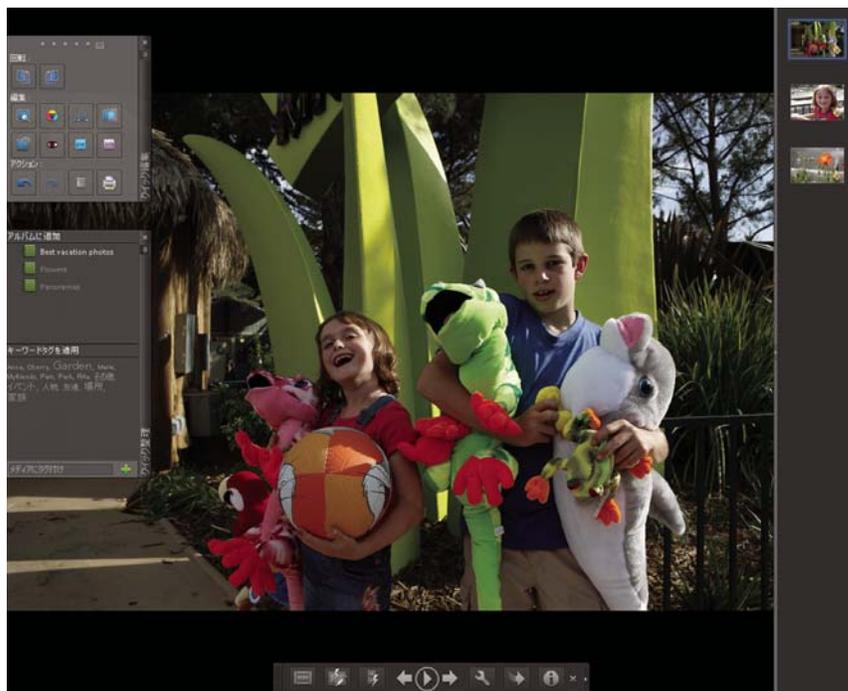
メディアファイルをフルスクリーン表示または並べて比較する

フルスクリーン表示および写真を並べて比較機能によって、ウィンドウやメニューなどのインターフェイスアイテムにわずらわされずにメディアファイルを表示できます。

「フルスクリーンで表示、編集、整理」オプションを使用すると、複数のメディアファイルがフルスクリーンのスライドショーとして表示されます。次のようにスライドショーをカスタマイズすることができます。

- 画像の表示中にオーディオファイルを再生
- 選択したファイルのサムネールを画面の右側にフィルムストリップとして表示
- メディアファイルにエフェクトを追加

スライドショーで使用する写真を決定した後、必要な編集を行うことができます。写真は、このビューから直接スライドショーエディターに送信できます。スライドショーを作成するには、右クリックして「スライドショーを作成」オプションを選択します。



フルスクリーン表示

メディアファイルをフルスクリーンで表示するには、次のいずれかの操作を行います。

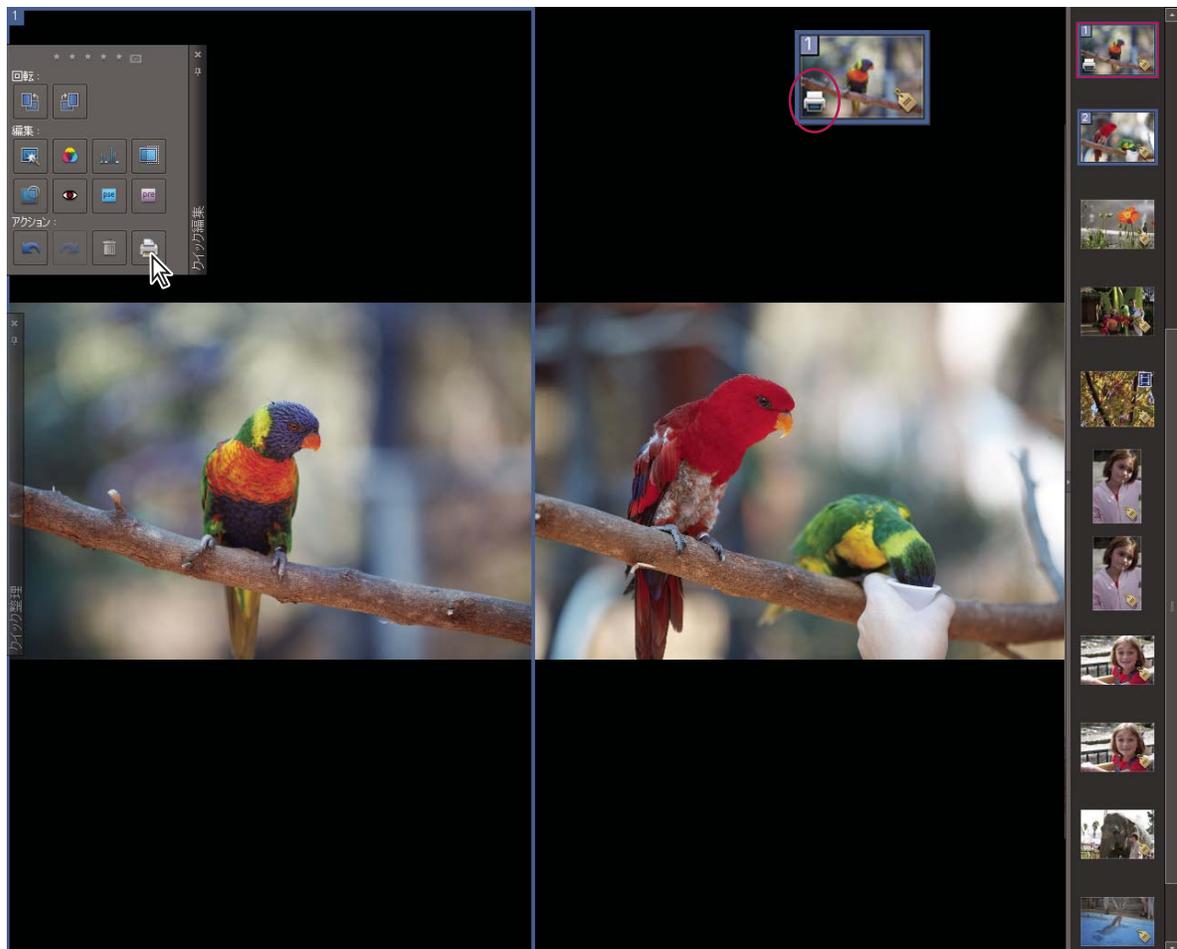
- 表示するメディアファイルを選択し、フルスクリーンで表示、編集、整理アイコン  をクリックします。
- Elements Organizer の右上にある、画面表示/フルスクリーンで表示、編集、整理を選択します。
- F11 キーを押します。

「写真を並べて比較」コマンドは、2つの写真を同時に表示します。写真を並べて比較表示は、写真の細部と相違点に注目したいときに便利です。複数の写真を選択して比較できます。

写真を比較するには、次のいずれかの操作を行います。

- Elements Organizer の右上にある、画面表示/写真を並べて比較を選択します（このオプションは、一部の地域では使用できません）。
- 写真を2枚選択し、F12 キーを押します。

写真を並べて比較表示では、現在選択している写真が青色の境界線で囲まれます。次のメディアを表示ボタン  をクリックすると、写真が切り替わります。選択したもう1枚の写真が表示されます。「フィルムストリップ」オプションを有効にしている場合は、フィルムストリップの画像をクリックすると、選択した画像（青い境界線で囲まれている画像）の代わりに表示できます。



構図や細部を分析するには、写真を並べて比較表示を使用します。画像1にはプリント用のマークが付けられています。

フルスクリーンで表示、編集、整理表示または写真を並べて比較表示を使用している間は、次のパネルが表示されます。

クイック編集パネル 表示されているメディアファイルを編集できます。

クイック整理パネル タグを作成してメディアファイルに適用することができます。既存のアルバムにメディアファイルを簡単に追加することもできます。

コントロールバー すべてのナビゲーションアイコンおよびコントロールアイコンが表示されており、必要なパネルやダイアログにアクセスすることができます。

フルスクリーンで表示、編集、整理ボタン  または写真を並べて比較ボタン  をクリックして、表示を交互に切り替えることができます。

関連項目

125 ページの「[スライドショー](#)」

クイック編集パネル

フルスクリーンで表示、編集、整理表示または写真を並べて比較表示では、表示した写真をクイック編集パネルで編集することができます。クイック編集パネルは画面の左側に表示され、初期設定では最小化されています。また、数秒間マウスを動かさずにいると最小化されます。最大化するには、パネル上にマウスを移動させるか、フルスクリーンプレビューバー内の「クイック編集パネルの表示切り替え」をクリックします。自動的に隠すボタン  をクリックすると、クイック編集パネルがいつでも表示されるようになります。

次の表は、クイック編集パネル内の一部のアイコンおよびその機能の説明です。

アイコン	機能
自動スマート補正 	画像の露出不足やコントラスト、カラーバランス、カラー彩度などによる問題を補正します
自動カラー補正 	自動カラー補正で、写真のカラーを補正します
自動レベル補正 	自動レベル補正で、写真の色調範囲を補正します
自動コントラスト 	自動コントラストで、コントラストを補正します
自動シャープ 	写真をシャープにします
自動赤目修正 	赤目を除去します
写真を編集 	Photoshop Elements Editor を起動します
ビデオを編集 	Adobe Premiere Elements を起動します
プリントマークを追加 	プリントするメディアファイルにマークを付けます

注意：表示している写真の重要度を設定するには、星を選択します。写真の重要度を消去したい場合は、一番右にあるゴールドの星をクリックします。

クイック整理パネル

フルスクリーンで表示、編集、整理表示または写真を並べて比較表示でクイック整理パネルを使用して、表示されているメディアファイルにキーワードタグを作成したり追加することができます。クイック整理パネルは画面の左側に表示され、初期設定では最小化されています。また、数秒間マウスを動かさずにいると最小化されます。最大化するには、パネル上にマウスを移動させるか、フルスクリーンプレビューバー内の「クイック整理パネルの表示切り替え」をクリックします。

クイック整理パネルは、次の2つのサブパネルで構成されます。

アルバム 既存のアルバムのリストを表示します。表示中のメディアファイルに関連付けられたアルバムがハイライト表示されます。

キーワードタグ タグクラウド表示内のキーワードタグのリストが表示されます。メディアファイルに関連付けられたタグがハイライト表示されます。

クイック整理パネルを使用すると、次のタスクを実行することができます。

- 表示中のメディアファイルを既存のアルバムに追加できます。例えば、表示中のメディアファイルを「ディズニーランド」というアルバムに追加するには、アルバムサブパネルで「ディズニーランド」をクリックします。
- キーワードタグを作成して表示中のメディアファイルに適用します。

新しいタグを作成して表示中のメディアファイルに適用するには、次の操作を行います。

1 キーワードタグサブパネルで、「メディアにタグ付け」テキストボックスにタグの名前を入力します。例えば「休日」という名前のキーワードタグを作成する場合、テキストボックスに「休日」と入力します。

2 適用アイコン  をクリックします。

作成したタグが表示中のメディアに適用されます。

既存のタグを表示中のメディアファイルに適用するには、キーワードタグサブパネルでタグ名をクリックします。タグがハイライト表示されます。

コントロールバー

コントロールバーには、メディアファイルの検索や再生などを行うアイコンが表示されます。マウスを数秒間動かさずにいると、コントロールバーが非表示になります（再表示するには、マウスを動かします）。

コントロールバーに表示されるアイコンは、次のとおりです。

フィルムストリップの表示切り替え フィルムストリップの画像の表示と非表示を切り替えることができます。クリックすると、画面右側にすべての画像のサムネールが表示されます。もう一度クリックすると、フィルムストリップ内の画像が非表示になります。

クイック編集パネルの表示切り替え クイック編集パネルの表示と非表示を切り替えることができます。クリックすると、クイック編集パネルが画面の左側に表示されます。もう一度クリックすると、クイック編集パネルが非表示になります。

クイック整理パネルの表示切り替え クイック整理パネルの表示と非表示を切り替えることができます。クリックすると、クイック整理パネルが画面の左側に表示されます。もう一度クリックすると、クイック整理パネルが非表示になります。

前へ 前のメディアファイルを表示します。

次へ 次のメディアファイルを表示します。

再生 メディアファイルを再生します。

設定を開くダイアログ フルスクリーン表示のオプションダイアログボックスが表示されます。

切り替え方法 切り替え方法を選択ダイアログボックスが表示されます。

プロパティパネルの表示切り替え プロパティパネルの表示と非表示を切り替えることができます。

フルスクリーンで表示、編集、整理 写真を並べて比較表示からフルスクリーン表示に切り替えることができます。

写真を並べて比較 写真を並べて比較表示に切り替えることができます。

写真を並べて比較表示の画像倍率を同期 写真を並べて比較表示に写真を表示すると、画像倍率が同期されます。例えば、このアイコンをクリックしてマウスでズームインすると、両方の画像が同時にズームインされます。

関連項目

42 ページの「[フルスクリーン表示のオプション](#)」

42 ページの「[メディアファイルへの切り替え方法の適用](#)」

フルスクリーン表示のオプション

フルスクリーン表示のオプションダイアログボックス内のオプション

BGM スライドショーの実行中に再生するオーディオファイルを指定します。別のファイルを選択するには、「参照」をクリックし、目的のファイルを検索して選択します。

オーディオキャプションを再生 スライドショーの実行中に再生する、選択したファイルのオーディオキャプションを指定します。オーディオキャプションとして、MP3、WAV および WMA ファイルを使用できます。

スライド間隔 画面上での各画像の表示時間を指定します。この時間が過ぎると、次の画像が表示されるか、フェードインします。

キャプションを含める キャプションを画面の下部に表示します。

写真のサイズ変更を許可 写真のサイズを画面に合うように変更します。

ビデオのサイズ変更を許可 ビデオのサイズを画面に合うように変更します。

フィルムストリップを表示 選択したすべての画像を細長いサムネールにして画面の右側に表示します。フルスクリーン表示する画像を選択するには、サムネールをクリックします。

自動的に再生を開始 画像が全画面表示されたらすぐにスライドショーを開始します。このオプションを選択すると、スライドショーを開始する際、再生ボタンをクリックする必要はありません。

スライドショーを繰り返し再生 停止されるまでスライドショーを繰り返し再生します。

プロパティパネルのオプション

メディアファイルに関連するプロパティがプロパティパネルに表示されます。プロパティパネルを表示するには、プロパティパネルの表示切り替えアイコン  をクリックします。パネルは次のオプションで構成されています。

一般 メディアファイルの一般的なプロパティ（ファイル名、重要度、キャプション、メモなど）を表示します。

メタデータ ファイルに関連するメタデータを表示します。詳細を完全に表示するには「詳細」をクリックし、ファイルに関連する一部のメタデータを表示するには「概要」をクリックします。

キーワード メディアファイルに関連するキーワードを表示します。

履歴 ファイルの履歴（更新日時、取り込み日時など）が表示されます。

メディアファイルへの切り替え方法の適用

1 コントロールバーの切り替え方法を選択アイコン  をクリックします。

2 次のオプションのいずれかを選択し、「OK」をクリックします。サムネール上にマウスを移動させて切り替え方法をレビューすることができます。

- クラシック
- フェードイン/アウト
- パンとズーム
- 3D ピクセレート

選択した切り替え方法が表示中のメディアファイルに適用されます。エフェクトを表示することもできます。

注意：パンとズームおよび 3D ピクセレート切り替え方法は写真のみをサポートしています。

切り替えと OpenGL

Open Graphics Library (OpenGL) について OpenGL とは、コンピュータープログラムがディスプレイドライバーと通信するのに使用する、クロスプラットフォームのソフトウェアライブラリです。

パンとズームおよび 3D ピクセレート切り替え方法を使用するには、コンピューターに OpenGL バージョン 1.2 以降がインストールされている必要があります。OpenGL のバージョンは、システムにインストールされているディスプレイカードドライバーによって異なります。システムが OpenGL をサポートしていないことを示す警告が表示された場合は、ディスプレイカードの最新のドライバーがインストールされていることを確認してください。ディスプレイカードのメーカーは、新しいオペレーティングシステムおよびプログラム機能に対応できるように頻繁にドライバーを更新します。ドライバーを更新する前に、現在のディスプレイドライバーのバージョンを確認してください。

Windows XP でのディスプレイドライバーのバージョンの確認方法

- 1 デスクトップを右クリックして、「プロパティ」を選択します。
- 2 「設定」を選択し、「詳細設定」を選択します。
- 3 グラフィックディスプレイカードによって表示されるタブは異なります。「アダプタ」を選択します。ディスプレイカード上のメモリ容量など、ディスプレイカードのデータが表示されます。「プロパティ」を選択し、「ドライバ」を選択して、ドライバーのバージョンを確認します。

Windows Vista でのディスプレイドライバーのバージョンの確認方法

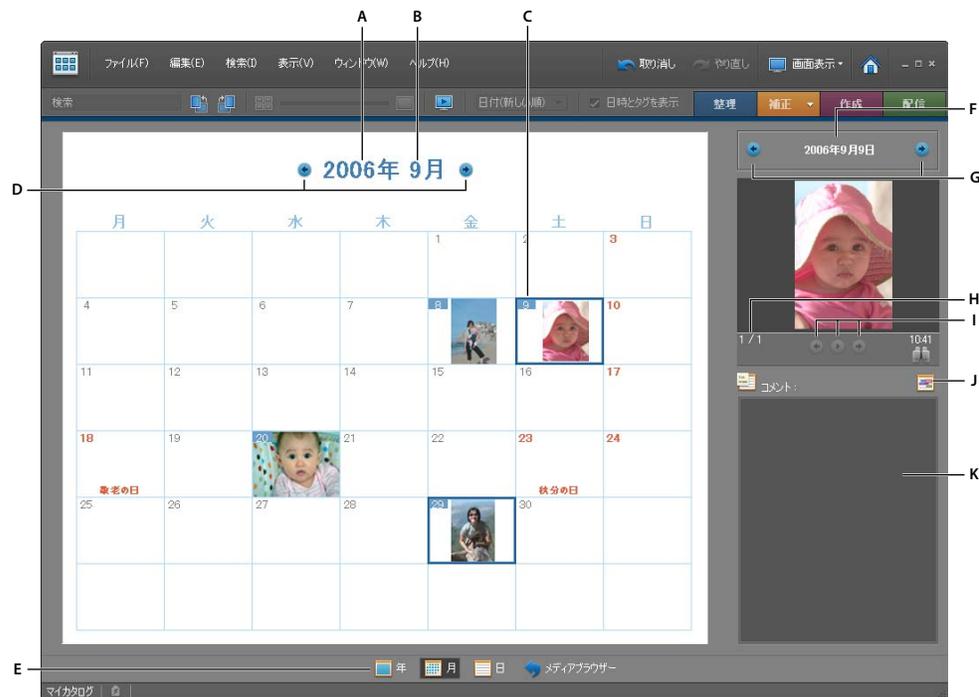
- 1 デスクトップを右クリックして、「個人設定」を選択します。
- 2 画面の設定／詳細設定を選択します。「アダプタ」タブに、ディスプレイカード上のメモリ容量など、ディスプレイカードのデータが表示されます。
- 3 「プロパティ」を選択し「ドライバ」を選択して、ドライバーのバージョンを確認します。

ディスプレイカードのメーカーの Web サイトで、最新のドライバーを探します。ドライバーのアップデートのインストールガイドは、ドライバーのアップデートと同じ場所に用意されているか、ドライバーとともにダウンロードできます。

日付表示でのメディアファイルの表示

日付表示でのメディアファイルの表示および検索

日付表示を使用すると、メディアファイルを日付順に表示したり、特定の年、月または日のメディアファイルを検索できます。検索する日を指定して、その日のメディアファイルをミニスライドショーで表示することができます。休日や誕生日などの繰り返し発生するイベントを管理し、任意の日にコメントを追加することもできます。メディアブラウザーで行うメディアファイル操作の多くは、日付表示でも行えます。



日付表示

A. クリックして年を選択 B. クリックして月を選択 C. 現在選択されている日付 D. 前月または翌月を表示するときにクリック E. クリックして、年、月または日付表示を選択 F. 日付を設定するときにクリック G. 前日または翌日を表示するときにクリック H. 選択した日付の写真の枚数 I. スライドショー表示用のコントロール J. イベントを追加 K. その日のメモを入力

- 1 Elements Organizer の右上にある 画面表示/日付表示をクリックします。日付表示が開き、メディアブラウザーで現在選択しているメディアファイルの月と日が表示されます。
- 2 日付表示の下部にある年ボタン 、月ボタン 、または日ボタン をクリックします。
- 3 次のいずれかの操作を行って、目的の月および日に移動します。
 - 年、月表示で、カレンダー上部の前へボタン および次へボタン を使用して、前後の年、月に移動します。ボタンを押したままにすると、すばやく目的の年、月へ移動できます。
 - カレンダーの年をクリックすると、年のリストが表示され、表示する年を選択できます。年の横の写真アイコン は、その年にメディアファイルが含まれていることを示します。
 - 月表示で、カレンダーの月の名前をクリックすると、1月から12月までのリストが表示され、表示する月を選択できます。月の横の写真アイコン は、その月にメディアファイルが含まれていることを示します。
 - 右上の日付表示をクリックし、日付を設定ダイアログボックスで検索する日付を選択します。
 - 年または月表示で、日付をダブルクリックします。カレンダーが日表示に切り替わり、選択した日の最初のメディアファイルが表示されます。
- 4 その日にメディアファイルが複数ある場合は、次のいずれかの方法でその日のメディアファイルを表示できます。
 - 日表示で、右側に表示されるメディアファイルのサムネイル表示をクリックします。
 - 日表示で選択した日付のメディアファイルをフルスクリーンで表示するには、 画面表示/フルスクリーンで表示、編集、整理を選択します。
 - 日表示または月表示で、メディアファイルの下の再生 をクリックすると、選択した日のすべてのメディアファイルがスライドショーで表示されます。

5 日表示で、写真をメディアブラウザーで表示するには、写真の右下に表示される「メディアブラウザー」ボタン  をクリックします。

 メディアブラウザーで使用できるコマンドの多くは、日表示でも使用できます。メディアファイルを右クリックすると、利用可能なコマンドのメニューが表示されます。

関連項目

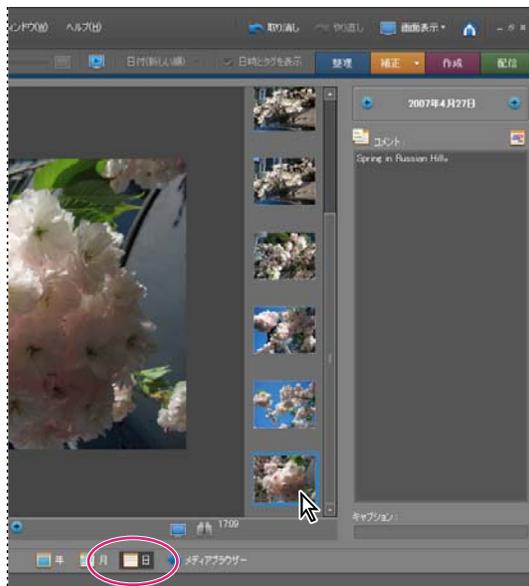
151 ページの「[オンラインプリントサービスへの写真の送信](#)」

38 ページの「[メディアファイルをフルスクリーン表示または並べて比較する](#)」

カレンダーの日付に表示されているメディアファイルの変更

初期設定では、日表示の各日付に、その日に最初にスキャンまたは撮影したメディアファイルが表示されています。初期設定で表示されるメディアファイルが、その日に撮影されたすべてのメディアファイルを代表するものでない場合は、別のメディアファイルに変更することができます。

- ❖ 日表示で、次のいずれかの操作を行います。
 - 月表示または年表示の場合は、目的のメディアファイルをカレンダー右部に表示されるスライドショーウィンドウを使用して検索します。メディアファイルをスライドショーウィンドウ上で右クリックし、「一日の先頭の写真として設定」を選択します。
 - 日表示で、サムネールのリストからメディアファイルを選択します。メディアファイルまたはサムネールを右クリックし、「一日の先頭の写真として設定」を選択します。



日表示での画像の選択

日付が不明なメディアファイルの表示

メディアファイルの日付に年が含まれている場合、日表示にメディアファイルを表示することができます。年が不明な場合、日表示にメディアファイルは表示されません。

- ❖ 日表示で、次のいずれかの操作を行います。
 - メディアファイルの日付に年と月が含まれているが、日が含まれていない場合は、日付不明アイコン  をクリックします。日付不明アイコンは、月表示の月または年表示の年の右上に表示されます。

- メディアファイルの日付に年が含まれているが、月と日が含まれていない場合は、日付不明アイコンをクリックします。日付不明アイコンは、年表示の年の右上に表示されます。
- 不明なメディアファイルが複数ある場合は、アイコンをクリックすると、メディアファイルがスライドショーで表示されます。

関連項目

112 ページの「[ファイルの日時の変更](#)」

日付表示へのコメントの追加

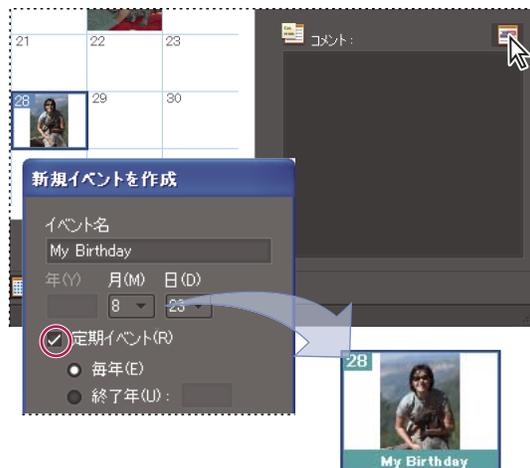
日付表示では、コメントを追加して日単位のイベントを記録することができます。コメントには、その日に撮影したメディアファイルの説明などを入力します。コメントは、特定のメディアファイルではなく、カレンダーの日付に関連付けられるため、キャプションとは異なります。コメントは日付表示でだけ表示、編集が可能です。

- 1 日付表示で、日付を選択します。
- 2 「コメント」ボックスにコメントを入力します。

💡 コメントは、メディアファイルのない日付も含め、日付表示内の任意の日付に追加できます。月表示では、コメントがある日付にコメントアイコン  が表示されます。

日付表示でのイベントの追加

日付表示では、日次イベントだけではなく、誕生日などの年次イベントも記録することができます。



カレンダーへのイベントの追加

- 1 日付表示で、日付を選択します。
- 2 次のいずれかの操作を行います。
 - イベントアイコン  をクリックします。
 - 年または月表示で、日付を右クリックし、コンテキストメニューから「ユーザー定義イベントを追加」を選択します。
- 3 イベントの名前を「イベント名」テキストボックスに入力します。
- 4 必要に応じて、ポップアップメニューに表示される日付を変更します。
- 5 毎年繰り返されるイベントの場合、「定期イベント」チェックボックスを選択します。必要に応じて、定期イベントの終了年を入力します。「OK」をクリックします。

カレンダーの年および月表示で、休日やイベントが特別な色で表示されます。

 環境設定ダイアログボックスの「日付表示」オプションで、イベントの追加、削除および編集を行うことができます。

日付表示でのキャプションの追加または変更

- 1 日付表示で、キャプションを追加または変更するメディアファイルを表示します。
- 2 日ボタン  をクリックして日表示を開きます。
- 3 右下にある「キャプション」ボックスにキャプションを入力します。

日付表示の環境設定

- 1 編集／環境設定／日付表示を選択します。
- 2 各週を月曜日から開始するには、「週の開始を月曜日にする」を選択します。選択しない場合、各週は日曜日から開始します。
- 3 休日リストで、カレンダーに赤字で表示する休日を選択します。
- 4 イベントを追加、削除または編集するには、次のいずれかの操作を行います。
 - イベントを追加するには、「イベント」セクションで「新規」をクリックし、新規イベントを作成ダイアログボックスに情報を入力します。
 - イベントを編集するには、リスト内のイベントを選択して「編集」をクリックします。イベントを編集ダイアログボックスで情報を変更します。
 - イベントを削除するには、リスト内のイベントを選択して「削除」をクリックします。
- 5 「OK」をクリックして、環境設定ダイアログボックスを閉じます。

Elements Organizer での写真とビデオの補正

Elements Organizer の「補正」タブのツールを使用すると、写真の一般的な問題をすばやく補正することができます。ツールの一部は、Elements Editor でカスタマイズすることもできますが、「補正」タブでそのままの設定ですばやく簡単に補正できるように設定されています。

「補正」タブをクリックすると、メディアファイルを簡単に補正できるツールのリストが表示されます。

Photoshop Elements Editor を使用して、写真に複雑な変更をすることができます。Photoshop Elements Editor を起動するには、次のいずれかの操作を行います。

- 「補正」タブをクリックし、 写真を編集をクリックします。
- 「補正」の横にある三角形をクリックし、スタンダード写真編集 、クイック写真編集  またはガイド付き写真編集  を選択します。

Adobe Premiere Elements Editor を使用して、ビデオファイルに複雑な変更をすることができます。Adobe Premiere Elements Editor を起動するには、次のいずれかの操作を行います。

- 「補正」タブをクリックし、ビデオを編集をクリックします。
- 「補正」の横にある三角形をクリックし、「ビデオを編集」を選択します。

自動スマート補正を使用したクイック補正

自動スマート補正では、写真を分析して、露出不足、コントラスト、カラーバランス、カラー彩度などによる一般的な問題を補正します。

- 1 「補正」タブをクリックして補正パネルを表示します。
- 2 メディアブラウザーで写真を選択します（複数の写真を選択するには、Ctrl キーを押しながら写真をクリックします）。
- 3 「補正」タブで「自動スマート補正」ボタン  をクリックします。

自動スマート補正を使用すると、選択した写真のコピーが作成され、そのコピーで調整が行われ、元の写真のバージョンセットとしてそのコピーが保存されます。

自動カラー補正でのカラーの補正

自動カラーでは、写真を分析して、カラーバランスにおける一般的な問題を補正します。例えば、蛍光灯の光で写真を撮影したときに全体が緑がかったり、室内光のカメラ設定のまま屋外で写真を撮影したときに青っぽくなる現象などを補正できます。

- 1 「補正」タブをクリックして補正パネルを表示します。
- 2 メディアブラウザーで写真を選択します（複数の写真を選択するには、Ctrl キーを押しながら写真をクリックします）。
- 3 「補正」タブで「自動カラー」ボタン  をクリックします。

自動カラー補正を使用すると、選択した写真のコピーが作成され、そのコピーでカラーが補正され、元の写真のバージョンセットとしてそのコピーが保存されます。

自動レベル補正でのレベルの設定

自動レベル補正では、写真を分析して、輝度における一般的な問題を補正します。例えば、露出アンダーまたは露出オーバーで撮影したときのディテールの低下などを補正できます。

- 1 「補正」タブをクリックして補正パネルを表示します。
- 2 メディアブラウザーで写真を選択します（複数の写真を選択するには、Ctrl キーを押しながら写真をクリックします）。
- 3 「補正」タブで「自動レベル補正」ボタン  をクリックします。

自動レベル補正を使用すると、選択した写真のコピーが作成され、そのコピーで輝度レベルが調整され、元の写真のバージョンセットとしてそのコピーが保存されます。

自動コントラストでのコントラストの補正

自動コントラストでは、写真を分析して、一般的なコントラストの問題を補正します。例えば、暗い領域と明るい領域の区別がはっきりしない問題を補正できます。

- 1 「補正」タブをクリックして補正パネルを表示します。
- 2 メディアブラウザーで写真を選択します（複数の写真を選択するには、Ctrl キーを押しながら写真をクリックします）。
- 3 「補正」タブで「自動コントラスト」ボタン  をクリックします。

自動コントラストを使用すると、選択した写真のコピーが作成され、そのコピーでコントラストが調整され、元の写真のバージョンセットとしてそのコピーが保存されます。

自動シャープでの写真のシャープ補正

自動シャープでは、写真を分析して、一般的な焦点の問題を補正します。例えば、カメラ焦点のずれによるぼけを補正できます。

- 1 「補正」タブをクリックして補正パネルを表示します。
- 2 メディアブラウザーで写真を選択します（複数の写真を選択するには、Ctrl キーを押しながら写真をクリックします）。
- 3 「補正」タブで「自動シャープ」ボタン  をクリックします。

自動シャープを使用すると、選択した写真のコピーが作成され、そのコピーで焦点が補正され、元の写真のバージョンセットとしてそのコピーが保存されます。

自動赤目修正での赤目の除去

自動赤目修正では、被写体の赤目を検出して、自然な黒目に変更します。

- 1 「補正」タブをクリックして補正パネルを表示します。
- 2 メディアブラウザーで、被写体の目が赤くなっている写真を選択します（複数の写真を選択するには、Ctrl キーを押しながら写真をクリックします）。
- 3 「補正」タブで「自動赤目修正」ボタン  をクリックします。

自動赤目修正を使用すると、選択した写真のコピーが作成され、そのコピーで赤目が黒目に変更され、元の写真のバージョンセットとしてそのコピーが保存されます。

写真の切り抜き

切り抜きツールを使用して、写真をトリミングすることができます。

- 1 メディアブラウザーで「補正」タブをクリックし、写真を1枚選択します。
- 2 「補正」タブで切り抜き  をクリックします。

写真を切り抜きウィンドウに写真が表示され、次のいずれかの操作を行うことができます。

- 切り抜きツール  をアクティブにして写真を切り抜く
- 縦横比の指定
- 回転アイコン 、 を使用して写真を回転

- 3 「適用」をクリックして変更を適用して「OK」をクリックすると Elements Organizer に戻ります。

写真の回転

 この手順に関するビデオについては、www.adobe.com/go/lrvid2315_pse_jp を参照してください。

- 1 メディアブラウザーで、1枚以上の写真を選択します。隣接する写真を選択する場合は Shift キーを押しながらクリックし、隣接していない写真を選択する場合は Ctrl キーを押しながらクリックします。
- 2 ツールバーで、次のいずれかの操作を行います。
 - 反時計回りに写真を 90° 回転するには、左に回転ボタン  をクリックします。
 - 時計回りに写真を 90° 回転するには、右に回転ボタン  をクリックします。

第5章：写真とビデオのタグ付けと整理

キーワードで写真やビデオを識別して、メディアファイルやアルバムを取得するために、キーワードタグを使用できます。Adobe® Elements Organizer 8 アルバムでは、実際のアルバムのように、写真やその他のメディアファイルをカテゴリごとにグループ化したり、任意の順序で配置することができます。

写真とビデオへのタグ付け

キーワードタグ

キーワードタグは、「父」、「フロリダ」などの個別のキーワードで、メディアブラウザー内の写真、ビデオファイル、オーディオクリップ、PDF およびプロジェクトに適用します。キーワードタグを適用すると、適用したファイルを簡単に整理、検索できるようになります。キーワードタグを使用すると、カテゴリ固有のフォルダーにメディアファイルを手動で整理したり、ファイル名を内容に沿った名前に変更したりする必要がなくなります。その代わりに、各メディアファイルに1つまたは複数のキーワードタグを追加するだけで済みます。その後、キーワードタグパネルで1つまたは複数のキーワードタグを選択して、必要なメディアファイルを取得することができます。キーワードを「検索」テキストボックスに入力して、特定のキーワードタグの付いたメディアファイルを検索できます。

例えば、「Anna」というキーワードタグを作成し、妹の Anna が写っているすべてのメディアファイルに適用します。その後で、コンピューターに保存された Anna が写っているすべてのメディアファイルをすぐに検索するには、キーワードタグパネルで「Anna」のタグを選択します。

また、任意のキーワードを使用してキーワードタグを作成することができます。例えば、個人、場所、行事などのキーワードタグを作成できます。メディアファイルに複数のキーワードタグが付いている場合、キーワードタグの組み合わせを検索して、特定の場所やイベントに関連した特定の人が写っているメディアファイルを検索することもできます。例えば、「Anna」および「Marie」というキーワードタグをすべて検索することによって、Anna と娘の Marie が一緒に写っている写真をすべて見つけることができます。また、「Anna」および「Cabo」（岬）というキーワードタグをすべて検索することによって、サンルカス岬で休暇中の Anna の写真をすべて見つけることができます。

関連項目

60 ページの「[キーワードタグを使用したメディアファイルの検索](#)」

84 ページの「[検索ボックスを使用したメディアファイルの検索](#)」

52 ページの「[メディアファイルへのキーワードタグの適用](#)」

キーワードタグパネルの使用

キーワードタグは、「整理」タブのキーワードタグパネルで作成および操作します。



キーワードタグパネル

A. スマートタグ B. カテゴリ C. キーワードタグ D. サブカテゴリ E. 三角形をクリックすると、そのカテゴリまたはサブカテゴリに含まれるキーワードタグの展開と折りたたみが切り替わります。

キーワードタグパネルでは、次の操作を行うことができます。

- すべてのキーワードタグ、タグのカテゴリおよびサブカテゴリを表示します。カテゴリまたはサブカテゴリの横にある三角形  をクリックして、キーワードタグを展開するか折りたたみます。
- キーワードタグの作成、編集および削除を行います。
- カテゴリとサブカテゴリ内のキーワードタグを整理します。
- キーワードタグのリストを上下にスクロールします。
- キーワードタグの横にある三角形  をクリックして、すべてのキーワードタグを非表示にします。

関連項目

68 ページの「[キーワードタグパネルとアルバムパネルの環境設定](#)」

60 ページの「[キーワードタグを使用したメディアファイルの検索](#)」

キーワードタグの作成

任意のカテゴリまたはサブカテゴリの下に新しいキーワードタグを作成して、カタログに新たに追加したメディアファイルを整理できます。新しいキーワードタグには、疑問符のアイコン  が付いています。



キーワードタグを作成ダイアログボックスで、キーワードタグを作成できます。

- 1 「整理」タブのキーワードタグパネルにある新規ボタン  をクリックし、「新規キーワードタグ」を選択します。

2 キーワードタグを作成ダイアログボックスで、カテゴリポップアップメニューからキーワードタグの配置先のカテゴリまたはサブカテゴリを選択します。

3 「名前」ボックスに、キーワードタグの名前を入力します。

注意：キーワードタグの名前のふりがなを変更するには、「名前（ふりがな）」ボックスに新しいふりがなを入力します。

4 「メモ」ボックスにキーワードタグに関する情報を入力します（例えば、「休暇の写真」などの説明を記述しておきます）。

5 「OK」をクリックします。

選択したカテゴリまたはサブカテゴリに属した形でキーワードタグがキーワードタグパネルに追加されます。

注意：キーワードタグを最初に適用したメディアファイルが、キーワードタグのアイコンとして使用されます。アイコンを変更するには、64 ページの「[キーワードタグアイコンの変更](#)」を参照してください。

関連項目

62 ページの「[タグをすばやく作成](#)」

40 ページの「[クイック整理パネル](#)」

メディアファイルへのキーワードタグの適用

作成したキーワードタグは、タグに関連するメディアファイルに適用できます。1 つのメディアファイルに複数のキーワードタグを適用することもできます。メディアファイルに 3 つのキーワードタグを適用した場合は、そのメディアファイルに適用されているすべてのキーワードタグが表示されます。メディアファイルに 4 つ以上のキーワードタグを適用した場合は、キーワードタグアイコン  が表示されます。キーワードタグを最初に適用したメディアファイルが、キーワードタグのアイコンとして使用されます。複数のメディアファイルをキーワードタグへドラッグした場合は、先頭にあるメディアファイルがキーワードタグのアイコンとして使用されます。

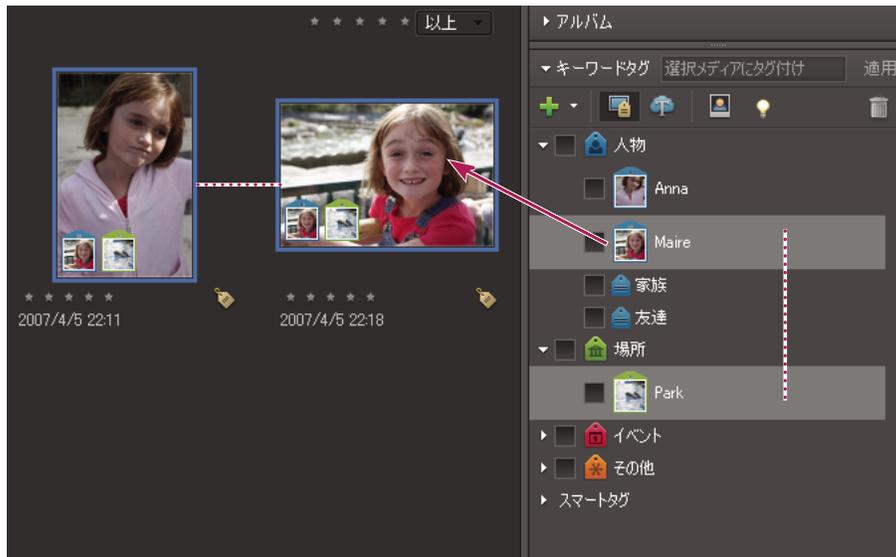
1 メディアブラウザーで、キーワードタグを適用するメディアファイルを選択します（複数の写真を選択するには、Ctrl キーを押しながらメディアファイルをクリックします）。

2 1 つのキーワードタグを 1 つのメディアファイルに適用するには、次のいずれかの操作を行います。

- キーワードタグパネルで 1 つのキーワードタグを選択し、選択したメディアファイルに重なるようにドラッグします。
- メディアファイルをキーワードタグパネルのキーワードタグに重なるようにドラッグします。

3 キーワードタグを複数のメディアファイルに適用するには、次のいずれかの操作を行います。

- キーワードタグパネルでキーワードタグを選択し、選択したメディアファイルのいずれかに重なるようにドラッグします。
- 1 つまたは複数のキーワードタグを選択し、選択したメディアファイルのいずれかに重なるようにドラッグします。



複数のキーワードタグを複数の写真にドラッグ

- キーワードタグパネルで1つまたは複数のキーワードタグを選択し、選択したタグのいずれかに重なるように写真をドラッグします。

💡 キーワードタグをアルバム内のすべてのメディアファイルに適用するには、アルバムパネルでアルバムをクリックします。メディアブラウザーですべてのメディアファイルを選択します。キーワードタグパネルからキーワードタグを選択し、選択したメディアファイルに適用します。

関連項目

67 ページの「[写真からのキーワードタグの削除](#)」

64 ページの「[キーワードタグアイコンの変更](#)」

キーワードタグクラウドの表示

キーワードタグクラウドを表示  をクリックして、メディアファイルに適用されているキーワードタグのリストを表示できます。キーワードタグは、アルファベット順で表示されます（日本語のキーワードは、文字コード順で表示されます）。このビューで、メディアファイルにキーワードタグを適用することができます。また、既存のキーワードタグを編集したり、削除したりすることもできます。キーワードタグをクリックすると、そのタグが適用されている写真またはメディアファイルが表示されます。キーワードタグのフォントサイズは、使用頻度に応じて変わります。例えば、「休暇」というキーワードタグを多数のメディアファイルに適用すると、「休暇」キーワードタグのフォントサイズは、他のキーワードタグよりも大きく表示されます。

注意：スマートタグは、タグクラウドビューのキーワードのリストに表示されません。

タグクラウドビューでのキーワードタグの適用

- 1 タグを付けるメディアファイルを選択します。
- 2 タグクラウドビューのリストから選択したメディアファイルにタグをドラッグします。

キーワードタグの編集または削除

- 1 編集するキーワードタグをダブルクリックします。テキストボックスが表示されます。

2 次のいずれかの操作を行います。

- キーワードタグを編集するには、テキストボックスで編集を行います。
- キーワードタグを削除するには、キーワードタグの横にある削除アイコン  をクリックします。

スマートタグ

スマートタグを適用すると、メディアファイル（写真やビデオ）を画質や内容ごとに簡単に検索することができます。自動解析では次の操作が可能です。

- メディアファイルの解析
- 手ブレ、暗い、明るいなどの画質に基づく写真およびシーンの識別

最適なメディアファイルを検索し、画質の悪いものは削除することができます。これらのタグは、画質に基づいてアセットを並べ替えるのに使用できます。自動解析されたメディアファイルを表示するには、Elements Organizer のインターフェイスの「スマートタグ」オプションを選択します。

重要：スマートタグの作成、編集、削除はできません。ただし、個々のクリップのスマートタグは削除、適用することができます。

自動解析のコンテンツ分析は、手動でも自動でも行うことができます。手動モードの場合、選択したアセットにスマートタグを割り当てることができます。自動モードの場合、分析およびアセットへのスマートタグの割り当てはバックグラウンド処理されます。

スマートタグの手動割り当て

- 1 メディアブラウザーで、スマートタグを適用するメディアファイルを選択します（複数のファイルを選択するには、Ctrl キーを押しながらファイルをクリックします）。
- 2 1つのメディアファイルに1つのスマートタグを適用するには、次のいずれかの操作を行います。
 - スマートタグパネルで1つのスマートタグを選択し、選択したメディアファイルに重なるようにドラッグします。
 - メディアファイルをスマートタグパネルのタグに重なるようにドラッグします。
- 3 スマートタグを複数のメディアファイルに適用するには、次のいずれかの操作を行います。
 - スマートタグパネルでスマートタグを選択し、選択したメディアファイルのいずれかに重なるようにドラッグします。
 - 1つまたは複数のスマートタグを選択し、選択したメディアファイルのいずれかに重なるようにドラッグします。
 - スマートタグパネルで1つまたは複数のスマートタグを選択し、選択したタグのいずれかに重なるようにメディアファイルをドラッグします。

 キーワードタグをアルバム内のすべてのメディアファイルに適用するには、アルバムパネルでアルバムをクリックします。メディアブラウザーですべてのメディアファイルを選択します。キーワードタグパネルからスマートタグを選択し、選択したメディアファイルに適用します。

自動解析

自動解析によって、スマートタグが自動的にメディアファイルへ割り当てられます。自動解析は、バックグラウンドタスクとして設定することも、手動で実行することもできます。自動解析をバックグラウンドタスクとして設定するには、編集／環境設定／自動解析オプションをクリックします。「カタログに含まれているすべてのカテゴリを自動的に解析」を選択します。また、自動解析のフィルターを指定することもできます。

- 1 自動解析を手動で実行するには、メディアブラウザーで、スマートタグを自動的に割り当てるメディアファイルを選択します（複数のファイルを選択するには、Ctrl キーを押しながらファイルをクリックします）。
- 2 メディアファイルを右クリックし、「自動解析を実行」を選択します。

自動解析でメディアファイルが分析され、関連するスマートタグが割り当てられます。

人物認識

「タグ付けする人物を検索」コマンドを使用すると、Elements Organizer によって写真に写っている人物が検出および識別され、それらの人物に名前をタグ付けすることができます。タグ付けすることで、効率的に写真を並べ替え、必要な写真を選択して、すばやくアルバムを作成できます。初期設定では、すべての新しい人物のタグはキーワードタグパネルの人物カテゴリに作成されます。これらのタグを別のカテゴリやサブカテゴリに移動して、タグを整理することができます。

注意：初期設定では、Elements Organizer は自動的に人物を認識します。このオプションを無効にするには、編集／環境設定／自動解析オプションをクリックして、自動的に人物を認識を選択解除します。

タグ付けする人物の検索

- 1 メディアブラウザーで、タグを付ける人物の写真を選択します。
- 2 人物認識を開始するには、次のいずれかの操作を行います。
 - 検索／タグ付けする人物を検索を選択します。
 - キーワードタグパネルで、人物認識を開始しますアイコン  をクリックします。

Elements Organizer が数分間アイドル状態になっている場合、「この人物の名前を指定してください。」または「この人物の名前は、次のとおりですか:<人物名>」というメッセージが表示されます。この状態から人物認識を開始することもできます。

注意：メディアブラウザーに表示されるメッセージの表示／非表示を切り替えることができます。編集／環境設定／キーワードタグとアルバムをクリックします。「人物認識のヒント」の「非表示」を選択して、メッセージを非表示にします。

Elements Organizer は写真を処理し、人物を検索します。最初の写真が、人物認識 - フルサイズ表示ダイアログボックスに表示されます。写真に写っている人物の顔は、四角形のボックスで囲まれます。この四角形のボックスには、黒の背景に「この人物の名前を指定してください。」または「この人物の名前は、次のとおりですか:<人物名>」というメッセージが表示されたテキストボックスと、確認アイコンと拒否アイコンが表示されます。

注意：既に人物の名前を指定していて、Elements Organizer がその人物を認識すると、ツールヒントに名前が表示されません。名前と人物が一致する場合は、名前を選択します。



人物認識 - フルサイズ表示ウィンドウ

3 人物の名前（「Ron」など）を入力するか、次のいずれかのオプションを選択します。

- 次の写真へ移動する場合は、次へアイコンをクリックします。
- ほかの写真に名前を付けたり、ほかの人物を識別する場合は、「ほかの人物に名前をつける」をクリックします。詳しくは、57 ページの「[ほかの人物に名前を付ける](#)」を参照してください。
- 検出されなかった人物にタグを付けるには、「見つからない人物を追加」をクリックします。四角形を顔までドラッグし、人物の名前を入力します。

4 すべての顔に名前を付けたら、「完了」をクリックします。

人物が 1 人で写っているアイテムの表示

1 名前の付いている人物を右クリックまたはダブルクリックして、「<人物名>の詳細を表示」（例えば、「Mary の詳細を表示」）を選択します。この人物が写っている他のアイテムのサムネールが、次のタブに表示されます。

確認済み 確認済みのアイテムが表示されます。確認済みのアイテムには、人物の名前がタグ付けされています。例えば、Elements Organizer は、Mary であると識別したサムネールを表示します。Mary でない場合は、アイテムを拒否することができます。「これらのいずれも Mary ではありませんか？」というメッセージが表示されます。

未確認 未確認のアイテムが表示されます。確認すると、アイテムに人物の名前がタグ付けされます。例えば、Elements Organizer が識別した人物のサムネイルには、「Mary である人物を選択してください。」というメッセージが表示されます。Elements Organizer は、アイテムと人物が一致するかどうか確かでない場合、その写真を暗いアイテムとして表示します。これらの写真が同じ人物のものであるかどうか確認できます。未確認の顔は暗く表示され、×印が追加されます。

2 次のいずれかの操作を行います。

- 異なる人物の場合は、「確認済み」タブで拒否アイコン  をクリックして、Mary に一致しない顔を拒否します。
- Mary に一致する顔を確認するには、「未確認」タブで確認アイコン  をクリックします。

注意：間違えてタグ付けしたアイテムを拒否することができます。また、知らない人物を無視することもできます。詳しくは、58 ページの「[人物に名前を付ける](#)」を参照してください。

3 すべての顔の確認または拒否が完了したら、「保存」をクリックします。「Mary の顔の確認が終了しました。人物の検索を続けますか？」というメッセージが表示される確認ウィンドウが表示されます。

ほかの人物に名前を付ける

人物認識 - フルサイズ表示ダイアログボックスで、「ほかの人物に名前をつける」をクリックします。人物認識に指定する情報の種類に応じて、次のいずれかのダイアログボックスが表示されます。

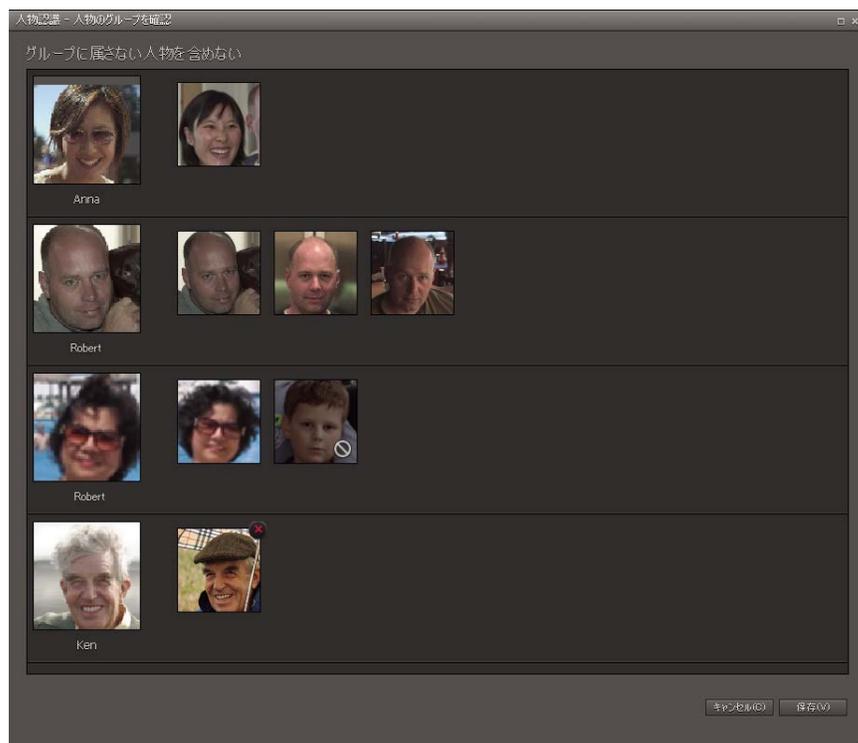
- 人物認識 - 人物のグループを確認
- 人物認識 - 人物に名前を付ける
- 人物認識

注意：サムネイルをダブルクリックすると、写真がフルサイズで表示されます。

人物のグループの確認

人物認識 - 人物のグループを確認ダイアログボックスでは、人物のグループを確認できます。例えば、Joan、Sam、Mary の名前を指定した場合、これらの人物が写っているアイテムがダイアログボックスに表示されます。

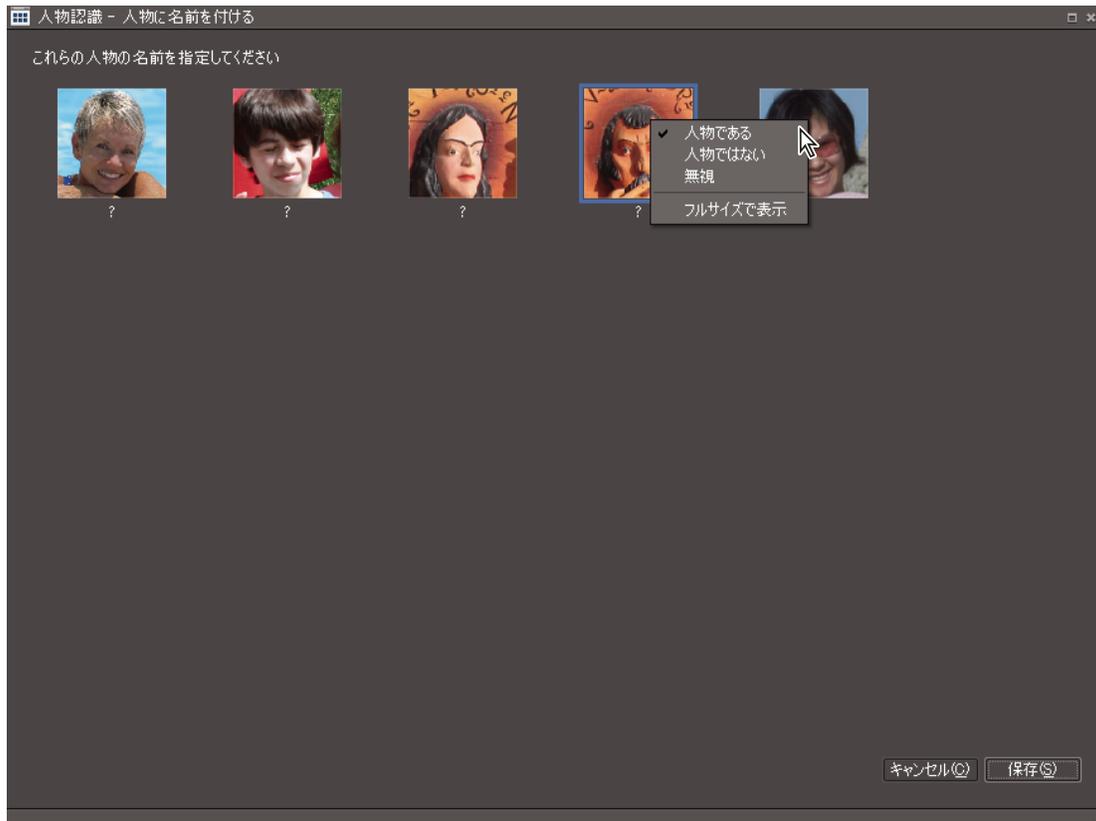
- Elements Organizer は、Joan、Sam、Mary の顔を識別して、次の項目を表示します。
 - Joan、Sam または Mary のサムネイルのグループ
 - 人物が 1 人で写っているアイテム
- Joan、Sam または Mary 以外の顔を確認するには、拒否アイコン  をクリックして、「保存」をクリックします。他の顔が確認のために表示されます。



人物認識 - 人物のグループを確認ウィンドウ

人物に名前を付ける

Elements Organizer は、タグ付けされていない人物を識別し、それらの人物を人物認識 - 人物に名前を付けるダイアログボックスに表示します。



人物認識 - 人物に名前を付けるダイアログボックス

名前の付いていない人物には、疑問符が表示されます。

次のいずれかの操作を行います。

- 疑問符をクリックして、人物に名前を付けるか、表示された名前から選択して、「保存」をクリックします。
- サムネールを右クリックして、次のいずれかの関連するオプションを選択します。

人物である 表示されたアイテムが人物の顔である場合は、このオプションを選択します。

人物ではない 表示されたオブジェクトが人物の顔でない場合は、このオプションを選択します。

無視 表示された人物が、名前やタグを付けようとしている人物でない場合は、このオプションを選択します。

フルサイズで表示 人物認識 - フルサイズ表示ダイアログボックスを表示します。

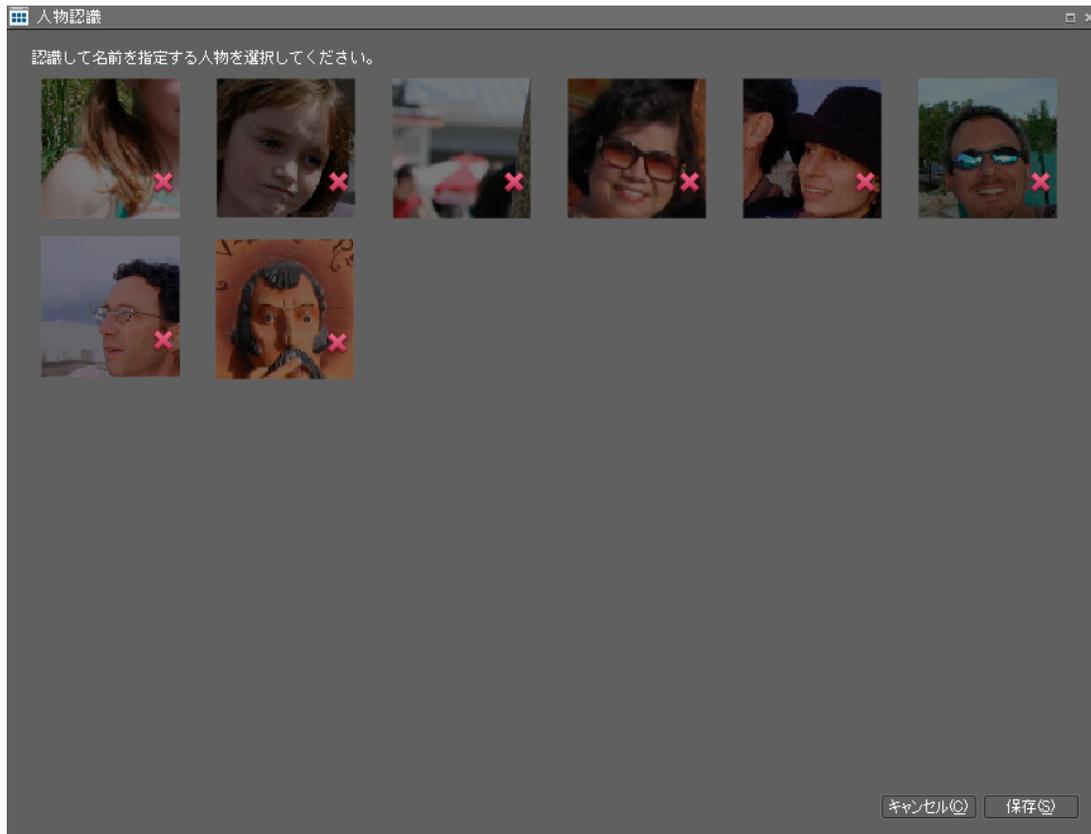
注意：写真をダブルクリックして、フルサイズ表示ダイアログボックスを表示することもできます。

人物ではない写真の確認

Elements Organizer は、次のサムネールを識別して、それらを人物認識ダイアログボックスに表示します。

- 人物以外のアイテムのサムネール
- 以前に人物として名前が付けられていないサムネールまたは無視したサムネール

人物のサムネールを確認し、名前を付けるように求められます。



人物を確認できる人物認識ダイアログボックス

- 「認識して名前を指定する人物を選択してください」というメッセージが表示され、画像が表示されます。Elements Organizer は、このような画像のサムネールを人物の顔として認識しないため、それらは初期設定で暗い状態で × 印が付いて表示されます。
- このリストで人物を確認し、確認アイコン  をクリックします。
注意：拒否アイコン  にマウスを合わせると、確認アイコン  に変わります。初期設定では、このビューに表示されている顔は拒否されます。
- 「保存」をクリックします。

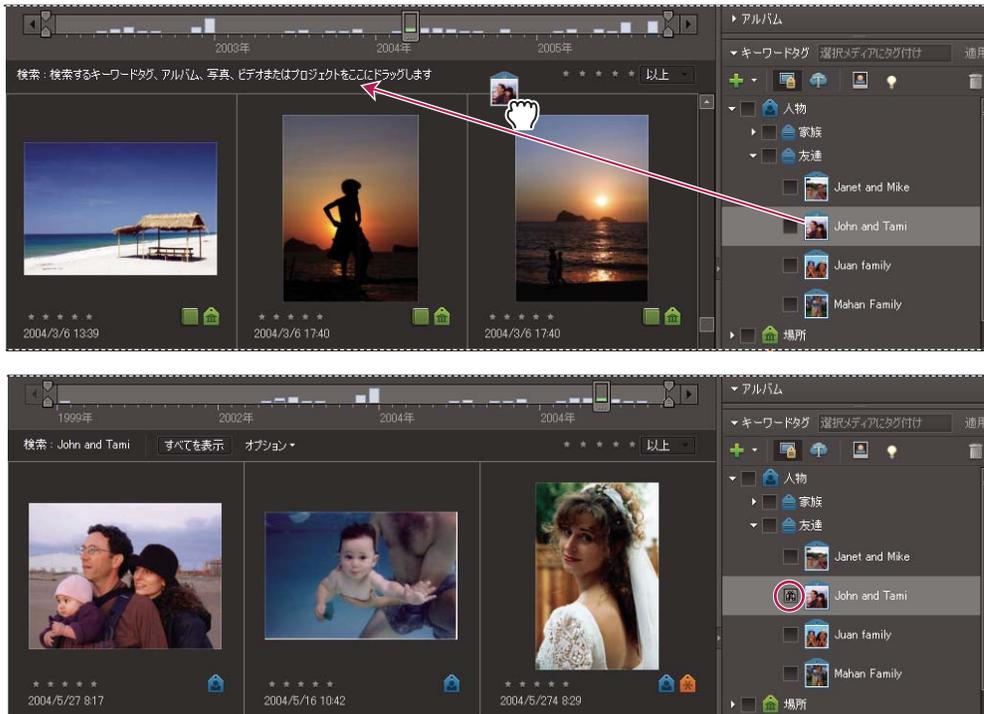
キーワードタグを使用したメディアファイルの検索

❖ 「整理」タブのキーワードタグパネルで、次のいずれかの操作を行います。

- タグをダブルクリックします。
- タグの横にあるチェックボックスをクリックします。
- 1つまたは複数のタグをキーワードタグパネルからメディアブラウザーの上部にある検索バーまでドラッグします。
- 検索ボックスにタグの名前を入力します。

 検索ボックスにタグの名前を入力すると、入力された文字と一致するタグのリストが表示されます。例えば、「D」と入力した場合、「D」から始まるすべてのタグが表示されます。その中から必要なタグを選択できます。

検索条件として指定したキーワードタグが付いているメディアファイルが検索されます。キーワードタグが含まれているサブカテゴリまたはカテゴリを選択すると、その階層下にある写真も含めてすべて表示します。例えば、「結婚式」サブカテゴリに「新郎」と「新婦」というキーワードタグがある場合、「結婚式」サブカテゴリを選択すると、「新郎」または「新婦」のタグの付いたメディアファイルが表示されます。



検索を開始するには、キーワードタグを検索バーにドラッグするか（上）、またはキーワードタグの横にあるボックスをクリックします（下）。タグが適用されているメディアファイルを表示します。

関連項目

84 ページの「[検索ボックスを使用したメディアファイルの検索](#)」

タグのすばやい作成、適用、削除

Elements Organizer のインターフェイスの「キーワードタグ」テキストボックスは、タグをすばやく作成、適用、削除することができます。このテキストボックスには、入力する文字に基づく既存のタグリストのサブセットが表示されます。例えば、「S」という文字を入力した場合、テキストボックスに「S」から始まるタグのリストのサブセットが表示されます。このリストから既存のタグを選択して、選択した一連のアセットに適用したり、タグを作成して適用したりすることができます。



タグの作成、適用、削除

タグをすばやく作成

- 1 メディアファイルを選択します。
- 2 「キーワードタグ」テキストボックスにタグの名前を入力します。
- 3 「新規タグ<タグ名>を作成」をクリックします。
- 4 「適用」をクリックします。

タグをすばやく適用

- 1 タグを適用するアセットを選択し、次のいずれかの操作を行います。
 - 「キーワードタグ」テキストボックスにタグの名前を入力します。
 - 例えば、「A」と入力すると、「A」の文字から始まるタグのリストが表示されます。使用するタグを選択してください。
 - 2 「適用」ボタンをクリックします。
- 選択したアセットにタグが適用されます。

タグをすばやく削除

- 1 次のいずれかの操作を行います。
 - 「キーワードタグ」テキストボックスにタグの名前を入力します。
 - 例えば、「A」と入力すると、「A」の文字から始まるタグのリストが表示されます。
- 2 タグ名の横に表示される削除アイコン  をクリックします。

新しいキーワードタグカテゴリまたはサブカテゴリの作成

- 1 「整理」タブのキーワードタグパネルで、新規ボタン  をクリックし、「新規カテゴリ」または「新規サブカテゴリ」のいずれかを選択します。
- 2 次のいずれかの操作を行います。
 - 新規カテゴリを作成するには、「カテゴリ名」ボックスに名前を入力します。「カラーを選択」をクリックして、そのカテゴリ内のキーワードタグに付けるカラーを指定します。次に、カテゴリアイコンリストからアイコンをクリックして選択します。
 - 新規サブカテゴリを作成するには、「サブカテゴリ名」ボックスに名前を入力します。次に、「1つ上のカテゴリまたはサブカテゴリ」ポップアップメニューで、新規サブカテゴリの配置先を選択します。
- 3 「OK」をクリックします。

新しいカテゴリまたはサブカテゴリがキーワードタグパネルに表示されます。

注意：サブカテゴリは編集または削除することができますが、サブカテゴリのアイコンは常に単色のタグとして表示され、アイコンに写真を使用することはできません。

関連項目

50 ページの「[キーワードタグパネルの使用](#)」

フォルダー名に基づいたキーワードタグの作成と適用

ハードディスク上のフォルダーと同じ名前のキーワードタグを自動的に作成し、そのフォルダー内のすべての管理対象ファイルにタグを適用することができます（管理対象ファイルは Elements Organizer カタログに追加したファイルです）。この方法は、わかりやすいフォルダー名を使用してハードディスク上でメディアファイルを整理しており、管理対象のメディアファイルにフォルダー名と同じタグをすばやく付ける場合に便利です。

1 メディアブラウザーで、 画面表示/フォルダー毎を選択します。

メディアブラウザーに管理対象のメディアファイルがフォルダー毎表示に並べられ、各フォルダー内のメディアファイルの上に、フォルダーの名前と保存場所までを記したパスが表示されます。

2 左側のフォルダーツリーで、キーワードタグを付けるメディアファイルが含まれているフォルダーを選択します。選択したフォルダー内の管理対象メディアファイルのサムネールがメディアブラウザーに表示されます。

3 フォルダーのパスが表示されている分割バーの右端にある「インスタントキーワードタグ」ボタン  をクリックします。

フォルダー内のすべてのアイテムが選択され、新規キーワードタグを作成し適用ダイアログボックスの「名前」テキストボックスにフォルダー名が挿入されます。

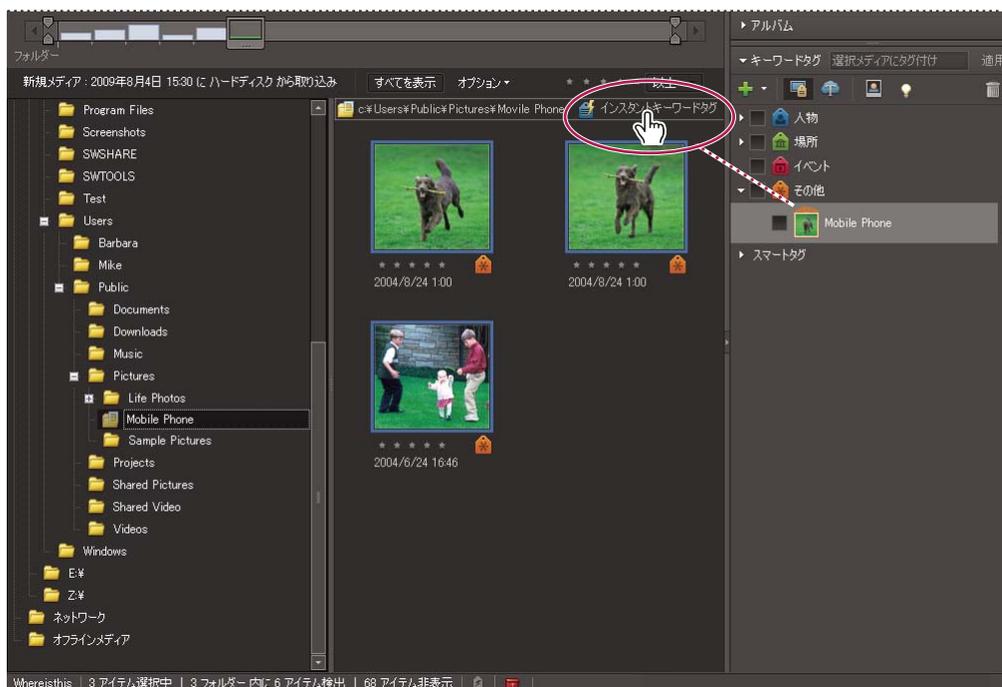
4 カテゴリポップアップメニューからカテゴリまたはサブカテゴリを選択します。

5 必要に応じて、名前を変更する場合、「名前」ボックスに新しい名前を入力します。

6 「メモ」ボックスにキーワードタグに関する情報を入力します（例えば、「お気に入りのレストランのメディアファイル」と入力します）。

7 「OK」をクリックします。

手順 4 で選択したカテゴリまたはサブカテゴリの下にキーワードタグが表示され、そのフォルダー内のすべてのアイテムに適用されます。それぞれのフォルダーの先頭にある写真がキーワードタグのアイコンとして使用されます。



「フォルダー毎表示」の表示では、フォルダーのパスとそのフォルダーに含まれている写真もメディアブラウザーに表示されます。写真のフォルダーの構成を反映するキーワードタグを簡単に作成し適用するには、「インスタントキーワードタグ」ボタンをクリックします。

8 インスタントキーワードタグを作成するフォルダーごとに手順 2～7 を繰り返します。

関連項目

50 ページの「キーワードタグパネルの使用」

64 ページの「キーワードタグアイコンの変更」

33 ページの「フォルダー毎のファイルの表示と管理」

キーワードタグ、カテゴリおよびサブカテゴリの編集

キーワードタグアイコンの変更

初期設定では、キーワードタグのアイコンには、そのタグが最初に付けられた写真が使用されます。タグの内容をわかりやすくするために、このアイコンを変更することができます。

- 1 「整理」タブのキーワードタグパネルで、タグを選択します。
- 2 新規ボタン  をクリックし、メニューから編集  を選択します。
- 3 キーワードタグの編集ダイアログボックスで、「アイコンの編集」ボタンをクリックします。
- 4 タグのアイコンとして別の写真を使用するには、次のいずれかの操作を行います。

- 「リスト」をクリックして、そのタグの付いたメディアファイルをすべて表示し、目的の写真を選択します。または「リスト」ボタンの左右の矢印をクリックして写真を切り替え、目的の写真を選択することもできます。
- 「取り込み」をクリックし、目的の写真を選択して「OK」をクリックします。

注意：取り込まれた写真はアイコンとして使用できますが、取り込まれた写真にタグは自動的に適用されません。手動で写真にタグを適用することができます。

- 5 アイコンで使用する写真の範囲を変更するには、切り抜き領域を操作し、写真を切り抜く領域やサイズを変更します。
- 切り抜き領域のサイズを変更するには、領域の角にポインターを置き、ポインターが両方向矢印に変わったらドラッグします。取り込まれたタグアイコンのサイズは変更できません。
 - 切り抜き領域を移動するには、領域の内側にポインターを置き、ポインターが手の形に変わったらドラッグします。



切り抜き領域のサイズ変更（左）と切り抜き領域の移動（右）

- 6 「OK」をクリックしてから、キーワードタグの編集ダイアログ内でもう一度「OK」をクリックします。

関連項目

50 ページの「[キーワードタグパネルの使用](#)」

キーワードタグのカテゴリまたはサブカテゴリの編集

カテゴリやサブカテゴリの名前または階層を変更することができます。

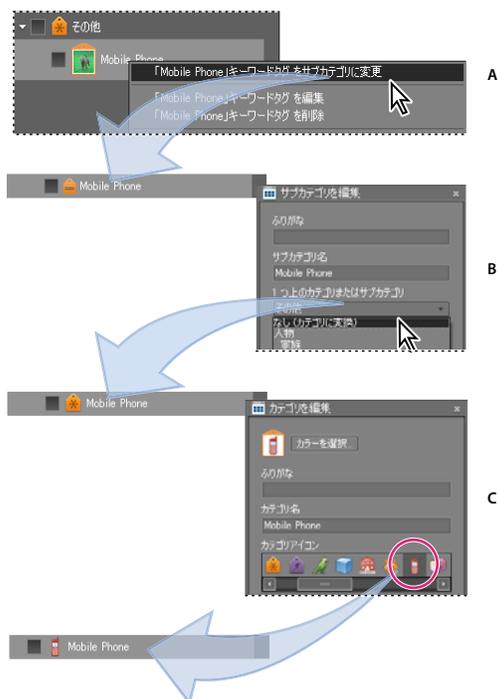
1 キーワードタグパネルで、カテゴリまたはサブカテゴリを選択します。新規ボタン  をクリックして、メニューから編集  を選択するか、カテゴリを右クリックして、「<カテゴリ名> カテゴリを編集」を選択します。

2 次のいずれかの操作を行ってから、「OK」をクリックします。

- 名前を変更するには、「カテゴリ名」ボックスまたは「サブカテゴリ名」ボックスに新しい名前を入力します。
- サブカテゴリが属するカテゴリまたはサブカテゴリを変更するには、「1つ上のカテゴリまたはサブカテゴリ」メニューから適切なものを選択します。「なし (カテゴリに変換)」を選択すると、サブカテゴリがカテゴリに変更されます。

 カテゴリまたはサブカテゴリを別のカテゴリまたはサブカテゴリにドラッグすることもできます。

- (カテゴリのみ) カテゴリ内にあるキーワードタグのカラーを変更するには、「カラーを選択」ボタンをクリックし、Photoshop Elements カラーピッカーから新しいカラーを選択します。「OK」をクリックします。
- (カテゴリのみ) カテゴリアイコンを変更するには、カテゴリアイコンリストから新しいアイコンをクリックして選択します。



キーワードタグをカテゴリに変更する

A. キーワードタグをサブカテゴリに変更 B. サブカテゴリをカテゴリに変更 C. カテゴリアイコンの変更

 独自のカテゴリアイコンを追加するには、20 ピクセル x 20 ピクセルの画像を PNG 形式で、Program Files\Adobe\Elements Organizer 8.0\Assets\caticons フォルダーに配置します。

関連項目

50 ページの「[キーワードタグパネルの使用](#)」

ドラッグによるキーワードタグ、カテゴリ、サブカテゴリの整理

初期設定では、キーワードタグとサブカテゴリは五十音順で表示されますが、ドラッグして、これらの順序を変更することができます。

- 1 編集／環境設定／キーワードタグとアルバムを選択します。
- 2 「カテゴリ」、「サブカテゴリ」、および「キーワードタグ」の並べ替えオプションを「手動」に設定し、「OK」をクリックします。
- 3 キーワードタグパネルで、1 つまたは複数のキーワードタグ、カテゴリ、またはサブカテゴリを選択します。
- 4 次のいずれかの操作を行い、選択したアイテムを新しい場所に移動します。
 - カテゴリまたはサブカテゴリ内でキーワードタグを並べ替えるには、タグをドラッグし、グレーのラインが表示されたらマウスボタンを放します。ドラッグしたタグは、グレーのラインのすぐ下に表示されます。
 - キーワードタグを新しいカテゴリに移動するには、移動したいカテゴリに重なるようにタグをドラッグし、カテゴリがハイライトされたらマウスボタンを放します。
 - カテゴリまたはサブカテゴリを並べ替えるには、グレーのラインが表示されるまでカテゴリまたはサブカテゴリをドラッグします。マウスボタンを放すと、カテゴリまたはサブカテゴリがグレーのラインのすぐ下に表示されます。
 - カテゴリまたはサブカテゴリを別のカテゴリの下位に配置するには、それらを目的のカテゴリまたはサブカテゴリまでドラッグします。移動先のカテゴリまたはサブカテゴリがハイライトされたらマウスを放します。

注意：カテゴリまたはサブカテゴリを間違えて移動し、意図していないカテゴリまたはサブカテゴリのサブカテゴリにしてしまった場合、移動先のサブカテゴリを選択して新規ボタン  をクリックし、キーワードタグパネルのメニューから編集  をクリックします。次に、「1 つ上のカテゴリまたはサブカテゴリ」メニューを使用して、正しい場所を指定します。

カテゴリまたはサブカテゴリを移動すると、それに含まれるキーワードタグも一緒に移動します。

注意：キーワードタグ、カテゴリ、またはサブカテゴリをお気に入りカテゴリに移動したり、キーワードタグをお気に入りカテゴリから他のカテゴリに移動したりすることはできません。

関連項目

50 ページの「[キーワードタグパネルの使用](#)」

68 ページの「[キーワードタグパネルとアルバムパネルの環境設定](#)」

キーワードタグからサブカテゴリへの、またはサブカテゴリからキーワードタグへの変更

- ❖ 「整理」タブで次のいずれかの操作を行います。
 - キーワードタグパネルで、キーワードタグを右クリックし、「[名前] キーワードタグをサブカテゴリに変更」を変更します。
 - キーワードタグパネルで、サブカテゴリを右クリックし、「[名前] サブカテゴリをキーワードタグに変更」を選択します。下位にキーワードタグまたはサブカテゴリを持つサブカテゴリを変更することはできません。

関連項目

50 ページの「[キーワードタグパネルの使用](#)」

カテゴリまたはサブカテゴリの削除

- 1 キーワードタグパネルで、1つ以上のカテゴリまたはサブカテゴリを選択します。
- 2 キーワードタグパネルで、削除ボタン  をクリックしてから、「OK」をクリックして削除を確定します。

関連項目

50 ページの「[キーワードタグパネルの使用](#)」

写真からのキーワードタグの削除

- ❖ メディアブラウザーでの表示方法に応じて、次のいずれかの操作を行います。
 - サムネール表示で1枚の写真からキーワードタグを削除するには、メディアファイルを右クリックし、アイテムからキーワードタグを削除 / [タグ名] を選択します。
 - サムネールを拡大表示しているときに1枚の写真からキーワードタグを削除するには、メディアファイルの下にあるカテゴリのアイコンを右クリックし、「[タグ名] キーワードタグを削除」を選択します。
-  表示によっては、ポインターをカテゴリのアイコンの上に置くと、メディアファイルに適用されているキーワードタグのリストが表示されます。
- いずれの表示においても、複数のメディアファイルからキーワードタグを削除するには、Ctrl キーを押しながらメディアファイルをクリックして選択します。次に、右クリックし、選択アイテムからキーワードタグを削除 / [タグ名] を選択します。

関連項目

50 ページの「[キーワードタグパネルの使用](#)」

キーワードタグ情報のファイルへの書き出し

タグ付きの JPEG、TIFF または PSD ファイルを Elements Organizer から電子メールで送信したり書き出したりする場合、タグの情報は自動的に IPTC (International Press Telecommunications Council : 国際新聞電気通信評議会) キーワードとして出力ファイルに含まれます。受信者がメディアファイルを取り込み、関連付けられているタグを取り込むように要求されると、そのタグを作成したバージョンの Elements Organizer でタグが適用されます。

Elements Organizer の電子メールまたは書き出し機能を使用せずにメディアファイルを電子メールで送信したり、配信したりする場合は、タグの情報をファイルのヘッダーの IPTC キーワードセクションに手動で書き込むことができます。

- ❖ メディアブラウザーで、ファイルを選択し、ファイル / キーワードタグおよびプロパティ情報を写真に書き込みを選択します。

キーワードタグの取り込みと書き出し

キーワードタグの取り込みと書き出しは、共通する趣味を持つ友人とメディアファイルを共有する場合などに役立ちます。例えば、自分の趣味に関連したメディアファイルに対して、一連のキーワードタグを作成したとします。これらのタグセットを保存すると、同じ趣味を持った友人が、キーワードタグパネルにこれらのタグを取り込み、メディアファイルにこれらのタグを適用できます。逆に、友人のキーワードタグを取り込み、自分のメディアファイルにこれらのタグを適用することもできます。共通するキーワードを友人と一緒に使用し、共有する趣味に関連したメディアファイルを検索することができます。

関連項目

50 ページの「[キーワードタグパネルの使用](#)」

キーワードタグの書き出し

キーワードタグパネル内のカテゴリやサブカテゴリの階層全体とキーワードタグアイコンをまとめて保存し、現在のキーワードタグのセットを他の人と共有することができます。書き出されたタグファイルは、Extensible Markup Language (XML) 形式で保存されます。

注意：タグを書き出しても、そのタグに関連付けられた写真は書き出されません。

- 1 キーワードタグパネルで、新規ボタン  をクリックし、「キーワードタグをファイルに保存」を選択します。
- 2 次のいずれかを選択し、「OK」をクリックします。

すべてのキーワードタグを書き出す すべてのキーワードタグと階層を含むファイルを作成します。

指定したキーワードタグを書き出す リストから選択されたカテゴリまたはサブカテゴリのキーワードタグと階層を含むファイルを作成します。

- 3 キーワードタグをファイルに保存ダイアログボックスで、ファイル名を入力し、ファイルの保存先を選択してから、「保存」をクリックします。

キーワードタグの取り込み

「キーワードタグをファイルに保存」コマンドを使用して XML 形式で保存されたキーワードタグのセットは、カテゴリとサブカテゴリの階層全体およびアイコンを含めて、すべて取り込むことができます。

また、別のキーワードタグが付けられた画像を取り込むことによって、キーワードタグを取り込むこともできます。例えば、メディアファイルを電子メールで送信、書き出しおよび編集した場合、またはキーワードタグの情報が追加された場合、キーワードタグが添付されます。

注意：キーワードタグを取り込んでも、タグに関連付けられた写真は取り込まれません。

- 1 キーワードタグパネルで、新規ボタン  をクリックし、「ファイルから取り込む」を選択します。
- 2 ファイルからキーワードタグを取り込むダイアログボックスで、キーワードタグ、カテゴリ、およびサブカテゴリを含む XML ファイルを選択し、「開く」をクリックします。

キーワードタグパネルとアルバムパネルの環境設定

- 1 Elements Organizer で、編集／環境設定／キーワードタグとアルバムを選択します。
- 2 キーワードタグ、カテゴリ、サブカテゴリ、アルバム、およびアルバムカテゴリについて、並べ替え順序として「五十音順」または「手動」を指定します。キーワードタグの並べ替え順序として「手動」を選択すると、キーワードタグパネルでタグをドラッグして、任意の順序で並べることができます。
- 3 キーワードタグの表示方法について、名前のみを表示するか、または名前の他に小さなアイコンまたは大きなアイコンも表示するかを指定します。「OK」をクリックします。

関連項目

50 ページの「[キーワードタグパネルの使用](#)」

アルバムの作成

アルバム

Elements Organizer アルバムは、選択したグループに写真を保存して整理できる、実際のアルバムのようなものです。例えば、「休暇中の写真ベストテン」というアルバムを作成し、第1位から第10位まで写真を並べることができます。また、アルバムを全画面表示で表示したり、既存のアルバムに基づいて新しいプロジェクトを作成できます。

アルバム内の各写真の左上には、順序を示す番号が付いています。アルバム内の写真をドラッグして、任意の順序に並べることができます。1枚の写真を複数のアルバムに追加することもできます。例えば、同じ写真を、あるアルバムでは最初の写真として表示し、別のアルバムでは最後の写真として表示することも可能です。

グループ内のアルバムを整理することができます。また、複数のレベルのアルバムカテゴリを作成できます。例えば、「アジアの旅」というアルバムカテゴリを作成して、その中に「日本の写真ベストテン」、「中国の写真ベストテン」というように、旅行したアジアの国のアルバムを整理することができます。

スマートアルバムでは、絞り込み条件と一致する写真を自動的に収集します。写真を手動で選択する必要はありません。スマートアルバムには、条件と一致した写真が自動的に追加されます。例えば、「Chiara」というキーワードタグを含むすべての写真を収集するスマートアルバムを作成すると、そのキーワードタグを割り当てた写真がアルバムに自動的に追加されます。

関連項目

77 ページの「[アルバム内の写真へのキーワードタグの適用](#)」

77 ページの「[キーワードタグからのアルバムの作成](#)」

50 ページの「[キーワードタグ](#)」

アルバムパネルの使用

アルバムは、「整理」タブのアルバムパネルで作成および操作します。



アルバムパネル

A. アルバム B. クリックするとアルバム内の写真を検索 C. アルバムカテゴリ D. 三角形をクリックすると、そのグループのアルバムの展開、または折りたたみ状態が切り替わります。

- アルバムの作成、編集および削除を行います。
- アルバムおよびアルバムカテゴリを表示します。必要に応じて、アルバムのリストを上下にスクロールします。アルバムカテゴリの横にある三角形  をクリックして、アルバムの展開、または折りたたみ状態を切り替えます。
- アルバムカテゴリ内でアルバムを整理します。
- アルバム内の写真を表示します。

関連項目

35 ページの「[メディアブラウザーでのアイテムの選択](#)」

68 ページの「[キーワードタグパネルとアルバムパネルの環境設定](#)」

アルバムまたはアルバムカテゴリの作成

 この手順に関するビデオについては、www.adobe.com/go/lrvid2302_pse8_jp を参照してください。

新しいアルバムや新しいアルバムグループは、いつでも作成できます。例えば、「休暇」というアルバムカテゴリを作成し、その中に個別にアルバムを作成して、それぞれの休暇の写真を入れることができます。

アルバムの作成

注意：写真を Elements Organizer にダウンロードしたときにアルバムを作成することができます。72 ページの「[写真のダウンロード中のアルバムの指定](#)」を参照してください。

- 1 「整理」タブのアルバムパネルにある、新規アルバムまたはアルバムカテゴリを作成ボタン  をクリックし、新規アルバム  を選択します。
- 2 (オプション) アルバムカテゴリメニューから、アルバムのカテゴリを選択します。
- 3 「アルバム名」ボックスに、アルバムの名前を入力します。

注意：アルバムの名前のふりがなを変更するには、「名前 (ふりがな)」テキストボックスに新しいふりがなを入力します。

- 4 写真を「アイテム」領域にドラッグし、「完了」をクリックします。

アルバムパネルの指定したアルバムカテゴリの下にアルバムが表示されます。

アルバムカテゴリの作成

- 1 「整理」タブのアルバムパネルにある、新規アルバムまたはアルバムカテゴリを作成ボタン  をクリックし、「新規アルバムカテゴリ」を選択します。
- 2 アルバムカテゴリを作成ボックスで、アルバムカテゴリの名前を入力します。

注意：アルバムカテゴリの名前のふりがなを変更するには、「ふりがな」テキストボックスに新しいふりがなを入力します。

- 3 (オプション) 上位のアルバムカテゴリメニューから、アルバムカテゴリを配置するカテゴリを選択します。
- 4 「OK」をクリックします。

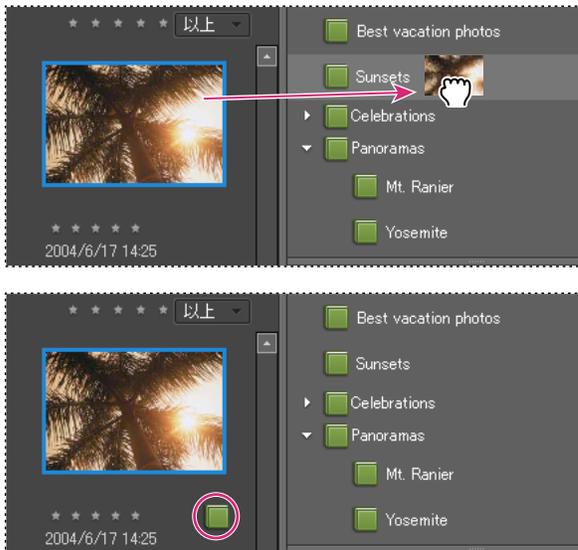
アルバムパネルの指定したアルバムカテゴリの下にアルバムカテゴリが表示されます。

アルバムへの写真の追加

Elements Organizer で、写真をアルバムに追加できます。複数の写真を 1 つまたは複数のアルバムに追加することができます。

- 1 Elements Organizer で、検索バーに「すべてを表示」ボタンが表示されている場合は、それをクリックしてメディアブラウザー内のすべての写真が表示されるようにします。
- 2 次のいずれかの操作を行います。
 - メディアブラウザーに表示される写真をアルバムパネルのアルバム名に重なるようにドラッグします。
 - アルバムパネルのアルバムをメディアブラウザーに表示される写真の上にドラッグします。

注意：画像を Elements Organizer にコピーして取り込むときにも、アルバムに写真を追加できます。72 ページの「[写真のダウンロード中のアルバムの指定](#)」を参照してください。

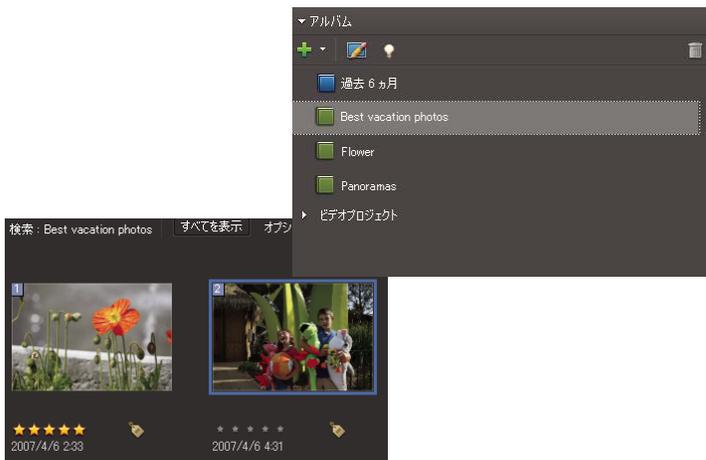


写真をアルバムにドラッグします。ドラッグした後、写真はアルバムの一部となります。

アルバム内の写真の表示

アルバム内のアイテムは独自の順序で表示され、複数のアルバムに同じアイテムがある可能性があるため、一度に表示できるのは1つのアルバムに限られます。

- ❖ アルバムパネルで、次のいずれかの操作を行います。
 - アルバムをクリックします。
 - アルバムを、アルバムパネルからメディアブラウザーの上部の検索バーにドラッグします。



アルバムをクリックして検索を開始します。

💡 写真がどのアルバムに追加されているかを調べるには、メディアブラウザーに表示される写真の下のアルバムアイコン  上にポインターを置くか、プロパティパネルを使用します。

アルバム内の写真の順序の変更

アルバム内の写真は、任意の順序で配置することができます。

- 1 アルバムパネルからアルバムを選択します。
- 2 メディアブラウザーの右上部分にある、メディアブラウザーエリアでのアイテムの並べ方メニューで、「アルバム順」を選択します。
- 3 1つまたは複数の写真を選択し、アルバム内の任意の2つの写真の間にドラッグします。選択した写真を、アルバムの最初の写真の前または最後の写真の後にドロップすることもできます。

アルバム内の写真の並べ替え

アルバム内の写真を日付が古い順、日付が新しい順、またはアルバム内の順序で並べ替えることができます。

- 1 アルバムパネルからアルバムを選択します。
- 2 メディアブラウザーの右上部分にある、メディアブラウザーエリアでのアイテムの並べ方メニューで、「日付（新しい順）」、「日付（古い順）」または「アルバム順」を選択します。

複数のアルバムへの写真の追加

- 1 メディアブラウザーの検索バーに「すべてを表示」ボタンが表示されている場合は、それをクリックして、メディアブラウザー内のすべての写真が表示されるようにします。
- 2 写真を選択します。選択した写真の外枠が青くなります。
- 3 アルバムパネルで、1つまたは複数のアルバム名を選択します。連続している複数のアイテムを選択するには Shift キーを押しながら最初と最後のアイテムをクリックします。連続していない複数のアイテムを選択するには、Ctrl キーを押しながら各アイテムをクリックします。
- 4 次のいずれかの操作を行い、写真をアルバムに追加します。
 - アルバムパネルで選択したアルバム名に重なるように、フォトブラウザーの写真をドラッグします。
 - アルバムパネルのアルバムを、アルバムに追加する写真に重なるようにドラッグします。

写真のダウンロード中のアルバムの指定

- 1 フォトダウンローダーが詳細設定モードになっていることを確認します。必要に応じて、「詳細設定」をクリックします。
- 2 「詳細オプション」セクションで、「アルバムへ読み込み」を選択します。
- 3 「設定」をクリックして、アルバムを選択ダイアログボックスで次のいずれかを実行します。
 - 写真を特定のアルバムに取り込むには、ダイアログボックスでアルバムを選択します。
 - 写真を新規アルバムに取り込むには、新規アルバムを作成  をクリックして、ダイアログボックスで名前を入力して汎用の「新規アルバム」を上書きします。
- 4 「OK」をクリックします。

アルバム構造の書き出しと取り込み

自分のアルバムの構造を書き出したり、他の人のアルバムの構造を取り込むことによって、アルバムの構造を共有することができます。例えば、友人と訪れた美術館に関するアルバムを持っているとします。アルバムセットを保存し書き出すことにより、友人がそのアルバムの構造（写真は含まれない）を取り込んで、自身の写真に使用することができます。逆に、友人のアルバムの構造を取り込んで、自分の写真に適用することもできます。

アルバム構造の書き出し

現在のアルバムおよびアルバムカテゴリ名のセットを、アルバムパネル内の構造とそのアイコンを含めて保存し、その構造を他の人と共有することができます。

注意：アルバムを書き出しても、そのアルバムに追加されている写真は書き出されません。

- 1 アルバムパネルで、新規ボタン **+** をクリックし、「アルバムをファイルに保存」を選択します。
- 2 次のいずれかを選択し、「OK」をクリックします。

すべてのアルバムを書き出す すべてのアルバム階層を含めたファイルを作成します。

指定したアルバムカテゴリを書き出す リストから選択したアルバムカテゴリの階層だけを含めたファイルを作成します。

- 3 アルバムをファイルに保存ダイアログボックスで、名前を入力し、保存先を選択して、「保存」をクリックします。このファイルは、XML 形式で保存されます。

アルバム構造の取り込み

既存のアルバムカテゴリの階層をアルバムパネルに取り込み、自分の写真に使用することができます。

注意：アルバムを取り込んでも、そのアルバムに関連付けられた写真は取り込まれません。

- 1 アルバムパネルで、新規ボタン **+** をクリックし、「ファイルから取り込む」を選択します。
- 2 ファイルからアルバムを取り込むダイアログボックスで、アルバムおよびアルバムカテゴリが書き出された XML ファイルを選択し、「開く」をクリックします。

スマートアルバムの作成と編集

スマートアルバム

アルバムと同様、スマートアルバムにも、選択した写真が含まれています。ただし、スマートアルバムでは、写真や写真のグループを個別に選択するのではなく、アルバムに追加する条件を設定します。条件を設定すると、条件に一致するカタログ内の写真が、自動的にスマートアルバムに表示されます。新しい写真をカタログに追加したときも、条件に一致する写真が、自動的にスマートアルバムに表示されます。スマートアルバムは自動的に更新されます。



A. アルバムパネルの見出し B. スマートアルバム C. アルバムカテゴリ

スマートアルバムの作成

- 1 次のいずれかの操作を行い、スマートアルバムに収集する写真の種類を選択します。
 - 特定のキーワードタグの付いた写真のみをスマートアルバムに追加するには、キーワードタグパネルから、それらのキーワードタグを選択します。
 - 特定の重要度が設定された写真のみをスマートアルバムに追加するには、重要度フィルターメニューで、目的の重要度をクリックし、星の隣にあるメニューから「以上」、「以下」、または「のみ」を選択します。

- 特定のフォルダーに含まれる写真のみをスマートアルバムに追加するには、 画面表示/フォルダー毎を選択します。次に、目的のフォルダーのアイコン  をクリックします。
- 特定のアルバムに配置された写真のみをスマートアルバムに追加するには、そのアルバムを選択します。

注意：写真の選択条件は、複数指定することができます。例えば、1つのフォルダーまたはアルバムと、1つ以上のキーワードタグを選択できます。

- 2 アルバムパネルで、新規アルバムまたはアルバムカテゴリを作成ボタン  をクリックします。次に、「新規スマートアルバム」を選択します。

新規スマートアルバムダイアログボックスが開きます。

- 3 スマートアルバムの名前を入力し、「OK」をクリックします。

関連項目

52 ページの「[メディアファイルへのキーワードタグの適用](#)」

83 ページの「[重要度を使用した検索](#)」

33 ページの「[フォルダー毎のファイルの表示と管理](#)」

70 ページの「[アルバムまたはアルバムカテゴリの作成](#)」

スマートアルバムの編集

- 1 アルバムパネルで、編集したいスマートアルバムを選択します。
- 2 (オプション) スマートアルバムの名前を変更するには、アルバムパネルのメニューから編集  を選択します。スマートアルバムの新しい名前を入力し、「OK」をクリックします。
- 3 メディアブラウザーの上部にある、オプション/検索条件を変更を選択します。
- 4 キーワードタグ、アルバム、フォルダー、重要度を追加または削除して、スマートアルバムの検索条件を変更します。
- 5 アルバムパネル内でスマートアルバムを右クリックし、「現在の検索を [名前] アルバムに保存」を選択します。

アルバムおよびアルバムカテゴリの編集

アルバムからの写真の削除

- 1 メディアブラウザーで、アルバムから削除する写真を選択します。
- 2 次のいずれかの操作を行います。
 - 写真を右クリックし、アイテムをアルバムから削除/[アルバム名]を選択します。
 - 写真に追加したアルバムアイコン  が表示されている場合は、アルバムアイコンを右クリックして「[アルバム名] アルバムを削除」を選択します。

関連項目

69 ページの「[アルバム](#)」

70 ページの「[アルバムへの写真の追加](#)」

アルバムの結合

「アルバムを結合する」コマンドを使用して、複数のアルバムを1つのアルバムに統合することができます。例えば、「車」アルバムを作成した後、同じ写真に対して誤って「自動車」アルバムを作成してしまった場合でも、両方のアルバムを1つに結合できます。アルバムを結合すると、すべての写真が1つのアルバムに入り、他のアルバムは削除されます。写真は、アルバムパネルに表示されている順序で配置されます。この順序は、結合の前後に並べ替えることができます。

- 1 アルバムパネルで、結合するアルバムを選択します。アルバムを選択するには、アルバム名をクリックします。連続しているアルバムを選択するには、Shift キーを押しながら選択します。連続していないアルバムを選択するには、Ctrl キーを押しながら選択します。
- 2 右クリックして「アルバムを結合する」を選択します。
- 3 リストから、選択したアルバムを結合するアルバムを選択し、「OK」をクリックします。

関連項目

- 69 ページの「[アルバム](#)」
- 69 ページの「[アルバムパネルの使用](#)」

アルバムのプロパティの変更

- 1 「整理」タブのアルバムパネルからアルバムを選択します。
- 2 アルバムを右クリックして、「[アルバム名] アルバムを編集」を選択します。または、アルバムパネルで編集  を選択します。
- 3 アルバムの詳細パネルで次の操作を行い、「完了」をクリックします。
 - アルバムカテゴリから新しい場所を選択します。
 - 「アルバム名」ボックスに新しい名前を入力します。

関連項目

- 69 ページの「[アルバム](#)」
- 69 ページの「[アルバムパネルの使用](#)」

アルバムまたはアルバムカテゴリの削除

アルバムまたはアルバムカテゴリを削除すると、そのアルバムカテゴリと、カテゴリ内のアルバムが削除されますが、その中の写真は削除されません。また、アルバムカテゴリと他のカテゴリのアルバムを同時に削除することはできません。

- 1 アルバムパネルで、アルバム名をクリックしてアルバムまたはアルバムカテゴリを選択します。連続している複数のアルバムを選択するには、Shift キーを押しながら最初と最後のアイテムをクリックします。連続していない複数のアルバムを選択するには、Ctrl キーを押しながら各アイテムをクリックします。
- 2 アルバムパネルで削除ボタン  をクリックします。

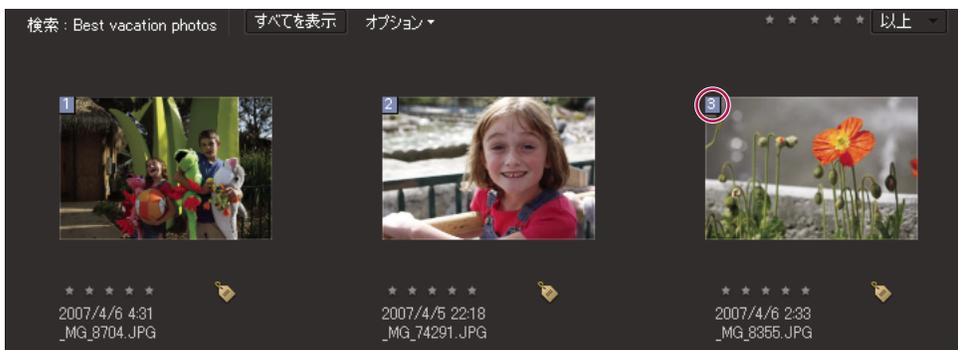
関連項目

- 69 ページの「[アルバム](#)」
- 69 ページの「[アルバムパネルの使用](#)」

アルバム内のアイテムの順序の変更

アルバム内のアイテムの順序を変更すると、表示順が変更されます。この方法で、作成するプロジェクト内のアイテムの順序を簡単に変更できます。

- 1 アルバムパネルで、アルバム名をクリックしてアルバムを選択します。
- 2 必要に応じて、メディアブラウザーの右上隅にあるメディアブラウザーエリアでのアイテムの並べ方メニューで、「アルバム順」を選択します。
- 3 メディアブラウザーで、次のいずれかの操作を行います。
 - 写真をアルバム内の新しい位置にドラッグします。



アルバム内の写真をドラッグします (上)。ドラッグすると、写真は新しい位置に表示され、順序を示す番号 (囲み) が変更されます (下)。

- アイテムの順序を最初の状態に戻すには、メディアブラウザーエリアでのアイテムの並べ方メニューから「日付 (古い順)」を選択します。

関連項目

- 69 ページの「[アルバム](#)」
- 69 ページの「[アルバムパネルの使用](#)」

アルバムおよびアルバムカテゴリの整理

初期設定では、最上位のアルバムが五十音順でリストされており、その後にアルバムカテゴリが五十音順でリストされています。これらの順序を変更することはできますが、アルバムカテゴリの後にアルバムを配置することはできません。

- 1 編集/環境設定/キーワードタグとアルバムを選択します。
- 2 アルバムカテゴリとアルバムの並べ替えオプションを「手動」に設定し、「OK」をクリックします。

3 アルバムパネルで、1つ以上のアルバムおよびアルバムカテゴリを選択します。

4 アルバム階層内の新しい場所にアイテムをドラッグします。

アルバムカテゴリを移動する場合、アルバムカテゴリに含まれるアイテムも一緒に移動します。

注意：下位にあるアルバムまたはアルバムカテゴリを、最上位にドラッグして移動することはできません。下位にあるアルバムを最上位に移動するには、アルバムを編集ダイアログボックスまたはアルバムカテゴリを編集ダイアログボックス内でそのグループを最上位に変更します。

関連項目

69 ページの「[アルバム](#)」

69 ページの「[アルバムパネルの使用](#)」

68 ページの「[キーワードタグパネルとアルバムパネルの環境設定](#)」

アルバム内の写真へのキーワードタグの適用

キーワードタグも、アルバムと同じように、写真や他のメディアファイルを整理するための方法の1つです。キーワードタグとアルバムは、同じアイテムに関連付けることができます。アルバムで写真を表示しながら、その写真にキーワードタグを適用することができます。

1 アルバムパネルで、アルバム名をクリックし、そのアルバム内の写真を表示します。

2 キーワードタグパネルをクリックします。

3 メディアブラウザー内のすべてのアイテムを選択するには、**編集/すべて**を選択を選択します。

4 キーワードタグを選択し、写真に適用します。

関連項目

69 ページの「[アルバム](#)」

69 ページの「[アルバムパネルの使用](#)」

52 ページの「[メディアファイルへのキーワードタグの適用](#)」

キーワードタグからのアルバムの作成

1 「整理」タブで、キーワードタグの隣にある三角形をクリックし、パネルを展開します。

2 キーワードタグ名の左側にあるボックスをクリックして選択します。そのタグが適用されているすべての写真がメディアブラウザーに表示されます。

3 メディアブラウザー内のすべてのアイテムを選択するには、**編集/すべて**を選択を選択します。

4 「整理」タブで、アルバムの隣にある三角形をクリックし、パネルを展開します。

5 次のいずれかの操作を行います。

- 写真をアルバムパネルのアルバムの上にドラッグします。
- アルバムを新規に作成し、写真をその上にドラッグします。

関連項目

69 ページの「[アルバム](#)」

69 ページの「[アルバムパネルの使用](#)」

第6章: Elements Organizer でのメディアファイルの検索

Elements Organizer では、日付、重要度、アルバム、フォルダーの保存先、ファイル名、メディアの種類、キーワードタグ、テキスト、またはその他の条件で写真とメディアファイルを検索することができます。また、あらゆるグループ内のファイルを、日付の昇順/降順、またはアルバム別に並べ替えることができます。

場合によっては、写真またはメディアの実際のファイルを検索する必要があります。例えば、ファイルをサーバーにアップロードしようとしている場合や、ドキュメントのレイアウトに埋め込もうとしている場合などです。

- 1 Elements Organizer で、ファイルを検索する写真またはメディアクリップを選択します。
- 2 Alt + Enter キーを押して、プロパティ - 一般ウィンドウを開きます。
- 3 フォルダーアイコンをクリックします。

注意: Elements Organizer を使用してメディアファイルを取り込めるだけでなく、Elements Editor でファイル/開くコマンドまたはファイル/配置コマンドを使用して Adobe® Elements Organizer 8 にメディアファイルを取り込むこともできます。これらのコマンドではファイルを直接参照することが可能で、検索するファイルの正確なパスとファイル名がわかっている場合に使用します。Elements Editor でのファイルの検索について詳しくは、ファイルを開くおよび新規レイヤーへの PDF、Adobe Illustrator または EPS のファイルの配置を参照してください。

関連項目

116 ページの「[Elements Organizer でのファイル情報の表示または編集](#)」

Elements Organizer でのメディアファイルの検索

Elements Organizer でのメディアファイルの検索オプション

Elements Organizer では、次の様々な方法でメディアファイルを検索することができます。

タイムグラフ 月をクリックするか、範囲を設定して、日付、取り込み順またはフォルダー毎のいずれかで写真とメディアファイルを検索します。

検索バー 写真、キーワードタグ、プロジェクトまたはアルバムを検索バーにドラッグして、一致または類似する写真とメディアファイルを検索します。

検索メニュー このメニューのコマンドを使用して、日付、キャプションまたはメモ、ファイル名、履歴、バージョン、メディアの種類、メタデータ、または類似性によってメディアファイルを検索します。タグ付きで顔が含まれる写真も検索できます (55 ページの「[タグ付けする人物の検索](#)」を参照してください)。日付や時刻が不明なアイテム、キーワードタグの付いていないアイテム、またはどのアルバムにも含まれていない写真やメディアを検索するコマンドもあります。

表示メニュー このメニューのコマンドを使用して、写真、ビデオ、オーディオ、プロジェクト、PDF など、ファイルの形式を選択して表示します。表示メニューには、「非表示」とマークされたメディアファイルを表示するオプションもあります (32 ページの「[非表示にしたメディアファイルの表示](#)」を参照してください)。

アルバムパネル アルバムを選択して、そのアルバム内のメディアファイルのみを表示します。

キーワードタグパネル キーワードタグを選択して、そのタグが付いているメディアファイルのみを表示します。

重要度フィルター 指定した重要度と等しい、より大きい、または小さい重要度が指定されているメディアファイルのみを表示します。

テキストボックス テキストを入力して、ファイル名、メタデータ、キャプション、メモ、日付、アルバム名に一致するテキストを持つメディアファイルを検索します。

タイムグラフ

Elements Organizer では、メディアファイルにタグが付けられていなくても、メディアブラウザーのタイムグラフですべてのメディアファイルが自動的に整理されます。タイムグラフは月と年に分かれています。タイムグラフで月をクリックすると、特定の月および年の画像を表示できます。タイムグラフの各バーの高さは、日付順、取り込み順またはフォルダー別に基づく、月毎のファイルの数に比例します。また、タイムグラフで特定の期間を選択すると、その期間に撮影またはスキャンしたメディアファイルが表示されます。タイムグラフ内のバーにマウスポインターを合わせると、ツールヒントにその期間が表示されます。



タイムグラフの使用

A. タイムグラフ矢印 B. グレーの領域は、設定された範囲外の写真を示します C. 設定点 D. 日付マーカ E. タイムグラフバー F. 一部ブランクバー G. バーの期間を表すツールヒント

タイムラインとキーワードタグを組み合わせ、検索条件を絞り込むことができます。例えば、一定の期間に撮影された Courtney の写真を検索するには、Courtney というキーワードタグで検索し、タイムグラフで Courtney のメディアファイルが含まれる月をクリックします。

タイムグラフの一部ブランクバーは、現在の検索結果に含まれていないメディアファイルがあることを示します。

画面表示メニュー  (Elements Organizer ウィンドウの右上隅) を使用すると、サムネール表示、取り込み順またはフォルダー毎のいずれかの順番でメディアファイルを表示および検索することができます。

画面表示メニューを使用して、メディアブラウザーの表示を選択します。

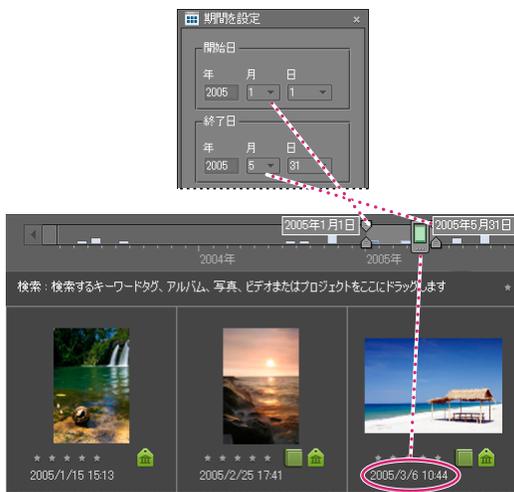
関連項目

81 ページの「[キーワードタグを使用したメディアファイルの検索](#)」

タイムグラフを使用したメディアファイルの表示および検索

- 1 メディアブラウザでタイムグラフが表示されていることを確認します。必要に応じて、ウィンドウ/タイムグラフを選択します。
- 2  画面表示を選択し、「サムネール表示」、「取り込み順」、「フォルダー毎」のいずれかを選択します。どれを選択するかによって、タイムグラフのバーが、月、取り込み順、フォルダーのいずれを表すのかが決まります。
- 3 次のいずれかの操作を行います。
 - タイムグラフの両端にあるスクロールボタン  を使用して、タイムグラフ内の検索対象部分に移動します。
 - タイムグラフのバーをクリックするか、日付マーカをドラッグすると、そのバーに関連するメディアファイルが表示されます。
 - タイムグラフの設定点  を左右にドラッグして表示範囲を指定します。
 - (日付順で並んでいる場合のみ) 検索/期間を設定を選択します。開始日と終了日を入力して表示範囲を指定し、「OK」をクリックします。日付範囲を最初の状態に戻すには、検索/期間を削除を選択します。

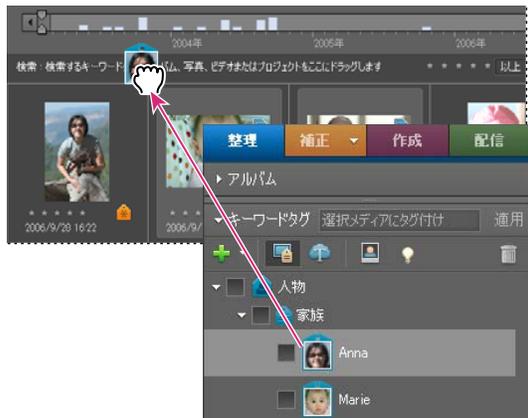
Elements Organizer で、指定した日付範囲のメディアファイルがメディアブラウザに表示されます。設定点をドラッグして表示する期間をさらに絞り込むことができます。



検索/期間を設定から、日付範囲を設定します。

検索バーを使用した検索

キーワードタグを検索バーにドラッグしてすばやくアイテムを検索することができます。検索バーは、使用していないときには、メディアブラウザの上に横長のバーの状態が表示されています。検索バーにキーワードタグをドラッグすると、検索バーは自動的に拡張し、検索条件として選択したキーワードタグのアイコンが表示されます。検索を絞り込むには、検索条件として追加するキーワードタグを検索バーにドラッグします。検索バーで、アルバムまたはプロジェクトで使用されているメディアファイルを検索することもできます。



キーワードタグを検索バーにドラッグ

- 1 メディアブラウザーとキーワードタグパネルが開いていることを確認します。
- 2 キーワードタグを検索バーにドラッグします。すぐに検索が開始され、検索で使ったキーワードタグのアイコンが検索バーに表示されます。
- 3 (オプション) 他のキーワードタグを検索バーに追加して検索を絞り込みます。一度に複数のキーワードタグを検索バーにドラッグして追加することができます。連続した複数のキーワードタグを選択するには、**Shift** キーを押しながらキーワードタグパネル上で選択対象の最初と最後のタグをクリックします。連続していない複数のタグを選択するには、**Ctrl** キーを押しながらタグを1つずつクリックします。
- 4 新しい検索を開始するには、キーワードタグ、カテゴリまたはサブカテゴリを右クリックし、コンテキストメニューから「[キーワードタグ、カテゴリまたはサブカテゴリの名前]を使用して新規検索」を選択します。
- 5 検索バーを閉じるには、「すべてを表示」をクリックします。

関連項目

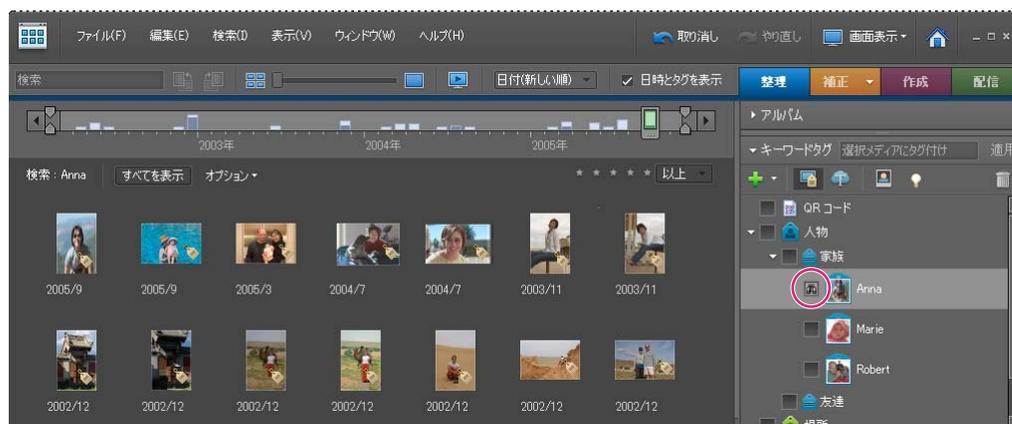
50 ページの「[キーワードタグ](#)」

84 ページの「[検索からのメディアファイルの除外](#)」

キーワードタグによるメディアファイルの検索

キーワードタグを使用したメディアファイルの検索

キーワードタグにより、写真やその他のファイルをすばやく検索することができます。キーワードタグを使用して写真およびメディアファイルを検索すると、検索バーが拡張され、選択したキーワードタグが表示されます。キーワードタグパネルでタグを選択すると、選択したタグが適用されている写真が検索されます。



タグ名の横にあるボックスをクリックして、特定のキーワードタグが付いたメディアファイルを検索します。

- キーワードタグパネルで、タグ名の横にあるボックスをクリックするか、タグアイコンを検索バーにドラッグします。検索条件に複数のキーワードタグを含めることができます。

Elements Organizer では、検索条件として指定したキーワードタグが付いているメディアファイルが検索されます。検索条件に完全に一致する写真が見つからない場合、一部のキーワードタグが一致する類似メディアファイルがメディアブラウザーに表示されます。

- 検索する日付の範囲を定義するには、メディアブラウザーエリアでのアイテムの並べ方メニューで「日付」オプションを指定し、タイムグラフの設定点を日付範囲の開始日と終了日にドラッグします。
- 検索条件からキーワードタグを削除するには、検索バーでタグをダブルクリックします（最後に追加したタグを削除するにはツールバーの戻るボタンをクリックします）。
- 検索から特定のキーワードタグの付いたメディアファイルを除外するには、キーワードタグパネルでタグを右クリックし、「検索結果から [キーワードタグ、カテゴリまたはサブカテゴリの名前] を含む写真を除外」を選択します。

注意：「写真を除外」コマンドを使用すると、例えば、自分だけが写っているメディアファイルを検索できます。まず自分のキーワードタグを検索し、次にその他の人物のタグのカテゴリ全体を除外します。これで、自分だけが写っており、他の人物が写っていないメディアファイルが検索されます。

関連項目

80 ページの「[検索バーを使用した検索](#)」

50 ページの「[キーワードタグ](#)」

89 ページの「[詳細（メタデータ）によるメディアファイルの検索](#)」

キーワードタグを使用した検索結果のビューの表示

キーワードタグを使用して検索すると、Elements Organizer により一致するアイテム、類似するアイテム、一致しないアイテムごとに検索結果がグループ化されます。初期設定では、一致するアイテムのビューが表示されますが、別のビューも選択できます。

- 1 「すべてを表示」ボタンの横にある「オプション」をクリックし、検索条件ポップアップメニューを表示します。
- 2 「条件に最も近いアイテムを非表示」または「条件に一致しないアイテムを表示」を選択します。結果は次のようにグループ化されます。

一致するアイテム 検索条件として選択したキーワードタグがすべて適用されているアイテム（メディアファイル）です。検索に使用するキーワードタグを増やして検索条件を絞り込むほど、一致するアイテムは少なくなります。

類似するアイテム 検索条件として指定したキーワードタグのうち、(すべてではなく) いずれかのタグが1つでも適用されているアイテムのことを類似するアイテムといいます。類似するアイテムには、そのサムネールに、青い円に白いチェックマークの付いたアイコン  が表示されます。例えば、複数の場所カテゴリのタグで検索すると、1つの場所カテゴリのキーワードタグだけが付いた写真は一致するアイテムとして表示されます。検索したいいずれかのキーワードタグを含むメディアファイルを表示するには、このグループを選択します。

 検索実行後に類似する写真を自動的に表示するには、編集/環境設定/一般を選択し、「検索で類似するアイテムを表示」を選択してから、「OK」をクリックします。

一致するアイテムなし 検索条件として選択したキーワードタグが1つも適用されていないアイテムです。一致しないアイテムのサムネールには、アイテム不一致アイコン  が表示されます。

キーワードタグの付いていないメディアファイルの検索

❖ メディアブラウザーで、検索/タグなしアイテムを選択します。

メディアブラウザーには、カタログ内でキーワードタグの付いていないすべてのメディアファイルが表示されます。

キーワードタグ検索の取り消し

❖ カタログのすべてのメディアファイルに戻るには、「すべてを表示」をクリックします。

選択したキーワードタグに基づく検索

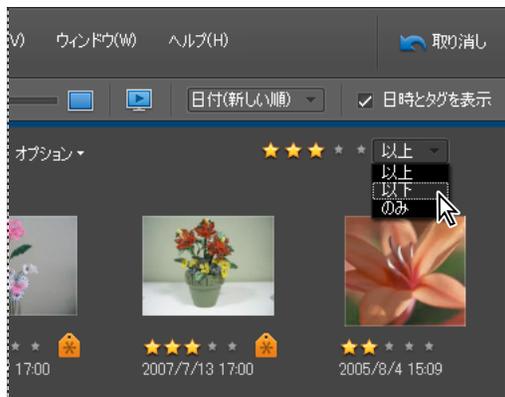
❖ キーワードタグを右クリックし、「[キーワードタグ、カテゴリまたはサブカテゴリの名前]」を使用して新規検索」を選択します。

重要度を使用した検索

重要度フィルターを使用すると、お気に入りの(または気に入らない)写真、ビデオクリップ、オーディオクリップ、プロジェクトを簡単に検索することができます。さらに、重要度とキーワードタグを組み合わせることで検索条件に指定することもできます。

1 メディアブラウザーで、重要度を表す星のいずれかを選択します。

2 星の横にある重要度メニューから、いずれかのオプションを選択します。



重要度メニューからオプションを選択

関連項目

50 ページの「[キーワードタグ](#)」

80 ページの「[検索バーを使用した検索](#)」

検索からのメディアファイルの除外

検索結果から不必要なメディアファイルを除外して、さらに結果を絞り込むことができます。例えば、「友達」サブカテゴリで検索を実行後、特定の友達のキーワードタグに対して「検索結果から～を含む写真を除外」コマンドを適用すると、該当するタグ付きのメディアファイルを「友達」サブカテゴリの検索結果から除外できます。カテゴリ全体またはサブカテゴリ全体を検索から除外することもできます。

1 次のいずれかの操作を行います。

- キーワードタグパネルで、検索から除外するメディアファイルのキーワードタグを右クリックし、「検索結果から [キーワードタグ、カテゴリまたはサブカテゴリの名前] を含むメディアを除外」を選択します。
- 検索バーでキーワードタグを右クリックし、「[キーワードタグ、カテゴリまたはサブカテゴリの名前] を含む写真を除外」を選択します。または、キーワードタグをダブルクリックして、そのタグを検索バーから削除します。

2 キーワードタグを検索結果から除外するコマンドを取り消すには、キーワードタグパネルで、キーワードタグの横にある除外アイコン  をクリックします。

 特定の個人または被写体だけを対象に写真を検索するには、カテゴリまたはサブカテゴリを除外し、除外したカテゴリまたはサブカテゴリ内で特定のキーワードタグを検索します。例えば、友達の Chiara が他の友達と写っている写真は除外し、Chiara だけの写真を検索する場合、「Chiara」キーワードタグを検索してから、「友達」サブカテゴリに「除外」コマンドを適用します。「友達」サブカテゴリの他のキーワードタグも関連付けられている写真を除外することによって、「Chiara」キーワードタグだけが関連付けられた写真を Elements Organizer で検索することができます。

関連項目

65 ページの「[キーワードタグのカテゴリまたはサブカテゴリの編集](#)」

内容、種類およびメタデータによるメディアファイルの検索

検索ボックスを使用したメディアファイルの検索

様々な検索条件を指定することで、効率的かつ簡単にメディアファイルを検索することができます。検索ボックスを使用して、テキストベースの検索を実行できます。名前または単語を入力すると、メディアファイルに含まれる様々な条件と検索したテキストの一致するメディアファイルが Elements Organizer で表示されます。検索の対象には、次の項目が含まれません。

- 作成者
- キャプション
- 日付
- 日付形式
- ファイル名
- キーワードタグ
- メタデータ
- メモ

- アルバム名
- アルバムグループ
- カメラ情報
- カメラメーカー
- カメラの機種
- フォルダー
- 形式

テキスト検索では、「AND」、「OR」、「NOT」の演算子を使用することもできます。使用する場合、演算子の前後にはスペースを入れる必要があります。次の表に、テキストベースの検索に使用できる検索条件の詳細を記載しています。

検索条件	説明	形式	例
日付	指定した日付に一致するメディアエレメントを表示します。	<ul style="list-style-type: none"> • 日付：dd/mm/yyyy • 日付：mm/dd/yyyy • 日付：yyyy • 日付：今年 • 日付：昨年 • 日付：今日 • 日付：先週 	
タグ	指定したタグに一致するメディアエレメントを表示します。	タグ：<タグ名>	タグ：人物
ファイル名	指定したファイル名に一致するメディアエレメントを表示します。	ファイル名：<ファイル名>	ファイル名：_MG_7409.jpg または ファイル名：_MG_7409
キャプション	指定したキャプションに一致するメディアエレメントを表示します。	キャプション：<キャプション>	キャプション：ディズニーランド
メーカー	指定したカメラのメーカーに一致するメディアエレメントを表示します。	メーカー：<カメラのメーカー>	メーカー：Canon
機種	指定したカメラの機種に一致するメディアエレメントを表示します。	機種：<機種名>	機種：Canon EOS 5D
作成者	指定した作成者名に一致するメディアエレメントを表示します。	作成者：<作成者名>	作成者：James
メモ	指定したメモに一致するメディアエレメントを表示します。	メモ：<メモ>	メモ：ディズニーランド旅行

検索ボックスには、入力した文字に基づいて既存のタグのリストが表示されます。例えば、「Disneyland」という名前のタグが適用されている写真やビデオを検索する場合、検索ボックスに「D」と入力します。検索ボックスに「D」から始まるタグのリストが表示されます。さらにテキストを入力すると、リストが動的に変更され、入力したテキストに一致するタグが表示されます。リスト内のいずれかのアイテムをクリックすると、そのタグに対して検索が実行され、Elements Organizer に結果が表示されます。

キャプションまたはメモによるメディアファイルの検索

「キャプションまたはメモ」コマンドまたは「詳細（メタデータ）」コマンドのいずれかを使用してキャプションやメモを検索できます。他の検索条件と組み合わせてキャプションやメモを検索する場合は、「詳細（メタデータ）」コマンドを使用します。

- 1 メディアブラウザが開いていることを確認し、検索／キャプションまたはメモを選択します。
- 2 キャプションまたはメモで検索ダイアログボックスで、テキストボックスに検索文字列を入力します。
- 3 次のいずれかを選択し、「OK」をクリックします。

キャプションまたはメモの最初の部分のみを検索 入力した文字列から始まるキャプションまたはメモが付いているメディアファイルやその他のファイルを検索します。

キャプションまたはメモの全体を検索 入力した文字列の一部を含むキャプションまたはメモが付いている写真やその他のファイルを検索します。

関連項目

113 ページの「[ファイルへのキャプションの追加](#)」

114 ページの「[ファイルへのメモの追加](#)」

ファイル名によるメディアファイルの検索

「ファイル名」コマンドまたは「詳細（メタデータ）」コマンドのいずれかを使用して、ファイル名で検索できます。ファイル名と他の検索条件を組み合わせて検索する場合は、「詳細（メタデータ）」コマンドを使用します。

- 1 Elements Organizer で、検索／ファイル名を選択します。
- 2 ファイル名で検索ダイアログボックスに検索する文字を入力して「OK」をクリックすると、入力した文字がファイル名に含まれる写真が検索されます。

 ファイル名で検索ダイアログボックスにファイルの拡張子（JPEG、BMP など）を入力して、ファイル形式でファイルを検索することもできます。

関連項目

110 ページの「[ファイル名とバージョン](#)」

すべてのバージョンセットの検索

すべてのバージョンセットを検索すると、各セットの先頭の写真が Elements Organizer に表示されます。必要に応じて各セットを展開できます。

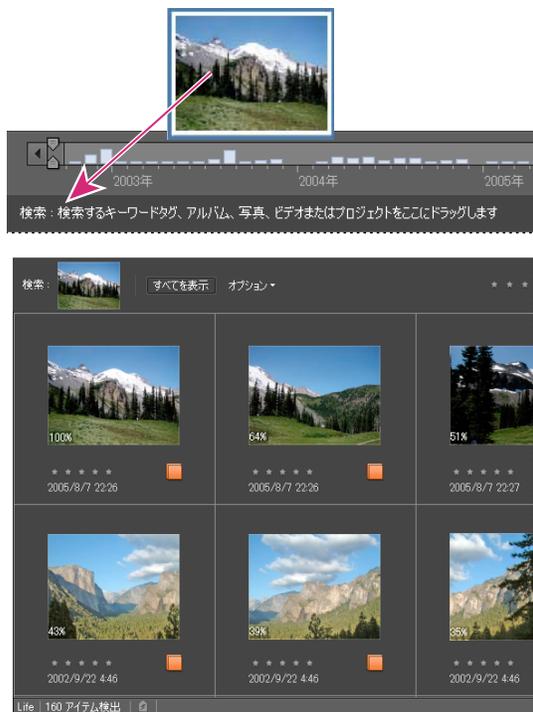
- 1 メディアブラウザで、検索／すべてのバージョンセットを選択します。
- 2 バージョンセットを展開するには、バージョンセットを右クリックし、バージョンセット／バージョンセットのアイテムを展開を選択します。

見た目の類似した写真の検索

被写体、色または全体的な見た目が類似した画像を検索できます。

- ❖ メディアブラウザで、次のいずれかの操作を行います。
 - 1～4つの画像を検索バーにドラッグします。
 - 1～4つの画像を選択し、検索／選択した写真およびビデオと色が類似するアイテムを選択します。

視覚的に類似する写真が、類似性の高いものから順に表示されます。各画像の左下隅に類似性のパーセンテージが表示されます。



写真を検索バーにドラッグして視覚的に類似する写真を検索します。

関連項目

80 ページの「[検索バーを使用した検索](#)」

84 ページの「[検索からのメディアファイルの除外](#)」

プロジェクトで使用されている写真の検索

❖ 次のいずれかの操作を行います。

- メディアブラウザーでプロジェクトを右クリックし、「プロジェクトで使用されているアイテムをメディアブラウザーで表示」を選択します。メディアブラウザーに写真が表示されます。このコマンドは、プロジェクトの写真のキャプションを編集するとき、またはまとめて変更を加えるときに便利です。
- プロジェクトを検索バーにドラッグして、メディアブラウザーに写真を表示します。
- 検索／履歴／プロジェクトで使用したアイテムを選択します。プロジェクトのリストが表示されます。プロジェクトをダブルクリックするか、1つまたは複数のプロジェクトを選択して「OK」ボタンをクリックすると、プロジェクトで使用されているメディアが表示されます。

 写真がプロジェクトで使用されているかどうかは、プロパティパネルの履歴でも確認できます。

関連項目

84 ページの「[検索からのメディアファイルの除外](#)」

メディアの種類によるファイルの検索

特定の種類のメディアファイルだけをメディアブラウザーに表示することができます。メディアの種類を選択すると、写真、オーディオおよび作品など、特定のアイテムの種類を対象に検索を実行できます。他の検索条件と組み合わせてメディアの種類で検索する場合は、**検索／詳細**（メタデータ）コマンドを使用します。

❖ メディアブラウザーで、**検索／メディア**の種類を選択し、次のいずれかのオプションを選択します。

写真 写真のみが表示されます。

ビデオ ビデオクリップのサムネール（ビデオクリップの最初のフレーム）のみが表示されます。

オーディオ オーディオクリップのみが表示されます。

プロジェクト 以前のバージョンの Elements Organizer で作成したプロジェクトだけが表示されます。

PDF PDF ファイルが表示されます。

オーディオキャプション付きのアイテム オーディオキャプションが付いている写真やプロジェクトだけが表示されます。

選択した種類のファイルがメディアブラウザーに表示されます。

関連項目

84 ページの「[検索からのメディアファイルの除外](#)」

アルバムまたはスマートアルバムでのメディアファイルの検索

他の検索条件と組み合わせてアルバム内で検索する場合は、**検索／詳細**（メタデータ）コマンドを使用します。それ以外の場合は、次の手順に従います。

1 メディアブラウザーで、次のいずれかの操作を行います。

- アルバムアイコンまたはスマートアルバムアイコンを検索バーにドラッグします。
- アルバムアイコンを右クリックし、「[アルバム名] アルバムのアイテムを検索」を選択します。
- どのアルバムにも含まれない写真を検索するには、**検索／アルバムなし**のアイテムを選択します。



アルバムまたはスマートアルバムをクリックして、そのアルバム内の画像を表示します。

2 検索をキャンセルしてカタログを表示するには、「すべてを表示」ボタンをクリックするか、検索バーでアルバム名をダブルクリックします。

注意：スマートアルバムの検索条件と、キーワードタグの条件を共に使用して写真を検索することはできません。いずれか一方を使用してください。

関連項目

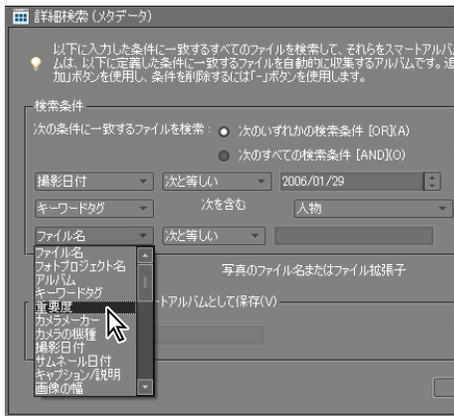
- 69 ページの「[アルバム](#)」
- 60 ページの「[キーワードタグを使用したメディアファイルの検索](#)」
- 80 ページの「[検索バーを使用した検索](#)」

詳細（メタデータ）によるメディアファイルの検索

ファイルの詳細情報や利用可能なメタデータによって画像を検索できます。メタデータによる検索は、複数の条件を使用して一度に検索する場合に便利です。例えば、2005年12月31日に撮影した、「母」のキーワードタグを含むすべての写真を検索する場合、詳細検索（メタデータ）ダイアログボックスで撮影日付とキーワードタグの両方を検索条件として指定できます。

検索可能なメタデータには、ファイル名、ファイルの種類、キーワードタグ、アルバム、メモ、作成者、撮影日付などの条件、およびカメラの機種、シャッタースピード、F-Stop（絞り値）などが含まれます。

注意：Camera Raw ファイルを検索すると、拡張子 .tif の TIFF ファイルも検索されます。



詳細検索（メタデータ）ダイアログボックスを使用して様々な写真の詳細情報を同時に検索します。

- 1 メディアブラウザーで、**検索／詳細（メタデータ）**を選択します。
- 2 詳細検索（メタデータ）ダイアログボックスで、最初のポップアップメニューからメタデータの種類を選択します。
- 3 2番目のポップアップメニューで、「次で始まる」、「次の数値よりも大きい」、「含む」など、検索の範囲を選択します。この範囲指定によって、3番目のポップアップメニューに入力するテキストを、検索条件としてどのように使用するかを Elements Organizer に指示します。一部の条件にはこのポップアップメニューは表示されません。
- 4 3番目のポップアップメニューで、検索するメタデータの名前または値を入力または選択します。
- 5 検索条件に他のメタデータも指定するには、3番目のポップアップメニューの右側にあるプラス（+）記号をクリックし、表示される2つまたは3つのポップアップメニューで新しい値を指定します。
- 6 検索条件からメタデータを削除するには、削除するメタデータの右側にあるマイナス（-）記号をクリックします。
- 7 「**検索**」をクリックします。
- 8 検索条件を変更するには、検索バーでオプション／検索条件を変更をクリックし、必要に応じて変更を行って、「**OK**」をクリックします。

履歴によるメディアファイルの検索

Elements Organizer では、メディアファイルの取り込み、利用、配信方法または書き出し方法などの過去に行った作業を履歴として管理することができます。この履歴を使用して、写真およびメディアファイルを検索することができます。

- 1 メディアブラウザーで、検索／履歴を選択します。履歴サブメニューに表示されている検索条件項目を使用して検索することができます。
- 2 1つ以上の [取り込んだ、電子メールに添付した、など] アイテムを選択ダイアログボックスで、リスト内のアイテムを選択して、「OK」をクリックします。

注意：リストから特定の履歴を完全に削除するには、1つ以上の [取り込んだ、電子メールに添付した、など] アイテムを選択ダイアログボックスでリストアイテムを選択し、「削除」ボタンをクリックするか、キーボードの Delete キーを押します。「削除」ボタンは、取り込んだアイテムの履歴またはプロジェクトで使用したアイテムの履歴には使用できません

日付または時間が不明なメディアファイルの検索

- ❖ メディアブラウザーで、検索／日付または時間が不明なアイテムを選択します。日時が不明なアイテムがメディアブラウザーに表示されます。

関連項目

80 ページの「[タイムグラフを使用したメディアファイルの表示および検索](#)」

第7章：ファイルとカタログの管理

カタログにメディアファイルを取り込んで、Elements Organizer でメディアファイルを整理する場合は、Elements Organizer を使用して様々な方法でファイルを管理することもできます。例えば、関連する写真（同じ被写体を異なる露出設定や異なるカメラアングルで連続撮影した写真など）をまとめてスタックにすることができます。同様に、同じ写真に異なる編集を施したファイルをバージョンセットとしてまとめることもできます。また、Elements Organizer では、ファイル情報、キャプション、メモなどを表示して変更することもできます。

メディアファイルのカタログへの取り込み方法については、12 ページの「[Elements Organizer への写真やビデオの取り込み](#)」を参照してください。メディアファイルの整理方法については、50 ページの「[キーワードタグ](#)」と 69 ページの「[アルバム](#)」を参照してください。

カタログの管理

カタログ

カタログは、コンピューターやその他のストレージメディアに保存したすべてのメディアファイル、またはそのサブセットを表します。通常は 1 つのカタログだけですべてのメディアを参照しますが、複数のカタログを作成して、それぞれに固有のファイルセットを格納することもできます。

ファイルをカタログに入れておくと、Elements Organizer を使用してファイルの検索、並べ替えおよび修正を行うことができます。また、カタログをアルバムとしてまとめたり、キーワードタグや重要度でグループ化することもできます。元のファイルを CD やハードディスク上のフォルダー構造に保存している場合でも、カタログと Elements Organizer を使用することができます。

Elements Organizer を起動してメディアファイルを取り込むと、カタログが自動的に作成されます。カタログでは、データの管理情報だけが保存されるので、コンピューターやディスクなどのメディアに保存している写真、ビデオファイル、オーディオクリップおよびプロジェクトを簡単に管理することができます。カタログは、個々の写真やメディアファイルに関する情報で構成されますが、実際のメディアファイル自体は含んでいません。

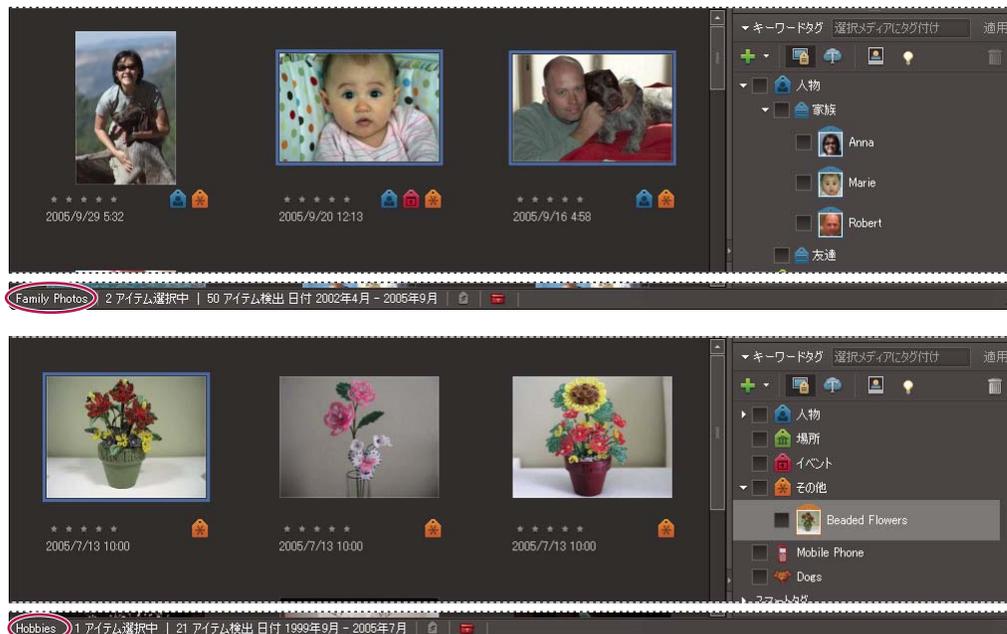


Photoshop Elements のカタログは、コンピューター上の写真ファイル、ビデオファイル、およびオーディオファイルを参照し、それぞれのサムネールをメディアブラウザに表示します。

重要：メディアファイルは、Elements Organizer ではなく、元の保存場所に置かれたままになります。代わりに、Elements Organizer はオリジナルファイルに対するリンクを作成します。オリジナルファイルを削除すると、Elements Organizer からそのファイルにアクセスできなくなります。

カタログは、メディアファイルへのリンクを含むデータベースのようなものです。Elements Organizer は、これらのリンクを使用して、メディアファイルの保存場所、ファイル形式、適用されているキーワードタグ、メディアファイルが撮影された日付などの情報を取得します。これによって、メディアファイルを柔軟に管理、識別および整理できます。

Elements Organizer を起動してメディアファイルを取り込むと、カタログが自動的に作成されますが、複数のカタログを作成することもできます。ほとんどの場合は複数のカタログは必要ありませんが、友達や家族が同じコンピューター上の Elements Organizer を共有しており、写真、ビデオファイルおよびキーワードタグの構成を各自で持ちたい場合には便利です。また、仕事用のメディアファイルと個人的なメディアファイルとでカタログを個別に作成する場合にも適しています。



異なるカタログを作成すると、各カタログに異なるキーワードタグや写真を使用できます

カタログに含まれる情報

Elements Organizer は、写真、ビデオファイルおよびオーディオクリップに関する次の情報をカタログに保存します。

- ファイルのパス（保存場所）とファイル名
- オーディオファイルのパス（保存場所）とファイル名
- フル解像度（写真のオリジナルの解像度）のオリジナルファイルのパス（保存場所）、ファイル名およびボリューム名（リンクしているオリジナルファイルが、CD または DVD などのオフラインメディアに保存されている場合）
- 編集前のオリジナルファイルのパス（保存場所）とファイル名（ファイルを編集した場合）
- 取り込んだメディアファイルで使用されたカメラまたはスキャナーの名前
- メディアファイルに追加したキャプション
- メディアファイルに追加したメモ
- メディアの種類（写真、ビデオファイル、オーディオクリップまたはプロジェクトのいずれか）
- メディアファイルの作成日時と修正日時
- メディアファイルに適用したキーワードタグ
- メディアファイルが含まれているアルバム

- メディアファイルの履歴：ローカルのプリンターでプリントされたか、書き出されたか、電子メールまたはオンラインで配信されたか、**Adobe Photoshop** サービスを使用してオンライン写真プリントサービスに送信されたか、が示されます。オンラインソースから受信したかどうか、または取り込まれたグループ（取り込み日時を含む）も表示されます。
- メディアファイルに対して行った編集操作（回転、切り抜き、および赤目の修正など）
- 写真およびビデオファイルの画像サイズ
- プロジェクトの設定（プロジェクトタイプ、キャプションやページ番号の表示など）
- 画像サイズ、Exif、著作権、IPTC 情報、ファイル形式などの情報を含むメタデータ

カタログの作成

複数のカタログがある場合は、一度に複数のカタログを開くことはできません。また、カタログ間でメディアファイルやキーワードタグを移動したり、複数のカタログを対象に検索したりすることはできません。

- 1 メディアブラウザーまたは日付表示で、ファイル／カタログを選択します。
- 2 カタログのプリセットの場所を選択するには、「すべてのユーザーがアクセス可能なカタログ」または「現在のユーザーがアクセス可能なカタログ」を選択します。ユーザー定義の場所を選択するには、「ユーザー定義の場所」をクリックし、「参照」をクリックして場所を参照します。
- 3 「新規」をクリックし、新規カタログの名前を入力ダイアログボックスにカタログの名前を入力し、「OK」をクリックします。

カタログ名の変更

カタログ名の変更には、カタログマネージャーを使用します。

- 1 Photoshop Elements Editor が閉じていることを確認します。
- 2 Elements Organizer で、ファイル／カタログを選択します。
- 3 カタログマネージャーで、リストからカタログの名前を選択します。
- 4 「名前変更」をクリックします。新しい名前を入力し、「OK」をクリックします。
- 5 「キャンセル」をクリックしてカタログマネージャーを閉じます。

カタログの削除

- 1 Photoshop Elements Editor が閉じていることを確認します。
- 2 ファイル／カタログを選択します。
- 3 カタログマネージャーに 2 つ以上のカタログがリストされていることを確認してください。必要に応じて、新しいカタログを作成します。93 ページの「[カタログの作成](#)」を参照してください。
- 4 削除するカタログ以外のカタログを開きます。95 ページの「[カタログを開く](#)」を参照してください。
- 5 カタログマネージャーで、削除するカタログをハイライトします。
- 6 「削除」をクリックします。次に、「はい」をクリックします。
- 7 カタログマネージャーを閉じるには、「キャンセル」をクリックします。

カタログの最適化

カタログを最適化すると、カタログが使用するスペースを節約し、パフォーマンスを向上することができます。

- 1 Photoshop Elements Editor が閉じていることを確認します。

- 2 ファイル／カタログを選択します。
- 3 カタログマネージャーで、最適化するカタログを選択します。
- 4 「最適化」をクリックします。

カタログとサムネールのキャッシュの最適化が完了すると、ダイアログボックスが表示されます。

カタログの修復

停電やコンピューターの故障によってカタログが破損した場合は、カタログに問題があることを知らせるメッセージが Elements Organizer に表示されます。このようなときは、「修復」コマンドを使用してカタログを修復します。Photoshop Elements では、カタログデータベースまたはサムネールのキャッシュ内に存在するエラーを発見し、修復することができます。

- 1 Photoshop Elements Editor が閉じていることを確認します。
- 2 ファイル／カタログを選択します。
- 3 カタログマネージャーで、修復するカタログを選択します。
- 4 「修復」をクリックします。

3つのダイアログボックスのいずれかが開きます。これらの最初の3つのダイアログボックスでは、「アイテムの類似性データのインデックスを再作成」を選択できます。

- 5 次のいずれかの操作を行います。

- ダイアログボックスに「カタログにエラーは見つかりませんでした。」と表示される場合は、「OK」または「修復する」をクリックします。
- カatalogにはエラーがないが、サムネールキャッシュにはエラーがあるとダイアログボックスに表示される場合は、「サムネールキャッシュを削除」をクリックすると、キャッシュの削除と再生成が行われます。
- エラーが見つかったとダイアログボックスに表示される場合は、「OK」または「キャンセル」とクリックします。サムネールキャッシュにもエラーが検出された場合、自動的にキャッシュの削除と再生成が行われます。
- カatalogが回復不能であるとダイアログに表示される場合は、カタログのバックアップを読み込むことを検討してください。

カタログの変換

以前のバージョンの Photoshop Elements または **Photoshop Album** を使用して作成されたカタログを、最新バージョンの Photoshop Elements で使用できるように変換することができます。

- 1 ファイル／カタログを選択します。
- 2 「変換」をクリックします。

カタログを変換ダイアログボックスが開き、Photoshop Elements および Photoshop Album のカタログの初期設定の保存場所が検索されます。

- 3 (オプション) カatalogの別の保存場所も検索するには、「他のカタログを検索」をクリックし、それらの保存場所を検索します。
- 4 変換するカタログをリストから選択し、「変換」をクリックします。
- 5 カatalogの変換ダイアログボックスを閉じるには、「完了」をクリックします。

カタログを以前の状態に戻す

作成したカタログを以前の保存状態に戻したいことがあります。例えば、現在のカタログから誤ってメディアファイルを削除してしまったため、それを復元したい場合などです。「カタログを復元」コマンドを実行すると、カタログ、写真、ビデオファイル、オーディオクリップ、PDF およびプロジェクトのバックアップコピーが Elements Organizer に取り込まれます。このコマンドを使用して、カタログや写真、ビデオファイルを他のコンピューターに移動することもできます。その場合は、「カタログをバックアップを作成」コマンドを使用してすべてのファイルを書き込み可能な CD または DVD にコピーしてから、「カタログを復元」コマンドを使用して別のコンピューターに書き込みます。

1 次のいずれかの操作を行います。

- CD や DVD などのリムーバブルメディアにバックアップした場合は、コンピューターにメディアを挿入します。
- 外部ハードディスクにバックアップした場合は、そのハードディスクがコンピューターに接続されていることを確認します。

2 メディアブラウザーまたは日付表示で、ファイル / CD、DVD またはハードドライブからカタログを復元を選択します。

3 「復元するバックアップの場所」で、復元するファイルが保存されている場所を指定します。

- バックアップファイルが CD または DVD のどちらかに保存されている場合は、「CD/DVD」を選択します。必要に応じて、ドライブを選択メニューを使用して CD または DVD のドライブを選択します。

注意：マルチセッションバックアップファイルが入った CD または DVD からファイルを復元する場合は、ドライブを選択メニューを使用して最新のバックアップを選択します。

- バックアップファイルがハードディスク、またはフラッシュメディアなどの他のメディアに保存されている場合は、「ハードディスク / その他のボリューム」を選択します。復元するバックアップファイルを検索するには、「参照」ボタンをクリックします。

4 カタログおよびファイルの復元先を指定します。

- 「元の場所」を選択すると、カタログ、写真、ビデオファイル、PDF、プロジェクトおよびオーディオクリップが元の場所に復元されます。
- 「新規の場所」を選択すると、カタログおよび画像が新規のドライブまたはフォルダーに復元されます。別の保存先を選択するには、「参照」ボタンをクリックします。「元のフォルダー構造を復元」を選択すると、カタログ、写真、ビデオファイル、PDF、プロジェクトおよびオーディオクリップを含むフォルダーとサブフォルダーの階層が保持された状態で復元されます。

5 「復元」をクリックします。

注意：「CD / DVD」を選択している場合は、Elements Organizer からカタログの復元に複数のディスクが必要かどうかを問い合わせるメッセージが表示されます。画面の指示に従ってください。1つのバックアップセットだけを復元する場合と、1つのバックアップセットと差分バックアップを復元する場合とは手順が異なります。

カタログを開く

1 メディアブラウザーまたは日付表示で、ファイル / カタログを選択します。

2 カタログマネージャーダイアログボックスのリストからカタログを選択します。

3 「開く」ボタンをクリックします。

 Shift キーを押しながら Elements Organizer を起動すると、カタログマネージャーから開始することができます。
 Photoshop Elements Editor で、Shift キーを押しながら「Elements Organizer」ボタン  をクリックした場合も、同様に Elements Organizer カタログマネージャーが開きます。

CD、DVD、またはハードディスクへのカタログのバックアップ

 この手順に関するビデオについては、www.adobe.com/go/lrvid2305_pse8_jp を参照してください。

ハードディスクから普段あまり使用しないメディアファイルやフル解像度（写真のオリジナルの解像度）のマスターを削除して、CD や DVD、ローカルやネットワークのハードディスクにコピーして、ハードディスクの空き容量を確保することができます。Elements Organizer の「カタログのバックアップを作成」コマンドを使用して、このタスクを実行することができます。

注意：メディアブラウザーで選択した写真を CD または DVD に書き込んで、コンピューターや一般の DVD プレーヤーで再生することもできます。136 ページの「[スライドショーの出力](#)」を参照してください。

カタログをバックアップするコマンドを実行すると、カタログ、メディアファイル（オリジナルと編集後のバージョン）、PDF およびプロジェクトを、CD、DVD またはローカルのハードディスクにコピーすることができます。カタログやメディアファイルのバックアップをハードディスクに保存しておくこともできます（コンピューターの空き容量に余裕がある場合）。

CD または DVD にバックアップを作成する場合は、書き込み可能な CD または DVD ドライブをコンピューターに接続しておく必要があります。差分バックアップの場合は、前回の完全バックアップを保存したメディアを用意する必要があります。

 CD や DVD で使用可能な領域をすべて使用できるように、Elements Organizer では 1 枚のディスクに複数のセッションを書き込むことができます。編集/環境設定/ファイルを選択し、「CD / DVD へのマルチセッションの書き込みを有効にする」を選択します。

- 1 複数のカタログがある場合は、バックアップするカタログを開きます。
- 2 メディアブラウザーまたは日付表示で、ファイル/カタログを CD、DVD またはハードドライブにバックアップを選択します。
- 3 バックアップの作成前に見つからないファイルを確認ダイアログボックスが表示されたら、次のいずれかの操作を行います。
 - 「再リンク」をクリックして、見つからないファイルを確認します。「再リンク」をクリックして、見つからないファイルがあった場合は、見つからないファイルを再リンクダイアログボックスが表示され、そのファイルに再リンクするように促されます。
 - 「続行」をクリックすると、バックアップファイルの作成を続行します。Elements Organizer は、修復手順を自動的に実行します。

注意：再リンクされないアイテムがあってもバックアップを継続することを選択した場合、このバックアップを復元すると、再リンクされていないアイテムを持つカタログが作成されます。

- 4 バックアップウィザードのステップ 1 で、次のオプションのいずれかを選択し、「次へ」をクリックします。

完全バックアップ カatalog全体と、写真ファイル、ビデオファイル、オーディオクリップ、PDF、プロジェクトおよびその他の関連ファイルのすべてがコピーされます。ファイルのバックアップを初めて作成する場合は、このオプションを選択してください。

差分バックアップ 現在のカタログと、前回の完全バックアップまたは差分バックアップを作成した時の差分のデータとなる、新規作成または変更されたメディアファイル、PDF、プロジェクトおよびその他の関連ファイルだけがコピーされません。

- 5 バックアップウィザードのステップ 2 で、次のオプションを設定し、「完了」をクリックします。
 - 「保存先ドライブを選択」の一覧から、アイテムの書き込み先として CD、DVD、またはハードディスクを選択します。

注意：コンピューターの内蔵ハードディスクのフォルダーにバックアップを作成すると、Elements Organizer により英数字コードを使用したファイル名に変更されます。これは、同じバックアップフォルダー内に、同じ名前を持つ複数のファイルが作成されることを防止するために行われる処理です。ただし、ファイルを復元すると、Elements Organizer によりファイル名は元に戻ります。CD、DVD、または外付けハードディスクにバックアップを作成することをお勧めします。

- 「保存名」テキストボックスで初期設定の名前をそのまま使用するか、バックアップセッションにつける名前を入力します。
 - CD ドライブまたは DVD ドライブを選択した場合は、書き込み速度を選択します。初期設定では、使用するドライブと CD / DVD メディアの最速の速度が選択されています。ご使用のドライブとメディアに適した書き込み速度を選択してください。
 - 「バックアップ先パス名」では、「保存先ドライブを選択」でハードディスクを選択した場合に、内部またはネットワークのハードディスクへのバックアップファイルの保存先の場所を指定します。保存先を変更する場合は、「参照」をクリックして別の場所を選択します。
 - 「以前に作成したバックアップファイル」は、差分バックアップを作成する場合に、最後に作成したバックアップから変更された部分を調べるために使用します。以前のバックアップファイルを参照するには、「参照」をクリックしてファイルを選択します。
- 6** Elements Organizer でバックアップに必要なサイズと書き込み推定時間が計算されたら、「完了」をクリックします。CD または DVD のディスクを選択すると、書き込み可能な CD または DVD を挿入するように促すメッセージが表示されます。
- 7** 差分バックアップを作成する場合は、前回の完全バックアップや差分バックアップを保存したメディアを挿入するか、ハードディスク上の場所を指定し、画面上の指示に従います。

CD または DVD に書き込むたびに、Elements Organizer でディスクの検証が求められます。検証には時間がかかりますが、ディスクを正しく作成するために、このオプションを使用してください。

 CD などのリムーバブルメディアへのバックアップが完了したら、今後のバックアップに備えて、今回のバックアップの内容と日付を記入しておく便利です。ディスクにラベルを付けるには、Elements Organizer を使用して CD ラベルや DVD ラベルを作成したり、専用のペンを使用してディスクに記入します。

関連項目

117 ページの「[Elements Organizer で見つからないファイルの再リンク](#)」

136 ページの「[スライドショーの出力](#)」

ファイルの移動、コピー、および名前の変更

ファイルを保存するフォルダーの指定

Elements Organizer では、メディアファイルを保存するフォルダーを複数作成します。これらのフォルダーを作成する上位フォルダーは変更できます。設定を柔軟に変更できるので、別のディスクドライブ上にファイルを保存したい場合などに便利です。

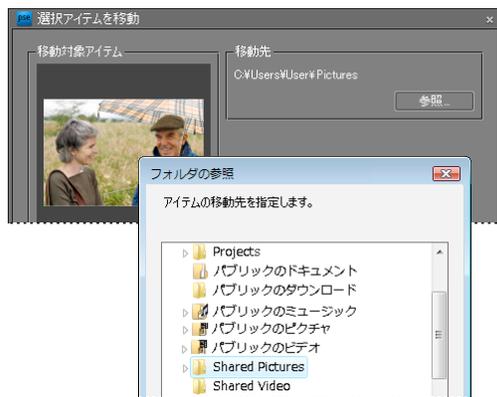
- 1** メディアブラウザーまたは日付表示で、編集／環境設定／ファイルを選択します。
- 2** 「ファイル保存先」の下にある「参照」ボタンをクリックします。ファイルを保存するフォルダーを指定し、「OK」をクリックします。

カタログ内でのファイルの移動

 この手順に関するビデオについては、www.adobe.com/go/lrvid2317_pse8_jp を参照してください。

メディアブラウザーで、写真、ビデオファイルおよびオーディオクリップを別のフォルダーに移動したり、ファイル名を変更したりすることができます。メディアブラウザーでファイルを移動すると、ファイルの移動先が Elements Organizer によって管理されるので、Elements Organizer を使用せずに手でファイルを移動した場合のように、「ファイルが見つからない」という通知を受け取ることはありません。

注意：Elements Organizer は、コンピューターから取り込むメディアファイルに対してリンクを作成します。オリジナルのメディアファイルを別の場所に移動した場合、移動先への再リンクを行わないと、Elements Organizer でそのメディアファイルを見つけれなくなります。このため、ファイルを別のフォルダーまたは CD や記憶装置に移動する場合は、Elements Organizer のファイル/リムーバブルディスクにコピーまたは移動コマンドを使用します。このコマンドを使用することで、Elements Organizer は変更内容を追跡することができます。



Elements Organizer でファイル/移動を選択することによるファイルの移動

- 1 メディアブラウザーで、移動するメディアファイルを選択します。
- 2 ファイル/移動を選択します。
- 3 選択アイテムを移動ダイアログボックスの「参照」ボタンをクリックします。選択したメディアファイルの移動先フォルダーを参照して指定します。「OK」をクリックし、ダイアログボックスを閉じます。
- 4 移動するファイルのリストからメディアファイルを削除するには、「移動対象アイテム」セクションでファイルを選択し、削除ボタン  をクリックします（削除ボタンをクリックしても、ハードディスクからはファイルは削除されず、移動対象から除外されるだけです）。
- 5 移動するファイルのリストにメディアファイルを追加するには、追加ボタン  をクリックし、メディアを追加ダイアログボックスを使用します。終了するには、「完了」をクリックします。
- 6 「OK」をクリックします。

関連項目

110 ページの「ファイル名とバージョン」

オフラインへのアイテムのコピーまたは移動

「リムーバブルディスクにコピーまたは移動」コマンドを使用して、写真をディスクにコピーします。例えば、CD や DVD で写真を友達に送りたい場合にこのコマンドを使用します。「リムーバブルディスクにコピーまたは移動」コマンドを使用して、フル解像度のマスターファイルを CD または DVD に移動し、低解像度のコピーファイルだけをハードディスクに保持することもできます。メディアファイルを移動しても、メディアファイルはカタログに残り、画面上で表示できます。これで、これらのメディアファイルで使用されていたディスク容量を確保することができます。

CD アイコン  は、オフライン（ローカルのハードディスクではなく CD または DVD に保存されている）のアイテム上に表示されます。ただし、オフラインの写真を印刷する場合や、フル解像度のファイルが必要とするその他の操作を行う場合は、作成したディスクをコンピューターのドライブに挿入する必要があります。

 CD や DVD で使用可能な領域をすべて使用できるように、Elements Organizer では 1 枚のディスクに複数のセッションを書き込むことができます。編集/環境設定/ファイルを選択し、「CD / DVD へのマルチセッションの書き込みを有効にする」を選択します。

- 1 書き込み可能な CD または DVD ドライブをコンピューターに接続します。
- 2 メディアブラウザーで、コピーまたは移動するアイテムを選択します。
- 3 ファイル/リムーバブルディスクにコピーまたは移動を選択します。
- 4 リムーバブルディスクにコピーまたは移動ウィザードのステップ 1 で次のオプションを選択し、「次へ」をクリックします。

ファイルを移動 CD または DVD にコピーが作成された後、選択したフル解像度の写真がコンピューターから削除されません。アイテムのサムネールはメディアブラウザーに残ります。

注意：プロジェクトとオーディオクリップの場合は「ファイルを移動」オプションを使用できません。

スタック内のすべてのファイルを含める 選択したスタック内のすべての写真を CD または DVD にコピーします。「ファイルを移動」オプションを選択した場合、フル解像度の写真がコンピューターから削除されます。コピーまたは移動したスタックのサムネールはメディアブラウザーに残ります。

バージョンセット内のすべてのファイルを含める 選択したバージョンセット内のすべての写真を CD または DVD にコピーします。「ファイルを移動」オプションを選択した場合、フル解像度の写真がコンピューターから削除されます。コピーまたは移動したバージョンセットのサムネールはメディアブラウザーに残ります。

- 5 ファイルが見つからない場合は、Elements Organizer はファイルの再リンクを行います。次のいずれかの操作を行います。
 - アプリケーションを使用して見つからないファイルを検索します。該当するファイルが見つかった場合は、見つからないファイルを再リンクダイアログボックスが表示され、見つからないファイルを再リンクするように通知されます。
 - 「参照」をクリックして手動で見つからないファイルを検索します。
 - 「キャンセル」をクリックすると、見つからないファイルなしで処理を続行します。確認メッセージが表示されたら「はい」をクリックします。
- 6 リムーバブルディスクにコピーまたは移動ウィザードのステップ 2 でオプションを設定し、「完了」をクリックします。
 - 「保存先ドライブを選択」から、アイテムの書き込み先として CD または DVD ドライブを選択します。
 - 「保存名」テキストボックスで初期設定の名前をそのまま使用するか、新しく保存名を入力します。
 - アイテムの書き込み速度を選択します。初期設定では、使用するディスクドライブと CD / DVD メディアの最速の速度が選択されています。ご使用のドライブとメディアに適した書き込み速度を選択してください。
- 7 Elements Organizer でアーカイブに必要なサイズと書き込み推定時間が計算されたら、「完了」をクリックします。必要に応じて、書き込み可能な CD または DVD を挿入するように促すメッセージが表示されます。

CD または DVD に書き込むたびに、Elements Organizer でディスクの検証が求められます。検証には時間がかかりますが、ディスクを正しく作成するために、このオプションを使用することをお勧めします。

💡 CD などのリムーバブルメディアへのバックアップが完了したら、今後のバックアップに備えて、今回のコピーの内容と日付を記入しておく便利です。CD や DVD 上に文字を安全に記入するには、専用のペンを使用するのが理想的です。

カタログからのアイテムの削除

💡 この手順に関するビデオについては、www.adobe.com/go/lrvid2316_pse8_jp を参照してください。

写真、ビデオファイル、またはオーディオクリップなどのオリジナルファイルは残したまま、Elements Organizer のカタログ上から削除することができます。プロジェクトをカタログから削除すると、プロジェクトは完全に削除されます。

- 1 メディアブラウザーで 1 つまたは複数のアイテムを選択するか、日付表示でアイテムを 1 つ選択します。
- 2 次のいずれかの操作を行います。
 - キーボードの Delete キーを押します。
 - アイテムを 1 つ選択した場合は、編集／カタログから削除を選択します。または、右クリックで表示されるコンテキストメニューから「カタログから削除」を選択します。
 - 複数のアイテムを選択した場合は、編集／選択したアイテムをカタログから削除を選択します。または、右クリックで表示されるコンテキストメニューから「選択したアイテムをカタログから削除」を選択します。
- 3 オリジナルファイルも削除したい場合は、「ハードディスクからも選択したアイテムを削除」オプションを選択し、「OK」をクリックします。

スタック内の写真のグループ化

スタック

スタックを作成すると、類似した写真をグループとしてまとめて管理することができます。スタックは、同じ被写体を撮影した複数の写真を 1 つにまとめるのに便利で、メディアブラウザーの表示を整理することができます。写真を検索すると、スタックアイコン  と一緒にスタック内の先頭の写真が検索結果に表示されます。

例えば、家族が同じポーズで取った複数の写真をまとめてグループ化するスタックを作成します。または、カメラの連写モードやオートブラケット機能を使用してスポーツイベントのときに撮影した写真のスタックを作成することもできます。一般に、このように写真を撮影すると、同じ写真の類似したバリエーションが数多く撮影されますが、メディアブラウザーに表示したいのは一番よく撮影できた写真だけです。これらの写真をスタックすると、何行ものサムネイルが広がった写真ではなく、写真を一箇所にまとめて簡単にアクセスできます。



写真をスタックすると、スペースを節約でき、関連する写真をまとめておくことができます。

注意：スタックは、同じ写真の複数のバージョンを管理し、検索する場合に便利です。アルバムは、被写体やイベント、休暇などの項目別にグループ化した写真をまとめる場合に適しています。

スタックを使用する際のヒント

スタックを使用する場合は、次の点に注意してください。

- 初期設定では、最新の写真がスタックの先頭に置かれます。先頭にしたい写真をスタック内で右クリックし、スタック／先頭の写真として設定を選択します。
- 複数のスタックを結合すると、1つの新しいスタックにまとめることができます（元のスタックは保持されません）。最新の写真、またはスタックを結合する前に選択されていた写真がスタックの先頭に置かれます。
- スタックに置かれたすべての写真を見つけるには、検索／すべてのスタックを選択します。
- 折りたたまれたスタックに対する操作（編集、電子メールでの送信、プリントなど）のほとんどは、スタックの先頭の写真にだけ適用されます（ただし、折りたたまれたスタックを移動すると、そのスタック内のすべての写真が移動します）。スタック内のすべての写真に操作を適用するには、写真のスタックを展開するか、スタックを解除し、すべての写真を1つずつ選択します。スタック内の一部の写真に操作を適用するには、スタックを展開するか、スタックを解除し、対象となる写真を1つずつ選択します。
- 折りたたまれたスタックにキーワードタグを適用する場合、タグはスタック内のすべてのアイテムに適用されます。キーワードタグで検索すると、スタック内にあるすべてのアイテムが検索結果として個別に表示されます。スタック内の数個の写真にだけキーワードタグを適用する場合は、スタックを展開してからそれらの写真にタグを適用します。
- スタックには、バージョンセットを含めることができます。スタック内にあるオリジナルの写真を編集すると、オリジナルの写真と編集した写真を含むバージョンセットが Elements Organizer により自動的に作成されます。作成されたバージョンセットは、元のスタックに格納されます。また、既に作成している複数のバージョンセットを手動でスタックすることもできます。
- 右クリックまたは編集メニューを使用すると、すべてのスタックコマンドにアクセスできます。

関連項目

105 ページの「[バージョンセット](#)」

69 ページの「[アルバム](#)」

写真のスタックまたはスタック解除

❖ メディアブラウザーで、次のいずれかの操作を行います。

- 写真をスタックするには、スタックする画像を選択します。次にスタックの先頭にする写真を右クリックして、コンテキストメニューからスタック／選択した写真をスタックを選択します。
- 写真のスタックを解除するには、スタックを右クリックしてスタック／写真のスタック解除を選択します。



これらのコマンドは編集メニューからアクセスすることもできます。

類似した写真の自動スタック

Elements Organizer は、同じ時間帯に撮影された、類似した写真を自動的にスタックすることができます。例えば、同じ人物の写真を連続して複数枚撮影した場合、または同じ対象の写真を異なるライティングで複数枚撮影した場合、Elements Organizer は写真を自動的にグループ化し、スタックとして提示します。



自動分類されたスタック
A. スタック可能なグループ B. グループ化されていない写真

1 メディアブラウザーで、写真のグループまたはカタログ全体を選択します。次のいずれかの操作を行います。

- 右クリックし、コンテキストメニューからスタック／自動的に写真をスタックを選択します。
- 編集／スタック／自動的に写真をスタックを選択します。

注意：取り込みダイアログボックスで「自動的に写真をスタック」を選択することで、ファイルを取り込んだ直後に、自動分類されたスタックグループを表示できます。

2 自動分類されたスタックグループを確認して、スタックを適用するか判断します。次のいずれかまたは複数の操作を行います。

- 1つまたは複数の写真をスタックから移動するには、写真を選択し、「 選択した写真を削除」をクリックします。

注意：スタックから写真を削除しても、元の写真は変更されません。このとき、写真は削除された写真エリアに配置されます。「削除された写真を表示」を選択すると、削除された写真を表示できます。削除された写真は、元のスタックまたは別のスタックに移動できます。

- スタックから削除された写真を表示するには、「削除された写真を表示」を選択します。
- 削除された写真を、自動分類されたスタックに戻すには、削除された写真エリアからスタックに写真をドラッグします。
- 自動分類されたスタック内のあるスタックから別のスタックに写真を移動するには、写真をドラッグします。
- 元のスタックに戻すには、「初期化」をクリックします。

3 完了したら、「すべてのグループをスタック」をクリックします。スタック可能な写真グループの最初の写真が、Elements Organizer にスタックが表示されるとき先頭の写真として設定されます。

スタック内のすべての写真の表示

スタック内のすべての写真を表示した状態で、写真の編集、先頭の写真の指定、スタックからの写真の削除、写真へのキーワードタグの追加を行うことができます。



写真スタックの展開と折りたたみ

- 1 写真を展開するには、メディアブラウザーで次のいずれかの操作を行います。
 - スタックのサムネールの隣にある三角形をクリックします。
 - スタックを右クリックして、スタック/スタックの写真を展開を選択します。
 - 表示/すべてのスタックを展開を選択します。
- 2 スタックを再び折りたたむには、次のいずれかの操作を行います。
 - スタックのサムネールの隣にある三角形をクリックします。
 - スタックを右クリックし、スタック/スタックの写真を折りたたむを選択します。
 - 表示/すべてのスタックを折りたたむを選択します。

関連項目

29 ページの「[メディアブラウザー](#)」

スタックからの写真の削除

- ❖ メディアブラウザーでスタックを選択し、次のいずれかの操作を行います。
 - いくつかの写真をスタックから削除するには、編集/スタック/スタックの写真を展開を選択します。写真を選択し、編集/スタック/スタックから選択した写真を削除を選択します。写真はスタックから削除されますが、カタログやコンピューターからは削除されません。
 - いくつかの写真（一番上の写真以外）をスタックおよびカタログから削除するには、編集/スタック/スタックの写真を展開を選択します。1つまたは複数の写真を選択し、編集/カタログから削除を選択します。選択した写真がスタックとカタログの両方から削除されます。「ハードディスクからも選択したアイテムを削除」オプションを選択すると、コンピューター上からも画像ファイルが削除されます。
 - 先頭の写真を除くスタックのすべての写真を削除するには、折りたたまれたスタックを選択し、編集/スタック/先頭の写真以外は削除を選択します。「ハードディスクからも選択したアイテムを削除」オプションを選択すると、コンピューター上からも画像ファイルが削除されます。1枚を除くスタック内のすべての写真を削除すると、残された写真は、スタックが解除された状態でメディアブラウザーに表示されます。

注意：スタックを展開すると、先頭の写真はメディアブラウザーの一番左に表示されます。

- スタックのすべての写真を削除するには、折りたたまれたスタックを選択し、Delete キーを押します。カタログからの削除確認ダイアログボックスで、「折りたたまれたスタック内のすべての写真を削除」オプションを選択します。「ハードディスクからも選択したアイテムを削除」オプションを選択すると、コンピューター上からも画像ファイルが削除されず。

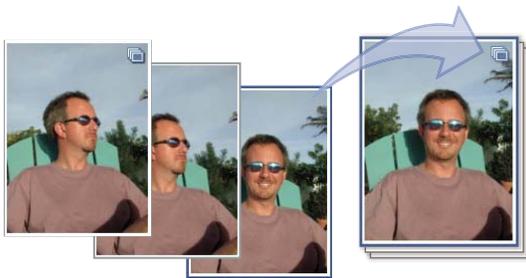


編集メニューではなく、右クリックして表示されるコンテキストメニューからすべての「スタック」コマンドにアクセスできます。

スタック内の先頭の写真の指定

初期設定では、Elements Organizer で自動的に最新の写真がスタックの先頭に配置されますが、コンテキストメニューを使用してスタックを作成するときに先頭にする写真を指定することも、スタックの作成後に新しい先頭の写真を指定することもできます。

- ❖ 次のいずれかの操作を行います。
- スタック内に入れる写真を選択した後に、先頭に置く写真を右クリックしてから、スタック/選択した写真をスタックを選択します。
- スタックを作成した後、メディアブラウザーでスタックを右クリックして、スタック/スタックの写真を展開を選択し、スタック内のすべての写真を表示します。次に、先頭にする写真を右クリックして、スタック/先頭の写真として設定を選択します。選択された写真は展開されたスタックの一番左側に移動し、スタックの先頭になります。



先頭の写真として設定（左が実行前）

スタック内の写真の編集

スタック内の写真を編集し、編集したコピーをバージョンとして保存すると、オリジナルの写真と編集した写真の両方がバージョンセットとして関連付けられて、元のスタック内に格納されます。（自動スマート補正などを使用して）メディアブラウザーで写真を編集すると、バージョンセットが自動的に作成されます。

- 1 メディアブラウザーで、次のいずれかの操作を行います。
 - 先頭以外の写真を編集するには、スタックを選択し、編集/スタック/スタックの写真を展開を選択します。編集する写真を選択します。
 - スタックの先頭の写真を編集する場合は、フォトブラウザー上で表示されるスタック画像を選択して手順 2 に進みます。
- 2 次のいずれかの操作を行います。
 - 編集/自動スマート補正、編集/自動赤目修正または編集/90°回転（反時計回り）または（時計回り）を選択して編集を行います。編集した写真は、バージョンセットのバージョンとしてオリジナルの写真と一緒に Elements Organizer により自動的に保存されます。
 - Elements Editor で補正/写真を編集を選択し、写真を開きます。写真を編集し、ファイル/別名で保存を選択します。新しいバージョンをオリジナルの写真と同じバージョンセット内に置く場合は、「オリジナルと一緒にバージョンセットで保存」オプションを選択します。
 - 新たに編集したコピーは、元の画像、または最後に編集したコピーの上に置かれます。

💡 編集メニューではなく、右クリックして表示されるコンテキストメニューからすべての「スタック」コマンドにアクセスできます。

関連項目

110 ページの「[ファイル名とバージョン](#)」

バージョンセット内の写真のグループ化

バージョンセット

バージョンセット  とは、オリジナルの写真とその編集したバージョンを含むスタックのことです。バージョンセットでは、オリジナルの写真と編集した写真が1つに重なった状態でメディアブラウザーに表示されるので、メディアブラウザーに雑然と並ぶことがなくなり、写真を見つけやすくなります。



バージョンセットの例

自動スマート補正を選択して写真を編集すると、Elements Organizer では、写真とその編集した写真の両方が自動的に1つのバージョンセットに入ります。Elements Editor のスタンダード編集またはクイック編集で写真を編集し、ファイル/別名で保存を選び、「オリジナルと一緒にバージョンセットで保存」オプションを選択することで、写真と編集した写真の両方を1つのバージョンセットに入れることができます。

スタック内の写真を編集すると、オリジナルの写真と編集後の写真が、スタック内にバージョンセットとして整理されます。バージョンセット内の写真を編集すると、編集した写真が既存のバージョンセットの先頭に置かれます。

Elements Organizer では、バージョンセットは、バージョンセット内にバージョンセットを格納するようなネスト（入れ子）の構造をとることができません。バージョンセットの内部に置くことができるのは、オリジナルの写真とその編集したバージョンだけです。



スタック内に折りたたまれたバージョンセット（上）、スタックに含まれる展開されたバージョンセット（下）

注意：通常は、バージョンセットにスタックできるのは写真だけです。

バージョンセットを使用する際のヒント

バージョンセットを使用する場合は、次の点に注意してください。

- Elements Organizer で画像を編集します。画像を Elements Organizer から開かずに外部の編集ソフトウェアを使用すると、データベースとのリンクが失われるので、Elements Organizer で画像ファイルの編集履歴を把握したり、バージョンセットを更新することができなくなります。バージョンセットに手動でファイルを追加することはできませんが、「スタック」コマンドを使用してこれらのタイプのバージョンをスタックすることはできます。

- 折りたたまれたバージョンセットにキーワードタグを適用する場合、キーワードタグはセット内のすべてのアイテムに適用されます。バージョンセットを展開して1つの写真にキーワードタグを適用すると、キーワードタグはその写真だけに適用されます。キーワードタグで検索すると、そのキーワードタグを含むバージョンセットに含まれる写真が、個別の写真として検索結果に表示されます。
- 複数のバージョンセットを1つのスタックとしてまとめることができます。複数のバージョンセットが1つのスタックとして表示されます。先頭には最新の写真が表示されます。スタック内の写真でさらにスタックを作成すると、結合して1つのスタックになりますが、スタック内で複数のバージョンセットを作成しても、バージョンセットは保持されます。
- オリジナルの写真と編集した写真の2枚だけが含まれるバージョンセットで、そのうちの1枚の写真を削除すると、残った写真はスタック解除された状態でメディアブラウザーに表示されます。スタック内に2枚のうちの1枚を削除したバージョンセットが格納されていた場合には、スタックを展開すると、写真はバージョンセットアイコンなしで表示されません。
- すべてのバージョンセットを検索するには、検索/すべてのバージョンセットを選択します。
- バージョンセットから写真を個別に取り除いたり、削除したりすることができ、また、バージョンセット内の各写真がカタログ内で別個に表示されるようにバージョンセットを個別の写真に変換することができます。
- 右クリックまたは編集メニューを使用すると、ほとんどのバージョンセットコマンドにアクセスできます。
- プロパティパネルの「履歴」タブでは、バージョンセット内の写真の編集履歴を確認できます。

関連項目

100 ページの「[スタック](#)」

バージョンセットの手動保存

Elements Organizer で写真を編集すると、バージョンセットが自動的に作成されます。Elements Editor のスタンダード編集またはクイック補正を使用してファイルを編集する場合は、編集したファイルをバージョンセットに手動で保存しなければなりません。

Elements Editor で、次のいずれかの操作を行います。

- Elements Organizer でファイルを編集し、ファイル/保存（写真を編集して初めて保存するときは、別名で保存ダイアログボックスが自動的に表示されます）または、ファイル/名前を付けて保存を選択します。「オリジナルと一緒にバージョンセットで保存」オプションを選択し、ファイルの名前を指定して「保存」をクリックします。
- 以前に編集した写真を再び編集し、ファイル/別名で保存を選択して、編集した写真の個別のコピーを作成します。「オリジナルと一緒にバージョンセットで保存」オプションを選択し、ファイルの名前を指定して「保存」をクリックします。

メディアブラウザーで表示すると、新しく編集した写真がバージョンセットの先頭に配置されます。

バージョンセット内のすべての写真の表示

バージョンセット内のすべての写真を表示した状態で、バージョンセット内の写真の編集や削除、先頭の写真の置き換え、または写真へのキーワードタグの追加（セット内の1つの写真にキーワードタグを追加すると、すべての写真にそのタグが適用されます）を行うことができます。



バージョンセットの展開と折りたたみ

- 1 メディアブラウザーで、バージョンセット  の写真を選択し、次のいずれかの操作を行います。
 - バージョンセットのサムネールの隣にある展開ボタン  をクリックします。
 - 編集／バージョンセット／バージョンセットのアイテムを展開を選択します。
- 2 展開されたバージョンセットを表示した状態で、次のいずれかまたは複数の操作を行います。
 - 写真の並べ替えや削除、キーワードタグの追加を行います。
 - クイック補正またはスタンダード編集を使用して写真を変更します（変更したらファイルを保存します）。
- 3 完了したら、次のいずれかの操作を行って、バージョンセット内の写真を折りたたみます。
 - バージョンセットのサムネールの隣にある折りたたみボタンをクリックします。
 - 編集／バージョンセット／バージョンセットのアイテムを折りたたむを選択します。

関連項目

29 ページの「[メディアブラウザー](#)」

バージョンセット内の先頭の写真の指定

Elements Organizer でバージョンセットを作成すると、最新の写真が先頭に置かれます。この先頭の写真を他の写真に置き換えることができます。バージョンセットを展開すると、先頭の写真はメディアブラウザーの一番左に表示されます。

注意：スタックに属すバージョンセットを表示するには、まずスタックを展開する必要があります。

- 1 メディアブラウザーでバージョンセットを右クリックし、バージョンセット／バージョンセットのアイテムを展開を選択します。
- 2 先頭に置く写真を右クリックして、バージョンセット／先頭アイテムとして設定を選択します。
- 3 新たに先頭に置かれた写真を右クリックし、バージョンセット／バージョンセットのアイテムを折りたたむを選択します。

写真をオリジナルのバージョンに戻す

- ❖ メディアブラウザーで 1 つまたは複数のバージョンセットを選択し、編集／バージョンセット／オリジナルに戻すを選択します（または、選択したアイテムを右クリックして表示されるコンテキストメニューから、このコマンドを選択します）。

注意：スタンダード編集ワークスペースでは、履歴パネルを使用して、写真を元の状態に戻すことができます。

関連項目

8 ページの「[操作の取り消し、やり直しまたはキャンセル](#)」

バージョンセットからの写真の除去または削除

バージョンセットから写真を取り除くと、写真はバージョンセットからは除去されますが、カタログには残されます。これによって、メディアブラウザーで個別の写真として表示されます。バージョンセットから写真を削除すると、その写真はカタログから取り除かれますが、「ハードディスクからもアイテムを削除」を選択しない限り、コンピューター上から削除されることはありません。

- ❖ バージョンセットを選択し、次のいずれかの操作を行います。
- バージョンセットから特定の写真を取り除くには、バージョンセットを展開して削除する写真を選択し、編集/バージョンセット/バージョンセットからアイテムを削除を選択します。
- バージョンセット内の写真すべてを取り除いてメディアブラウザーで個別の写真として表示されるようにするには、バージョンセットを選択して、編集/バージョンセット/バージョンセットを個別アイテムに変換を選択します。
- バージョンセットから特定の写真を削除するには、編集/バージョンセット/バージョンセットのアイテムを展開を選択します。削除する写真を選択し、Delete キーを押します。
- 先頭を除くすべての写真をバージョンセットから削除するには、編集/バージョンセット/先頭の写真以外は削除を選択します。
- バージョンセットから先頭の写真だけを削除するには、メディアブラウザーでバージョンセットを選択し、編集/カタログから削除を選択します。カタログからの削除確認ダイアログボックスで、「折りたたまれたスタック内のすべてのアイテムを削除」オプションを選択しません。先頭の写真ハードディスクから削除する場合は、「ハードディスクからも選択したアイテムを削除」を選択します。
- オリジナルの写真を除くすべての写真をバージョンセットから削除するには、編集/バージョンセット/オリジナルに戻すを選択します。
- オリジナルの写真を含むすべての写真をバージョンセットから削除するには、編集/カタログから削除を選択します。カタログからの削除確認ダイアログボックスで、「折りたたまれたスタック内のすべての写真を削除」オプションを選択します。
- オリジナルの写真をバージョンセットから削除するには、編集/バージョンセット/バージョンセットのアイテムを展開を選択します。バージョンセットでオリジナルの写真を選択し、Delete キーを押します。バージョンセット内に、オリジナルの写真を直接編集したコピーが1つと、さらにそのコピーを編集したコピーがある場合、オリジナルの写真を削除すると、オリジナルの写真を編集したコピーがこのバージョンセットの新しい「オリジナルの写真」になります。オリジナルの写真に対して複数の子写真（編集したコピー）が存在する場合、オリジナルの写真を削除しても、バージョンセットから子写真は削除されません。

注意：一般に、オリジナルの写真を保持しておき、その写真を原版として様々な画像を作成するのが最適な方法です。原版はオリジナルの情報をすべて含み、圧縮されたり、データが失われたりしていません。オリジナルの写真を削除するのは、そのオリジナル写真を今後使用しないことが明らかな場合だけにしてください。カタログやコンピューター上からオリジナルの写真を削除すると、復元することはできません。

バージョンセット内の写真の編集

バージョンセット内の写真を編集し、それを別名で保存ダイアログボックスの「オリジナルと一緒にバージョンセットで保存」オプションを使用して保存すると、編集したコピーはオリジナルのバージョンセットに追加され、追加のバージョンセット内にはネストされません。

- 1 メディアブラウザーで、次のいずれかの操作を行います。
 - 先頭の写真編集するには、バージョンセットを選択します。
 - 先頭以外の写真を編集するには、バージョンセットを選択し、編集/バージョンセット/バージョンセットのアイテムを展開を選択します。次に、編集する写真を選択します。
- 2 写真を選択し、Elements Editor で補正/写真を編集を選択して写真を開きます。

- 3 写真を編集し、ファイル/別名で保存を選択します。別名で保存ダイアログボックスの「オリジナルと一緒にバージョンセットで保存」オプションを選択し、コピーとオリジナルをバージョンセットに入れます。

新しく編集した写真がバージョンセットの先頭に置かれます。

ビデオシーングループとシーングループ

ビデオファイルで自動解析を実行すると、Elements Organizer はビデオファイルを解析し、サイズの小さいビデオクリップに分割して、それらをシーングループにグループ化します。例えば、友達と1日中ディズニーランドで遊んでいる映像を含むビデオを取り込んだ場合、自動解析を実行すると、その日の様々なシーンがクリップに分割され、グループ化されます。グループを拡張して、再生、タグ付け、グループ内のさまざまなシーンに重要度を指定するなど、キャプションを追加することができます。

シーングループ内のビデオシーングループの表示

シーングループを利用すると、ビデオクリップ内の異なるシーンを簡単に検索して使用できます。Elements Organizer で、マスターファイルのビデオシーングループを表示することができます。

- 1 メディアブラウザーで、ビデオシーンを選択し、次のいずれかの操作を行います。
 - ビデオシーンのサムネールの隣にある展開ボタン  をクリックします。
 - 編集/ビデオシーン/シーングループのアイテムを展開を選択します。
 - ビデオシーンを右クリックし、ビデオシーン/シーングループのアイテムを展開を選択します。
- 2 展開されたビデオシーンを表示した状態で、各ビデオシーングループを削除したり、キーワードタグを追加したりすることができます。
- 3 ビデオシーングループを再生するには、各レンディションをダブルクリックします。マスターファイル全体を再生するには、Alt キーを押しながら、任意のビデオシーングループをダブルクリックします。
- 4 次のいずれかの操作を行って、ビデオシーンのビデオシーングループを折りたたむことができます。
 - ビデオシーンアイコンの隣にある折りたたみボタンをクリックします。
 - 編集/ビデオシーン/シーングループのアイテムを折りたたむを選択します。
 - 任意のビデオシーングループを右クリックして選択し、ビデオシーン/シーングループのアイテムを折りたたむを選択します。

ビデオシーングループのタグ付け、編集、削除

Elements Organizer で、個別のビデオシーングループにタグを付けて、個別のビデオシーングループを再生することができます。ビデオシーングループを編集するには、右クリックして「Premiere Elements で編集」を選択します。Premiere Elements が起動し、編集可能な状態でマスターファイル全体が開きます。個別のレンディションを削除すると、そのレンディションがマスターファイルから削除されます。レンディションを削除するには、右クリックして「カタログから削除」を選択します。

ファイル名とバージョン

ファイル名とバージョン

ファイルをカタログに追加すると、元の名前が保持されます。写真をメディアブラウザーから開いて Elements Editor で編集した場合は、保存したファイルが Elements Organizer に表示され（初期設定）、元のファイルの異なるバージョンとしてファイルを保存したり（初期設定）、コピーを保存することができます。

ファイルを Elements Editor から直接開いたり、Elements Editor で新しいファイルを作成して保存した場合は、「Elements Organizer に含める」を選択した場合のみ、バージョンを作成して保存できます。

ファイルの編集と保存を行うときには、次の点に注意してください。

- 初期設定では、特定のファイルに対して初めてファイル／保存を選択した場合は、別名で保存ダイアログボックスが開き、ファイル名の末尾に「edited」とバージョン番号が追加されます。例えば、オリジナルファイルの名前が「デイズー.jpg」の場合、編集したファイルの名前は「デイズー_edited-1.jpg」になります。
- 2回目以降では、バージョンを編集してファイル／保存を選択するたびに、Elements Organizer は編集済みの既存のバージョンを上書きします。
- 2回目以降では、バージョンを編集してファイル／別名で保存を選択するたびに、またはオリジナルファイルを編集してファイル／保存を選択するたびに、Elements Organizer は新しいバージョン番号を末尾に追加します。例えば、「デイズー_edited-1.jpg」を編集してファイル／別名で保存を選択した場合、その編集したバージョンの名前は作成した順番に従って「デイズー_edited-2.jpg」、「デイズー_edited-3.jpg」のようになります。（「別名として保存」を選択するのではなく）編集したバージョンに変更を保存しただけである場合、変更はそのファイルに保存され、バージョンは作成されません。
- コピーとして保存した場合、編集したファイル名の末尾に「のコピー」が追加されます。ファイル名の末尾に「回転」と入力して保存するなど、編集した写真にわかりやすい名前を手動で付けることもできます。コピーを保存すると、Elements Organizer は保存したコピーに変更を反映し、一方でオリジナルファイルは Elements Editor で開いたままになります。
- バージョンの保存とコピーの保存は同時に行うことができます。最初に選択したオプションに応じて、ファイル名の末尾には「のコピー」または新しいバージョン番号が追加されます。
- 「オリジナルと一緒にバージョンセットで保存」を選択しない場合でも、「Elements Organizer に含める」を選択すると、編集したファイルを Elements Organizer に含めることができます。この方法でファイルを保存した場合、ファイルはバージョンセットの一部にはならず、ファイル名の末尾に「edited- 番号」が追加されることもありません。

関連項目

105 ページの「バージョンセット」

104 ページの「スタック内の写真の編集」

108 ページの「バージョンセット内の写真の編集」

Elements Organizer でのファイル名の変更

写真をデジタルカメラから取り込み、ファイル名がアルファベットと数字で構成されている場合などは、わかりやすい名前に変更しておくのが便利です。ファイル名は、カメラからファイルを取り込むときに一度に変更できます。また、Elements Organizer に取り込んだ後で、ファイルの名前を1つずつ変更したり、ファイルグループの名前をまとめて変更することもできます。新しいファイル名は、コンピューターのハードディスクに保存されるので、ファイルシステムで検索することができます。

選択した複数のメディアファイルの名前を一度に変更する場合は、ファイル名は指定した新しい名前に接尾辞が付いた形に変更されます。例えば、複数のメディアファイルを「ホノルル」という名前に一括変更した場合、最初に選択したメディアファイルは「ホノルル-1」、その次のファイルは「ホノルル-2」というファイル名に変更されます。ファイル名が重複する場合は、Elements Organizer は名前の末尾にさらに別の番号を自動的に追加します。例えば、「ホノルル-2」という名前のファイルが既に存在する場合は、「ホノルル-2-1」という名前に変更されます。

❖ 次のいずれかの操作を行います。

- メディアブラウザーまたは日付表示でファイル名を変更するには、アイテムを選択し、ファイル/ファイル名変更を選択します。ファイル名の変更ダイアログボックスの「新規ファイル名」ボックスに名前を入力し、「OK」をクリックします。または、プロパティパネルを開き、「ファイル名」ボックスに新しい名前を入力します。

 名前を変更した直後に Ctrl + Z キーを押すと、変更したファイル名を元に戻すことができます。

- メディアブラウザーで複数のファイルの名前を一括変更するには、メディアブラウザーでファイル名を変更するアイテムを選択します。選択ツールで囲むか、Shift キーを押しながら選択対象の最初と最後のファイルをクリックします。連続していない複数のアイテムを選択するには、Ctrl キーを押しながらアイテムを1つずつクリックします。ファイル/ファイル名変更を選択します。「基本名」ボックスに名前を入力して、「OK」をクリックします。

注意：メディアブラウザーまたは日付表示で、編集または複製した写真の名前を一括変更すると、名前の最後に付いていた「_edited」または「のコピー」が削除され、指定したとおりの名前に変更されます。編集した写真がある場合は、オリジナルの写真のファイル名は変更されません。

関連項目

15 ページの「[デジタルカメラまたはカードリーダーからのメディアファイルの取り込み](#)」

ファイルの複製

メディアファイルは、別々の編集を行うために複製することができます。複製したメディアファイルは、新しいファイルとして扱われ、カタログに新しいアイテムとして追加されます。メディアファイルを複製すると、そのメディアファイルのキーワードタグ、キャプション、およびメモも複製されます。複数のアイテムを同時に複製することはできません。

重複するファイルの検索および削除について詳しくは、http://www.johnrellis.com/psedbtool/photoshop-elements-faq.htm#_Find_and_delete を参照してください。

❖ 次のいずれかの操作を行います。

- メディアブラウザーまたは日付表示で複製するメディアファイルを選択し、ファイル/複製を選択します。ファイル名の末尾には「_copy」が追加されます。コピーは、メディアブラウザーでオリジナルの写真の横に表示されます。

注意：折りたたまれたバージョンセットまたはスタックされている写真を選択して「複製」コマンドを使用すると、先頭の写真だけが複製されます。

- Elements Editor のスタンダード編集またはクイック補正で複製する写真を開き、ファイル/複製を選択します。ファイル名の末尾には「のコピー」が追加されます。Elements Editor で Elements Organizer のファイルを複製した場合には、この写真をオリジナルファイルと一緒にバージョンセットに追加することはできません。

関連項目

100 ページの「[スタック](#)」

105 ページの「[バージョンセット](#)」

ファイルの日時の変更

Elements Organizer では写真、ビデオ、プロジェクト、PDF およびオーディオファイルのファイル情報の日時を変更できます。例えば、デジタルカメラがメディアファイルの撮影日として記録した日付情報を変更できます。この操作は、カメラの時刻が正しく設定されていない場合などに必要となります。また多くのユーザーは、スキャンした写真の日付情報を変更します。これは、スキャンした写真ファイルの情報には、写真の撮影日ではなく、スキャナーで取り込んだ日時が残るからです。

注意：日付表示でファイルの日時を設定することもできます。日付表示に表示される西暦、和暦は、Windows OS のコントロールパネルの設定に基づいて和暦、西暦（日本語）または西暦（英語）が表示されます。

- 1 メディアブラウザーでファイルを選択します。連続した複数のファイルを選択するには、Shift キーを押しながら選択対象の最初と最後のファイルをクリックします。連続していない複数のファイルを選択するには、Ctrl キーを押しながら各ファイルをクリックします。
- 2 編集/日時を変更または編集/選択アイテムの日時を変更を選択します（または、選択したアイテムを右クリックして表示されるコンテキストメニューから、このコマンドを選択します）。

注意：日付を頻繁に変更する場合は、サムネールの日付をクリックするだけで日時を変更ダイアログボックスが開くように環境設定を設定できます。編集/環境設定/一般を選択し、「サムネールの日付をクリックして日時を変更」を選択します。

- 3 日時を変更ダイアログボックスで、次のいずれかを選択して「OK」をクリックします（オプションは、選択したファイルのタイプに応じて異なります）。

指定した日時に変更 手動で日時を変更します。このオプションを選択して「OK」をクリックします。日時を設定ダイアログボックスの「年」テキストボックスで年を入力または選択します。「月」と「日」を指定するか、不明な場合は「不明」を選択します。「時間」セクションで、「設定」を選択してテキストボックスに時刻を入力または選択するか、「不明」オプションを選択します。

ファイルの日時に変更 ファイルが更新された日時に変更します。このオプションを選択して「OK」をクリックします。

選択アイテムの日時をずらす 選択した複数のメディアファイルの日時を、その中で最も古いメディアファイルを基準にして調整します。例えば、月を1か月、日を1日、時刻を1時間ずつ前にずらすと、すべてのメディアファイルが同じように調整されます。このオプションを選択して「OK」をクリックします。日時を設定ダイアログボックスで新しい年、月、日および時間を選択して、最も古いアイテムに新しい日時を指定します。「OK」をクリックします。このオプションは、カメラの日時が正確に設定されていない場合に有効です。

設定した数字で時間をずらす（時差調整） 一定の時間数で時間を進めたり、戻したりすることができます。このオプションを選択して「OK」をクリックします。時差調整ダイアログボックスで、「時間を進める」または「時間を戻す」を選択した後、調整する時間数を直接入力するか、上下の矢印をクリックして時間数を指定し、「OK」をクリックします。

Elements Organizer によって指定した写真の日時に合わせてタイムグラフが調整され、カタログの写真ファイルに新しい日時が保存されます。

注意：Elements Organizer では、コントロールパネルでの設定に基づいて、和暦、西暦（日本語）、または西暦（英語）が表示されます。Windows XP でこの設定を変更するには、コントロールパネルで「地域と言語のオプション」を開き、「地域オプション」タブをクリックして、目的の日付を指定します。詳しくは、Windows のマニュアルを参照してください。

関連項目

116 ページの「[ファイル情報（メタデータ）](#)」

43 ページの「[日付表示でのメディアファイルの表示および検索](#)」

アイテムのサムネールの更新

別のアプリケーションでメディアファイルを変更し、変更内容をオリジナルファイルに保存した場合は、メディアブラウザーでサムネールを更新して、メディアファイルに対する変更内容を反映させることができます。

注意：Elements Organizer で別のアプリケーションによるメディアファイルへの変更を追跡するには、編集/環境設定/編集を選択します。「追加の編集アプリケーションを使用」をオンにして、追加するアプリケーションを参照します。追加したアプリケーションで行った変更内容がメディアブラウザのサムネールに反映されるようになります。

- 1 メディアブラウザでアイテムを選択します。
- 2 編集/サムネールを更新、または編集/選択アイテムのサムネールを更新を選択します（または、右クリックして表示されるコンテキストメニューから、編集/サムネールを更新、または編集/選択アイテムのサムネールを更新を選択します）。

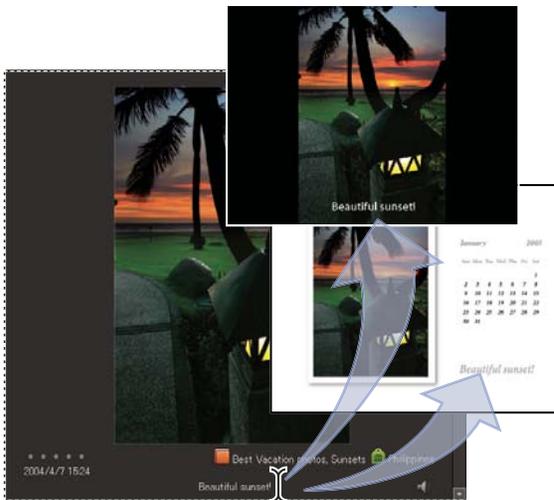
関連項目

34 ページの「サムネールのサイズ変更、更新、非表示」

キャプションとメモの追加

ファイルへのキャプションの追加

キャプションは、写真、ビデオファイル、プロジェクト、PDF またはオーディオクリップの内容を表すタイトルのようなものです。Elements Organizer では、様々な場所でキャプションを追加または表示できます。キャプションの追加または表示は、メディアブラウザのサムネール単一表示、日付表示の「キャプション」フィールド、プロパティパネルおよび編集/キャプションを入力コマンドを使用して行うことができます。またキャプションは、プロジェクトへの追加、インデックスプリントへの印刷および Flash を使用したメディアファイルでの表示が可能です。



キャプションはサムネール単一表示で追加できます。初期設定では同一のキャプションがプロジェクトに表示されます。

キャプションは、メディアファイルを Elements Organizer に取り込んだ後、いつでも追加できます。ただし、フリップブックや Flash ベースのフォトギャラリーでキャプションを使用する場合は、プロジェクトを作成する前にキャプションを追加する必要があります。先に追加しておかないと、キャプションがメディアファイルに表示されません。

キャプションは、2000 文字まで入力できます。

- 1 メディアファイルにキャプションを追加するには、次のいずれかの操作を行います。
 - メディアブラウザまたは日付表示で写真やビデオファイルを選択して、編集/キャプションを入力を選択します。「キャプション」テキストボックスにキャプションを入力し、「OK」をクリックします（または、選択したアイテムを右クリックして表示されるコンテキストメニューから、このコマンドを選択します）。

- メディアブラウザーまたは日付表示で写真やビデオファイルを選択し、プロパティパネル（ウィンドウ／プロパティ）の一般ボタン  をクリックして、「キャプション」テキストボックスにキャプションを入力します。
 - 日付表示で、写真をダブルクリックして日表示で開き、ワークスペースの右下にある「キャプション」テキストボックスにキャプションを入力します。
 - メディアブラウザーで写真をダブルクリックしてサムネール単一表示で表示し、「日時とタグを表示」を選択して、既存のキャプションをクリックするか、「ここをクリックするとキャプションを追加できます」をクリックします。テキストボックスにキャプションを入力し、テキストボックスの外側をクリックします。
 - Elements Editor でファイルを開き、ファイル／ファイル情報を選択します。「説明」テキストボックスにキャプションを入力します。
- 2** メディアブラウザーで複数のファイルに 1 つのキャプションを一度に追加するには、次のいずれかの操作を行います。
- 複数のアイテムを選択し、編集／選択したアイテムにキャプションを追加を選択します。既存のキャプションを置き換える場合は、「既存のキャプションを上書き」チェックボックスを選択します。「キャプション」テキストボックスにキャプションを入力し、「OK」をクリックします。
 - メディアファイルを選択します。次に、プロパティパネル（ウィンドウ／プロパティ）で「キャプションの変更」をクリックして、テキストボックスにキャプションを入力します。

関連項目

116 ページの「[Elements Organizer でのファイル情報の表示または編集](#)」

86 ページの「[キャプションまたはメモによるメディアファイルの検索](#)」

ファイルへのメモの追加

Elements Organizer のメモを使用すると、メディアファイルを簡単に区別したり、大切な情報を記録したりできます。写真についての個人的な思い出やエピソードを入力または表示するには、プロパティパネルの「メモ」テキストボックスを使用します。メモは、プロパティパネル内の画面にだけ表示されます。

注意：日付表示には「コメント」機能がありますが、この機能はキャプションやメモとは異なります。コメントは、特定の写真ではなく、カレンダーの日付に関連付けられます。

- 1** メディアブラウザーまたは日付表示でメディアファイルを選択し、ウィンドウ／プロパティを選択して、プロパティパネルを表示します。
- 2** 一般ボタン  をクリックし、「メモ」テキストボックスにメモを入力します。

関連項目

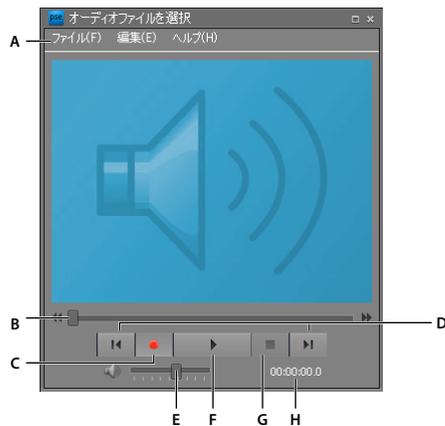
116 ページの「[Elements Organizer でのファイル情報の表示または編集](#)」

46 ページの「[日付表示へのコメントの追加](#)」

86 ページの「[キャプションまたはメモによるメディアファイルの検索](#)」

写真へのオーディオキャプションの追加

Elements Organizer でオーディオキャプションを録音するには、コンピューターにマイクなどの音声入力機器を接続する必要があります。詳しくは、コンピューターのマニュアルを参照してください。



オーディオウィンドウ

A. メニュー B. オーディオの特定のセクションを再生する位置までスライダーをドラッグする C. 録音ボタン D. 開始点ボタンと終了点ボタン E. 音量調節 F. 再生ボタン G. 停止ボタン H. オーディオの長さ

- 1 日付表示またはメディアブラウザーで写真を選択し、プロパティパネル（ウィンドウ／プロパティ）を表示します。プロパティパネルの「一般」セクションで、オーディオキャプションを追加または変更ボタン をクリックします。
- 2 次のいずれかの操作を行います。
 - オーディオキャプションを録音するには、オーディオファイルを選択ウィンドウの録音ボタン をクリックし、マイクに向かって発声します。オーディオキャプションの録音を終了したら、停止ボタン をクリックして停止します。再生ボタン をクリックすると、録音したオーディオキャプションを聞くことができます。うまく録音できなかった場合は、録音ボタンをもう一度クリックしてオーディオキャプションを録音し直します。
 - 既存のオーディオクリップを写真に追加するには、オーディオファイルを選択ウィンドウのメニューからファイル／参照を選択します。目的のオーディオクリップを選択し、「開く」ボタンをクリックしてオーディオウィンドウに戻ります。
- 3 オーディオファイルを選択ウィンドウの閉じるボタン をクリックし、オーディオを保存して写真に適用します。

注意：オーディオキャプションを作成した後には写真の名前を変更しても、オーディオキャプションファイル名が連動して変更されることはありません。ただし、オーディオファイルは引き続きその写真に添付されています。

関連項目

116 ページの「[ファイル情報（メタデータ）](#)」

オーディオクリップやオーディオキャプションの再生

- ❖ 次のいずれかの操作を行います。
 - メディアブラウザーまたは日付表示で写真を選択し、ウィンドウ／プロパティを選択して、プロパティパネルを表示します。一般ボタン をクリックし、オーディオキャプションを追加または変更ボタン をクリックします。表示されるウィンドウで再生ボタン をクリックします。
 - メディアブラウザーでサムネール内のオーディオキャプションアイコン をクリックします。表示されるウィンドウで再生ボタンをクリックします。
 - メディアブラウザーのサムネール単一表示で写真を表示し、オーディオキャプションを設定ボタン をクリックします。表示されるウィンドウで再生ボタンをクリックします。

ファイル情報

ファイル情報（メタデータ）

デジタルカメラで写真を撮影すると、各画像ファイルに、撮影日時、シャッタースピードと絞り値、カメラの型式などの情報が保存されます。取り込んだビデオクリップやオーディオクリップの各ファイルには、重要なメディアファイル情報が含まれています。これらの情報すべてをメタデータといいます。メタデータは、Elements Organizer のプロパティパネルで表示や追加ができます。

アルバムを管理および整理するときに画像を識別しやすいように、タイトル、キーワードタグ、説明などの情報を追加することができます。画像を編集すると、Elements Organizer で編集履歴がファイルに自動的に記録され、ファイルのメタデータに追加されます。

さらに、開いた画像で **Digimarc** の透かしが自動的にスキャンされます。透かしが検出された場合は、Elements Organizer の画像ウィンドウのタイトルバーに著作権記号が表示され、ファイル情報ダイアログボックスの「著作権のステータス」、「著作権情報」、および「著作権情報 URL」テキストボックスに情報が表示されます。

Elements Organizer でのファイル情報の表示または編集

Elements Organizer のプロパティパネルには、選択したメディアファイルに関する詳細情報が表示されます。プロパティパレットでは、ファイル名、キャプションやメモ、メタデータ、ファイルの取り込み日または修正日、ファイルを使用したプロジェクト名、ファイルに適用されているキーワードタグ、ファイルが含まれているアルバム、コンピューター上でのファイルの保存場所およびファイルの編集履歴を確認できます。また、写真に付けられたオーディオキャプションの再生と録音、ファイル名の変更、キャプションやメモの追加およびメディアファイルの日時の変更を行えます。



プロパティパネル

A. パネルを Elements Organizer エリアで展開するまたは折りたたむ **B.** 編集可能なキャプション **C.** 編集可能なファイル名 **D.** 編集可能なメモ **E.** 編集可能な重要度 **F.** ファイルサイズと寸法（写真とビデオ）、または再生時間（オーディオ） **G.** 編集可能な日時 **H.** ハードディスク上のファイル保存場所へのリンク **I.** オーディオキャプションを記録、再生および適用する **J.** パネルを閉じる **K.** 情報の種類

- 1 メディアブラウザーまたは日付表示でファイルを選択します。
- 2 ウィンドウ／プロパティを選択し、プロパティパネルを表示します。
- 3 次のいずれかのボタンをクリックして、表示または変更する情報の種類を選択します。

一般 キャプション、ファイル名、メモ、ファイルサイズ、画像サイズ、再生時間（ビデオクリップとオーディオクリップの場合）、日時、ファイルの保存場所およびオーディオキャプションが表示されます。ここで、キャプション、ファイル名、メモおよびオーディオキャプションの追加と変更、日時の変更を行うことができます。ファイル名を変更すると、新しいファイル名はハードディスク上のファイル名にも反映されます。アイテムが保存されているフォルダーを表示するウィンドウを開くには、フォルダーボタン をクリックします。

キーワードタグ  アイテムに適用されているキーワードタグや、アイテムが含まれているアルバムが表示されます。

キーワードタグ  アイテムに適用されているキーワードタグが4個以上の場合に表示され、アイテムが含まれているアルバムが表示されます。

履歴  写真の取り込み日、修正日および取り込み元が表示されます。「履歴」には、その写真を使用しているプロジェクトの一覧、配信またはプリントした日時などの様々な詳細情報も表示されます。

メタデータ  カメラのメーカーとモデル、撮影で使用したカメラの設定、ファイルの種類など、アイテムに関連するメタデータの一覧が表示されます。基本的なカメラ情報を表示するには、「概要」を選択します。すべての Exchangeable Image File (Exif) 情報を表示するには、「詳細」を選択します。

関連項目

113 ページの「[ファイルへのキャプションの追加](#)」

114 ページの「[ファイルへのメモの追加](#)」

114 ページの「[写真へのオーディオキャプションの追加](#)」

ファイルの再リンク

Elements Organizer で見つからないファイルの再リンク

Elements Organizer を使用しないでファイルの移動、名前変更、削除、または編集を行うと、何らかの操作をしようとしたときに、メディアブラウザーのサムネールの上部に、ファイルが見つからないことを示すアイコン  が表示されます。

注意：ファイルが見つからないことを示すアイコンは、Elements Organizer でサムネールを作成できないほど大きなサイズのファイルに対しても表示されることがあります。

Elements Organizer の初期設定では、見つからないファイルがある場合、自動的にそのファイルの再リンクと名前変更を試みます。見つからないファイルと同じ名前、更新日およびサイズのファイルを検索して、カタログに再リンクします。

自動再リンクを途中で中止し、見つからないファイルを再リンクダイアログボックスを使用して、ファイルを検索することができます。このダイアログは、特定のフォルダー内で見つからないファイルを検索するように Elements Organizer に指定する場合に便利です。

見つからないファイルが発生することを防ぐために、ファイルを扱う場合は、次の点に注意してください。

- カタログ内のファイルを移動するには、「移動」コマンドを使用します（アイテムを選択し、ファイル／移動を選択します）。
- カタログ内のファイルの名前を変更するには、「ファイル名変更」コマンドを使用します（アイテムを選択し、ファイル／ファイル名変更を選択します）。
- ファイルをコンピューターから削除した場合には、そのアイテムをカタログから削除して、メディアブラウザーに表示しないようにします。ファイルをカタログから削除するには、見つからないファイルを再リンクダイアログボックスまたは編集／カタログから削除コマンドを使用します。
- 編集／[オリジナルアプリケーション名] で編集コマンドを使用して、オリジナルファイルをオリジナルアプリケーションで編集します。このコマンドを設定するには、編集／環境設定／編集を選択して、「追加の編集アプリケーションを使用」を選択し、「参照」をクリックしてアプリケーションを検索して選択します。次に「開く」をクリックします。このコマンドを使用すると、ファイルが見つからないことを示すエラーを発生させずに、ファイル名とファイルタイプを変更できます（BMP から JPEG に変更するなど）。編集が終了したら、必要に応じてサムネールを更新します。

関連項目

110 ページの「[Elements Organizer でのファイル名の変更](#)」

98 ページの「[カタログ内でのファイルの移動](#)」

100 ページの「[カタログからのアイテムの削除](#)」

自動再リンクの解除

- 1 Elements Organizer で、編集／環境設定／ファイルを選択します。
- 2 「見つからないファイルを自動的に検索して再リンク」の選択を解除します。
- 3 「OK」をクリックします。

オフラインファイルの操作

写真を取り込む場合、マスター写真のフル解像度のコピーを取り込むか（初期設定）、解像度を低下させたコピー（プレビューファイル）を取り込むかを選択することができます。プレビューファイルは、オリジナルの高解像度ファイルの小容量コピーとしてカタログに表示されます。CD アイコン  は、オフライン（ローカルのハードディスクではなく CD または DVD に保存されている）のアイテム上に表示されます。オリジナルの写真を必要とする操作を行うときは、CD または DVD を挿入するように指示するメッセージが表示されます。例えば、オリジナルの写真を必要とするグリーティングカードを作成する場合は、次の操作を行います。

- 1 作成／グリーティングカードを選択します。

オフラインボリュームを検索ダイアログが表示されます。

- 2 表示されたボリュームを挿入して、「更新」をクリックします。

画像の横に表示されていた CD アイコンが消え、画像を使用してグリーティングカードを作成できるようになります。

見つからないファイルの再リンク

多くの場合、見つからないファイルは、メディアブラウザーでファイルが見つからないことを示すアイコン  と一緒に表示されます。しかし、ファイルが見つからないことは、そのファイルのプリント、電子メールでの送信、編集またはファイルへの書き出しを行うなど、実際に使用するまで気づきません。そのような場合は、見つからないファイルを再リンクダイアログボックスが開かれます。

- 1 メディアブラウザーまたは日付表示で、次のいずれかの操作を行います。
 - メディアブラウザーで、ファイルが見つからないことを示すアイコン  が表示されているアイテムを選択します。ファイル／再リンク／見つからないファイルを選択します。
 - ファイル／再リンク／すべての見つからないファイルを選択します（見つからないアイテムをメディアブラウザーで選択する必要はありません）。Photoshop Elements はカタログ内のすべてのアイテムの検証を開始し、完全に一致するものが見つかった場合は、ファイルを再リンクします。
- 2 完全に一致するものが見つからない場合は、表示されるダイアログボックスで次のいずれかの操作を行います。
 - Elements Organizer が見つからないファイルを検出するまで待機します。いくつかのファイルが見つからず、再リンクできない場合は、見つからないファイルを再リンクダイアログボックスが表示されます。
 - 「参照」をクリックして、見つからないファイルを再リンクダイアログボックスを開き、見つからないファイルを手動で検索して再リンクします。
 - 「キャンセル」をクリックして検索を中止します。

- 3 見つからないファイルを再リンクダイアログボックスで、「カタログ内の見つからないファイル」リスト（左側）から見つからないファイルを選択します。連続している複数のファイルを選択するには、**Shift** キーを押しながら、選択対象の最初と最後のファイルをクリックします。連続していない複数のファイルを選択するには、**Ctrl** キーを押しながら各ファイルをクリックします。

選択したメディアファイルに関する情報がリストの下に表示されます。

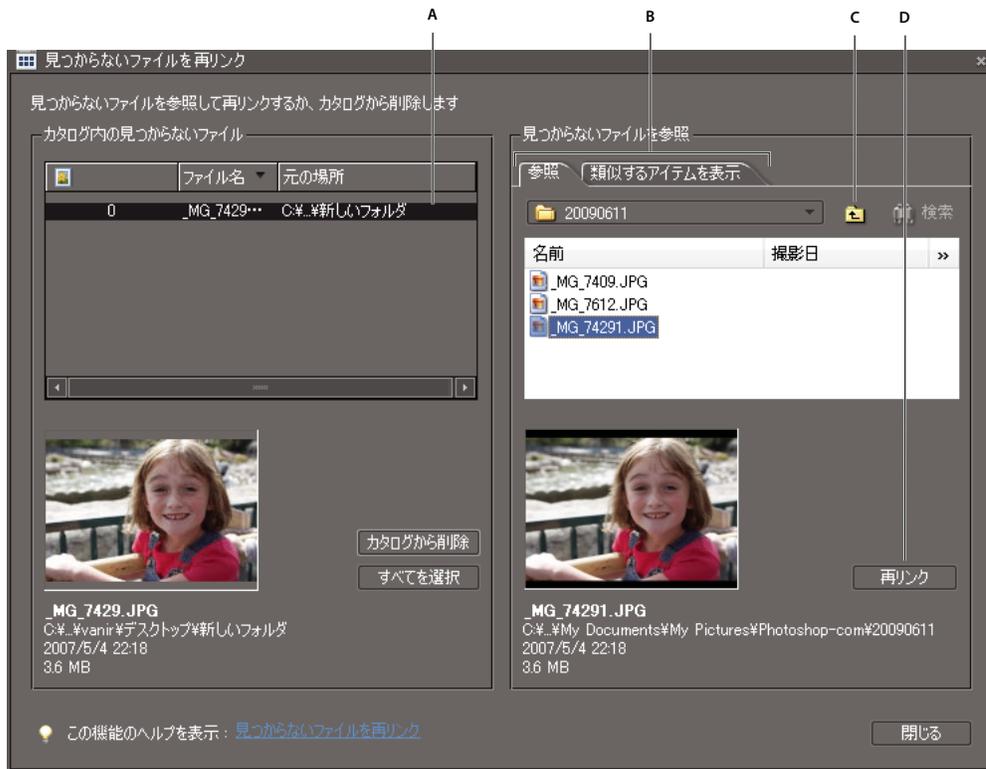
- 4 「見つからないファイルを参照」（右側）で、次のいずれかの操作を行います。

- ファイルに移動するには、「参照」タブをクリックして、最後に分かっていたそのファイルのフォルダーの場所を表示します。そのファイルの新しい保存場所に移動します。フォルダーまたはディスクドライブを選択して「検索」をクリックし、そのファイルのフォルダーまたはディスクドライブを検索します。ファイルが見つかったら、そのファイルを選択し、「再リンク」をクリックします。

注意：「検索」は、名前を変更せずに別のフォルダーに移動したファイルや、削除せずに別のフォルダーに移動したファイルで機能します。また、名前を変更したが、移動していないファイルでも機能します。ファイルの名前と場所を変更した場合は、再リンクされなかったファイルとファイル名が異なっていても、Elements Organizer により更新日とサイズが同じファイルがリストに表示されます。これらの類似するアイテムの検索結果からファイルを選択することができます。

- 選択したファイルの類似アイテムを表示するには、「類似するアイテムを表示」タブをクリックします。ファイルが表示されたら、そのファイルを選択し、「再リンク」をクリックします。
- 選択したアイテムへの参照を削除するには、「カタログから削除」ボタンをクリックします。オリジナルファイルが削除されていて、再リンクするファイルがない場合は、この「カタログから削除」ボタンを使用します。この操作は、アイテムをハードディスクからは削除せずにメディアブラウザーから削除する操作と同じです。

注意：見つからないファイルのリストには、再リンクできなかったファイルが残ります。



見つからないファイルの再リンク

A. 古いフォルダーの場所から 1 つまたは複数のアイテムを選択する B. 類似したアイテムを参照または表示するタブを選択する C. 新しい場所に移動し、接続先のファイルを選択する D. 「再リンク」をクリックする

5 「閉じる」ボタンをクリックします。

見つからないファイルを再リンクダイアログボックスを閉じた後でも再リンクできないファイルがある場合、いくつかのファイルが再リンクできない状態にあるというメッセージが表示されます。別のファイルで処理を続行する場合には、「はい」をクリックします。元のアクションを終了する場合には「いいえ」をクリックします。

第 8 章：Elements Organizer のプロジェクト

メディアファイルを使用したスライドショーやフォトブックなどのプロジェクトを作成し、家族や友人と共有することができます。

Elements Organizer のプロジェクトの概要

プロジェクト

Elements Organizer および Photoshop Elements Editor を使用すると、すばやく簡単にメディアファイルを編集できます。Elements Organizer では複数のプロジェクトを作成できます。他のプロジェクトを作成するには、まず Elements Organizer で使用するメディアファイルを選択し、Photoshop Elements Editor でプロジェクトを作成します。

「作成」タブの下にあるプロジェクトで、プロ仕様のテンプレートを使用して自分だけのプロジェクトを作成できます。作成したプロジェクトはオンラインで配信したり、自宅のコンピューターまたはプリント専門店でプリントしたりすることができます。

プロジェクトは Elements Organizer に表示されます。プロジェクトファイルと、各プロジェクトのドキュメントまたは Web ページを含んだサブフォルダーがローカルのハードディスクに作成されます。これらのプロジェクトファイル、サブフォルダー、およびページファイル間のリンクを維持するには、Windows エクスプローラーを使用してこれらを移動しないでください。代わりに、Elements Organizer の「移動」コマンドを使用してください。

プロジェクトは、様々な方法で配信できます。例えば、スライドショーを VCD に書き込めます。また、**Adobe Photoshop** サービスを通じてプロジェクトをプリント専門店でプリントすることもできます。

注意：以前のバージョンの Photoshop Elements で作成したプロジェクトは、最新バージョンでは開かないことがあります。これらのプロジェクトを開くには、以前のバージョンを使用する必要があります。

関連項目

150 ページの「[オンラインサービスのセットアップ](#)」

151 ページの「[オンライン配信サービスへの写真の送信](#)」

保存したプロジェクトの検索

❖ Elements Organizer で、検索／メディアの種類／プロジェクトを選択します。

異なるタイプのプロジェクトの識別

Elements Organizer は、メディアブラウザー内の様々な種類のプロジェクトを識別します。Adobe Photoshop サービスを通じて注文したプロジェクトは、メディアブラウザーに表示されません。

- ❖ メディアブラウザーに表示されるサムネールの右上隅に、次のアイコンが表示されます。
 - フォトプロジェクト： Elements Organizer で作成され、PSE 形式で保存された複数ページのドキュメント。
 - プロジェクト： 以前のバージョンの Elements Organizer で作成されたドキュメント。
 - スライドショー： Elements Organizer で作成されたスライドショープロジェクト。
 - フリップブック： WMV 形式に編集された一連の画像。

- PDF ファイル：  Adobe Acrobat 形式で保存されたドキュメント。

保存したプロジェクトを開く

保存されているプロジェクトは、いつでも開いて、編集したり、再公開したりすることができます。プロジェクトは、その他のすべてのメディアファイルとともに初期設定でメディアブラウザーに表示されます。表示されるのは、ファイルを保存したときに、「Elements Organizer に含める」オプションを選択した場合のみです。



メディアブラウザーに表示された保存済みのプロジェクト

メディアブラウザーでプロジェクトを表示するには、メニューバーから表示／メディアの種類／プロジェクトを選択します。

- ❖ メディアブラウザーで次のいずれかの操作を行います。
 - プロジェクトをダブルクリックします。
 - メディアブラウザーでプロジェクトを右クリックし、コンテキストメニューから「編集」を選択します（フリックブック、オンラインアルバム、および PDF ファイルを除く）。

オンラインアルバムの作成と配信

オンラインアルバムには、様々な標準的なレイアウトとデザインが用意されています。いずれも Web ページで画像を表示するのに最適な仕様です。オンラインアルバムウィザードには、メディアファイルの追加と配置、レイアウトテンプレートの適用、およびファイルの配信などのプロセスが順に提示されます。オンラインアルバムウィザードでは、メディアファイルの配置のみが可能で、編集はできません。

- 1 Elements Organizer で、オンラインアルバムに追加するメディアファイルを選択します。
- 2 配信 /  オンラインアルバムを選択して、Elements Organizer でオンラインアルバムウィザードを開きます。
- 3 「新規アルバムを作成」をクリックして、アルバムの配信方法を選択し、「次へ」をクリックします。

アルバムの詳細と次のタブが表示されます。

「コンテンツ」タブ 「コンテンツ」タブを使用して、メディアファイルの追加や削除をすることができます。

「配信」タブ アルバムの配信や保存に必要なオプションを指定することができます。

- 4 (オプション) 必要に応じて、ドロップダウンリストからアルバムカテゴリを選択します。
- 5 オンラインアルバムの名前を入力します。

6 「コンテンツ」をクリックし、次のいずれかの操作を行います。

- メディアファイルを追加するには、Elements Organizer でメディアファイルを選択し、選択したアイテムを追加ボタン  をクリックします。Elements Organizer から「アイテム」領域にメディアファイルをドラッグすることもできます。
- メディアファイルを削除するには、「アイテム」領域でメディアファイルを選択し、選択したアイテムを削除ボタン  をクリックします。
- メディアファイルを特定の順序に配置するには、表示する順序にサムネールをドラッグします。

7 「配信」をクリックしてアルバムをプレビューし、オンラインアルバムの配信オプションを指定します。

- (オプション) ドロップダウンリストからテンプレートを選択し、別のアルバムレイアウトテンプレートを選択します。テンプレートのサムネールをダブルクリックし、テンプレートを適用したオンラインアルバムをプレビューします。変更したテンプレートがプレビューウィンドウに反映されます。ビデオテンプレートだけを表示するには、「ビデオテンプレートのみ」を選択します。
- プレビューウィンドウに、スライドショーの設定を指定するスライドショーの設定ダイアログが表示されます。スライドのタイトル、サブタイトル、背景色を指定したり変更したりできます。

注意：スライドショーの設定は、選択するテンプレートによって異なります。

- オンラインアルバムの配信方法を指定して、「完了」をクリックします。例えば、アルバムを FTP や CD / DVD に書き出すことができます。

画面に表示される指示に従ってオンラインアルバムを配信します。

関連項目

113 ページの「[ファイルへのキャプションの追加](#)」

オンラインアルバムテンプレートの選択

- 1 オンラインアルバムウィザードで「配信」をクリックします。
- 2 サムネールをクリックするか、ドロップダウンリストからテンプレートを選択して、テンプレートを選択します。いくつかのテンプレートはキャプションを追加できます。
- 3 テンプレートをダブルクリックして、テンプレートを適用したオンラインアルバムをプレビューします。テンプレートを確定したら、「完了」をクリックします。

オンラインアルバムの配信オプション

オンラインアルバムウィザードでは、次の配信オプションを設定します。

Photoshop Showcase (米国以外の全ユーザー) ファイルを Adobe Photoshop サービスオンライン配信サービスに公開できます。オンラインアルバムダイアログボックスが開いたら、「アップロード」をクリックします。

CD/DVD への書き出し コンピューターでフルスクリーン再生できるように、オンラインアルバムファイルをディスクに書き込むことができます。

注意：ローカルに保存したフォルダーを元の場所から移動すると、Windows が Flash Player にセキュリティ上の問題があることを通知します。フォルダーを元の場所に戻すか、オンラインアルバムウィザードから新しい場所に保存します。

ハードディスクへの書き出し ファイルをハードディスクに保存できます。

FTP への書き出し ファイルを Web サーバーにアップロードできます。

オンラインアルバムの CD / DVD への書き出し

メディアファイルの配置とオンラインアルバムのテンプレートの選択が終了したら、配信方法を指定します。

Elements Organizer では、オンラインアルバムを CD または DVD に書き込みます。

1 次のいずれかの操作を行います。

- 配信／オンラインアルバム／既存のアルバムを配信をクリックします。アルバムを選択し、オンラインアルバムウィザードの「配信先」領域で、「CD / DVD へ書き出し」を選択して「次へ」をクリックします。
- 「整理」をクリックしてアルバムを展開します。書き出すアルバムを右クリックして、「CD / DVD へ書き出し」を選択します。

2 書き込む CD-ROM ドライブを選択し、ディスクの名前を入力します。

3 「完了」をクリックします。

CD-ROM ドライブに空の CD / DVD がセットされている場合は、Elements Organizer によって自動的に CD / DVD に書き込まれます。そうでない場合は、Elements Organizer は空の CD/DVD を挿入して処理を完了させるよう要求します。

オンラインアルバムの Web サーバーへの書き出し

写真の配置とオンラインアルバムのテンプレートの選択が終了したら、配信方法を指定します。Elements Organizer では、オンラインアルバムを Web サーバーに書き出すことができます。

1 次のいずれかの操作を行います。

- 配信／オンラインアルバム／既存のアルバムを配信をクリックします。アルバムを選択し、オンラインアルバムウィザードの「配信先」領域で、「FTP へ書き出し」を選択して「次へ」をクリックします。
- 「整理」をクリックしてアルバムを展開します。書き出すアルバムを右クリックして、「FTP へ書き出し」を選択します。

2 サーバーアドレス、ユーザー名、パスワード、アップロードしたファイルの書き出し先フォルダーを入力します。

 すべての設定を入力したら、「サーバーへのアクセスをテスト」をクリックして、Web サーバーに接続できることを確認します。

3 「完了」をクリックします。

オンラインアルバムのハードディスクへの書き出し

写真の配置とオンラインアルバムのテンプレートの選択が終了したら、配信方法を指定します。Elements Organizer では、オンラインアルバムをハードディスクに書き出すことができます。

1 次のいずれかの操作を行います。

- 配信／オンラインアルバム／既存のアルバムを配信をクリックします。アルバムを選択し、オンラインアルバムウィザードの「配信先」領域で、「ハードディスクへ書き出し」を選択して「次へ」をクリックします。
- 「整理」をクリックしてアルバムを展開します。書き出すアルバムを右クリックして、「ハードディスクへ書き出し」を選択します。

2 アルバム名とアルバムの保存先を指定します。

3 「完了」をクリックします。

アルバムの編集と削除

- 1 「整理」をクリックしてアルバムを展開します。編集するアルバムを右クリックして、「<アルバム名> アルバムを編集」をクリックします。例えば、「Anna のアルバムを編集」などです。画面に表示される指示に従ってアルバムを編集します。
- 2 「整理」をクリックしてアルバムを展開します。削除するアルバムを右クリックして、「<アルバム名> アルバムを削除」をクリックします。例えば、「Anna のアルバムを削除」などです。

フォトブック、グリーティングカード、フォトコラージュの作成

Elements Organizer で、フォトブック、グリーティングカード、フォトコラージュを作成できます。これらのプロジェクトを作成するには、Elements Organizer で使用するメディアファイルを選択し、Photoshop Elements Editor でプロジェクトを作成します。

スライドショーの作成

スライドショー

 この手順に関するビデオについては、www.adobe.com/go/lrvid2330_pse_jp を参照してください。

スライドショーを使用すると、メディアファイルを楽しく共有することができます。Elements Organizer では、スライドショーに音楽クリップやクリップアート、テキスト、ナレーションなどを入れてカスタマイズすることができます。PDF 形式の画像はスライドショーに表示されません。

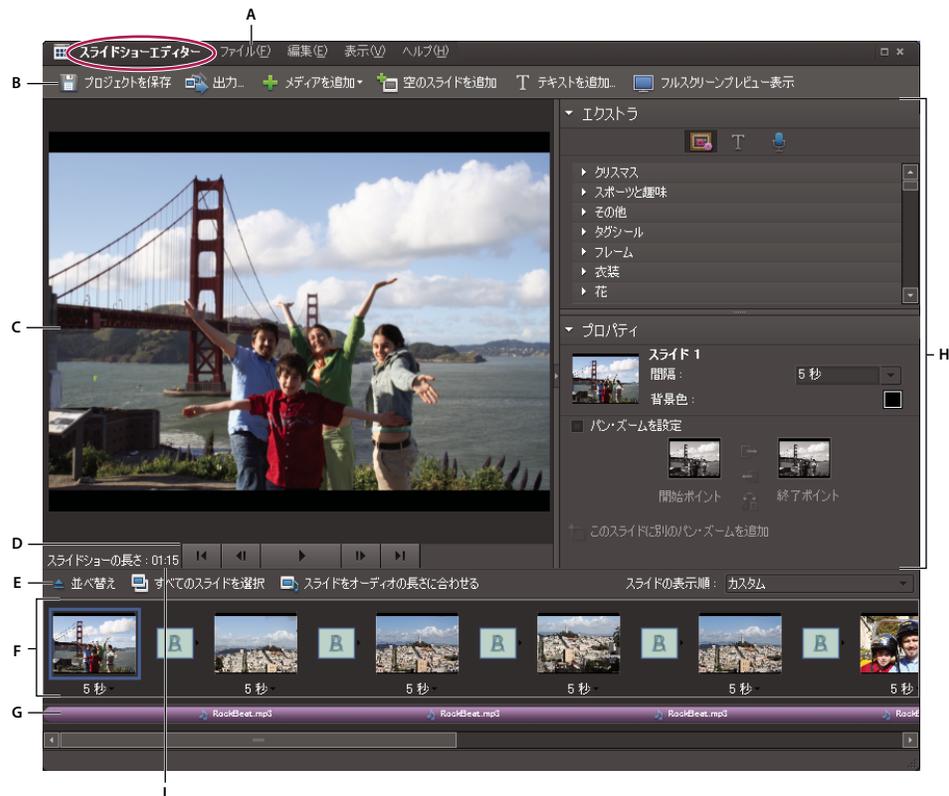
スライドショーが完成したら、配信する方法を選択できます。PDF として保存し、WMV ファイルに変換して VCD に書き込むことができます。また、ローカルに保存して Acrobat で印刷することもできます。システムに Adobe® Premiere® Elements® がインストールされている場合は、直接書き込んで高画質な DVD を作成することもできます。

スライドショーの作成

スライドショーは、スライドショーダイアログボックスを使用して作成します。画面の一番上のバーにあるフルスクリーンプレビュー表示  をクリックすると、スライドショーをいつでもプレビューできます。または、再生ボタンをクリックしてスライドショーをプレビューすることもできます。

- 1 メディアブラウザーで、スライドショーで使用するメディアファイルを選択します。
- 2 「作成」タブ  から「スライドショー」を選択します。
- 3 スライドショーの環境設定ダイアログボックスが表示されたら、初期設定をそのまま使用するか（ほとんどのオプションは後で変更できます）、オプションをカスタマイズします。「OK」をクリックし、スライドショーダイアログボックスを開きます。

スライドショーダイアログボックスには、スライドショーを作成するためのすべてのツールが用意されています。スライドショーで使用するよう選択したメディアファイルは、画面の一番下に表示されます。



スライドショーダイアログボックス

A. ファイルメニュー B. ツールバー C. スライドプレビュー D. 再生コントロール E. 並べ替え F. ストーリーボード G. BGM ファイル名 H. パネルエリア I. スライドショーの合計時間

4 次のいずれかの操作を行って、スライドショーを編集します。

- スライドを並べ替えます。
- スライドの写真のサイズを変更します。ビデオファイルのサイズは変更できません。
- 新しい空のスライドを追加します。例えば、空のスライドでタイトルページを作成できます。
- スライドを右クリックして「スライドを削除」をクリックすると、スライドショーから削除されます。
- 音楽クリップを追加します。
- スライドにクリップアートグラフィックやテキストを追加します。

注意：ビデオファイルにはグラフィックやテキストを追加できません。

- スライドにテキストキャプションを追加します。
- スライドに動きを追加します。
- スライドにエフェクトを追加します。
- スライドの間の切り替え方法を追加したり、切り替え間隔を変更します。
- スライドにナレーションを追加します（コンピューターにマイクを接続する必要があります）。
- 各スライドの表示時間を調整します。

5 「全画面をプレビュー表示」ボタンをクリックし、スライドショーをプレビューします。Esc キーを押すと、いつでもスライドショーの編集に戻ることができます。

- 6 「プロジェクトを保存」ボタンをクリックし、スライドショーを保存します。スライドショーは定期的に保存することをお勧めします。

関連項目

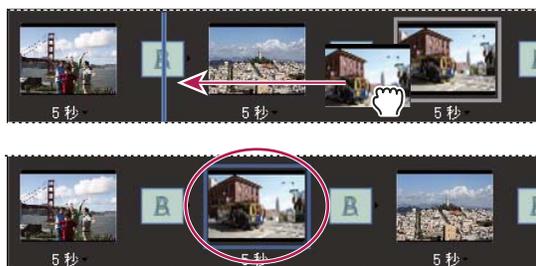
136 ページの「スライドショーの出力」

スライドの並べ替え

❖ 次のいずれかの操作を行います。

- ・ ストーリーボード内でスライドを別の位置にドラッグします。
- ・ 「並べ替え」ボタンをクリックします。ダイアログボックスで、スライドを並べ替えて「戻る」ボタンをクリックします。
- ・ スライドの表示順メニューからいずれかのオプションを選択します。

💡 最初のスライドを最後に移動するには、スライドショーエディターの最後に向かってスライドをドラッグし続け、画面をスクロールさせます。



スライドは、「並べ替え」機能を使用すると簡単に並べ替えることができます。

新しい空のスライドの追加

❖ 次のいずれかの操作を行います。

- ・ 「空のスライドを追加」ボタン  をクリックします。
- ・ 編集/空のスライドを選択します。

スライドの編集と調整

スライドに簡単な編集を行う場合は、スライドショーダイアログボックスの機能を使用して自動調整できます。より高度な調整が必要な場合は、Elements Editor を使用して編集します。写真がスライドにうまく適合しない場合は、写真のサイズと位置を手動で調整できます。

- 1 スライドを選択し、メインプレビューウィンドウで写真をクリックします。
- 2 プロパティパネルで次のいずれかの操作を行います。
 - ・ 写真のカラーバランスを自動的に編集するには、「自動スマート補正」ボタンをクリックします。
 - ・ 写真の赤目を除去するには、「自動赤目修正」ボタンをクリックします。
 - ・ より高度な編集が必要な場合は、「詳細編集」ボタンをクリックして、Elements Editor で写真を開きます。作業が完了したら、写真を保存して Elements Editor を終了し、スライドショーダイアログボックスに戻ります。
 - ・ 写真のサイズを調整するには、写真を選択した状態でサイズスライダーをドラッグするか、写真のバウンディングボックスの境界線やコーナーをドラッグします。
 - ・ 写真をスライドのサイズに合わせて調整するには、「スライドに合わせ切り抜き」ボタンをクリックします。

- 写真全体を表示するには、「写真全体を表示」ボタンをクリックします。写真の周囲の余白の部分は、背景色で塗りつぶされます。背景色は「スライドショーの環境設定」で変更できます。

スライドショーへの音楽の追加

音楽を追加すると、より本格的なスライドショーを作成できます。音楽は、Elements Organizer カタログまたはコンピューターの任意の場所から読み込むことができます。

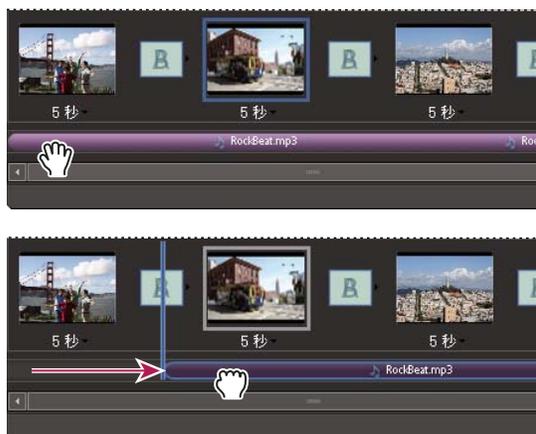
- ❖ スライドショーエディターダイアログボックスで、「メディアを追加」ボタンをクリックし、次のいずれかを選択します。

Elements Organizer からオーディオを追加 カタログからオーディオクリップを追加できます。オーディオを追加ダイアログボックスで、「参照」ボタンをクリックします。クリップを選択して「OK」をクリックします。

注意：オーディオを追加ダイアログボックスでは、クリップを選択して再生ボタンをクリックすることで、追加する前にオーディオを試聴することができます。

フォルダーからオーディオを追加 Elements Organizer で管理されていないオーディオクリップを追加できます。オーディオファイルを選択ダイアログボックスで、オーディオファイルを探して選択し、「開く」ボタンをクリックします。この操作を行うと、Elements Organizer にそのクリップが追加されます。

- 💡 スライドショーの速度を音楽に合わせるには、「スライドをオーディオの長さに合わせる」ボタンをクリックします（各スライドの長さがフィルムストリップ内で更新されます）。



オーディオファイルをドラッグすると、そのスライドで再生が開始されます。

スライドへのクリップアートグラフィックの追加

スライドショーダイアログボックスのエクストラパネルで、スライドにクリップアートを追加できます。グラフィックはいくつでも追加できますが、グラフィックを多く使用するとパフォーマンスが低下します（ファイルサイズが大きくなるため）。

注意：ビデオファイルを含むスライドにグラフィックやテキストは追加できません。



グラフィックをスライドヘドラッグ

- 1 スライドショーダイアログボックスのエキストラパネルで、グラフィック  をクリックします。
- 2 クリップアートを参照し、追加するグラフィックを選択します。グラフィックはカテゴリ別に配置され、初期設定ではエキストラパネルに表示されます。アートが表示されない場合は、カテゴリ名の左にある三角形  をクリックします。
- 3 スライドにグラフィックを配置するには、次のいずれかの操作を行います。
 - クリップアートをスライドにドラッグします。
 - クリップアートをダブルクリックします。
 - クリップアートを右クリックし、コンテキストメニューで「選択したスライドに追加」を選択します。
- 4 グラフィックがスライドに表示されたら、次のいずれかの操作を行います。
 - グラフィックのサイズを変更するには、バウンディングボックスのコーナーをドラッグします。
 - グラフィックを移動するには、クリップの中心をクリックして別の場所にドラッグします。
 - クリップアートの重なり順を変更するには、グラフィックをクリックし、編集／アレンジメニューからオプションを選択します。

スライドへのテキストの追加

スライドショーエディターダイアログボックスのエキストラパネルで、スライドに追加するテキストのフォントスタイルを選択できます。



スライドへのテキストの追加

- 1 新しいテキストを追加するには、次のいずれかの操作を行います。
 - プリセットテキストエフェクトのいずれかを使用するには、エクストラパネルでテキストをクリックし、テキストサンプルをスライドにドラッグします。
 - シンプルなテキストを追加するには、「テキストを追加」ボタン **T** をクリックします。
- 2 サンプル表示されたテキストを変更する場合は、テキストをダブルクリックし、テキストを編集ダイアログボックスに入力して、「OK」をクリックします。
- 3 プロパティパネルで、次のいずれかのオプションを設定します。

注意：ここで指定したテキストプロパティが、テキストを追加する際の初期設定になります。

フォントファミリー テキストにフォントファミリーを適用します。ダイアログボックスの左側にあるメニューからフォントファミリーを選択します。

フォントサイズ テキストにフォントサイズを適用します。ダイアログボックスの右側にあるメニューからフォントサイズを選択します。

カラー テキストにカラーを適用します。スウォッチをクリックし、カラーピッカーダイアログボックスを使用してカラーを指定します。

不透明度 テキストの不透明度を指定します。テキストの下のスライドコンテンツが透けて見えるようにするには、不透明度を低くします。

テキストの左揃え テキストの各行を左端に揃えます。

テキストの中央揃え テキストの各行を中心に揃えます。

テキストの右揃え テキストの各行を右端に揃えます。

フォントスタイル 太字、斜体、下線、打ち消し線などのフォントスタイルをテキストに適用します。スタイルアイコンをクリックすると、そのスタイルが適用されます。

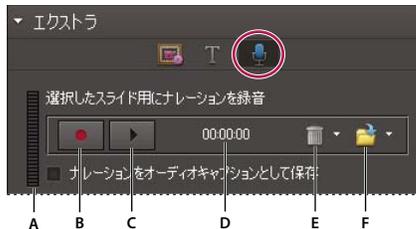
ドロップシャドウ テキストにドロップシャドウを追加し、テキストを立体的に見せます。

ドロップシャドウカラー ドロップシャドウのカラーを変更します。

 既存のテキストを編集するには、「テキストを編集」ボタンをクリックします。

スライドへのナレーションの追加

コンピューターにマイクが接続されている場合は、スライドにナレーションを録音できます。オーディオキャプションとして写真にナレーションを追加することもできます。



スライドへのナレーションの追加

A. 録音ボリュームレベル B. 録音ボタン C. 再生ボタン D. ナレーションの長さ E. 削除ボタン F. 開くボタン

- 1 スライドショーダイアログボックスのエクストラパネルで、ナレーションをクリックします。
- 2 ナレーションを録音するには、録音ボタン  をクリックし、マイクに向かって発声します。
- 3 ナレーションを録音したら、次のいずれかの操作を行います。
 - 再生ボタンをクリックし、録音したナレーションを試聴します。
 - 削除ボタンをクリックし、「このナレーションを削除」を選択してもう一度やり直すか、「すべてのナレーションを削除」を選択して、スライドショーからすべてのナレーションを削除します。
- 4 既存のオーディオキャプションをナレーションとして使用するには、開くボタンをクリックし、次のいずれかのオプションを選択します。

既存のオーディオキャプションを使用 写真に添付されたオーディオキャプションを使用します。

参照 別のオーディオキャプションを検索して選択できます。

- 5 「次のスライド」ボタンをクリックして、次のスライドのナレーションを録音します。

パンとズームの設定

スライドショーダイアログボックスで、各スライドのパン・ズームをカスタマイズできます。写真の特定の部分にバウンディングボックスを配置し、開始ポイントと終了ポイントを指定します。ボックスのサイズは変更可能です。ボックスを小さくすると、パン・ズームの効果が大きくなります。スライドに複数のパン・ズームの開始および終了ポイントを追加することもできます。この場合、前のパン・ズームの終了ポイントが、次のパン・ズームの開始ポイントになります。

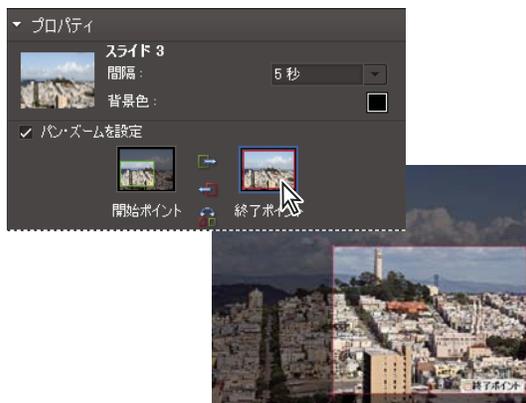
注意：パン・ズームをビデオファイルに適用せず、写真にだけ適用することもできます。

- 1 ストーリーボードで、パン・ズームを追加するスライドをクリックします。
- 2 スライドショーダイアログボックスのプロパティパネルで、「パン・ズームを設定」を選択します。
- 3 開始バウンディングボックスが緑色の枠で表示されます。メインプレビューウィンドウで、バウンディングボックスのコーナーをドラッグしてサイズを変更します。
- 4 開始ボックスを、パン・ズームを開始する部分にドラッグします。フォーカスする部分を囲むようにボックスのサイズを変更します。



パン・ズームを有効にし、開始ポイントを設定

- 5 「終了ポイント」というラベルが付いているサムネールをクリックします。終了バウンディングボックスが赤色の枠で表示されます。メインプレビューエリアで、パン・ズームを終了させる部分を囲むように、ボックスを移動してサイズを変更します。

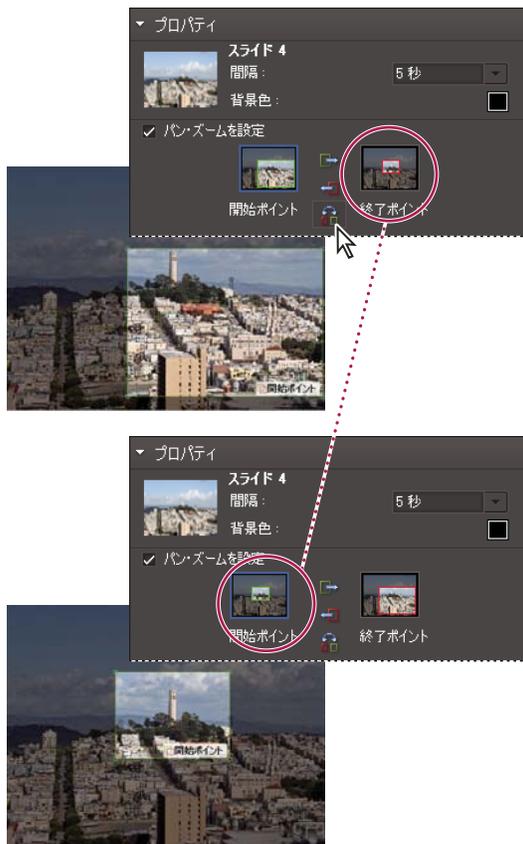


終了ポイントの選択

- 6 パン・ズームのエリアを追加するには、「このスライドに別のパン・ズームを追加」ボタンをクリックします。Elements Organizer は、新しいスライドをリンクアイコン付きでストーリーボードに追加し、パン・ズームが追加されていることを示します。前の終了ポイントと新しい開始ポイントはリンクされます（いずれかのポイントを編集すると、変更内容が両方のポイントに反映されます）。パン・ズームを終了させる部分を囲むように、新しい終了バウンディングボックスをドラッグします。

注意：追加したパン・ズームの開始ボックスを移動すると、前のパン・ズームの終了ボックスにも影響します。

- 7 開始ポイントと終了ポイントを入れ替えるには、ポイントを選択して、入れ替えをクリックします。同じスライドに開始ポイントと終了ポイントを配置するには、開始ポイントを終了ポイントにコピーをクリックするか、終了ポイントを開始ポイントにコピーをクリックします。



パンとズームのポイントの入れ替え（下が入れ替え後）

8 再生ボタンをクリックし、パンとズームをプレビューします。

💡 パンとズームを追加すると、スライドが切り替わる前の、終了ポイントに置かれるフォーカスの時間が延長されます。

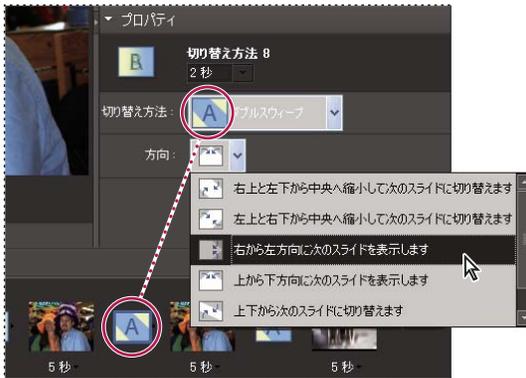
スライドへのエフェクトの追加

スライドショー内の写真に、モノクロやセピアなどのエフェクトを適用できます。

- 1 ストーリーボードで、スライドを選択します。メインプレビューウィンドウで写真をクリックします。
- 2 プロパティパネルで、モノクロまたはセピアアイコンをクリックし、写真にエフェクトを追加します。写真を元のカラーに戻すには、元の写真のカラーをクリックします。

切り替え方法の追加および編集

切り替え方法とは、スライドが次のスライドに変わるときの表示を変化させる効果です。Elements Organizer では、様々な切り替え方法を選択できます。切り替え間隔は、個別のスライドまたはグループ単位で調整できます。切り替え方法のパターンは、スライド間のアイコンで表示されます。スライドショーを作成したときにスライドショー全体の切り替え方法を変更するには、ストーリーボードですべての切り替え部分を選択し、切り替え方法を選択するか、「スライドショーの環境設定」でオプションを設定します。



切り替え方法の変更

- 1 切り替え方法を変更するには、次のいずれかの操作を行います。
 - 同じ切り替え方法をすべてのスライドに追加するには、編集/すべての切り替え方法を選択を選択します。プロパティパネルの切り替え方法メニューからオプションを選択します。
 - 切り替え方法を個別に変更するには、2つのスライドの間にある切り替えアイコンをクリックし、プロパティパネルの切り替え方法メニューからオプションを選択します（切り替えアイコンの右の三角形をクリックして変更することもできます）。
- 2 切り替え間隔を変更するには、次のいずれかの操作を行います。
 - 切り替え間隔を個別に変更するには、2つのスライドの間にある切り替えアイコンをクリックし、プロパティパネルの上部にあるメニューから間隔を選択します。
 - すべての切り替え間隔を変更するには、編集/すべての切り替え方法を選択を選択します。プロパティパネルの複数の切り替え方法メニューから、間隔を選択します。

スライドの表示時間の調整

- ❖ 次のいずれかの操作を行います。
 - ストーリーボードのスライドの下にある表示時間の合計値をクリックし、表示されるメニューからいずれかのオプションを選択します。スライドを選択し、環境設定で表示時間を変更することもできます。
 - スライドやスライドショーを最初に作成したときに、スライドショーの環境設定でスライド間隔の時間を設定します。
 - スライドショーと音楽クリップの同期をとるには、「スライドをオーディオの長さに合わせる」をクリックします。

注意：スライドのビデオファイルの表示時間を調整することはできません。

カタログからスライドショーへの写真やビデオの追加

- 1 スライドショーエディターダイアログボックスで、「メディアを追加」ボタンをクリックし、「Elements Organizer から写真とビデオを追加」を選択します。
- 2 写真を追加ダイアログボックスで、次の中から1つまたは複数のオプションを選択して、目的のメディアファイルを表示します。

現在のブラウザー内のメディア メディアブラウザーに現在表示しているすべてのメディアファイルを表示します。

カタログ全体 カatalog内のすべてのメディアファイルを表示します。

アルバム アルバムまたはアルバムグループ内のメディアファイルを表示します。

キーワードタグ タグ、カテゴリ、サブカテゴリに関連付けられているメディアファイルを表示します。

重要度が設定されたメディアのみを表示 「お気に入り」タグの付いたアイテムのみを表示します。どのメディアファイルセットを選択した場合でも、そのセットでお気に入り登録されているメディアファイルのみがダイアログボックスに表示されます。

非表示のメディアも表示 「非表示」タグの付いたアイテムを表示します。

注意：メディアファイルは、メディアブラウザーでの表示順序にかかわらず、古い順からプロジェクトに表示され、追加されます。ただし、アルバムは例外で、アルバムで指定された順序で表示されます。

3 スライドショーに含めるアイテムを選択します。Ctrl + A キーを押すと（または「すべてを選択」ボタンをクリックすると）、表示されているすべてのアイテムを選択できます。Shift + Ctrl + A キーを押すと（または「すべてを選択解除」ボタンをクリックすると）、すべてのアイテムの選択を解除できます。

4 次のいずれかのオプションを選択します。

選択したメディアを追加 選択した写真をプロジェクトに追加し、チェックボックスをリセットします。選択作業を続けられるように写真を追加ダイアログボックスは開いたままになります。

完了 選択したメディアファイルをプロジェクトに追加し、ダイアログボックスを閉じて、スライドショーダイアログボックスに戻ります。

 新しいスライドショーを作成する場合は、最初に、プロジェクトで使用するすべてのメディアファイルを集めたアルバムを作成することもできます。メディアブラウザーにアルバムを表示して、簡単にメディアファイルを並べ替えたり、キャプションを編集したりできます。その後、「メディアを追加」ボタンを使用して、そのアルバムをプロジェクトに追加できます。

スライドショーの環境設定

1 スライドショーダイアログボックスで、編集／スライドショーの環境設定を選択します。

2 次のいずれかのオプションを設定し、「OK」をクリックします。

スライド間隔 各スライドの間隔の初期設定を指定します。

切り替え方法 スライドから次のスライドに切り替える方法を指定します。

切り替え間隔 切り替え時間の長さを設定します。切り替えの印象を強くする場合は、間隔を長くします。

背景色 各スライドの写真の周りに表示されるカラーの初期設定を指定します。

すべてのスライドにパン・ズームを適用 スライドショー内のすべてのスライドにランダムにパン・ズームを適用します。

写真のキャプションをテキストとして挿入 Elements Organizer のメディアファイルに添付されているキャプションをスライドに追加します。

オーディオキャプションをナレーションとして挿入 メディアブラウザーでメディアファイル用に作成したオーディオキャプションを追加します。

最後のスライドまでサウンドトラックを繰り返し スライドショーが終了するまで音楽を繰り返し再生します。

写真とスライドサイズの調整 写真をスライドに合わせて切り抜き、縦横比が異なる場合に写真に表示される黒い線を削除します。メディアファイルの向きに応じて、「横方向」または「縦方向」を選択します。

プレビューの再生オプション メニューから再生画質を選択します。「高画質」を選択すると、スライドショーの画質が高くなりますが、読み込みに時間がかかります。

新規スライドショーを作成するときにこのダイアログボックスを表示 新しいスライドショーを作成するときは毎回環境設定ダイアログボックスを表示します。

スライドショーの出力

スライドショーを作成したら、プロジェクトを配信できます。作成したスライドショーは、PDF やムービーファイル、ビデオ CD や DVD として出力したり、**Windows Media Center Edition** を搭載したコンピューターで再生したり、Adobe Premiere Elements でビデオプロジェクトとして使用することができます。

- 1 スライドショーダイアログボックスで、「出力」ボタンをクリックします。
- 2 次のいずれかを選択し、「OK」をクリックします。

ファイルとして保存 Web または電子メールで配信可能なファイルを生成するには、このオプションを選択します。これにより、スライドショーが PDF 形式またはムービーファイル形式 (WMV) で保存されます。

PDF ファイルの場合は、スライドショーを見る環境に合わせてサイズオプションを選択します。

- 画面が小さいノート PC で見ることを想定して PDF を送信する場合は、スライドサイズを小さく設定します。
- 画面が大きいデスクトップコンピューターで見ることを想定して送信する場合は、大きいファイルサイズを選択します。
- スライドショーを最後まで再生したときに自動的に最初から再生する場合は、「ループ」を選択します。
- スライドショーを自動再生しない場合は、「マニュアル設定」を選択します。
- PDF の作成後にファイルを表示する場合は、「保存した後にスライドショーを表示」を選択します。

注意：スライドショーを PDF ファイルとして保存すると、一部のスライドショー機能が無効になります。パン・ズーム効果は、PDF ファイルでは表示されません。スライドにビデオクリップが含まれている場合は、クリップを除外してスライドが保存されます。また、PDF で保存すると、一部の切り替え方法が別の切り替え方法として表示されます (例えば、センターシェイプとクロックワイプは、PDF ファイルではフェードとして表示されます)。

ムービーファイルの場合は、ファイルを再生する環境に合わせてサイズオプションを選択します。

- 電子メールで見ることを想定してムービーファイルを送信する場合は、スライドサイズを小さく設定します。
- テレビで見ることを想定して送信する場合は、大きいファイルサイズを選択します。

ディスクに書き込み スライドショーを DVD または Video CD (VCD) に保存します。DVD には MPEG-2 圧縮形式で保存され、より高い画質を提供します。DVD に書き込めるのは、Adobe Premiere Elements がコンピューターにインストールされている場合のみです。

VCD は、大半のコンピューターの CD-ROM および DVD-ROM ドライブ (必要なプレーヤーソフトウェアがインストールされていることを前提とします) および一部の DVD プレーヤーで読み取ることができます。VCD には MPEG-1 圧縮形式で保存され、解像度は 352 x 240 ピクセルになります。テレビモニターで VCD を試聴するときは、352 x 240 ピクセルの画像が 720 x 480 (NTSC) または 720 x 576 (PAL) ピクセルの画面に合わせて拡大されます。このため、画質が低下し、圧縮によるブロックノイズやピクセルの粗さが拡大して表示されます。

テレビに出力 Windows Media Center Edition コンピューターを使用して TV でスライドショーを表示できます。このオプションを使用するには、Windows XP Media Center Edition コンピューターが必要です。

Premiere Elements で編集 Adobe Premiere Elements がコンピューターにインストールされている場合に、Elements Organizer で Adobe Premiere Elements へスライドショーを送信することができます。

関連項目

125 ページの「[スライドショーの作成](#)」

158 ページの「[Microsoft Windows XP Media Center Edition 2005 コンピューターでの写真の表示](#)」

DVD へのスライドショーの書き出し

Adobe Premiere Elements がインストールされている場合は、スライドショーを Elements Organizer から大半の DVD プレーヤーで再生できる高品質な DVD に書き出すことができます。

- 1 手順に従ってスライドショーエディターダイアログボックスを開き、スライドショーを作成します。125 ページの「[スライドショーの作成](#)」を参照してください。
- 2 スライドショーエディターダイアログボックスで、「出力」ボタン をクリックします。
- 3 「ディスクに書き込み」ボタン をクリックします。
- 4 書き込むディスクの種類として DVD を選択します。
- 5 DVD を再生する地域のテレビ方式 (NTSC または PAL) を選択します。
- 6 (オプション) 別のスライドショーや WMV ファイルをディスクに保存するには、「追加で作成したスライドショーをディスクに保存」を選択します。
- 7 「OK」をクリックします。

追加で作成したスライドショーを保存することを選択した場合は、メニュー付き DVD を作成ダイアログが開きます。

- 8 新しい WMV ファイルを保存するフォルダーを選択し、「OK」ボタンをクリックします。

Photoshop Elements によって、書き込むスライドショーごとに WMV (Windows Media Video) ファイルが作成されま (ダイアログボックスの「キャンセル」ボタンを押すと、いつでも処理を中断できます)。

Adobe Premiere Elements で、WMV ファイルがメディアパネルとシーン/タイムラインパネルに追加されます。DVD ワークスペースが自動的に表示され、このワークスペースで、メニューテンプレートの選択や、メニューボタンの追加やカスタマイズができます。

スライドショーの追加

複数のスライドショーを追加して、DVD に書き出すことができます。手順に従ってスライドショーを作成します。125 ページの「[スライドショーの作成](#)」を参照してください。スライドショーを追加するには、次の操作を行います。

- 1 スライドショーエディターダイアログボックスで、「出力」ボタン をクリックします。
- 2 「ディスクに書き込み」ボタン をクリックします。
- 3 書き込むディスクの種類として DVD を選択します。
- 4 DVD を再生する地域のテレビ方式 (NTSC または PAL) を選択します。
- 5 別のスライドショーや WMV ファイルをディスクに保存するには、「追加で作成したスライドショーをディスクに保存」を選択し、「OK」をクリックします。既存のスライドショーを保存します。

メニュー付き DVD を作成ウィンドウが表示されます。このウィンドウで、スライドショーの追加や削除をすることができます。

- 6  スライドショーとビデオを追加をクリックします。

スライドショーとビデオを追加ウィンドウに、既存のスライドショーとビデオファイルが表示されます。

- 7 必要なスライドショーとビデオを選択し、「OK」をクリックします。

メニュー付き DVD を作成ウィンドウに、選択したスライドショーとビデオファイルが表示されます。

- 8 (オプション) スライドショーとビデオを削除  をクリックし、任意のスライドショーまたはビデオファイルを削除します。

- 9 「次へ」をクリックしてスライドショーとビデオファイルを DVD へ書き出します。

Adobe Premiere Elements が起動し、強力な DVD およびビデオ編集機能を簡単に使用することができます。Adobe Premiere Elements で、ファイルがメディアパネルとシーン/タイムラインパネルに追加されます。DVD ワークスペースが自動的に表示されます。メニューテンプレートの選択や、メニューボタンの追加やカスタマイズができます。

既存のスライドショーの DVD への書き込み

Adobe Premiere Elements がインストールされている場合、保存されているスライドショープロジェクトを Photoshop Elements から高品質な DVD に直接書き込むことができます。この DVD は、大半の DVD プレーヤーで再生できます。

- 1 Elements Organizer のメディアブラウザーで、1 つまたは複数のスライドショープロジェクトを選択します。
- 2 「作成」タブを選択し、メニュー付き DVD を選択します。
- 3 DVD を再生する地域のテレビ方式 (NTSC または PAL) を選択します。
- 4 (オプション) 別のスライドショープロジェクトや WMV ファイルをディスクに保存するには、「スライドショーとビデオを追加」をクリックします。スライドショーとビデオファイルを選択し、「OK」をクリックします。
- 5 スライドショーを追加する場合は、次の操作を行った後に、「次へ」をクリックします。
 - リストからスライドショーを削除するには、削除するスライドショーを選択し、「スライドショーを削除」ボタンをクリックします。
 - DVD に書き込むスライドショーを並び替えるには、移動先の場所に画像をドラッグします。
- 6 「次へ」をクリックします。
- 7 新しい WMV ファイルを保存するフォルダーを選択し、「OK」ボタンをクリックします。

Photoshop Elements によって、書き込むスライドショーごとに WMV (Windows Media Video) ファイルが作成されます (ダイアログボックスの「キャンセル」ボタンを押すと、いつでも処理を中断できます)。

Adobe Premiere Elements で、WMV ファイルがメディアパネルとシーン/タイムラインパネルに追加され、DVD ワークスペースが自動的に表示されます。この DVD ワークスペースで、メニューテンプレートの選択や、メニューボタンの追加やカスタマイズができます。

Photoshop Elements スライドショーのビデオプロジェクトへの追加

Elements Organizer では、作成したスライドショーに音楽、切り替え方法、ナレーション、テキストなどを追加して、高度な作品に仕上げることができます。プロジェクトが完成したら、Adobe Premiere Elements に取り込んで、プロジェクトをムービーや DVD に組み入れることもできます。



Adobe Premiere Elements の「編集」タブのプロジェクトビュー、およびシーンラインに表示されたスライドショー

- 1 スライドショーエディターダイアログボックスで、「出力」ボタンをクリックします。

- 2 「Premiere Elements で編集」をクリックして、「OK」をクリックします。最初にプロジェクトを保存するかどうかを確認するメッセージが表示された場合は、「OK」をクリックし、プロジェクトの名前を入力して「保存」をクリックします。

ダイアログボックスが表示され、スライドショーが完成するまでの時間を確認できます。スライドショーは、Elements Organizer のメディアブラウザーの一番上に表示されます。Adobe Premiere Elements が起動している場合は、スライドショーが Elements Organizer に表示され、シーンラインまたはタイムラインにドラッグできます。

スライドショーのメニューを含む Video CD (VCD) の作成

スライドショーを Video CD (VCD) に書き込んで友人や家族と共有できます。VCD を作成するには、CD-RW ドライブまたは DVD-RW ドライブを用意し、CD-R / RW ディスクのみを使用する必要があります。VCD は、VCD 形式に対応した DVD プレーヤーを接続したテレビで視聴できます。または、CD または DVD ディスクドライブと、VCD 形式のファイルを再生するソフトウェアを備えたコンピューターで視聴することもできます。

Video CD ファイルは、特殊な設定の MPEG-1 形式でエンコードされます。Elements Organizer では、2 段階の手順で、スライドショーから VCD ファイルを作成します。まず、VCD プロジェクトの各スライドショーを WMV ファイルとしてハードディスクに書き出します。次に、WMV ファイルを VCD 形式に変換し、変換後のファイルを、VCD ファイルの再生に必要なフォルダー構造で CD-R または CD-RW に書き込みます。

- 1 書き込み可能な CD を CD-RW または DVD-RW ドライブに挿入します。
- 2 Elements Organizer で、1 つまたは複数のスライドショープロジェクトを選択するか、WMV ファイルを選択します。複数のスライドショーまたは WMV ファイルを選択するには、Ctrl キーを押しながら各スライドショーまたは WMV をクリックします。
- 3 作成  / 詳細オプション / メニュー付き VCD をクリックします。
メニュー付き VCD を作成ダイアログボックスが開きます。
- 4 スライドショーを整理するには、次のいずれかの操作を行います。
 - スライドショーを追加するには、「スライドショーを追加」ボタンをクリックし、追加するスライドショーを選択して「OK」をクリックします。
 - スライドショーを移動するには、スライドショーエリア内の別の場所にスライドショーをドラッグします。
 - スライドショーを削除するには、削除するスライドショーを選択し、「スライドショーを削除」ボタンをクリックします。
- 5 VCD を視聴する人が居住する地域に合わせて、「テレビ方式」から NTSC または PAL 設定を選択します。
- 6 「書き込み」をクリックします。

Elements Organizer によって、各スライドショーの WMV ファイルがハードディスクに書き込まれ、WMV ファイルがメディアブラウザーに表示されます。CD-R または CD-RW を挿入していない場合は、挿入を求めるダイアログボックスが開きます。書き込みダイアログボックスが表示されます。

- 7 書き込み先ドライブと書き込み速度には初期設定の値が選択されていますが、いずれも変更可能です。「OK」をクリックして、VCD の書き込みを開始します。

VCD の書き込みに成功すると、ダイアログボックスが開いて完了を通知します。

- 8 「OK」をクリックします。

関連項目

136 ページの「スライドショーの出力」

インスタントムービーの作成

Adobe Premiere Elements がインストールされている場合、Elements Organizer を使用してインスタントムービーを作成することができます。インスタントムービーを作成するには、必要なアセットを選択し、作成/インスタントムービーをクリックします。Adobe Premiere Elements が起動し、インスタントムービーを作成できます。

フリップブックの作成

フリップブックを使用すると、写真を使ったストップモーションビデオを作成できます。このコマンドを使用すると、カメラの連写モードで撮影した写真をアニメーション化することができます。フリップブックは WMV 形式で保存され、コンピューター、テレビ、Web または電子メールで表示できるように最適化できます。作成したフリップブックは、マイビデオフォルダーに出力して CD または VCD に書き込んだり、**Adobe Premiere Elements** に読み込んだりできます。

フリップブックダイアログボックスでは画像を編集できないので、処理を開始する前にデザインやエフェクトを画像に追加しておきます。写真は、メディアブラウザーに表示されている順序でフリップブックに配置されます。写真を別の順序で配置するには、その順序で写真を配置したアルバムを作成し、そのアルバムを選択してフリップブックを作成します。

1 メディアブラウザーで、フリップブックに含める写真を選択します。

フリップブックを効果的に活用するには、2 枚以上の写真を選択して含める必要があります。

2 作成  /詳細オプション/フリップブックを選択します。

3 次のいずれかのオプションを設定します。

再生スピード フリップブックの再生スピードをフレーム / 秒 (FPS) で指定します。スライダーを左に動かすと画像のコマ送りが遅くなり、右に動かすと速くなります。

再生順序を逆に指定 フリップブックの順序を逆にして、最後の画像から開始して最初の画像に向かって再生するようにします。

出力設定 ムービーのファイルサイズを指定します。ファイルサイズは、フリップブックの表示方法によって左右されます。フリップブックをコンピューターで表示するときは、Web で表示する場合は異なる出力設定になります。詳細ボタンをクリックすると、選択した出力設定に関する詳細な情報が表示されます。

プレビューをループプレビュー 最後の画像が表示されたら、フリップブックの再生を再び開始します。

4 「出力」をクリックし、フリップブックを保存します。ファイル名を入力し、「保存」をクリックします。

WMV ファイルが作成され、メディアブラウザーに配置されます。

第9章：写真のプリントと配信

Adobe® Elements Organizer 8 では、様々な方法で写真をプリントおよび配信することができます。写真は、**Adobe Photoshop** サービスを通じてオンラインのプリント専門店でプリントしたり、ご家庭のプリンターでプリントすることができます。写真を個別にプリントしたり、インデックスプリント（選択した各写真のサムネール）、ピクチャパッケージ（様々なサイズでプリントされた1つまたは複数の写真で構成されたページ）をプリントしたり、T シャツに転写プリントすることもできます。また、Elements Organizer では、インターネット経由で画像を配信したり、プリントを注文することもできます。

写真のプリント

プリントの概要

 概要に関するビデオについては、www.adobe.com/go/lrvid2333_pse_jp を参照してください。

Elements Organizer では、様々な方法で写真をプリントすることができます。写真は、Adobe Photoshop サービスを通じてオンラインのプリント専門店でプリントしたり、ご家庭のプリンターでプリントすることができます（Elements Organizer で、プリント対象としてビデオクリップを選択することもできますが、最初のフレームのみがプリントされます）。写真を個別にプリントしたり、インデックスプリント（選択した各写真のサムネール）やピクチャパッケージ（様々なサイズでプリントされた1つまたは複数の写真で構成されたページ）をプリントできます。また、画像を左右に反転させてT シャツに転写プリントすることもできます。

注意：PDF ファイルを印刷するには、Adobe Acrobat をコンピューターにインストールしておく必要があります。

フォトアルバム、カード、およびカレンダーなど、Elements Organizer で作成したプロジェクトをプリントすることもできます。プロジェクトの種類によっては、オンラインプリントサービスから注文することができます。



A

B



C

様々なプリントオプション

A. 個別の写真 B. インデックスプリント C. ピクチャパッケージ

写真をプリントする前に、用紙のサイズや向きなどの基本的な情報を Elements Organizer で設定する必要があります。これらのオプションは用紙設定ダイアログボックスで設定します。また、必要に応じて、環境設定ダイアログボックスで単位を指定します。

関連項目

149 ページの「[ページおよびプリンターオプションの設定](#)」

Elements Organizer での写真のプリント

プリントダイアログボックスには、写真のリスト、プリントプレビューおよびプリントジョブのオプション設定が表示されます。プリントオプションを変更すると、Elements Organizer によってプレビューが更新されます。この処理には数秒かかり、プリントする写真の数によって時間は異なります。複数ページの写真をプリントしている場合、プリントダイアログボックスに、ページがサムネイルとして表示されます。ページを進めたり戻すには、ナビゲーションボタン (◀ ▶) を使用します。回転アイコン (↺ ↻) を使用すると画像を回転できます。メディアファイルにパンとズームを適用できます。Elements Organizer でプリントする前の画像の向きを自動調整することもできます。

- 1 メディアブラウザーまたは日付表示で、写真またはビデオクリップを選択します。ビデオクリップを選択した場合、クリップの最初のフレームがプリントされます。
- 2 次のいずれかの操作を行って、プリントダイアログボックスを開きます。
 - ファイル/プリントを選択します。
 - 画像を右クリックし、「プリント」を選択します。
 - 「作成」タブで、「フォトプリント」をクリックし、次のオプションからプリント方法を選択します。
 - ローカルプリンターでプリント。
 - ピクチャパッケージをプリント

3 プリンターを選択メニューからプリンターを選択します。「用紙設定」ボタンをクリックして次のオプションを指定または変更することもできます。

- 用紙サイズ
- 印刷の向き
- プリンターの種類
- マージン

4 「設定を変更」ボタンをクリックしてプリンター設定を変更します。設定を変更ダイアログで、次の設定を変更できます。

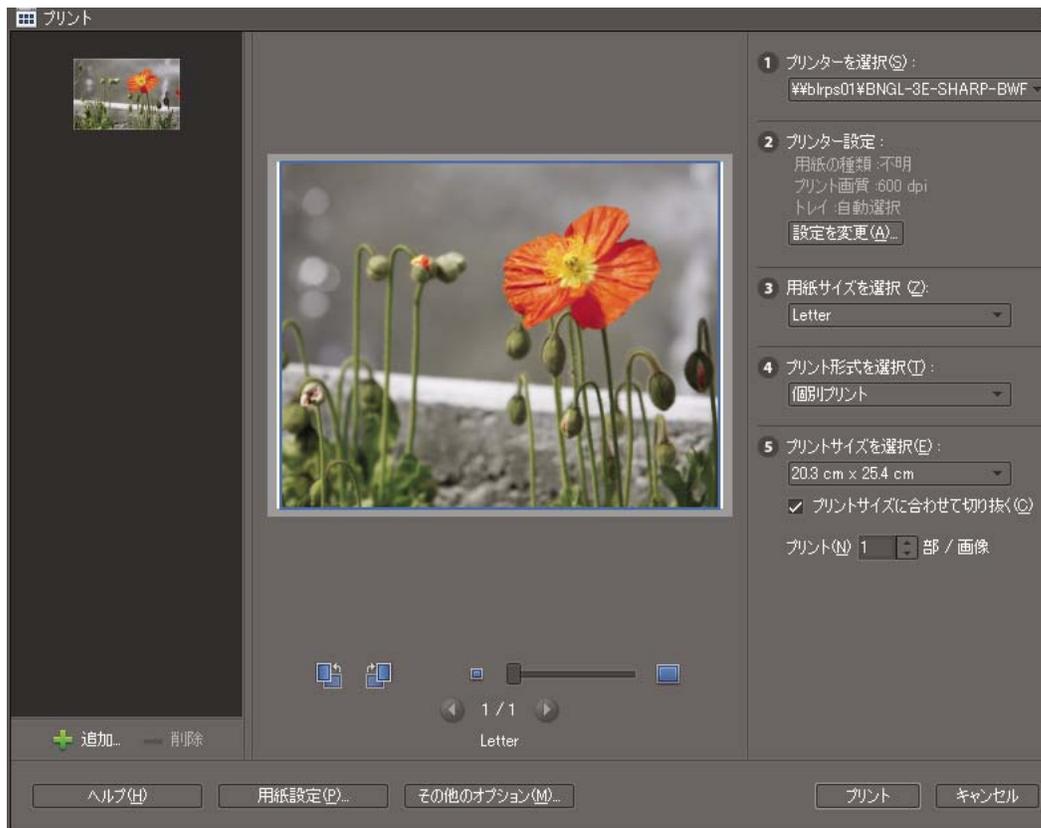
- プリンターの種類
- 用紙の種類
- プリント画質
- 用紙トレイ
- 用紙サイズ
- 境界線

注意：画像ファイルにプリンターがサポートしている PIM または Exif Print データが含まれている場合は、PIM または Exif Print を選択します。これらのオプションはフチなし全面印刷をサポートしているプリンターに表示されます。PIM または Exif Print と互換性のないプリンターでは、これらのオプションが無効になります。

5 用紙サイズを選択メニューから用紙のサイズを選択します。

6 プリント形式を選択メニューからいずれかのオプションを選択します。

7 プリントサイズを選択メニューから、プリントサイズを選択します。



メディアファイルのプリント

- 8 「プリント n 部 / 画像」テキストボックスで枚数を選択または入力します。
- 9 個別の画像を、指定したプリントレイアウトに収めるには、「プリントサイズに合わせて切り抜く」を選択します。画像が拡大・縮小され、必要に応じて、プリントレイアウトの縦横比と一致するように切り抜かれます。写真が切り抜かれなないようにするには、このオプションを選択解除します。
- 10 (オプション) 追加の設定を変更するには「その他のオプション」ボタンをクリックします。
- 11 「プリント」をクリックします。

関連項目

149 ページの「[プリントの単位の指定](#)」

149 ページの「[PRINT Image Matching と Exif Print](#)」

Elements Organizer からプリントする場合のその他のオプション

プリントダイアログボックスの「その他のオプション」をクリックすると、次のオプションが表示されます。

- プリントの指定
- カスタムプリントサイズ

- カラーマネジメント

プリントの指定 次の設定を指定できます。

- **写真の詳細** 次のオプションを選択して、日付、キャプション、ファイル名をプリントできます。
- 日付を表示
- キャプションを表示
- ファイル名を表示
- **境界線** 次の境界線の詳細を指定できます。
- 太さ（インチ、センチ、ミリ）
- 境界線の色
- 背景色
- **レイアウト** 「1 ページに 1 枚の写真」を選択し、1 ページに 1 枚の写真をプリントします。
- **アイロン転写** 「画像を反転」を選択すると、画像を T シャツに転写プリントすることができます。

注意：一部のプリンターでは、画像反転オプションが使用できます。その場合、プリンタードライバー設定または画像反転オプションのどちらかを使用して画像を反転させます。両方選択すると画像が 2 回、左右に反転されます。

- **トリミング用のガイドライン** 「トンボをプリント」（写真の四隅のガイドライン）を選択すると、写真を容易にトリミングできるようになります。

カスタムプリントサイズ 次の設定を指定できます。

- **プリントサイズ** 幅と高さをインチ、センチ、ミリ単位で指定できます。「メディアサイズに合わせて拡大・縮小」を選択し、画像をページに合わせて拡大・縮小します。
- **最高プリント解像度** 初期設定では、プリント速度を速めて必要なメモリ容量を削減できるように 220 ppi に設定されています。ただし、220 ppi では鮮明なプリントを得るのに不十分です。解像度が高い写真をプリントする場合は、220 ～ 600 ppi の値を指定してください。

カラーマネジメント プリントカラースペースメニューからプリンタープロファイルを選択します。プリントカラースペースメニューでは、画像の色をプリンターのカラースペースに変換するためのカスタムプリンタープロファイルを設定したり、カラー変換をオフにすることができます。お使いのプリンターと用紙の組み合わせ用の ICC プロファイルがある場合は、メニューからそれを選択します。必ずプリンタードライバーのカラーマネジメントをオフにしてください。ソースカラースペースには、写真ファイルに埋め込まれているカラースペースが表示されます（プリントダイアログボックスのプリントプレビューは、カラー管理されておらず、プロファイルを選択したときに更新されません）。

Elements Organizer からの複数のメディアファイルのプリント

Elements Organizer のプリントダイアログボックスを使用して、複数のメディアファイルをプリントできます。



プリントする写真の追加

A. 「キーワードタグ」などのオプションを選択し、選択範囲を絞ります。B. ボックスをクリックして、写真を選択します。C. 「すべての選択」ボタンをクリックして、表示されているすべての画像を選択します。

プリントダイアログボックスを使用したメディアファイルの追加

プリントダイアログボックス内からプリントジョブに写真を追加できます。

- 1 プリントダイアログボックスで、追加ボタン **+** をクリックします。
- 2 メディアを追加ダイアログボックスで、次のいずれかを選択します。

現在のブラウザー内のメディア 現在メディアブラウザーに表示されているメディアファイルを表示します。

カタログ全体 カatalog内のすべてのメディアファイルを表示します。

アルバム 特定のアルバムのメディアファイルを表示します。メニューを使用してアルバムを選択します。

キーワードタグ 特定のキーワードタグの付いたメディアファイルを表示します。メニューを使用してキーワードタグを選択します。

重要度が設定されたメディアのみを表示 「お気に入り」タグの付いたメディアファイルのみを表示します。

非表示のメディアも表示 「非表示」タグの付いたメディアファイルを表示します。

- 3 1つ以上のサムネールまたは「すべてを選択」ボタンをクリックし、「選択したメディアを追加」をクリックします。
- 4 「完了」をクリックします。

インデックスプリント

インデックスプリントでは、1枚のページに一連のサムネール画像を表示して、画像のグループを簡単にプレビューできます。



インデックスプリントのサンプル

- 1 次のいずれかの操作を行って、プリントダイアログボックスを開きます。
 - メディアブラウザまたは日付表示でメディアファイルを選択し、ファイル/プリントを選択します。ビデオファイルを選択した場合、ビデオファイルの最初のフレームがプリントされます。
 - メディアファイルを右クリックし、「プリント」を選択します。
 - 「作成」タブで、「フォトプリント」をクリックし、「ローカルプリンターでプリント」を選択します。
- 2 プリンターを選択メニューからプリンターを選択します。また、「用紙設定」ボタンをクリックしてページプリントオプションを指定することもできます。
- 3 「設定を変更」ボタンをクリックして、プリンター設定を指定します。設定を変更ダイアログについて詳しくは、142ページの「[Elements Organizer での写真のプリント](#)」を参照してください。

注意：画像ファイルに、プリンターでサポートされている PRINT Image Matching (PIM) または Exif Print データが含まれている場合は、「PRINT Image Matching (PIM)」または「Exif Print」を選択します。149ページの「[PRINT Image Matching と Exif Print](#)」を参照してください。

- 4 プリント形式を選択メニューから「インデックスプリント」を選択します。プレビューレイアウトでは、プリントダイアログボックスの左側に表示されているすべての写真が自動的に使用されます。
- 5 写真を削除するには、そのサムネールを選択し、削除ボタン  をクリックします。
- 6 「列数」には、レイアウト内の列の数 (1 ~ 9) を指定します。サムネールのサイズと行数が、選択内容に従って調整されます。プリントダイアログボックスに表示されている写真の数が多すぎて 1 枚のページに表示できない場合、すべてを表示できるようにページが追加されます。
- 7 必要に応じて、レイアウトプレビューの下にあるナビゲーションボタン   を使用して、ページを移動します。回転アイコン 、 を使用すると、画像を回転できます。メディアファイルにパンとズームを適用できます。
- 8 各サムネールの下にテキストを追加するには、「プリントオプションを表示」を選択し、次のいずれかを選択します。

日付 画像に埋め込まれている日付をプリントします。

キャプション ファイルのメタデータに埋め込まれているキャプションテキストをプリントします。

ファイル名 画像のファイル名をプリントします。

ページ番号 複数のインデックスプリントをプリントする場合は、各ページの下部にページ番号をプリントします。

注意：用紙設定とレイアウトによっては、サムネールの下の文字列が切り捨てられることがあります。

- 9 カラーマネジメントを使用してプリントするには、「その他のオプション」をクリックし、プリントカラースペースメニューからプロファイルを選択します。
- 10 「プリント」をクリックします。

ピクチャパッケージのプリント

ピクチャパッケージでは、従来の写真スタジオのように、1枚のページに1枚以上の写真のコピーを複数枚、配置できます。様々なサイズおよび配置オプションから選択して、パッケージレイアウトをカスタマイズできます。



ピクチャパッケージで用意されている様々なサイズのレイアウト

- 1 次のいずれかの操作を行って、プリントダイアログボックスを開きます。
 - メディアブラウザーで写真を選択し、ファイル/プリントを選択します。
 - 「作成」タブで、「フォトプリント」をクリックし、「ピクチャパッケージをプリント」を選択します。
 - スタンダード編集またはクイック補正で写真を開き、ファイル/プリントを選択します。
 - 日付表示で写真を選択し、ファイル/プリントを選択します。
- 2 プリンターを選択メニューからプリンターを選択します。また、「用紙設定」ボタンをクリックしてページプリントオプションを指定することもできます。
- 3 「設定を変更」ボタンをクリックし、プリンター設定を変更します。

注意：画像ファイルに、プリンターでサポートされている PRINT Image Matching (PIM) または Exif Print データが含まれている場合は、「PRINT Image Matching (PIM)」または「Exif Print」を選択します。

- 4 プリント形式を選択メニューから「ピクチャパッケージ」を選択します。プレビューレイアウトでは、プリントダイアログボックスの左側に表示されている最初の写真が自動的に使用されます。
- 5 レイアウトを選択メニューからレイアウトを選択します。

注意：画像は、選択したレイアウトに基づいて、プリント領域を最適にカバーする向きに設定されます。

- 6 (オプション) フレームを選択メニューから枠線を選択します。ピクチャパッケージに選択できる枠線は1つだけです。
- 7 ダイアログボックスに表示されている画像を別々のページにプリントするには、「1 ページに1種類の写真」オプションをクリックします。レイアウトプレビューの下にあるナビゲーションボタン ◀ と ▶ を使用して、各レイアウトを表示できます。回転アイコン 、 を使用すると、画像を回転できます。メディアファイルにパンとズームを適用できます。
- 8 レイアウトサイズに最適に収まるように写真を切り抜くには、「プリントサイズに合わせて切り抜く」をクリックします。
- 9 レイアウトの写真を置き換えるには、プリントダイアログボックスの左側のリストからレイアウトプレビューの画像の上に写真をドラッグ&ドロップします。

注意：追加ボタン  をクリックすると、プリントダイアログボックスに表示されていない写真が追加されます。写真を追加ダイアログボックスで、写真を選択してパッケージレイアウトに追加することができます。「完了」をクリックすると、選択した写真がプリントダイアログボックスのリストに追加されます。

- 10 レイアウトの画像を入れ替えるには、画像を別の画像の上にドラッグします。入れ替えた画像を元の画像に戻すには、画像を右クリックし、コンテキストメニューから「オリジナルに戻す」を選択します。

11 カラーマネジメントを使用してプリントするには、「その他のオプション」をクリックし、プリントカラースペースメニューからプロファイルを選択します。

12 「プリント」をクリックします。

関連項目

149 ページの「[ページおよびプリンターオプションの設定](#)」

149 ページの「[PRINT Image Matching と Exif Print](#)」

プリントオプション

ページおよびプリンターオプションの設定

- 1 ファイル/プリントを選択します。スタンダード編集、クイック補正、またはガイド付き編集で「プリント」コマンドを使用するには、写真を開く必要があります。
- 2 「ページ設定」ボタンをクリックします。ページ設定ダイアログボックスで「プリンターの設定」ボタンをクリックして、「プリンター名」メニューからプリンターを選択します。必要に応じて「プロパティ」ボタンをクリックし、レイアウトおよび用紙オプションを指定します。プリンタードライバのダイアログボックスを表示できる場合は、「詳細設定」ボタンをクリックして、他のプリンターオプションを設定できます。「詳細設定」ボタンとプリンターオプションを使用できるかどうかは、使用しているプリンター、プリンタードライバ、Windows のバージョンによって異なります。「OK」をクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

注意：プリントする画像を拡大縮小する場合は、プリンターの詳細設定オプションではなく、プリントプレビューダイアログボックスの拡大縮小オプションを使用します。拡大縮小した画像のプレビューを確認できるので、プリントダイアログボックスを使用する方が便利です。また、プリンターの詳細設定オプションとプリントプレビューダイアログボックスの両方で拡大縮小オプションを設定しないでください。拡大縮小が2度適用され、最終的な画像が意図しないサイズになってしまう場合があります。

- 3 ページ設定ダイアログボックスで、用紙サイズや向きなどのオプションを指定し、「OK」をクリックします。

プリントの単位の指定

- 1 メディアブラウザーまたは日付表示で、編集/環境設定/一般を選択します。
- 2 プリントサイズメニューから「inch」または「cm/mm」を選択します。この設定により、写真をプリントしたり切り抜いたりするときに選択できるサイズが決まります。「OK」をクリックします。

PRINT Image Matching と Exif Print

PRINT Image Matching (PIM) は、PRINT Image Matching 対応のデジタルカメラとプリンターを使用して、最高品質のプリントを出力する技術です。Epson® プリンターで、デジタルカメラがキャプチャした各画像のプリント固有情報を識別し、プリントの色、品質、およびディテールを高めることができます。

Exif 2.2 (Exif Print) は、デジタルカメラによって保存された写真情報 (Exif タグ) を使用します。この写真情報は、Epson の Exif 2.2 (Exif Print) にも対応しています。Exif Print をサポートするプリンターであれば、これらの Exif タグを使用して、処理を最適化し、高品質のプリントを出力できます。詳しくは、プリンターのマニュアルを参照してください。

Elements Organizer で PIM および Exif Print オプションを使用する場合は、次のガイドラインに留意してください。

- 複数の画像をプリントする際に PIM オプションを選択したが、PIM データが含まれているのは一部の画像のみの場合、オプションは PIM データを含む画像にのみ適用されます。

- プリントダイアログボックスのレイアウトプレビューでは、PIM または Exif Print データによるカラー品質の向上はプレビューできません。
- 一部のプリンタードライバは、PIM または Exif Print と互換性がなく、これらのオプションが無効になっている場合があります。
- Exif Print は、Epson デバイスがサポートする PIM のサブセットです。プリンターによっては、PIM と Exif Print 両方のオプションを選択して、プリントの品質をさらに高めることができます。

重要：Photoshop Elements を Windows Vista で実行する場合、一部の Epson プリンターは完全にサポートされません。Windows Vista と一緒にインストールした Epson プリンタードライバは、完全にはサポートされません。Epson から直接配布されたプリンタードライバの場合は、プリンターは Photoshop Elements でサポートされます。

オンラインサービスを利用した写真の配信

オンラインサービス

 オンラインでの写真の表示と配信に関するビデオについては、www.adobe.com/go/lrvid2335_pse_jp を参照してください。

オンラインサービスでは、インターネット経由で画像を配信したり、プリントを注文することができます。プリントやフォトブックを注文するには、オンラインサービスに登録する必要があるため、通知メールを受け取るための有効な電子メールアドレスが必要です。このサービスのご利用は無料ですが、注文の際はクレジットカード番号が必要です。

利用できるオンラインサービスは、地域によって異なります。例えば、北米とアジアでは、オンライン注文サービスの内容が異なる場合があります。オンラインメニューには、その地域で使用できるサービスが反映され、新サービスが導入されると更新されます。

オンラインサービスのセットアップ

Elements Organizer の Adobe Photoshop サービスを使用して、画像とプロジェクトをオンラインのプリント専門店に送信できます。Adobe Photoshop サービスは随時更新されます。環境設定に、新サービスをチェックするオプションがあります。

- 1 メディアブラウザーまたは日付表示で、編集／環境設定／Adobe パートナーサービスを選択します。
- 2 環境設定で次のオプションを設定します。

サービスを自動的に確認 オンラインサービスの更新を自動的にチェックします。提供されるサービスは、地域によって異なります。特別プロモーションに関する通知を受け取るには、「Adobe プロモーションの通知を表示」を選択します。

サービスアップデートの通知を表示 新しいサービスアップデートの通知を受け取ります。

Adobe プロモーションの通知を表示 Adobe プロモーションの通知を受け取ります。

製品サポートの通知を表示 製品サポートの通知を受け取ります。

他社からのサービスの通知を表示 他社が提供するサービスの通知を受け取ります。

国または地域 Adobe Photoshop サービスから地域別のサービスを受け取れるよう、「選択」ボタンをクリックして現在の場所を指定します。

更新 新しいプリント、配信、およびダウンロードサービスを Elements Organizer に追加します。新しいサービスが利用可能になると、ダイアログボックスには、専門店で購入できるサービスの種類とオプションが表示されます。

アカウントを初期化 すべてのサービスについて保存されたアカウント情報を初期化できます。

オンラインサービスデータを消去 Adobe からのメッセージを削除します。

写真のプリントと配信

3 サービスの環境設定後、使用可能になった通知およびアップデートが表示されます。次のいずれかの操作を行います。

- ステータスバー (Elements Organizer ワークスペースの下部) の通知を表示ボタン  をクリックします。お知らせ、新サービスおよびアップデートの完全なリストを表示します。通知ウィンドウで通知を選択し、「表示」ボタンをクリックするか、アップデートまたはサービスを選択して、「実行」ボタンをクリックします。
- 封筒ボタン  をクリックし、Elements Organizer ワークスペースのステータスバーに表示された最新の発表、サービスまたはアップデートにアクセスします。

注意：アップデートと通知を表示するには、インターネットに接続している必要があります。

関連項目

152 ページの「[電子メールによる写真およびメディアファイルの送信](#)」

27 ページの「[カメラ内蔵携帯電話](#)」

オンラインプリントサービスへの写真の送信

利用できるオンラインサービスは、地域によって異なります。オプションの一部は、アジア、ヨーロッパ、北米の地域ごとに異なります。プリント注文オプションは、ユーザーの地域で利用できない場合は表示されません。

 フォトブックを注文する前に、プロジェクトを最適化してください。

フォトブックのプリントの注文

Elements Organizer では、プリント専門店で フォトブックのプリントを注文し、指定した送付先に郵送してもらうことができます。フォトブックの各ページには異なる枚数の写真を入れることができます。フォトブックを注文する前に、写真に必要な変更を加えてください。オンラインサービスの Web ページでは写真を補正できません。



フォトブックのサンプル

オンライン配信サービスへの写真の送信

- 1 Elements Editor、または Elements Organizer のメディアブラウザーか日付表示で、「配信」タブ  をクリックします。
- 2 「詳細オプション」をクリックし、ポップアップメニューからいずれかの写真配信サービスを選択します。
- 3 画面の指示に従って、写真をオンラインで配信します。

電子メールによる写真の配信

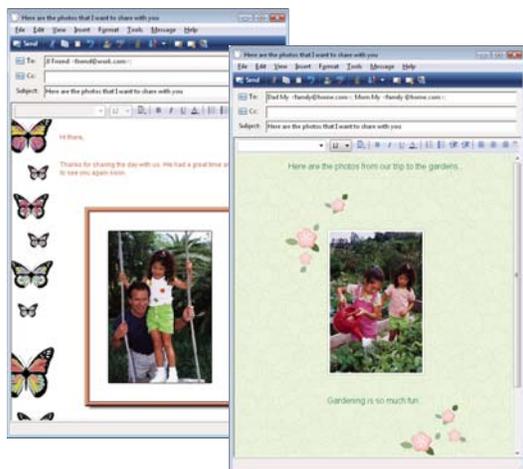
電子メールによる写真およびメディアファイルの送信

💡 この手順に関するビデオについては、www.adobe.com/go/lrvid2332_pse_jp を参照してください。

Elements Organizer により、簡単に写真を電子メールで配信することができます。写真を電子メールに添付するか、フォトメールを使用して写真を電子メールに埋め込むことができます（プロジェクトを電子メールで送信する方法については、121 ページの「プロジェクト」を参照してください）。

次の方法で、ファイルを電子メールで配信できます（形式にかかわらず、すべてのタグとメタデータが電子メールファイル内に維持されます）。

フォトメール ウィザードを使用して、写真を電子メールメッセージの本文に、カラフルなカスタムレイアウト（テンプレート）で埋め込むことができます。テンプレートのテーマの一覧から、様々な背景、フレーム、および枠線を選択できます。また、ウィザードでは、写真のサイズ、テンプレートの色、テキストの色とエフェクト、およびレイアウトも選択できます。オプションの選択が完了すると、Elements Organizer はすべての画像を JPEG に変換して、電子メールを生成します。フォトメールは、**Microsoft Outlook**、**Outlook Express**、または **Adobe** 電子メールサービスを通じて送信できます。



電子メールメッセージの本文に直接写真を表示

PDF スライドショー 1 つの PDF ファイルに画像とメディアファイルを組み合わせます。受信者は、無償配布の **Adobe Reader** を使用して PDF ファイルをスライドショーとして表示できます。

電子メールにファイルを添付 画像またはメディアファイルを個別の電子メール添付ファイルとして送信できます。写真のサイズを指定できます。また、画像が JPEG 以外の形式の場合は、JPEG 形式に変換することもできます。

ファイルを送信する前に、次の設定を行うことをお勧めします。

- 電子メールの環境設定を設定します。写真をすばやくダウンロードでき、オンライン表示で十分なディテールが維持されるように、画像サイズと圧縮設定を調整することができます。また、ファイルを電子メールに手動で添付できるように、指定したフォルダーにファイルを保存することも選択できます。このオプションは、お使いの電子メールアプリケーションが自動電子メール添付機能をサポートしていない場合に便利です。
- アドレス帳を設定します。電子メールメッセージの送信先アドレスを事前に設定して、写真を配信した相手を管理することができます。アドレス帳の使用はオプションです。電子メールの送信先アドレスは、いつでも電子メールクライアントで設定できます。

電子メールの設定と作成が完了すれば、電子メールを送信して、写真やビデオを友人や家族と共有することができます。

関連項目

151 ページの「[オンラインプリントサービスへの写真の送信](#)」

電子メールの環境設定

1 次のいずれかの操作を行います。

- メディアブラウザまたは日付表示で、編集／環境設定／配信を選択します。
- スタンダード編集またはクイック補正で、編集／環境設定／整理・配信を選択し、環境設定ダイアログボックスの左側で「配信」を選択します。

2 メールクライアントメニューから次のいずれかを選択し、「OK」をクリックします。

- Microsoft Outlook®。アプリケーションを初期設定のまま選択する場合。
- Outlook Express®。アプリケーションを初期設定のまま選択する場合。
- Adobe 電子メールサービス。Outlook または Outlook Express を使用せずに、Elements Organizer から宛先に電子メールを直接送信する場合。

関連項目

150 ページの「[オンラインサービスのセットアップ](#)」

Adobe 電子メールサービスの設定

Google Gmail、Yahoo メールなどの Web ベースの電子メールサービスを使用している場合は、Adobe 電子メールサービスを使用して、フォトメールを直接宛先に送信できます。Adobe 電子メールサービスを初めて使用するときは、電子メール認証のためのユーザー登録が必要です。Adobe 電子メールサービスを使用するには、有効な電子メールアドレスとインターネット接続が必要です。

- 1 編集／環境設定／配信を選択し、メールクライアントメニューから「Adobe 電子メールサービス」を選択します。
- 2 テキストボックスに名前と電子メールアドレスを入力します。
- 3 「OK」をクリックします。
- 4 Adobe 電子メールサービスを初めて使用するときは、認証のための電子メールが環境設定ダイアログボックスに入力したアドレスに送信されます。電子メールの本文には、送信者認証コードが含まれています。コードの入力を求められたら、この認証コードをコピーし、ダイアログボックスに貼り付けて、「OK」をクリックします。
- 5 電子メールが認証されたら、「OK」をクリックします。これで、インターネットに接続しているときはいつでも、Elements Organizer から電子メールを直接送信できます。

アドレス帳の使用

アドレス帳では、電子メールメッセージのアドレスを事前に指定できます。同じメンバーに頻繁に電子メールを送信する場合は、グループも設定できます。アドレス帳の使用は任意です。アドレス帳を使用しなくても、電子メールアプリケーションで電子メールアドレスを入力できます。

アドレス帳は、メディアブラウザまたは日付表示で編集／アドレス帳を選択して表示できます。



アドレス帳

A. カテゴリで並べ替えるには、その列見出しをクリック B. 連絡先グループ C. 連絡先 D. 連絡先をダブルクリックして連絡先を編集

アドレス帳への連絡先の追加

- 1 メディアブラウザーまたは日付表示で、編集/アドレス帳を選択します。
- 2 「新規連絡先」ボタン  をクリックします。
- 3 連絡先の名前、電子メールアドレス、必要に応じて他の情報を入力し、「OK」をクリックします。
- 4 「OK」をクリックして、アドレス帳を閉じます。

アドレス帳へのアドレスの取り込み

アドレスを入力する代わりに、Outlook または Outlook Express からアドレスを取り込むことができます。vCard ファイル（通常は送信者の連絡先情報を含む、電子メールの自動署名）からアドレスを取り込むこともできます。大量のアドレスを取り込む場合は、時間がかかることがあります。

- 1 メディアブラウザーまたは日付表示で、編集/アドレス帳を選択します。
- 2 「取り込み」をクリックします。
- 3 連絡先のソースを選択ダイアログボックスで、取り込む連絡先を管理しているアプリケーションを選択してから、「OK」をクリックします。

アドレス帳からの連絡先の削除

- 1 メディアブラウザーまたは日付表示で、編集/アドレス帳を選択します。
- 2 リストで1つ以上の連絡先を選択し、「削除」ボタン、「OK」の順にクリックします。

アドレス帳の連絡先の編集

- 1 メディアブラウザーまたは日付表示で、編集/アドレス帳を選択します。
- 2 連絡先を選択し、「編集」ボタン  をクリック（または連絡先をダブルクリック）します。エントリを編集し、「OK」をクリックします。

アドレス帳の新規グループの作成

- 1 メディアブラウザーまたは日付表示で、編集/アドレス帳を選択します。
- 2 新規グループボタン  をクリックします。
- 3 「グループ名」テキストボックスにグループの名前を入力します。
- 4 「連絡先」リストで連絡先を選択し、「追加」ボタンをクリックして「メンバー」リストに移動して、グループにメンバーを追加します。隣り合う連絡先を追加する場合は Shift キーを押しながら、離れた連絡先を追加する場合は Ctrl キーを押しながらクリックします。
- 5 グループから連絡先を削除するには、「メンバー」リストで1つ以上の連絡先を選択し、「削除」ボタンをクリックします。

6 「OK」をクリックして、新規グループダイアログボックスを閉じます。グループ  がアドレス帳に追加されます。

7 「OK」をクリックします。

連絡先情報の vCard ファイルへの書き出し

1 メディアブラウザーまたは日付表示で、編集/アドレス帳を選択します。連絡先をクリックして選択します。複数の連絡先を選択する場合は、Ctrl キーを押しながらクリックします。

2 「vCard を書き出し」をクリックします。

3 フォルダーの参照ダイアログボックスで、vCard ファイルの書き出し先を選択してから、「OK」をクリックします。

電子メールでの写真の送信

1 メディアブラウザーまたは日付表示で写真を選択し、「配信」タブ  をクリックし、「電子メールにファイルを添付」ボタンをクリックします。

注意：写真を初めて電子メールで送信する場合は、使用する電子メールサービスの確認が表示されます。選択内容を確認して、「OK」をクリックします。

2 電子メールにアイテムを追加するには、メディアブラウザーでアイテムを選択し、追加ボタン  をクリックします。

注意：また、「アイテム」リストでアイテムを選択し、削除ボタン  をクリックして、アイテムを削除することもできます。

3 写真の最大サイズメニューからオプションを選択し、画質スライダーをドラッグして画像の鮮明度を調整します。

4 「次へ」をクリックします。

5 「メッセージ」テキストボックスにメッセージを入力します。

6 「宛先を選択」リストで名前をクリックして、電子メールの宛先を選択します（表示される名前は、アドレス帳から取得されます）。

注意：また、ここでは宛先を選択せずに、後で電子メールメッセージが表示されたときにアドレスを入力することもできます。

写真にタグが付いている場合は、写真を電子メールで送信するときにそれらが含まれます。Elements Organizer を使用している受信者は、タグが付いている写真をカタログに取り込むことができます。お気に入りと非表示のタグは、写真を電子メールで送信したときに含まれません。

7 「次へ」をクリックします。

Elements Organizer は、メッセージを生成して、配信環境設定で指定した電子メールアプリケーションを開きます。

Elements Organizer がお使いの電子メールアプリケーションをサポートしていない場合は、ファイルを手動で添付します。

電子メールにファイルを添付する方法については、お使いの電子メールアプリケーションのヘルプを参照してください。

フォトメールを使用した写真の送信

フォトメールでは、電子メールの本文に写真が埋め込まれます。カラフルな背景パターンのテンプレートを使用して、電子メールをカスタマイズできます。他にも、写真のサイズや選択したテンプレートの色とスタイルを変えたり、複数の写真を送る場合に異なるレイアウトを設定したりするなど、レイアウトを変更できます。

1 次のいずれかの操作を行います。

- メディアブラウザーまたは日付表示で写真を選択し、「配信」  をクリックしてから、「フォトメール」をクリックします。

- スタンダード編集またはクイック補正モードで、電子メールで送信する写真を開きます。ツールバーで「配信」  をクリックし、「フォトメール」をクリックします。

写真のプリントと配信

- 2 写真を初めて電子メールで送信する場合、使用する電子メールサービスの確認を求めるメッセージが表示されます。選択内容を確認して、「次へ」をクリックします。
- 3 次のいずれかの操作を行って、電子メールの宛先を選択します。
 - 「宛先を選択」リストから名前を選択します（表示される名前は、アドレス帳から取得されます）。
 - 「アドレス帳の内容を編集します」オプション  を選択して、アドレス帳に宛先を追加することもできます。「OK」をクリックすると、宛先が「宛先を選択」リストで選択された状態で表示されます。
- 4 テンプレートとレイアウトウィザードで、テンプレートのスタイルと背景を選択します。次に、「次のステップへ」をクリックして、レイアウトをカスタマイズします。
- 5 「次へ」をクリックします。

Elements Organizer により、初期設定の電子メールアプリケーションが開きます。

フォトメールのテンプレート設定のカスタマイズ

フォトメールの添付ファイルのテンプレートのレイアウトをカスタマイズできます。これらの設定は、後で再使用できるように自動的に保存されます。テンプレートとレイアウトウィザードでは、テンプレートのスタイル、写真のサイズ、枠線またはフレーム、背景、ドロップシャドウ、レイアウトを指定できます。

- 1 メディアブラウザーまたは日付表示で写真を選択し、「配信」タブをクリックします。
- 2 「フォトメール」を選択し、「次へ」をクリックします。
- 3 左側のリストからカテゴリを選択し、サブメニューからテンプレートの種類を選択して、「次のステップへ」をクリックします。



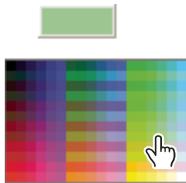
テンプレートの選択

- 4 写真のサイズを選択します。選択したテンプレートに収まるように写真のサイズが変更されます。



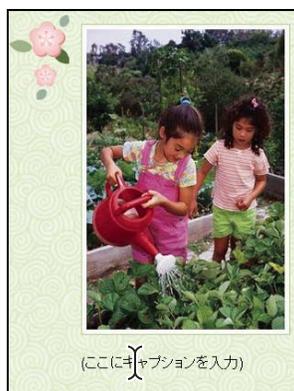
写真のサイズの選択

- 5 選択したテンプレートに基づいて、フレームまたは枠線のスタイル、ドロップシャドウ、背景色、背景など、他のレイアウトオプションを指定します。



新しい色の選択

- 6 テキストを追加するには、プレイスフォルダーを選択し、メッセージを入力します。入力したら、フォントとフォントサイズを選択します。



キャプションの追加

ビデオのオンライン配信

Elements Organizer は、インターネットでの配信に適したファイル形式でムービーを書き出すことができます。

- 1 コピーするビデオファイルを選択し、「配信」  をクリックします。
- 2 「オンラインビデオ配信」をクリックします。

Adobe Premiere Elements が起動し、ビデオファイルを Web 上に書き出すことができます。

携帯電話および携帯プレーヤーへのメディアファイルの書き出し

対応する携帯電話や PDA およびビデオ iPod、PSP（プレイステーションポータブル）などのポータブルメディアプレーヤーでの再生用にムービーを書き出すことができます。

- 1 コピーするメディアファイルを選択し、「配信」  をクリックします。
- 2 「携帯電話および携帯プレーヤー」をクリックします。

Adobe Premiere Elements が起動し、指定した携帯電話やメディアプレーヤーにメディアファイルを書き出すことができます。

Media Center コンピューターでの写真の表示と配信

Microsoft Windows XP Media Center Edition 2005 コンピューターでの写真の表示

Microsoft® Windows® XP® Media Center Edition 2005 がインストールされている場合、接続された標準またはハイビジョンテレビ、または Media Center Extender に接続した他の互換ディスプレイデバイスで写真を表示および配信することができます（詳しくは、コンピューター、テレビ、または他のデバイスのマニュアルを参照してください）。

写真の表示やオプションの選択には、Media Center デバイスのリモコンを使用します。

注意：Elements Organizer は Microsoft Windows XP Media Center Edition 2005 のみをサポートしています。

ファイアウォールおよびウイルス防御ソフトウェア

ファイアウォールまたはウイルス防御ソフトウェアをインストールしている場合、Media Center で Elements Organizer を初めて開いたときに警告が表示されることがあります。このメッセージが表示されたら、AdobePhotoshopElementsMediaServer アプリケーションの実行を許可してください。この操作を行わないと、Media Center で Elements Organizer を使用できません。

アプリケーションを有効にしたり、ブロックを解除したりする方法については、ファイアウォールまたはウイルス防御ソフトウェアの指示を参照してください。

Media Center コンピューターでの Photoshop Elements の使用

- 1 Media Center のリモコンの Media Center ボタンをクリックします。
- 2 「他のプログラム」メニューを選択し、「Adobe Elements Organizer」に移動して選択します。

Elements Organizer Media Center のホームページが表示されます。

Media Center コンピューターでの写真の表示

Media Center 2005 では、Elements Organizer カタログの写真を表示できます。写真は、日付（日付表示と同様）、キーワードタグ、アルバム、スライドショー別に表示できます。

- 1 Media Center で Elements Organizer のホームページを開きます。
- 2 リモコンのナビゲーションボタンを使用して、「View Photos」を選択し、次の表示オプションを選択します。

すべての写真 カタログ全体のサムネールを表示できます。

再生 カタログ内のすべての写真のインスタントスライドショーを開始します。「設定」ページで切り替え方法、間隔、その他のプロパティを変更できます。

日付順 カレンダーが表示されます。カレンダーの表示では、1 重矢印ボタンを使用して 1 か月単位で前後に移動するか、2 重矢印ボタンを使用して 1 年単位で前後に移動します。特定の日付から写真を表示するには、「日付を設定」を選択し、写真のサムネールの日付を設定します。一定の日付範囲の写真を表示するには、「期間を設定」を選択し、写真のサムネールの開始日と終了日を設定します。

タグ順 特定のタグの付いた写真を表示します。タグに移動し、リモコンの「OK」ボタンを押します。タグの左側に矢印がある場合は、そのタグにサブカテゴリのタグがあります。サブカテゴリのタグを表示する場合は、矢印をクリックします。

 写真をタグ順で表示する場合、「選択したタグ」の下にタグ名のリストが表示されます。リストからタグを消去するには、タグを選択し、「選択タグの解除」を選択します（この操作では、カタログからタグは消去されません）。

アルバム順 アルバムの写真を表示します。表示したいアルバムに移動し、リモコンの「OK」ボタンを押します。アルバムの左側に矢印がある場合、それはアルバムグループです。矢印をクリックして、グループのアルバムを表示します。

- 3 リモコンのナビゲーションキーを使用して、写真を表示します。写真をフルスクリーンで表示するには、写真に移動し、リモコンの「OK」ボタンを押します。
- 4 前のページに戻るには、リモコンの「戻る」ボタンを押します。ホームページに戻るには、「Home」をクリックします。

Media Center コンピューターでのスライドショーの表示と配信

Media Center 2005 では、Elements Organizer で作成した WMV 形式のスライドショーを表示できます。

- 1 Elements Organizer のホームページで、「スライドショー」ボタンをクリックします。作成したスライドショーのサムネールを表示する View Slide Shows ページが表示されます（「日付」ボタンをクリックして、特定の日付または範囲内の日付に作成されたスライドショーを表示および選択できます）。
- 2 スライドショーを再生するには、サムネールに移動し、「OK」をクリックします。スライドショーをフルスクリーンで表示するには、「OK」をもう一度クリックします。リモートコントロールの「戻る」ボタンを押すと、ウィンドウでのスライドショー表示に戻ります。
- 3 スライドショーを制御するには、リモートコントロールの「再生」、「一時停止」、「停止」、「早送り」、「巻戻し」、「リプレイ」ボタンを使用します。

Media Center コンピューターでの Photoshop Elements の設定

- 1 Elements Organizer のホームページで「設定」をクリックします。
- 2 次の「General Settings」オプションを設定します。

ファイル名と写真のサムネールを表示 写真またはスライドショーのサムネールを表示するときに、ファイル名を表示します。

スライドショーで写真のキャプションを表示 インスタントスライドショーで写真を表示するときに、写真のキャプション（メディアブラウザーで設定）を表示します。

Use Catalog 表示するカタログを指定します。複数の Elements Organizer カタログがある場合は、表示したいカタログに移動し、「OK」を選択します。

Recreate Photo Thumbnails 必要に応じて写真のサムネールを再作成することを許可します。

最後に表示したリストを消去 最後に表示した写真のリストをホームページから消去します。

3 設定を適用するには、「完了」をクリックします。

4 次の「スライドショー」オプションを設定し、「完了」をクリックします。

スライド間隔 インスタントスライドショー中に各写真を画面に表示する時間を設定します。

切り替え方法 写真間の切り替え方法を指定します。

切り替え速度 写真間の切り替え速度を指定します。

写真の書き出し

Elements Organizer からの写真の書き出し

写真をフォルダーに書き出してバックアップできます。写真を書き出しても、元の写真はカタログに保護されたまま残ります。書き出す写真のサイズやファイル形式は指定できます。

注意：写真を CD または DVD に書き出すには、適切なサードパーティ製のソフトウェアがコンピューターにインストールされている必要があります。

1 Elements Organizer で書き出すアイテムを選択して、ファイル／新規ファイルとして書き出しを選択します。

2 必要に応じて以下のオプションを指定します。

ファイル形式 書き出す写真のファイル形式を指定します。現在のファイル形式を維持する場合は、「オリジナル形式を使用」を選択します。

サイズと画質 ピクセル数、ファイルサイズ、圧縮方式および写真の画質を変更します。オリジナル形式を使用して書き出す場合は、元の画像のサイズを増やすことはできません。

ファイル保存先 書き出すファイルを保存するフォルダーを指定します。別のフォルダーまたはドライブを指定するには、「参照」をクリックします。

ファイル名 書き出すファイルの名前を指定します。写真の現在の名前を使用する場合は、「オリジナルの名前」を選択します。同じ名前にシーケンス番号を追加して書き出すには、「基本名」を選択して名前を入力します。保存先フォルダーにファイル名が既に存在する場合は、既存のファイルを上書きしないように、書き出すファイルの名前が変更されます。

3 「書き出し」をクリックします。

注意：写真を Elements Organizer からページレイアウト、文書作成アプリケーション、画像編集アプリケーション (Photoshop など) またはコンピューターのデスクトップにドラッグすると、写真を書き出すことができます。この方法では写真をすばやく簡単に書き出すことができますが、書き出されたファイルのサイズを指定することはできません。

写真のデスクトップの壁紙としての使用

1 つの写真または複数の写真をコンピューターの壁紙にすることができます。壁紙の画像は、いつでも簡単に切り替えることができます。Windows 標準のデスクトップパターンに戻すには、コントロールパネルを使用します。



画面に4つの画像を並べて表示したデスクトップの壁紙

- 1 メディアブラウザーで、使用する写真を選択します。
- 2 編集／デスクトップの壁紙として設定を選択します。複数の写真を選択した場合は、写真が並べて表示されます。

注意：1つまたは複数の写真から Windows XP のスクリーンセーバーを作成することもできます。使用する写真を選択して、それらを新しいフォルダーに書き出します（新しいフォルダーに「スクリーンセーバー」のような名前を指定します）。新しいフォルダーにある写真を使用してスクリーンセーバーを作成するには、Windows XP のコントロールパネルの「画面」を使用します。Windows XP でスクリーンセーバーを作成する方法については、Windows XP のヘルプで「スクリーンセーバー」を検索して、該当する項目を参照してください。

DVD / Blu-ray へのメディアファイルの書き込み

- 1 コピーするメディアファイルを選択し、「配信」  をクリックします。
- 2 「DVD / Blu-ray ビデオに書き込み」をクリックします。

Adobe Premiere Elements が起動し、DVD または Blu-ray にメディアファイルを書き込むことができます。

CD / DVD へのメディアファイルの書き込み

- 1 コピーするメディアファイルを選択し、「配信」  をクリックします。
- 2 「データ CD / DVD を作成」をクリックします。

CD / DVD を作成ダイアログボックスが表示されます。

- 3 書き込み先のディスクドライブを選択し、オプション（名前、書き込み速度など）を指定して「OK」をクリックします。

ファイルが CD または DVD に書き込まれます。

第 10 章：Elements Organizer のショートカットキー

Elements Organizer では、画面の操作や、写真の検索、表示および編集に、ショートカットキーを使用できます。Elements Editor でも、表示、選択、編集など、スタンダード編集モードの様々なツールを使用する際にショートカットを使用できます。

ナビゲーション時に使用するキー

このリストには、主なショートカットだけを示します。他のショートカットは、メニューコマンドやツールヒントに表示されます。



コンテキストメニューを表示するには、パネル、ウィンドウまたは画像を右クリックします。

目的	ショートカット
選択対象を上下左右に移動	上向き矢印/下向き矢印/左向き矢印/右向き矢印
選択対象を変更せずに上に移動	Page Up
選択対象を変更せずに下に移動	Page Down
最初までスクロールし、最初のアイテムを選択（日付表示では、年表示、月表示または日表示の最初のアイテムを選択）	Home
最後までスクロールし、最後のアイテムを選択（日付表示では、年表示、月表示または日表示の最後のアイテムを選択）	End
連続する複数のアイテムを選択	Shift + 上向き矢印/下向き矢印/左向き矢印/右向き矢印
選択されている写真のフルサイズのサムネールを表示	Enter
コントロール間を移動	Tab
コントロールを選択	スペースバー

写真表示に使用するキー（Elements Organizer）

このリストには、主なショートカットだけを示します。他のショートカットは、メニューコマンドやツールヒントに表示されます。

目的	ショートカット
フルスクリーン表示	F11
写真を並べて比較	F12
フルスクリーン表示または写真を並べて比較を終了	Esc
メディアブラウザーの表示を更新	F5

目的	ショートカット
詳細の表示／非表示を切り替え	Ctrl + D
タイムグラフの表示／非表示を切り替え	Ctrl + L
スタックの写真を展開	Ctrl + Alt + R

カレンダーの表示時に使用するキー（日付表示）

このリストには、主なショートカットだけを示します。他のショートカットは、メニューコマンドやツールヒントに表示されます。

目的	ショートカット
下位に移動（年 > 月 > 日）	+ または Shift + =
上位に移動（日 > 月 > 年）	- または Shift + _
選択した日の前の写真に移動	,（カンマ）
選択した日の次の写真に移動	.（ピリオド）
日表示で自動再生を開始	Enter
月表示または年表示から日表示に移動	Enter
カレンダーで次の年、月、日に移動]
カレンダーで前の年、月、日に移動	[

写真編集に使用するキー（Elements Organizer）

このリストには、主なショートカットだけを示します。他のショートカットは、メニューコマンドやツールヒントに表示されます。

目的	ショートカット
最後の操作を取り消し	Ctrl + Z
最後の操作をやり直し	Ctrl + Y
コピー	Ctrl + C
すべてを選択	Ctrl + A
選択を解除	Ctrl + Shift + A
左に 90° 回転	Ctrl + 左向き矢印
右に 90° 回転	Ctrl + 右向き矢印
Photoshop Elements Editor での編集（スタンダード編集）	Ctrl + I
プロパティパネルの表示	Alt + Enter
写真の日時の調整	Ctrl + J
キャプションを追加	Ctrl + Shift + T

目的	ショートカット
サムネールを更新	Ctrl + Shift + U
写真をデスクトップの壁紙として設定	Ctrl + Shift + W
カラー設定ダイアログボックスを開く	Ctrl + Alt + G
Premiere Elements Editor でファイルを開く	Ctrl + M
ズームイン	Ctrl ++
ズームアウト	Ctrl +-
OK	Enter
キャンセル	Esc

写真の検索時に使用するキー

このリストには、主なショートカットだけを示します。他のショートカットは、メニューコマンドやツールヒントに表示されます。

目的	ショートカット
期間を設定	Ctrl + Alt + F
期間を削除	Ctrl + Shift + F
キャプションまたはメモで検索	Ctrl + Shift + J
ファイル名で検索	Ctrl + Shift + K
日付または時間が不明なアイテムを検索	Ctrl + Shift + X
タグなしアイテムを検索	Ctrl + Shift + Q